

令和元年度 市民による市政評価（市民評価）調査結果について（概要版）

企画部総合政策課

1 市政評価について

大仙市では、市民の皆さんの評価や意見を伺い、今後の市政運営や協働のまちづくりを進めるため、「市民による市政評価」を平成 18 年度から継続的に実施してきました。

平成 28 年度からは、個別事業に関する評価や意見を調査する「市民による個別事業評価」を実施し、市民目線に立った効率的で効果的な事業実施に努めてきたところです。

個別事業評価については、広く市民の皆さんを対象とする調査と、利用者の生の声を伺うため、制度の利用者など特定の層を対象とする調査に区分し、前者を市政評価に組み込み実施しました。

2 調査の種別

（1）市政評価

第 2 次大仙市総合計画基本構想に示している体系（「施策の柱」「施策の大綱」）に基づき設定した設問項目（施策）について、「満足度」と「重要度」、「今後さらに推進すべき取り組み」を調査した。また、「あなたが思う大仙市について」として、これまで行っていた「住みやすさ」等の意識調査に加え、大仙市への愛着度や知人への居住地、観光地としての推薦度合い等に関する意識調査も行った。

（2）個別事業評価

施策に基づき実施されている次の 6 事業について、認知度、利用度、意識等を調査した。

① A 事業：市民全体を対象とする調査

- 1) 食品ロス（フードロス）について
- 2) 墓地の利用について
- 3) 市の温泉施設について
- 4) マイナンバーカードについて
- 5) 市役所サービスについて

② B 事業：制度の利用者など特定の層を対象とする調査

- 1) 特定健康診査事業について

3 実施方法

（1）手 法： 郵送アンケート（無記名回答）方式

（2）期 間 「市政評価」 令和元年 5 月 23 日～6 月 10 日（19 日間）

「個別事業評価」 令和元年 6 月 6 日～24 日（19 日間）

4 調査対象

(1) 市政評価

市内在住で 18 歳以上 84 歳以下の方の中から無作為（性別、年齢、地域等については考慮）に抽出した市民 1,000 人。

(2) 個別事業評価

①A 事業 (1) 市政評価と同じ対象者

②B 事業

1) 特定健康診査事業

「特定健康診査事業」の対象となる、市内在住の 40 歳以上 (H30 年度検診時) の男女から、無作為に抽出した 300 人。

5 回収数・回収率

調査票	送付数	回収数	回収率
市政評価・個別事業評価（A 事業）	1,000 人	633 人	63.3%
個別事業評価（B 事業）「特定健康診査事業」	300 人	145 人	48.3%

調査票総送付数 1,300 人 回収総数 775 人 平均回収率 59.6%

6 施策に対する評価 調査結果の概要

(1) 満足度及び重要度について

〈満足の度合い〉

⇒満足度の上位項目は「保健・医療」、「花火産業構想」、「スポーツ」の順となっており、下位項目は「空き家対策」、「商工業」、「雇用・就労」の順となっている。

⇒昨年度と比較すると、全体的に満足度が大幅に増加している。施策の効果が浸透してきていると共に、調査票への施策に対する事業等の説明を昨年度よりわかりやすく記載したことから、施策の具体性が増したものと考えられる。

⇒昨年度と比較して満足度の増減の変化が大きかったのは、満足度 3.57 で 1 位の「保健・医療」（前回より 0.41 ポイント増）、満足度 3.48 で 3 位の「スポーツ」（前回より 0.41 ポイント増）、満足度 3.47 で 5 位の「子育て」（前回より 0.47 ポイント増）、満足度 3.25 で 14 位の「観光」（前回より 0.65 増）、満足度 3.13 で 19 位の「公共交通」（前回より 0.48 ポイント増）、満足度 2.84 で 27 位の「雇用・就労」（前回より 0.43 ポイント増）となっている。

順位		項 目	満足度 ※			
R1	H30			R1	H30	増減 (R1-H30)
1	6	保健・医療	↑	3.57	3.16	0.41
2	1	花火産業構想	←	3.54	3.57	▲ 0.03
3	11	スポーツ	↑	3.48	3.07	0.41
3	2	自然・環境衛生	↖	3.48	3.40	0.08
5	14	子育て	↑	3.47	3.00	0.47
6	6	安全・安心体制	↑	3.44	3.16	0.28
7	3	上・下水道	←	3.41	3.38	0.03
8	15	地域情報化	↑	3.35	2.99	0.36
9	8	芸術・文化	↑	3.34	3.13	0.21
10	4	学校教育	←	3.33	3.37	▲ 0.04
11	13	社会保障	↑	3.27	3.03	0.24
12	5	生涯学習	←	3.26	3.23	0.03
12	9	社会福祉	↑	3.26	3.11	0.15
14	27	観光	↑	3.25	2.60	0.65
14	11	地域間・国際交流	↑	3.25	3.07	0.18
16	10	住環境	↖	3.18	3.09	0.09
17	20	市民協働	↑	3.16	2.90	0.26
18	16	農林水産業	↑	3.15	2.98	0.17
19	25	公共交通	↑	3.13	2.65	0.48
20	19	地域活性化	↑	3.12	2.93	0.19
21	16	男女共同参画	↖	3.11	2.98	0.13
22	16	道路・河川	↖	3.10	2.98	0.12
23	24	移住・定住	↑	3.06	2.77	0.29
24	23	行財政運営	↑	2.98	2.82	0.16
25	22	出会い・結婚	↖	2.93	2.83	0.10
26	21	市街地	←	2.92	2.89	0.03
27	29	雇用・就労	↑	2.84	2.41	0.43
28	26	商工業	↑	2.83	2.63	0.20
29	28	空き家対策	↑	2.82	2.57	0.25

上昇	↑	前年比+0.15以上
やや上昇	↖	前年比+0.05以上+0.15未満
横ばい	←	前年比-0.05より大きく+0.05未満
やや下降	↘	前年比-0.05以下-0.15未満
下降	↓	前年比-0.15以下

〈重要の度合い〉

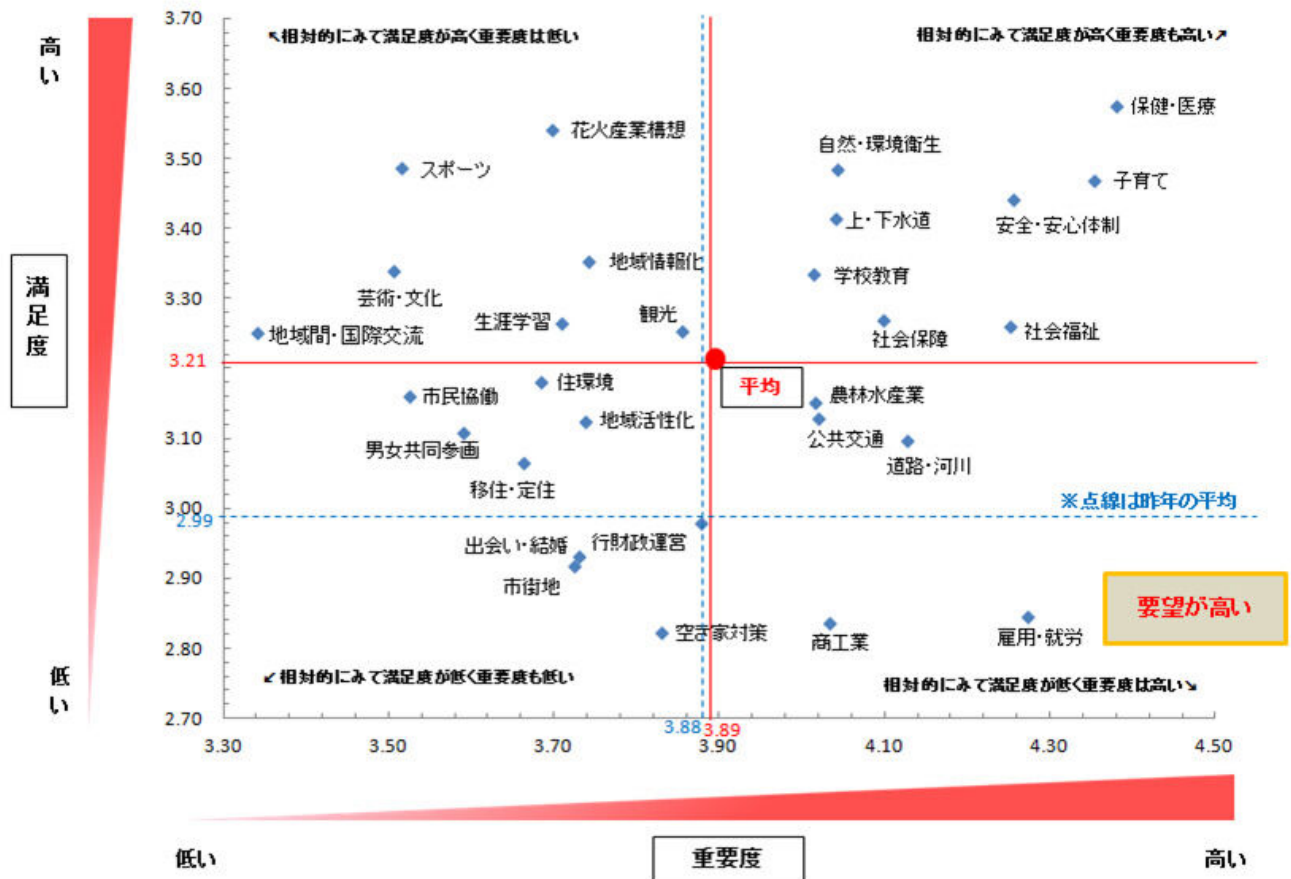
⇒重要度の上位項目は、「保健・医療」、「子育て」、「雇用・就労」の順となっており、
下位項目は「地域間・国際交流」、「芸術・文化」、「スポーツ」の順となっている。
⇒昨年度と比較すると、小幅な増減の項目が多い中で、重要度の増減の変化が大きかったのは、重要度 4.13 で6位の「道路・河川」（昨年まで「交通インフラ」、前回より 0.20 ポイント増）、重要度 4.04 で8位の「自然・環境衛生」（前回より 0.27 ポイント増）、3.72 で20位の「市街地」（前回より 0.20 ポイント増）、重要度 3.66 で24位の「移住・定住」（前回より 0.15 ポイント減）、重要度 3.53 で26位の「市民協働」（前回より 0.21 ポイント減）、重要度 3.34 で29位の「地域間・国際交流」（前回より 0.19 ポイント減）となっている。

順位		項 目	重要度 ※			
R1	H30			R1	H30	増減 (R1-H30)
1	4	保健・医療	↖	4.38	4.26	0.12
2	3	子育て	←	4.35	4.33	0.02
3	1	雇用・就労	↙	4.27	4.41	▲ 0.14
4	2	安全・安心体制	↙	4.26	4.36	▲ 0.10
5	6	社会福祉	↖	4.25	4.13	0.12
6	12	道路・河川	↑	4.13	3.93	0.20
7	10	社会保障	↖	4.10	3.99	0.11
8	19	自然・環境衛生	↑	4.04	3.77	0.27
8	11	上・下水道	↖	4.04	3.96	0.08
10	5	商工業	↙	4.03	4.15	▲ 0.12
11	8	公共交通	↙	4.02	4.09	▲ 0.07
11	9	農林水産業	←	4.02	4.03	▲ 0.01
11	7	学校教育	↙	4.02	4.11	▲ 0.09
14	14	行財政運営	←	3.88	3.87	0.01
15	13	観光	↙	3.86	3.91	▲ 0.05
16	15	空き家対策	←	3.83	3.82	0.01
17	22	地域情報化	↖	3.74	3.64	0.10
17	21	地域活性化	↖	3.74	3.68	0.06
19	17	出会い・結婚	↙	3.73	3.80	▲ 0.07
20	29	市街地	↑	3.72	3.52	0.20
21	18	生涯学習	↙	3.71	3.78	▲ 0.07
22	24	花火産業構想	↖	3.70	3.58	0.12
23	23	住環境	↖	3.69	3.62	0.07
24	16	移住・定住	↓	3.66	3.81	▲ 0.15
25	25	男女共同参画	←	3.59	3.57	0.02
26	20	市民協働	↓	3.53	3.74	▲ 0.21
27	27	スポーツ	←	3.52	3.53	▲ 0.01
28	26	芸術・文化	↙	3.51	3.56	▲ 0.05
29	27	地域間・国際交流	↓	3.34	3.53	▲ 0.19

上昇	↑	前年比+0.15以上
やや上昇	↖	前年比+0.05以上 +0.15未満
横ばい	←	前年比-0.05より大きく+0.05未満
やや下降	↙	前年比-0.05以下-0.15未満
下降	↓	前年比-0.15以下

〈要望が高い施策〉

⇒相対的に見て、要望度が高い施策（重要度は高いが満足度は低い）は「雇用・就労」、「商工業」、「道路・河川」となっている。（図表1）



(2) 今後、さらに推進すべき取り組みについて

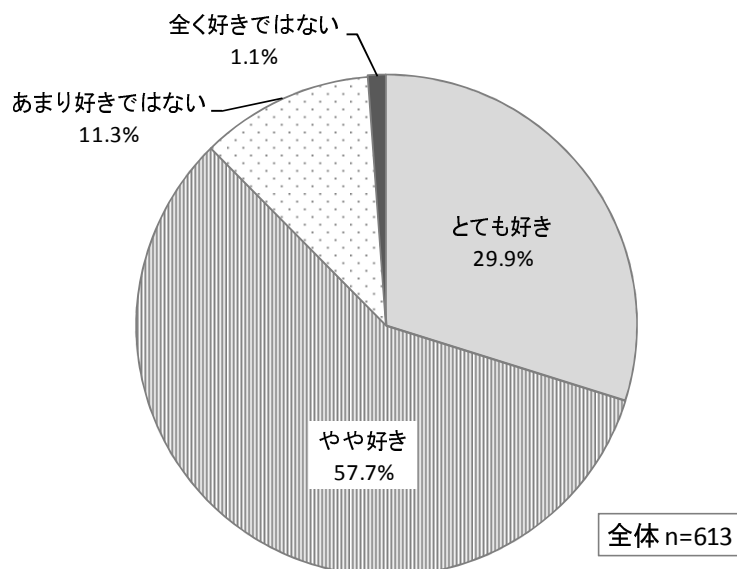
今後さらに推進すべき取り組みとして、各分野で回答数が多い上位3項目は次のとおり。

分 野	順位	取り組み内容	回答数
産業分野	1	雇用・就労への支援	390
	2	農業の担い手確保、育成	383
	3	若者の起業支援	278
出会い・結婚・子育て分野	1	子育てに関わる経済的負担の軽減	353
	2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	332
	3	結婚を応援する環境づくり	311
健康福祉・スポーツ分野	1	介護サービス基盤等の整備	295
	2	地域医療体制の整備	283
	3	からだの健康づくりの推進	242
環境・安全分野	1	除排雪体制の充実	394
	2	空き家の管理と利活用の推進	267
	3	消融雪施設の整備	248
都市基盤分野	1	生活道路の整備	332
	2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	264
	3	安全で安定した水道水の供給	219
教育・交流分野	1	生きる力を育む学校教育の推進	310
	2	学校と地域の交流・連携	241
	3	学校施設の整備	196
地域活性化・市民との協働・行政運営分野	1	若者が活躍できる環境づくり	358
	2	小規模集落・高齢化集落への支援	260
	3	移住・定住への支援	201

(3) あなたが思う大仙市について

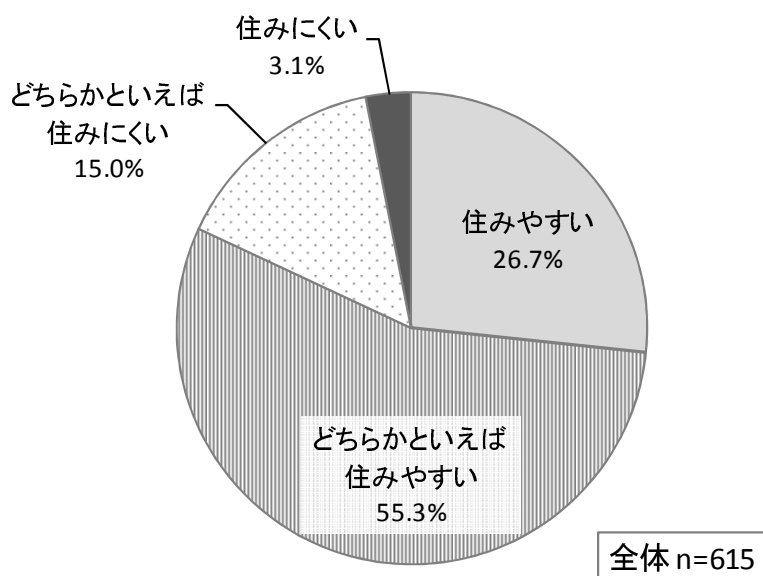
〈大仙市にどれくらい愛着を感じていますか〉

⇒「とても好き」と「やや好き」と回答した方の割合を合わせると、87.6%で、9割近くを占めている。



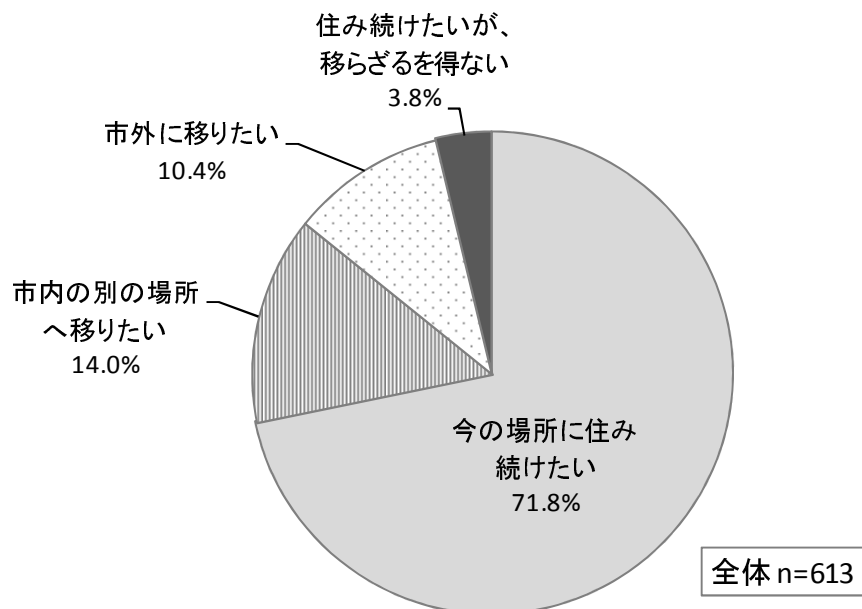
〈大仙市は住みやすいか〉

⇒「住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」と回答した方の割合を合わせると、82.0%で、8割以上を占めている。



〈大仙市に住み続けたいか〉

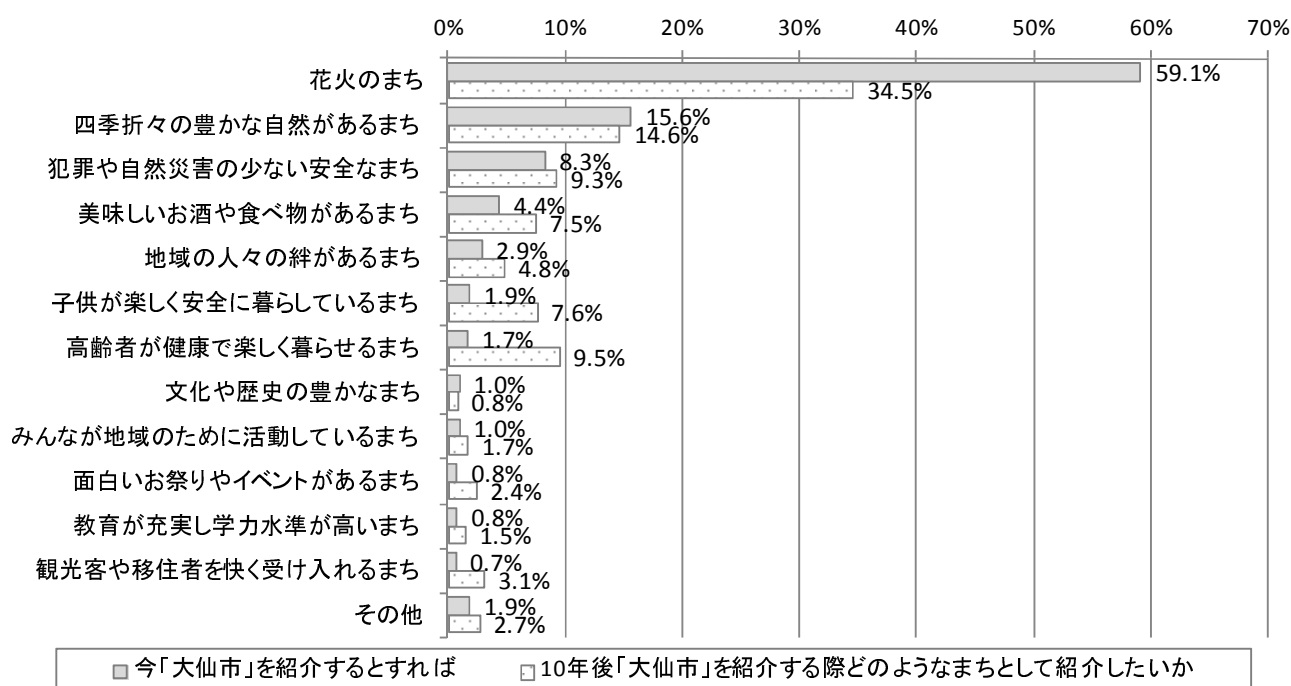
⇒「今の場所に住み続けたい」と回答した方の割合は 71.8%で、7割以上を占めている。



〈大仙市を知人に紹介するとすれば（単一回答）〉

⇒今現在、「大仙市」を知人へ紹介する場合に、どのようなまちとして紹介するか、また、10 年後に知人へ「大仙市」を紹介する場合、どのようなまちとして紹介していきたいか（選択はいずれか一つ）、という問いに対して、いずれも「花火のまち」が最も多かった。

⇒「今どのように紹介するか」と「10 年後に紹介する場合、どのようなまちとして紹介していきたいか」の割合で、「今」と「10 年後」で比較して 10 年後の方が高くなる割合の差が最も大きかったのは、「高齢者が健康で楽しく暮らせるまち」となっており、7.8 ポイントの差、次に差が大きかったのは、「子供が楽しく安全に暮らしているまち」で、5.7 ポイントの差となっている。



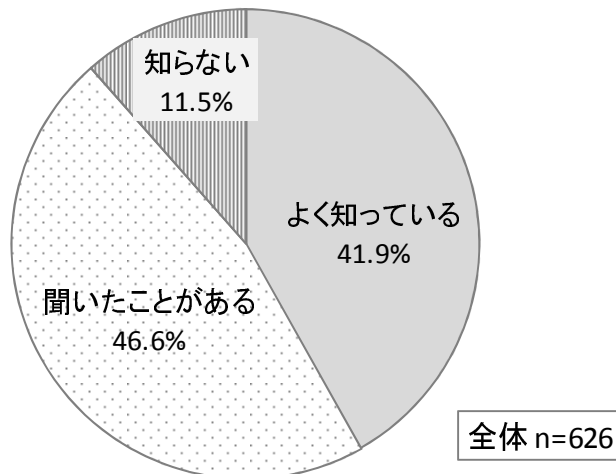
7 個別事業に対する評価 調査結果の概要（抜粋）

（１）食品ロス（フードロス）について

調査目的：「食品ロス」に対する意識を調査し、今後市で行う食品ロス対策啓発活動を効果的に行うための参考とする。

〈「食品ロス」という言葉を知っていましたか〉

⇒「聞いたことがある」と回答した方が最も多く 46.6%、次に「よく知っている」が 41.9%となっている。

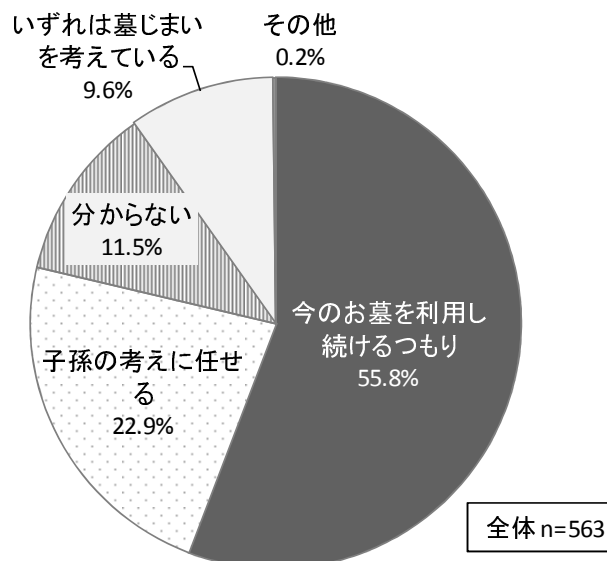


（２）墓地の利用について

調査目的：墓地についての考え方や心配事などの意識を調査し、少子高齢化や核家族化による無縁墓の増加等の問題等に対して方針を検討する。

〈今後のお墓の管理について、あなたの考えに最も近いものはどれですか〉

⇒最も多かったのは、「今のお墓を利用し続けるつもり」を回答した方が 55.8%となっており、「いずれは墓じまいを考えている」と回答した方は 9.6%となっている。

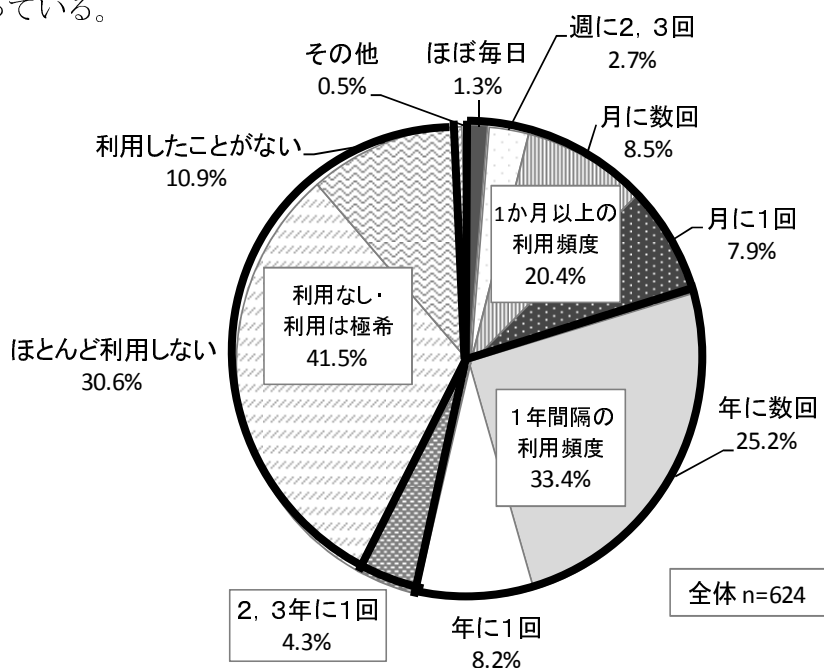


(3) 市の温泉施設について

調査目的：市民のみなさんの温泉施設の利用状況や意識を調査し、今後の事業の見直しの参考とする。

〈市が所有している温泉施設をどのくらい利用（入浴、宴会、宿泊）していますか〉

⇒「ほぼ毎日」「週に2, 3回」「月に数回」「月に1回」と回答した、1か月以上の頻度で利用する方を合わせると20.4%、「年に数回」「年に1回」と回答した1年間隔の頻度で利用する方を合わせると33.4%、「2, 3年に1回」と回答した方が4.3%、「ほとんど利用しない」「利用したことがない」と回答した方を合わせると41.5%となっている。

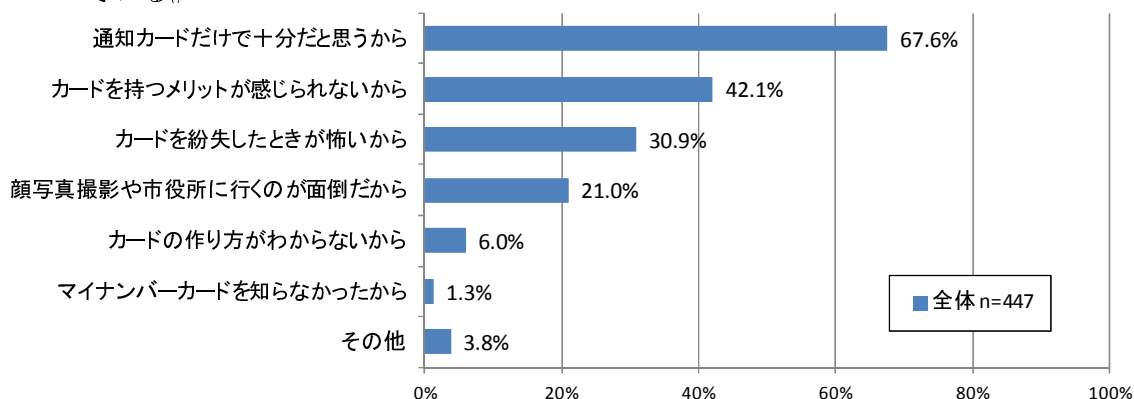


(4) マイナンバーカードについて

調査目的：今後、健康保険証としてもマイナンバーカードを利用可能にするよう整備が進む中、市民のみなさんのカード取得に対する意識を調査し、普及促進のための参考とする。

〈マイナンバーカードを持たない理由は何ですか（複数回答可）〉

⇒「通知カードだけで十分だと思うから」と回答した方が最も多く67.6%、次に多かったのは「カードを持つメリットが感じられないから」と回答した方が42.1%となっている。

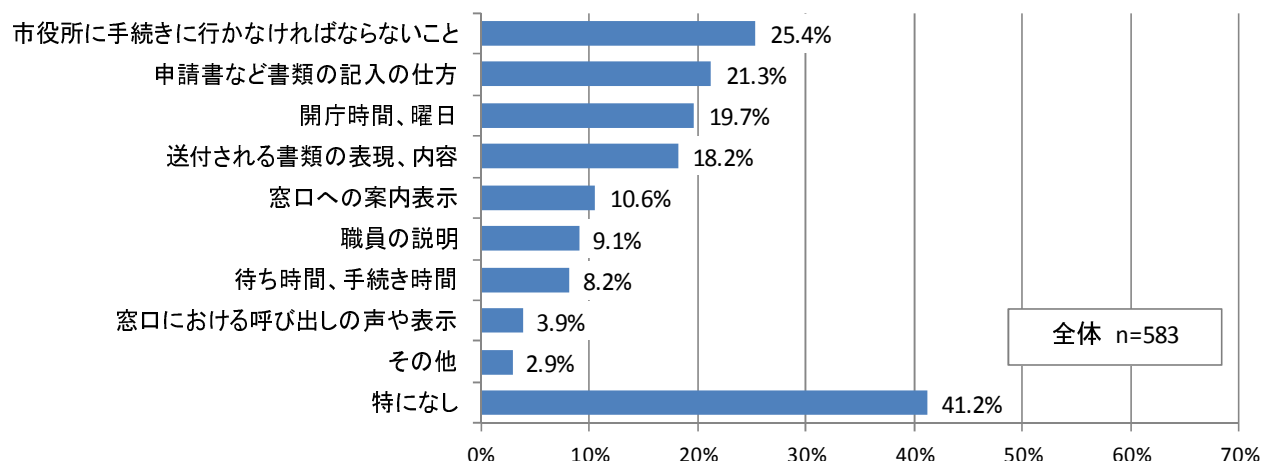


（５）市役所サービスについて

調査目的：普段市民のみなさんが感じている市役所サービスについての意見を調査することにより、分かりやすい、利用しやすいと感じる環境づくりを進めていくための参考とする。

〈市役所で届出や申請をした際にわかりづらい、不便だと感じたことはありますか（複数回答可）〉

⇒「特になし」と回答した方が最も多く 41.2%、次に多かったのは「市役所に手続き行かなければならないこと」と回答した方が 25.4%となっている。

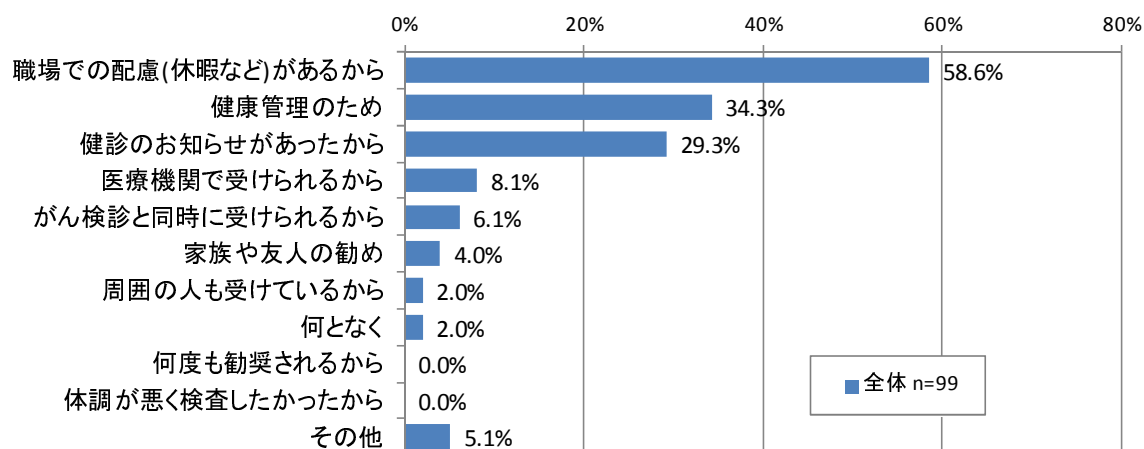


（６）特定健康診査（特定健診）事業について

調査目的：国民健康保険加入者における特定健診の受診率は約４割であるため、特定健診対象となる４０歳以上のうち若い方（加入保険は特定しない）の意識等について調査し、受診率向上のための参考とする。

〈特定健診を受診した（している）理由は何ですか（複数回答可）〉

⇒「職場での配慮(休暇など)があるから」と回答した方最も多く 58.6%、「健康管理のため」が 34.3%で次に多かった。



令和元年度

**「市民による市政評価」
結果報告書**

令和元年 11 月

大仙市 企画部 総合政策課

目 次

1 はじめに

1.1 市政評価について	1
1.2 調査の種類	1
1.3 調査の手法	2
1.4 調査票	2
1.5 調査期間	2
1.6 集計上・分析上の注意事項について	2

2 市民による市政評価

2.1 調査対象	4
2.2 回収率	4
2.3 回答者の属性	4
2.4 満足度及び重要度	6
2.4.1 満足の度合い	6
2.4.2 満足度における選択肢別の回答割合	8
2.4.3 満足度における属性別比較	9
2.4.4 重要の度合い	13
2.4.5 重要度における選択肢別の回答割合	15
2.4.6 重要度における属性別比較	16
2.4.7 項目別要望度	20
2.4.8 満足度、重要度の総括	22
2.4.9 満足度、重要度の年齢層別比較	23
2.5 さらに推進すべき取り組み	

2.5.1 産業分野に関する設問について	25
2.5.2 出会い・結婚・子育て分野に関する設問について	28
2.5.3 健康福祉・スポーツ分野に関する設問について	31
2.5.4 環境安全分野に関する設問について	34
2.5.5 都市基盤分野に関する設問について	37
2.5.6 教育・交流分野に関する設問について	40
2.5.7 地域活性化・市民との協働・行政運営分野に関する設問について	43
2.5.8 さらに推進すべき取り組みの総括	46
2.6 あなたが思う大仙市について	
2.6.1 市内在住の経緯に関する設問について	49
2.6.2 大仙市への愛着度に関する設問について	51
2.6.3 「住みやすさ」に関する設問について	54
2.6.4 「住む場所」「訪れる場所」としての推薦度に関する設問について	59
2.6.5 社会活動・地域活動に関する設問について	66
2.6.6 現在・未来のまちの姿に関する設問について	70
2.7 経年比較	72

3 市民による個別事業評価

3.1 市民全体を調査対象とした個別事業評価	86
3.1.1 食品ロス（フードロス）の削減対策について	86
3.1.2 墓地の利用について	94
3.1.3 市の温泉施設について	101
3.1.4 マイナンバーカードについて	113
3.1.5 市役所サービスについて	120
3.2 事業対象者層を調査対象とした個別事業評価	137
3.2.1 特定健康診査事業について	137

4 自由意見	156
--------	-----

5 資料

令和元年度「市民による市政評価」調査票

令和元年度「市民による個別事業評価」【特定健診事業】調査票

1 はじめに

1.1 市政評価について

大仙市では、市民の皆さんの評価や意見を伺い、今後の市政運営や協働のまちづくりを進めるため、「市民による市政評価」を平成 18 年度から継続的に実施している。

平成 28 年度からは、個別事業に関する評価や意見を調査する「市民による個別事業評価」を実施し、市民目線に立った効率的で効果的な事業実施に努めてきた。

個別事業評価については、広く市民の皆さんを対象とする調査と、制度の利用者など特定の層を対象とする調査に区分し、前者を市政評価に組み込み実施した。

1.2 調査の種類

調査は、次の区分により実施した。

(1) 市民による市政評価

第 2 次大仙市総合計画基本構想に示している体系（「施策の柱」、「施策の大綱」）に基づき設定した設問項目について、次の事項を調査した。

- ◆満足度（本市の現状に対してどのくらい満足しているか。）
- ◆重要度（本市のまちづくりにとってどのくらい重要であると考えているか）
- ◆今後さらに推進すべき取り組み
- ◆あなたが思う大仙市について

(2) 市民による個別事業評価

市が実施している次の事業について、認知度、利用度、意識等を調査した。

A. 市民全体（年代・性別を問わない）を調査対象とした事業 5 事業

B. 事業対象者層を調査対象とした事業 1 事業

No.	種別	事業名
1	A	食品ロス（フードロス）の削減対策について
2	A	墓地の利用について
3	A	市の温泉施設について
4	A	マイナンバーカードについて
5	A	市役所サービスについて
6	B	特定健康診査事業について

1.3 調査の手法

郵送アンケート（無記名回答）方式

1.4 調査票

本調査は、次の2種類の調査票により、それぞれの対象者に対して実施した。

- ◆令和元年度「市民による市政評価」（「市民による個別事業評価」の種別Aの5事業を含む）
- ◆令和元年度「市民による個別事業評価」 「特定健康診査事業」

1.5 調査期間

「市民による市政評価」 令和元年5月23日（木）～6月10日（月）

「市民による個別事業評価」 令和元年6月6日（木）～6月24日（月）

1.6 集計・分析上の注意事項について

- 本調査では、各調査の属性においては無回答を含めた回答者数を「n」とし、その他の調査項目においては、有効回答内での割合を求めるため、無回答を除いた有効回答者数を「n」として表記しており、各設問により母数となる回答数「n」は異なっている。
- 各区分における集計では不明者を除いているため、区分ごとの集計対象者の合計と、全体の集計対象者の合計は一致しないことがある。
- 市政評価での満足度、重要度及び要望度の平均値については、小数点第3位以下を、その他設問での構成比（％）については、小数点第2位以下を四捨五入して表記している。
- 単一回答の設問における構成比（％）は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計は必ずしも100.0%になっていない場合がある。
- 複数回答の設問における構成比（％）は、集計対象者に対する回答者数の比率を示すものであり、その合計は100%を超えることがある。

2 市民による市政評価

2 市民による市政評価

2.1 調査対象

18歳以上、85歳未満の市民の中から無作為に抽出した1,000人（性別、年齢、地域については考慮）

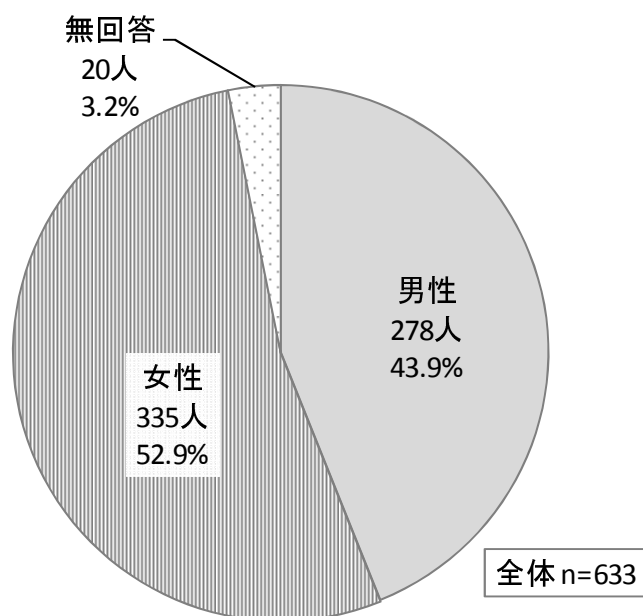
2.2 回収率

回収数・・・633

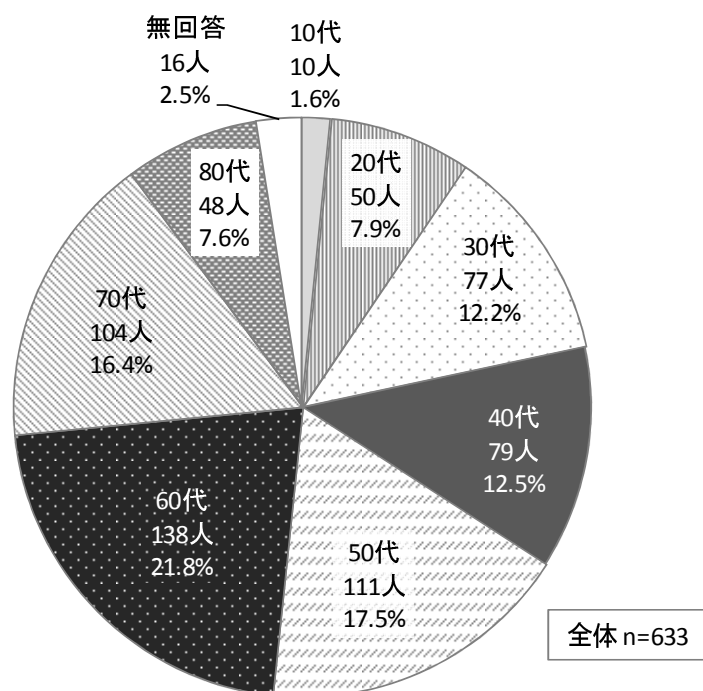
回収率・・・63.3%

2.3 回答者の属性

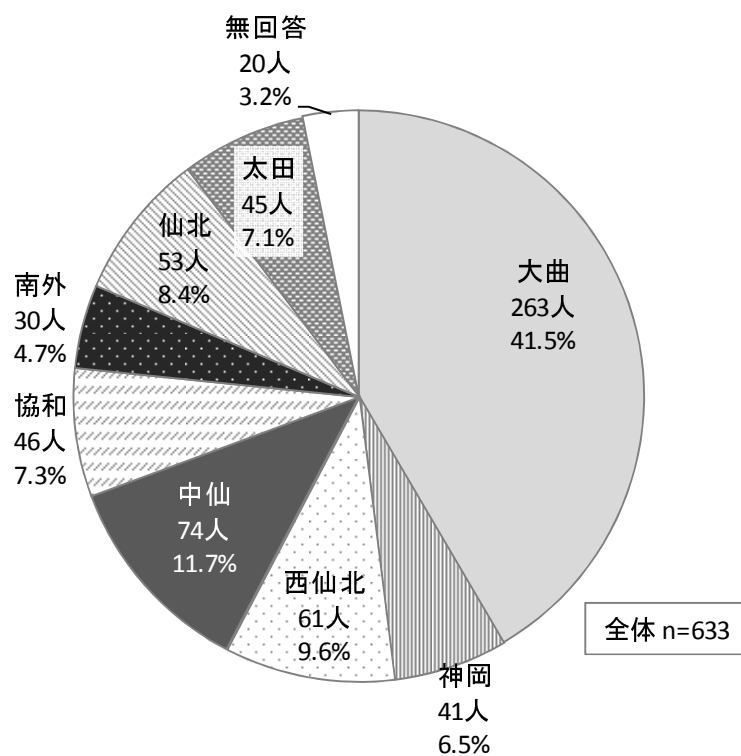
図表1 回答者の性別の内訳



図表2 回答者の年齢の内訳



図表3 回答者の居住地域の内訳



2.4 満足度及び重要度

2.4.1 満足の度合い

満足度の高い項目は、「保健・医療」が3.57（昨年度3.16）、「花火産業構想」が3.54（昨年度3.57）、「スポーツ」が3.48（昨年度3.07）の順となっている。

一方、満足度の低い項目は、下位から「空き家対策」が2.82（昨年度2.57）、「商工業」が2.83（昨年度2.63）、「雇用・就労」が2.84（2.41）の順となっている。

昨年度と比較すると、全体的に満足度が大幅に増加している。これは、調査票への施策に対する事業等の説明を昨年度よりわかりやすく記載したことから、施策の具体性が増し、「まあ満足」の回答率が増加、「やや不満」の回答率が減少したことによるものと考えられる。

昨年度と比較して満足度の増加が大きかったのは、満足度3.57で1位の「保健・医療」（前回より0.41ポイント増）、満足度3.48で3位の「スポーツ」（前回より0.41ポイント増）、満足度3.47で5位の「子育て」（前回より0.47ポイント増）、満足度3.25で14位の「観光」（前回より0.65増）、満足度3.13で19位の「公共交通」（前回より0.48ポイント増）、満足度2.84で27位の「雇用・就労」（前回より0.43ポイント増）となっており、満足度の減少が大きかった項目はない。

図表 4 満足度（点数順）

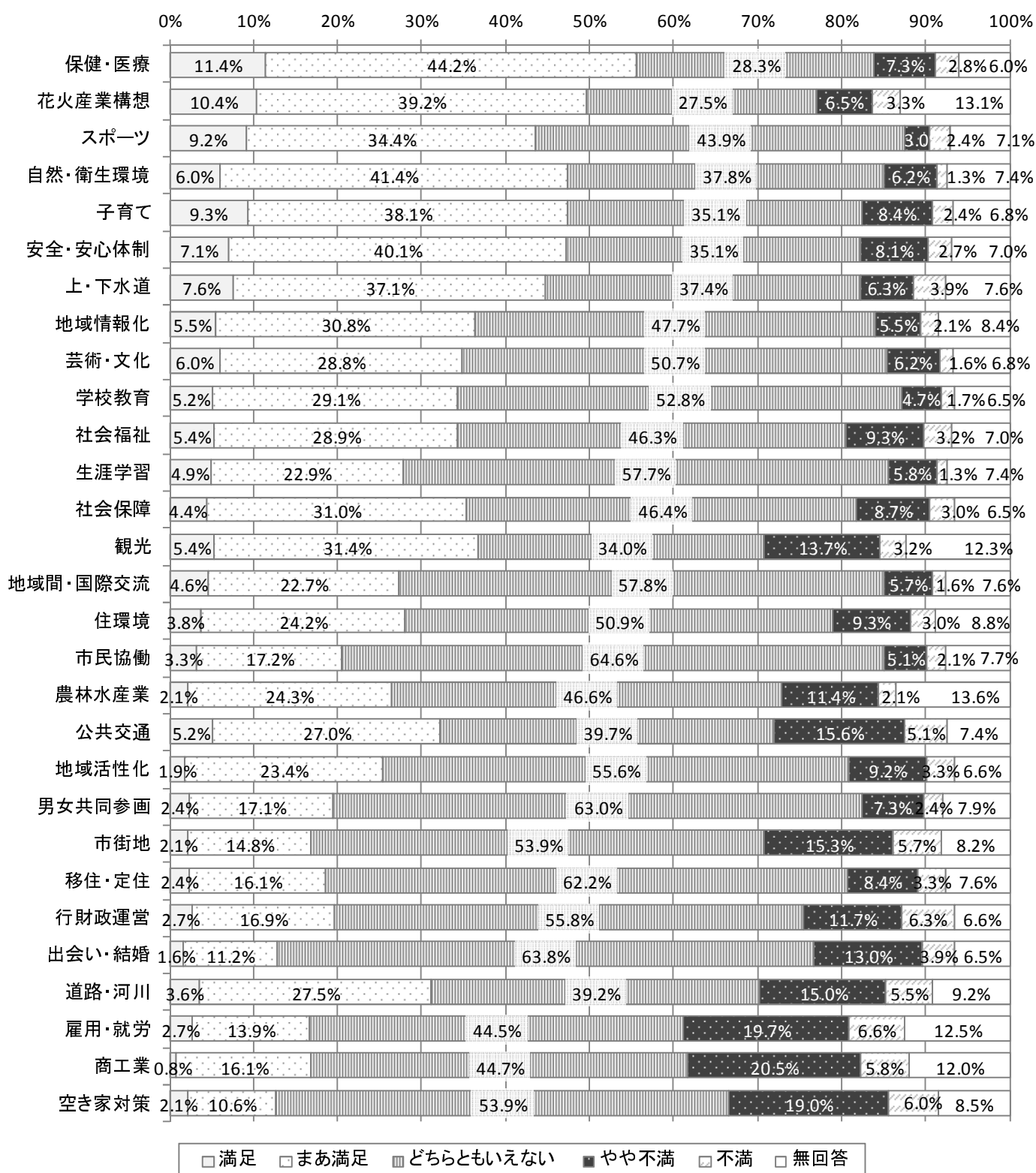
順位	R1	H30	項 目	満足度 ※			
					R1	H30	増減 (R1-H30)
1	6	【保健・医療】	特定健診・がん検診の受診促進、地域医療体制の充実、予防接種の推進など、よりよい保健・医療体制づくりを進めています。	↑	3.57	3.16	0.41
2	1	【花火産業構想】	「大曲の花火」ブランドの戦略的活用による観光、商工業、農業等幅広い分野にわたる活性化策を展開しています。	←	3.54	3.57	▲ 0.03
3	11	【スポーツ】	500歳野球大会の開催、スポーツ少年団への支援、スポーツ施設の充実など、生涯スポーツの推進・スポーツによる地域の活性化に努めています。	↑	3.48	3.07	0.41
3	2	【自然・環境衛生】	緑豊かな自然の保護や環境に優しいまちづくり、ごみ減量化、公害防止など、自然環境保全と衛生環境整備に努めています。	↔	3.48	3.40	0.08
5	14	【子育て】	保育サービスの充実や放課後児童クラブの設置、中学生までの医療費助成など、子育てできる環境づくりを進めています。	↑	3.47	3.00	0.47
6	6	【安全・安心体制】	消防・防災体制や雪対策の強化、交通安全の推進、防犯体制の強化など、安全・安心体制の充実に努めています。	↑	3.44	3.16	0.28
7	3	【上・下水道】	浄水場・水道施設の整備、公共下水道の整備など、生活の基盤となる上・下水道等の整備を進めています。	←	3.41	3.38	0.03
8	15	【地域情報化】	地上デジタル放送難視聴地域解消やインターネット環境の整備、FMIはなびによる防災・災害情報発信などに取り組んでいます。	↑	3.35	2.99	0.36
9	8	【芸術・文化】	芸術鑑賞機会の創出や音楽祭の開催、文化財を活用した行事など、芸術・文化を通じた潤いのあるまちづくりを進めています。	↑	3.34	3.13	0.21
10	4	【学校教育】	キャリア教育の推進、英語教育の充実、地域住民との交流など、社会で活躍できる子どもの育成を進めています。	←	3.33	3.37	▲ 0.04
11	13	【社会保障】	国民健康保険、生活保護制度など、皆さんの生活を守る社会保障の充実に努めています。	↑	3.27	3.03	0.24
12	5	【生涯学習】	ライフステージにあわせた学習活動、生涯学習施設の整備など、生涯学習を通じて学び、活かせる環境づくりを進めています。	←	3.26	3.23	0.03
12	9	【社会福祉】	母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など、安心して暮らせる社会福祉の充実に努めています。	↑	3.26	3.11	0.15
14	27	【観光】	各地の花火大会や祭り、史跡・文化財、温泉、自然等の地域資源を活かした観光振興に取り組んでいます。	↑	3.25	2.60	0.65
14	11	【地域間・国際交流】	宮崎県宮崎市、神奈川県横浜市、韓国唐津市との交流を継続するとともに、新たに岩手県宮古市や台湾新北市との交流を進めています。	↑	3.25	3.07	0.18
16	10	【住環境】	住宅リフォーム支援や市営住宅の維持管理、公園・緑地の維持管理など、良好な住環境づくりに取り組んでいます。	↔	3.18	3.09	0.09
17	20	【市民協働】	ボランティアやNPOへの活動支援など、市民と行政による協働の取組を応援しています。	↑	3.16	2.90	0.26
18	16	【農林水産業】	売れる米づくりの推進や複合農業化、6次産業化、通年農業化、担い手の育成、生産基盤の整備等に取り組んでいます。	↑	3.15	2.98	0.17
19	25	【公共交通】	地域の実情にあわせて、循環バスや市民バス、コミュニティバス、乗合タクシーを運行するなど、公共交通の維持確保に努めています。	↑	3.13	2.65	0.48
20	19	【地域活性化】	地域協議会の活動や地域予算の充実、自治会活動の支援など、住民主体のまちづくりを進めています。	↑	3.12	2.93	0.19
21	16	【男女共同参画】	男女共同参画に関する講座や女性活躍応援講座の開催など、より多くの人が豊かに働ける社会づくりを進めています。	↔	3.11	2.98	0.13
22	16	【道路・河川】	幹線・生活道路の整備、迅速な道路修繕、橋りょうの長寿命化、国県河川の早期整備要望、内水対策などに取り組んでいます。	↔	3.10	2.98	0.12
23	24	【移住・定住】	移住コーディネーターの配置、無料職業紹介所の設置など、安心して移住できる環境づくりを進めています。	↑	3.06	2.77	0.29
24	23	【行財政運営】	市職員数の適正化、財政の健全化、組織機構改革、公共施設の見直しなど、効率的な行財政運営に努めています。	↑	2.98	2.82	0.16
25	22	【出会い・結婚】	結婚相談会や出会いイベントの開催など、男女の出会いと結婚を応援する取組を進めています。	↔	2.93	2.83	0.10
26	21	【市街地】	利便性が高い機能的な都市づくりや無秩序な市街地の拡散抑制、市街地の活性化などに取り組んでいます。	←	2.92	2.89	0.03
27	29	【雇用・就労】	雇用・就業支援や資格取得支援、職場見学事業、Aターン希望者への就業支援などに取り組んでいます。	↑	2.84	2.41	0.43
28	26	【商工業】	企業誘致や地元企業の規模拡大に対する支援、人材獲得支援、商店街等への支援、創業支援などに取り組んでいます。	↑	2.83	2.63	0.20
29	28	【空き家対策】	空き家の適正管理促進や空き家バンクの実施、移住希望者への情報提供など、空き家の増加抑制と活用に取り組んでいます。	↑	2.82	2.57	0.25

※満足度の矢印の説明

上昇	↑	前年比+0.15以上
やや上昇	↗	前年比+0.05以上+0.15未満
横ばい	←	前年比-0.05より大きく+0.05未満
やや下降	↘	前年比-0.05以下-0.15未満
下降	↓	前年比-0.15以下

2.4.2 満足度における選択肢別の回答割合

図表5 満足度における選択肢別の回答割合（点数順）



2. 4. 3 満足度における属性別比較

性別による満足度の度合いは、全般的に女性の満足度の方が高い。男女とも多少の上下はあるものの、概ね全般的には項目は同様の順序となっている。全体で5位となっている「子育て」は男性では上位5位までに挙げられておらず（7位）、女性では、3位となっている。全体で2位となっている「花火産業構想」は、男性で3位、女性で1位となっている。

年代別に見ると、上位項目については、40代から80代までの年代において「保険・医療」、10代から60代までの年代で「花火産業構想」、30代から70代までの年代で「子育て」が挙げられている。40代のみで「観光」も上位に挙げられている。

一方、下位項目については、全年代において「雇用・就労」、「出会い・結婚」、「商工業」が挙げられており、10代を除く年代では「空き家対策」も挙げられている。また、10代では「移住・定住」、「社会福祉」、60代以降では「市街地」も挙げられている。

地域別に見ると、上位項目については、全地域において「保健・医療」が挙がっており、協和地域以外の全地域では「自然・衛生環境」が上位に挙げられている。西仙北、協和、仙北地域では「上・下水道」が挙げられている。

下位項目については、全地域において「雇用・就労」、「商工業」、「空き家対策」が挙げられている。西仙北地域では「移住・定住」も挙げられている。

図表 6 性別による満足度

■ 男性

(上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.54
2	スポーツ	3.48
3	花火産業構想	3.46
4	自然・衛生環境	3.45
5	安全・安心体制	3.42

(下位)

順位	項目	満足度
25	市街地	2.86
26	出会い・結婚	2.83
27	空き家対策	2.79
28	商工業	2.78
29	雇用・就労	2.74

■ 女性

(上位)

順位	項目	満足度
1	花火産業構想	3.64
2	保健・医療	3.61
3	子育て	3.55
4	スポーツ	3.51
5	自然・衛生環境	3.50

(下位)

順位	項目	満足度
25	行財政運営	2.99
26	市街地	2.98
27	雇用・就労	2.95
28	商工業	2.89
29	空き家対策	2.86

図表 7 年代別による満足度

■10代 (上位)

順位	項目	満足度
1	花火産業構想	4.22
2	芸術・文化	4.00
3	上・下水道	3.90
4	スポーツ	3.80
	道路・河川	3.80

(下位)

順位	項目	満足度
24	社会福祉	3.10
25	行財政運営	3.10
26	移住・定住	3.00
27	出会い・結婚	2.90
28	雇用・就労	2.89
29	商工業	2.78

■20代 (上位)

順位	項目	満足度
1	花火産業構想	3.74
2	スポーツ	3.58
3	安全・安心体制	3.44
4	地域情報化	3.38
5	学校教育	3.37

(下位)

順位	項目	満足度
24	行財政運営	2.88
25	市街地	2.88
26	出会い・結婚	2.82
27	空き家対策	2.73
28	商工業	2.73
29	雇用・就労	2.69

■30代 (上位)

順位	項目	満足度
1	花火産業構想	3.72
2	自然・衛生環境	3.52
3	地域情報化	3.51
4	子育て	3.49
5	スポーツ	3.45

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	2.91
26	行財政運営	2.89
27	商工業	2.82
28	空き家対策	2.77
29	雇用・就労	2.72

■40代 (上位)

順位	項目	満足度
1	子育て	3.58
2	保健・医療	3.47
3	花火産業構想	3.46
	スポーツ	3.36
5	観光	3.35

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	2.91
26	商工業	2.89
27	雇用・就労	2.86
28	空き家対策	2.84
29	行財政運営	2.71

■50代 (上位)

順位	項目	満足度
1	スポーツ	3.58
2	子育て	3.50
3	保健・医療	3.50
4	花火産業構想	3.50
5	上・下水道	3.36
	学校教育	3.36

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	2.91
26	雇用・就労	2.86
27	空き家対策	2.84
28	商工業	2.83
29	市街地	2.81

■60代 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.64
2	自然・衛生環境	3.50
3	花火産業構想	3.45
	子育て	3.45
	安全・安心体制	3.45

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	3.00
26	市街地	2.88
27	雇用・就労	2.82
28	商工業	2.81
	空き家対策	2.81

■70代 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.94
2	自然・衛生環境	3.65
3	安全・安心体制	3.64
4	上・下水道	3.64
5	子育て	3.63

(下位)

順位	項目	満足度
25	雇用・就労	3.08
26	出会い・結婚	3.00
27	商工業	2.94
28	市街地	2.93
29	空き家対策	2.85

■80代 (上位)

順位	項目	満足度
1	自然・衛生環境	3.79
2	スポーツ	3.74
3	保健・医療	3.73
4	上・下水道	3.72
5	安全・安心体制	3.68

(下位)

順位	項目	満足度
25	市街地	3.05
26	出会い・結婚	2.95
27	空き家対策	2.92
	雇用・就労	2.92
29	商工業	2.89

図表 8 地域別による満足度

■大曲地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	花火産業構想	3.65
2	保健・医療	3.56
3	スポーツ	3.49
4	自然・衛生環境	3.44
5	安全・安心体制	3.44

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	2.97
26	市街地	2.96
27	雇用・就労	2.91
28	商工業	2.91
29	空き家対策	2.89

■神岡地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	自然・衛生環境	3.71
2	スポーツ	3.59
3	子育て	3.58
4	安全・安心体制	3.51
5	花火産業構想	3.50
	保健・医療	3.50

(下位)

順位	項目	満足度
24	移住・定住	3.13
	男女共同参画	3.13
26	行財政運営	2.98
27	空き家対策	2.90
28	雇用・就労	2.85
29	商工業	2.83

■西仙北地域

(上位)

順位	項目	満足度
1	花火産業構想	3.55
2	スポーツ	3.53
3	保健・医療	3.53
4	上・下水道	3.45
5	自然・衛生環境	3.44

(下位)

順位	項目	満足度
25	市街地	2.89
	移住・定住	2.89
27	雇用・就労	2.83
28	空き家対策	2.76
29	商工業	2.67

■中仙地域

(上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.65
2	安全・安心体制	3.56
3	子育て	3.51
4	花火産業構想	3.47
5	自然・衛生環境	3.46

(下位)

順位	項目	満足度
25	行財政運営	2.93
26	出会い・結婚	2.82
27	商工業	2.81
28	雇用・就労	2.71
29	空き家対策	2.70

■協和地域

(上位)

順位	項目	満足度
1	上・下水道	3.61
2	スポーツ	3.48
3	保健・医療	3.43
4	花火産業構想	3.38
5	学校教育	3.34

(下位)

順位	項目	満足度
25	商工業	2.83
26	空き家対策	2.80
27	公共交通	2.78
	雇用・就労	2.78
29	市街地	2.71

■南外地域

(上位)

順位	項目	満足度
1	自然・衛生環境	3.82
2	保健・医療	3.81
3	スポーツ	3.65
4	安全・安心体制	3.63
5	花火産業構想	3.58
6	芸術・文化	3.58

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	3.07
26	雇用・就労	3.00
27	空き家対策	2.96
28	市街地	2.88
29	商工業	2.73

■仙北地域

(上位)

順位	項目	満足度
1	子育て	3.69
2	保健・医療	3.67
3	上・下水道	3.60
4	芸術・文化	3.56
5	自然・衛生環境	3.52

(下位)

順位	項目	満足度
25	行財政運営	2.92
26	商工業	2.84
27	空き家対策	2.82
28	市街地	2.82
29	雇用・就労	2.78

■太田地域

(上位)

順位	項目	満足度
1	子育て	3.71
2	保健・医療	3.69
3	自然・衛生環境	3.58
4	花火産業構想	3.55
5	スポーツ	3.46

(下位)

順位	項目	満足度
25	商工業	2.95
26	雇用・就労	2.89
27	市街地	2.85
28	出会い・結婚	2.80
29	空き家対策	2.69

2. 4. 4 重要の度合い

重要度の高い項目は、「保健・医療」が 4.38（昨年度 4.26）で最も高く、「子育て」4.35（昨年度 4.33）、「雇用・就労」4.27（昨年度 4.41）の順となっている。

一方、重要度の低い項目は、下位から「地域間・国際交流」が 3.34（昨年度 3.53）、「芸術・文化」が 3.51（昨年度 3.56）、「スポーツ」が 3.52（昨年度 3.53）の順となっている。

昨年度と比較すると、小幅な増減の項目が多い中で、重要度の増加が大きかったのは、重要度 4.13 で 6 位の「道路・河川」（昨年まで「交通インフラ」、前回より 0.20 ポイント増）、重要度 4.04 で 8 位の「自然・環境衛生」（前回より 0.27 ポイント増）、3.72 で 20 位の「市街地」（前回より 0.20 ポイント増）、また、重要度の減少が大きかったのは、重要度 3.66 で 24 位の「移住・定住」（前回より 0.15 ポイント減）、重要度 3.53 で 26 位の「市民協働」（前回より 0.21 ポイント減）、重要度 3.34 で 29 位の「地域間・国際交流」（前回より 0.19 ポイント減）となっている。

図表 9 重要度（点数順）

順位	R1	H30	項 目	重要度 ※			
					R1	H30	増減 (R1-H30)
1	4	【保健・医療】	特定健診・がん検診の受診促進、地域医療体制の充実、予防接種の推進など、よりよい保健・医療体制づくりを進めています。	↗	4.38	4.26	0.12
2	3	【子育て】	保育サービスの充実や放課後児童クラブの設置、中学生までの医療費助成など、子育てできる環境づくりを進めています。	←	4.35	4.33	0.02
3	1	【雇用・就労】	雇用・就業支援や資格取得支援、職場見学事業、Aターン希望者への就業支援などに取り組んでいます。	↘	4.27	4.41	▲ 0.14
4	2	【安全・安心体制】	消防・防災体制や雪対策の強化、交通安全の推進、防犯体制の強化など、安全・安心体制の充実に努めています。	↘	4.26	4.36	▲ 0.10
5	6	【社会福祉】	母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など、安心して暮らせる社会福祉の充実に努めています。	↗	4.25	4.13	0.12
6	12	【道路・河川】	幹線・生活道路の整備、迅速な道路修繕、橋りょうの長寿命化、国県河川の早期整備要望、内水対策などに取り組んでいます。	↑	4.13	3.93	0.20
7	10	【社会保障】	国民健康保険、生活保護制度など、皆さんの生活を守る社会保障の充実に努めています。	↗	4.10	3.99	0.11
8	19	【自然・環境衛生】	緑豊かな自然の保護や環境に優しいまちづくり、ごみ減量化、公害防止など、自然環境保全と衛生環境整備に努めています。	↑	4.04	3.77	0.27
8	11	【上・下水道】	浄水場・水道施設の整備、公共下水道の整備など、生活の基盤となる上・下水道等の整備を進めています。	↗	4.04	3.96	0.08
10	5	【商工業】	企業誘致や地元企業の規模拡大に対する支援、人材獲得支援、商店街等への支援、創業支援などに取り組んでいます。	↘	4.03	4.15	▲ 0.12
11	8	【公共交通】	地域の実情にあわせて、循環バスや市民バス、コミュニティバス、乗合タクシーを運行するなど、公共交通の維持確保に努めています。	↘	4.02	4.09	▲ 0.07
11	9	【農林水産業】	売れる米づくりの推進や複合農業化、6次産業化、通年農業化、担い手の育成、生産基盤の整備等に取り組んでいます。	←	4.02	4.03	▲ 0.01
11	7	【学校教育】	キャリア教育の推進、英語教育の充実、地域住民との交流など、社会で活躍できる子どもの育成を進めています。	↘	4.02	4.11	▲ 0.09
14	14	【行財政運営】	市職員数の適正化、財政の健全化、組織機構改革、公共施設の見直しなど、効率的な行財政運営に努めています。	←	3.88	3.87	0.01
15	13	【観光】	各地の花火大会や祭り、史跡・文化財、温泉、自然等の地域資源を活かした観光振興に取り組んでいます。	↘	3.86	3.91	▲ 0.05
16	15	【空き家対策】	空き家の適正管理促進や空き家バンクの実施、移住希望者への情報提供など、空き家の増加抑制と活用に取り組んでいます。	←	3.83	3.82	0.01
17	22	【地域情報化】	地上デジタル放送難視聴地域解消やインターネット環境の整備、FMIはなびによる防災・災害情報発信などに取り組んでいます。	↗	3.74	3.64	0.10
17	21	【地域活性化】	地域協議会の活動や地域枠予算の充実、自治会活動の支援など、住民主体のまちづくりを進めています。	↗	3.74	3.68	0.06
19	17	【出会い・結婚】	結婚相談会や出会いイベントの開催など、男女の出会いと結婚を応援する取組を進めています。	↘	3.73	3.80	▲ 0.07
20	29	【市街地】	利便性が高い機能的な都市づくりや無秩序な市街地の拡散抑制、市街地の活性化などに取り組んでいます。	↑	3.72	3.52	0.20
21	18	【生涯学習】	ライフステージにあわせた学習活動、生涯学習施設の整備など、生涯学習を通じて学び、活かせる環境づくりを進めています。	↘	3.71	3.78	▲ 0.07
22	24	【花火産業構想】	「大曲の花火」ブランドの戦略的活用による観光、商工業、農業等幅広い分野にわたる活性化策を展開しています。	↗	3.70	3.58	0.12
23	23	【住環境】	住宅リフォーム支援や市営住宅の維持管理、公園・緑地の維持管理など、良好な住環境づくりに取り組んでいます。	↗	3.69	3.62	0.07
24	16	【移住・定住】	移住コーディネーターの配置、無料職業紹介所の設置など、安心して移住できる環境づくりを進めています。	↓	3.66	3.81	▲ 0.15
25	25	【男女共同参画】	男女共同参画に関する講座や女性活躍応援講座の開催など、より多くの人が豊かに働ける社会づくりを進めています。	←	3.59	3.57	0.02
26	20	【市民協働】	ボランティアやNPOへの活動支援など、市民と行政による協働の取組を応援しています。	↓	3.53	3.74	▲ 0.21
27	27	【スポーツ】	500歳野球大会の開催、スポーツ少年団への支援、スポーツ施設の充実など、生涯スポーツの推進・スポーツによる地域の活性化に努めています。	←	3.52	3.53	▲ 0.01
28	26	【芸術・文化】	芸術鑑賞機会の創出や音楽祭の開催、文化財を活用した行事など、芸術・文化を通じた潤いのあるまちづくりを進めています。	↘	3.51	3.56	▲ 0.05
29	27	【地域間・国際交流】	宮崎県宮崎市、神奈川県座間市、韓国唐津市との交流を継続するとともに、新たに岩手県宮古市や台湾新北市との交流を進めています。	↓	3.34	3.53	▲ 0.19

※重要度の矢印の説明

上昇	↑	前年比+0.15以上
やや上昇	↗	前年比+0.05以上+0.15未満
横ばい	←	前年比-0.05より大きく+0.05未満
やや下降	↘	前年比-0.05以下-0.15未満
下降	↓	前年比-0.15以下

2. 4. 5 重要度における選択肢別の回答割合

図表 10 重要度における選択肢別の回答割合（点数順）



2.4.6 重要度における属性別比較

性別で見ると、全体と比較して上位、下位の大きな違いは見られず、男女でも多少の前後はあるものの、上位、下位には同じ項目が挙げられている。

年代別に見ると、全年代で「子育て」が挙がっており、10代以外の全ての年代で「保健・医療」が、80代以外の全ての年代で「雇用・就労」が挙げられている。10代では「観光」、40代で「道路・河川」、80代で「上・下水道」、「社会保障」も挙げられている。

一方、下位項目については年代によりばらつきがあるが、全年代で「芸術・文化」、80代を除く年代において「市民協働」が挙げられている。また、10代と30代では「出会い・結婚」、20代では「空き家対策」、50代では「移住・定住」、80代では「観光」も挙げられている。

地域別に見ると、地域ごとに大きな差は見られない。中仙地域では「公共交通」、南外地域では「自然・衛生環境」も挙げられている。下位項目については、神岡地域以外で「芸術・文化」、協和地域以外で「地域間・国際交流」が挙げられており、協和地域では「空き家対策」、南外地域で「出会い・結婚」、「生涯学習」も挙げられている。

図表 11 性別による重要度

■男性

(上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.35
2	保健・医療	4.32
3	雇用・就労	4.27
4	安全・安心体制	4.26
5	社会福祉	4.18

(下位)

順位	項目	重要度
25	スポーツ	3.57
26	男女共同参画	3.51
27	市民協働	3.42
28	芸術・文化	3.41
29	地域間・国際交流	3.27

■女性

(上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.45
2	子育て	4.39
3	社会福祉	4.35
4	雇用・就労	4.31
5	安全・安心体制	4.26

(下位)

順位	項目	重要度
25	男女共同参画	3.68
26	市民協働	3.63
27	芸術・文化	3.60
28	スポーツ	3.49
29	地域間・国際交流	3.40

図表 12 年代による重要度

■10代

(上位)

順位	項目	重要度
1	自然・衛生環境	4.90
2	安全・安心体制	4.80
3	雇用・就労	4.67
4	子育て	4.60
5	観光	4.56

(下位)

順位	項目	重要度
25	移住・定住	3.80
26	花火産業構想	3.78
27	男女共同参画	3.70
28	市民協働	3.67
29	出会い・結婚	3.30

■20代

(上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.60
2	保健・医療	4.52
3	雇用・就労	4.38
4	社会福祉	4.38
5	安全・安心体制	4.23

(下位)

順位	項目	重要度
25	空き家対策	3.72
26	男女共同参画	3.71
27	市民協働	3.59
28	芸術・文化	3.54
29	地域間・国際交流	3.23

■30代

(上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.67
2	保健・医療	4.43
3	安全・安心体制	4.43
4	社会福祉	4.41
5	雇用・就労	4.40

(下位)

順位	項目	重要度
25	出会い・結婚	3.72
26	市民協働	3.66
27	スポーツ	3.62
28	芸術・文化	3.56
29	地域間・国際交流	3.40

■40代

(上位)

順位	項目	重要度
1	雇用・就労	4.37
2	保健・医療	4.33
3	子育て	4.27
4	社会福祉	4.16
5	道路・河川	4.12

(下位)

順位	項目	重要度
25	芸術・文化	3.46
26	男女共同参画	3.43
27	スポーツ	3.36
28	市民協働	3.32
29	地域間・国際交流	3.16

■50代

(上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.45
2	雇用・就労	4.38
3	子育て	4.37
4	社会福祉	4.36
5	安全・安心体制	4.21

(下位)

順位	項目	重要度
25	移住・定住	3.54
26	芸術・文化	3.48
27	市民協働	3.44
28	男女共同参画	3.39
29	地域間・国際交流	3.31

■60代 (上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.35
2	子育て	4.30
3	雇用・就労	4.24
	安全・安心体制	4.24
5	社会福祉	4.15

(下位)

順位	項目	重要度
25	花火産業構想	3.57
26	市民協働	3.53
27	芸術・文化	3.45
28	スポーツ	3.32
	地域間・国際交流	3.32

■70代 (上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.33
2	安全・安心体制	4.32
3	社会福祉	4.21
4	子育て	4.16
5	雇用・就労	4.15

(下位)

順位	項目	重要度
25	市民協働	3.55
26	芸術・文化	3.53
27	住環境	3.52
28	スポーツ	3.49
29	地域間・国際交流	3.33

■80代 (上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.32
2	子育て	4.27
3	安全・安心体制	4.24
	上・下水道	4.24
5	社会保障	4.22

(下位)

順位	項目	重要度
25	観光	3.74
	地域間・国際交流	3.74
27	男女共同参画	3.69
28	芸術・文化	3.60
29	花火産業構想	3.52

図表 13 地域による重要度

■大曲地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.37
	子育て	4.37
3	雇用・就労	4.34
4	安全・安心体制	4.32
5	社会福祉	4.23

(下位)

順位	項目	重要度
25	男女共同参画	3.57
	芸術・文化	3.57
27	市民協働	3.55
28	スポーツ	3.52
29	地域間・国際交流	3.32

■神岡地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.50
2	雇用・就労	4.47
3	社会福祉	4.38
4	社会保障	4.33
5	子育て	4.30

(下位)

順位	項目	重要度
25	花火産業構想	3.79
	移住・定住	3.79
27	市街地	3.78
28	スポーツ	3.69
29	市民協働	3.62
30	地域間・国際交流	3.43

■西仙北地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.40
2	子育て	4.36
3	安全・安心体制	4.26
4	雇用・就労	4.25
5	道路・河川	4.22

(下位)

順位	項目	重要度
25	住環境	3.58
26	市民協働	3.54
27	男女共同参画	3.51
28	芸術・文化	3.49
29	地域間・国際交流	3.30

■中仙地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.45
2	社会福祉	4.42
3	保健・医療	4.40
4	雇用・就労	4.32
5	公共交通	4.19

(下位)

順位	項目	重要度
24	生涯学習	3.61
	移住・定住	3.61
26	花火産業構想	3.57
27	スポーツ	3.48
28	芸術・文化	3.45
29	地域間・国際交流	3.41

■協和地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.38
2	保健・医療	4.34
3	社会福祉	4.30
4	社会保障	4.24
5	上・下水道	4.21
	安全・安心体制	4.21
	道路・河川	4.21

(下位)

順位	項目	重要度
25	市民協働	3.53
26	市街地	3.51
27	スポーツ	3.49
	空き家対策	3.49
29	芸術・文化	3.46

■南外地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.38
2	道路・河川	4.38
3	自然・衛生環境	4.33
4	社会福祉	4.32
5	安全・安心体制	4.31

(下位)

順位	項目	重要度
25	地域間・国際交流	3.44
26	市民協働	3.42
27	生涯学習	3.40
28	出会い・結婚	3.37
29	芸術・文化	3.20

■仙北地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.38
2	子育て	4.29
	雇用・就労	4.29
4	社会福祉	4.19
5	安全・安心体制	4.13

(下位)

順位	項目	重要度
25	スポーツ	3.46
26	住環境	3.45
27	芸術・文化	3.43
28	市民協働	3.35
29	地域間・国際交流	3.13

■太田地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.45
	社会福祉	4.45
3	保健・医療	4.41
4	安全・安心体制	4.29
5	雇用・就労	4.26

(下位)

順位	項目	重要度
25	移住・定住	3.45
26	市民協働	3.43
27	芸術・文化	3.39
28	地域間・国際交流	3.35
	スポーツ	3.35

2.4.7 項目別要望度

要望度とは、重要度から満足度を引いた数値としている。

要望度の高い項目は、「雇用・就労」が最も高く 1.43（昨年度 1.99）、次に「商工業」が 1.20（昨年度 1.52）となっており、昨年度と 1 位、2 位は変わらなかった。三番目は、「道路・河川」が 1.03（昨年度 0.95、14 位）となっており、大きく順位を上げた。

要望度が低い項目は、下位から「スポーツ」が 0.04（昨年度 0.46）、次いで「地域間・国際交流」で 0.09（昨年度 0.46）、「花火産業構想」が 0.16（昨年度 0.01）となっている。

昨年度と比較すると、全体的に満足度が大きく増加した一方で重要度は大きな変化がなかったことから、全般的に要望度が減少している。

その中でも、昨年と比較して要望度が増加した項目は、「道路・河川」が 0.08 の増加（順位 3 位、昨年度 0.95 で 14 位）、「市街地」が 0.17 の増加（順位 13 位、昨年度 0.63 で 20 位）、「自然・環境衛生」が 0.20 の増加（順位 20 位、昨年 0.36 で 28 位）となっている。

図表 14 項目別要望度 (重要度－満足度) (点数順)

順位	R1	H30	項 目	要望度 ※			
					R1	H30	増減 (R1-H30)
1	1		【雇用・就労】 雇用・就業支援や資格取得支援、職場見学事業、Aターン希望者への就業支援などに取り組んでいます。	↓	1.43	1.99	▲ 0.56
2	2		【商工業】 企業誘致や地元企業の規模拡大に対する支援、人材獲得支援、商店街等への支援、創業支援などに取り組んでいます。	↓	1.20	1.52	▲ 0.32
3	14		【道路・河川】 幹線・生活道路の整備、迅速な道路修繕、橋りょうの長寿命化、国県河川の早期整備要望、内水対策などに取り組んでいます。	↔	1.03	0.95	0.08
4	6		【空き家対策】 空き家の適正管理促進や空き家バンクの実施、移住希望者への情報提供など、空き家の増加抑制と活用に取り組んでいます。	↓	1.01	1.25	▲ 0.24
5	12		【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など、安心して暮らせる社会福祉の充実に努めています。	←	0.99	1.02	▲ 0.03
6	9		【行財政運営】 市職員数の適正化、財政の健全化、組織機構改革、公共施設の見直しなど、効率的な行財政運営に努めています。	↓	0.90	1.05	▲ 0.15
7	3		【公共交通】 地域の実情にあわせて、循環バスや市民バス、コミュニティバス、乗合タクシーを運行するなど、公共交通の維持確保に努めています。	↓	0.89	1.44	▲ 0.55
8	4		【子育て】 保育サービスの充実や放課後児童クラブの設置、中学生までの医療費助成など、子育てできる環境づくりを進めています。	↓	0.88	1.33	▲ 0.45
9	11		【農林水産業】 売れる米づくりの推進や複合農業化、6次産業化、通年農業化、担い手の育成、生産基盤の整備等に取り組んでいます。	↓	0.87	1.04	▲ 0.17
10	14		【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度など、皆さんの生活を守る社会保障の充実に努めています。	↔	0.83	0.95	▲ 0.12
11	7		【安全・安心体制】 消防・防災体制や雪対策の強化、交通安全の推進、防犯体制の強化など、安全・安心体制の充実に努めています。	↓	0.82	1.19	▲ 0.37
12	8		【保健・医療】 特定健診・がん検診の受診促進、地域医療体制の充実、予防接種の推進など、よりよい保健・医療体制づくりを進めています。	↓	0.81	1.10	▲ 0.29
13	20		【市街地】 利便性が高い機能的な都市づくりや無秩序な市街地の拡散抑制、市街地の活性化などに取り組んでいます。	↑	0.80	0.63	0.17
13	13		【出会い・結婚】 結婚相談会や出会いイベントの開催など、男女の出会いと結婚を応援する取組を進めています。	↓	0.80	0.97	▲ 0.17
15	18		【学校教育】 キャリア教育の推進、英語教育の充実、地域住民との交流など、社会で活躍できる子どもの育成を進めています。	↔	0.69	0.74	▲ 0.05
16	21		【上・下水道】 浄水場・水道施設の整備、公共下水道の整備など、生活の基盤となる上・下水道等の整備を進めています。	←	0.63	0.59	0.04
17	17		【地域活性化】 地域協議会の活動や地域枠予算の充実、自治会活動の支援など、住民主体のまちづくりを進めています。	↔	0.62	0.75	▲ 0.13
18	5		【観光】 各地の花火大会や祭り、史跡・文化財、温泉、自然等の地域資源を活かした観光振興に取り組んでいます。	↓	0.61	1.31	▲ 0.70
19	9		【移住・定住】 移住コーディネーターの配置、無料職業紹介所の設置など、安心して移住できる環境づくりを進めています。	↓	0.60	1.05	▲ 0.45
20	28		【自然・環境衛生】 緑豊かな自然の保護や環境に優しいまちづくり、ごみ減量化、公害防止など、自然環境保全と衛生環境整備に努めています。	↑	0.56	0.36	0.20
21	24		【住環境】 住宅リフォーム支援や市営住宅の維持管理、公園・緑地の維持管理など、良好な住環境づくりに取り組んでいます。	←	0.51	0.53	▲ 0.02
22	22		【男女共同参画】 男女共同参画に関する講座や女性活躍応援講座の開催など、より多くの人が豊かに働ける社会づくりを進めています。	↔	0.48	0.58	▲ 0.10
23	23		【生涯学習】 ライフステージにあわせた学習活動、生涯学習施設の整備など、生涯学習を通じて学び、活かせる環境づくりを進めています。	↔	0.45	0.54	▲ 0.09
24	19		【地域情報化】 地上デジタル放送難視聴地域解消やインターネット環境の整備、FMIはなびによる防災・災害情報発信などに取り組んでいます。	↓	0.39	0.65	▲ 0.26
25	16		【市民協働】 ボランティアやNPOへの活動支援など、市民と行政による協働の取組を応援しています。	↓	0.37	0.83	▲ 0.46
26	27		【芸術・文化】 芸術鑑賞機会の創出や音楽祭の開催、文化財を活用した行事など、芸術・文化を通じた潤いのあるまちづくりを進めています。	↓	0.17	0.43	▲ 0.26
27	29		【花火産業構想】 「大曲の花火」ブランドの戦略的活用による観光、商工業、農業等幅広い分野にわたる活性化策を展開しています。	↑	0.16	0.01	0.15
28	25		【地域間・国際交流】 宮崎県宮崎市、神奈川県座間市、韓国唐津市との交流を継続するとともに、新たに岩手県宮古市や台湾新北市との交流を進めています。	↓	0.09	0.46	▲ 0.37
29	25		【スポーツ】 500歳野球大会の開催、スポーツ少年団への支援、スポーツ施設の充実など、生涯スポーツの推進・スポーツによる地域の活性化に努めています。	↓	0.04	0.46	▲ 0.42

※要望度の矢印の説明

上昇	↑	前年比+0.15以上
やや上昇	↗	前年比+0.05以上+0.15未満
横ばい	↔	前年比-0.05より大きく+0.05未満
やや下降	↘	前年比-0.05以下-0.15未満
下降	↓	前年比-0.15以下

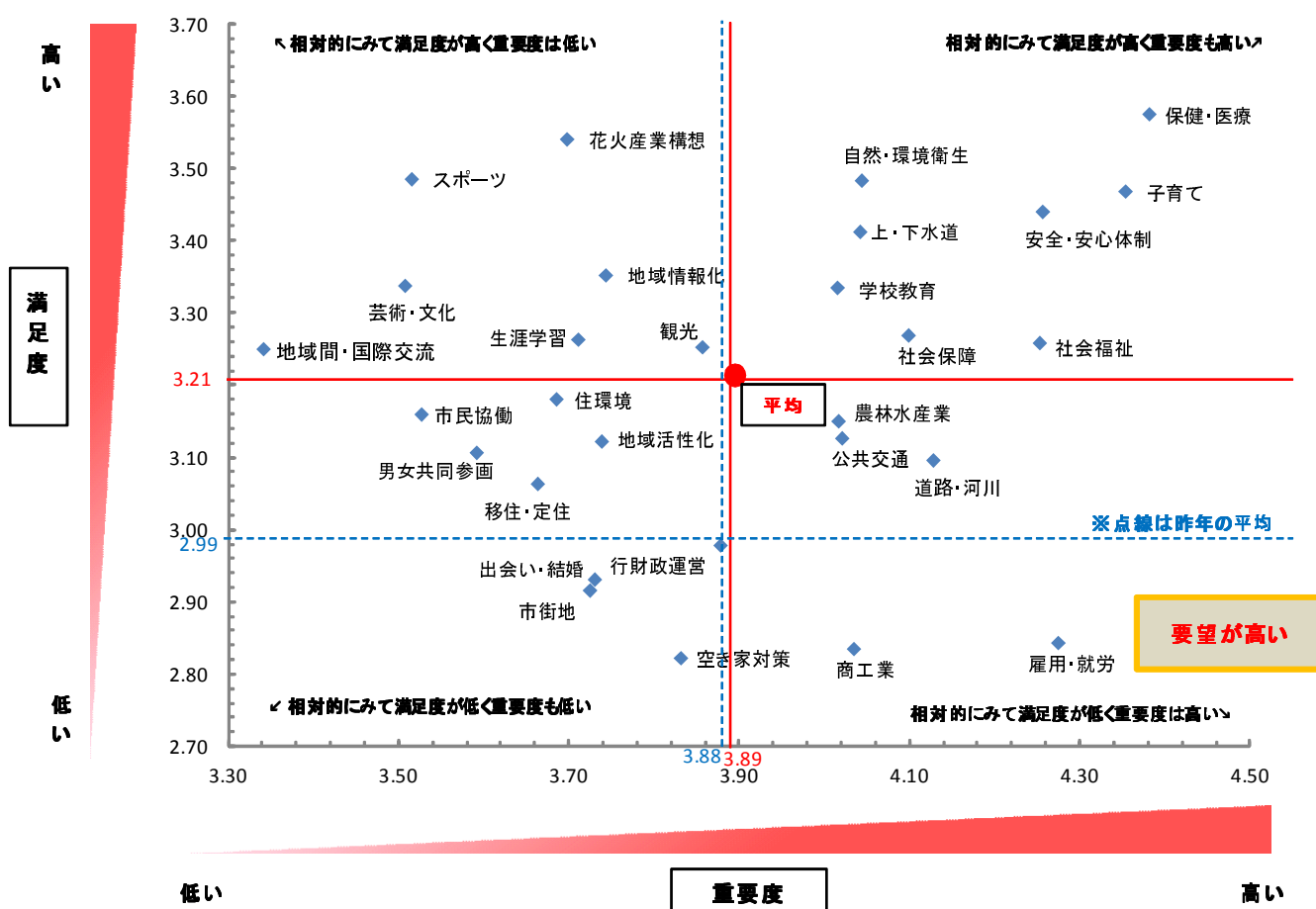
2.4.8 満足度、重要度の総括

満足度、重要度の総括として、満足度を縦軸、重要度を横軸として要望の高さを示した散布図を作成した。図表15は、29項目の満足度と重要度のそれぞれの位置を示したものである。

図の右上に位置するほど重要度が高く満足度も高い項目となり、逆に図の左下に位置するほど重要度が低く満足度も低い項目となっている。重要度が高く満足度が低い項目（図の右下にある項目）ほど相対的に要望が高い項目となっている。

今回の満足度、要望度の結果から相対的に要望が高い項目は、「雇用・就労」、「商工業」、「道路・河川」となっている。

図表 15 満足度・重要度の項目別比較



2.4.9 満足度、重要度の年齢層別比較

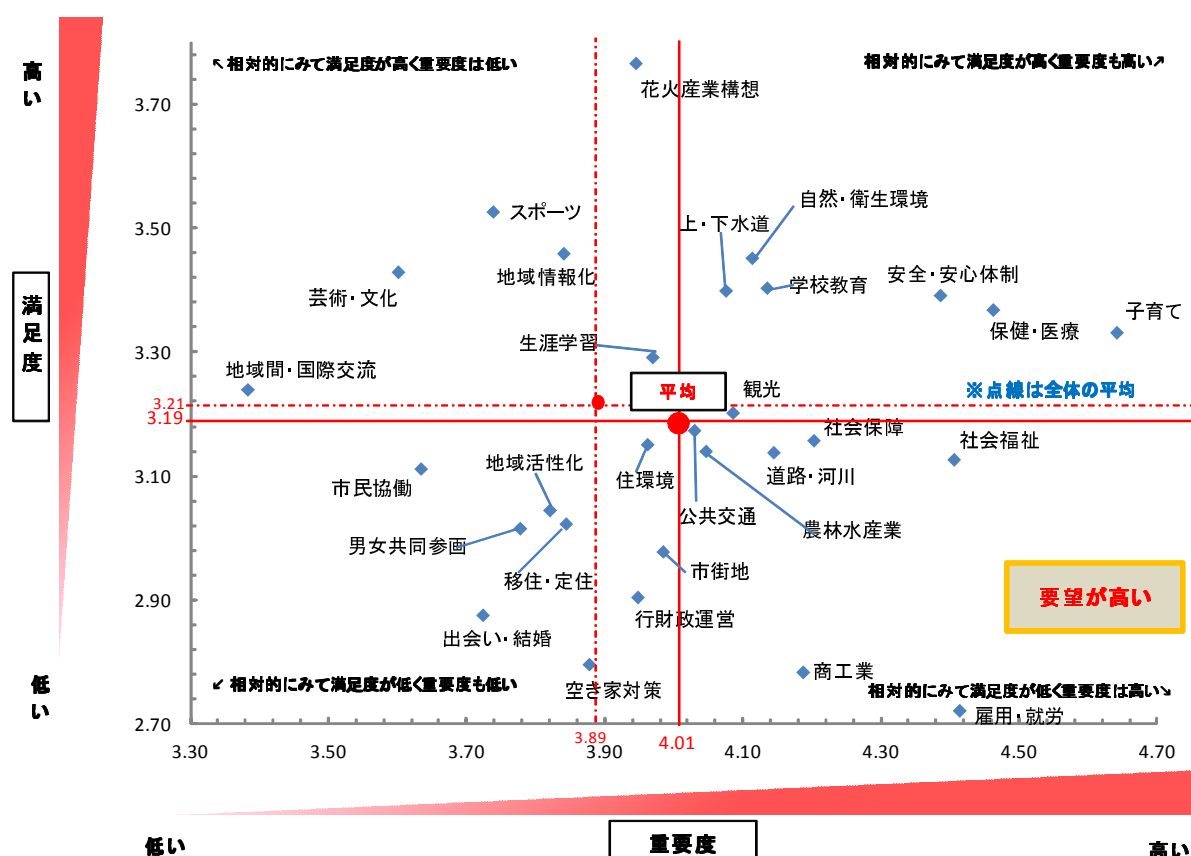
満足度を縦軸、重要度を横軸として各項目の要望の高さを示した散布図について、18歳から39歳(図表16)まで、40歳から64歳(図表17)まで、65歳以上(図表18)の3つの年齢層別で作成した。

18歳から39歳の年齢層では、全般的に重要度が高くなっている。他の年齢層と比較すると、散布図右上の「相対的にみて満足度が高く重要度が高い」にあたる位置に分布する項目が少ない。相対的に要望が高い項目は「雇用・就労」、「商工業」となっている。「子育て」は全項目の中で最も重要度が高く、満足度は他年齢層と比較すると低くなっており、この年齢層で特徴的に要望が高いことを示している。

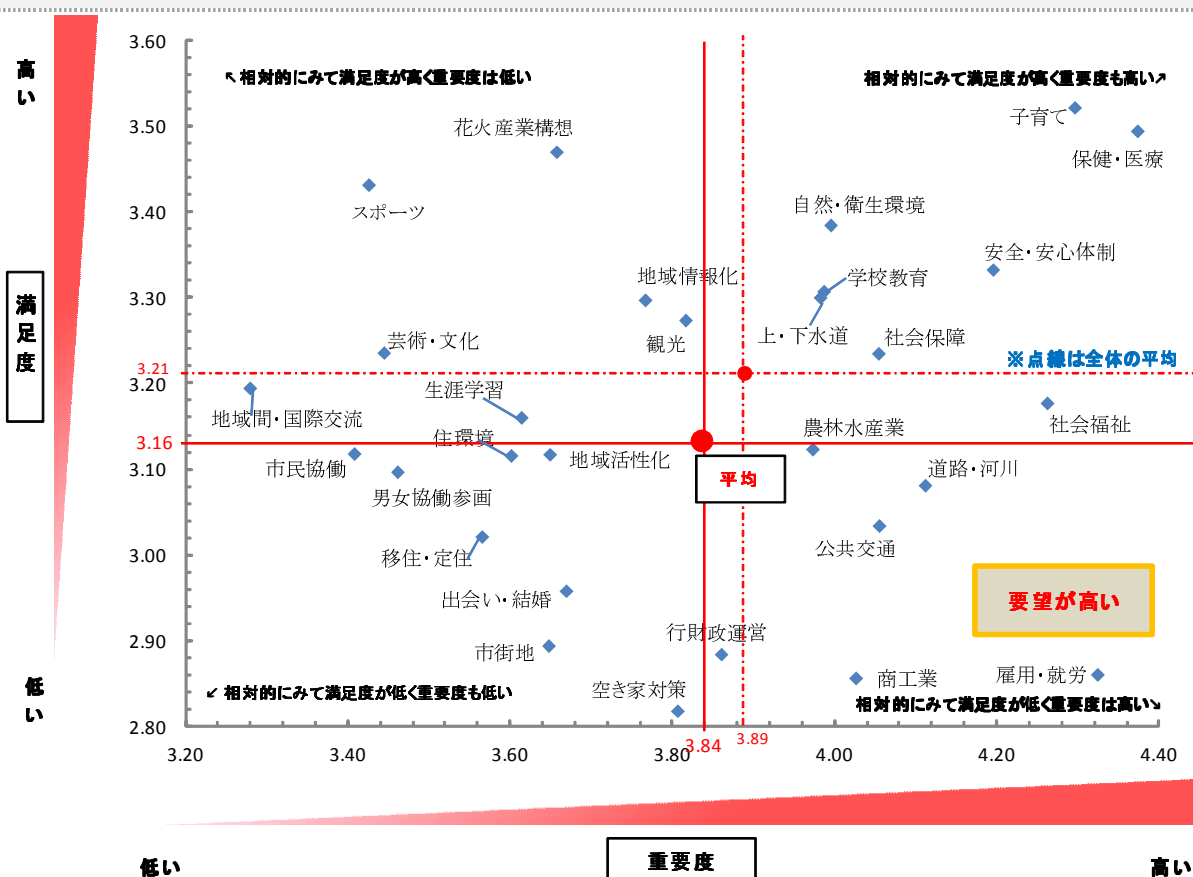
40歳から64歳の年齢層では、全般的に満足度、重要度が低くなっている。散布図左下の「相対的にみて満足度が低く重要度も低い」にあたる位置に分布する項目が多い。相対的に要望が高い項目は「雇用・就労」、「商工業」、「公共交通」、「道路・河川」となっている。

65歳以上の年齢層では、全般的に重要度が低くなっており、満足度は高くなっている。「保健・医療」の重要度は全体と大きな差はないが(重要度:全体4.38、65歳以上4.35)、満足度が非常に高い(満足度:全体3.57、65歳以上3.83)。相対的に要望が高い項目は「雇用・就労」、「道路・河川」、「商工業」となっている。

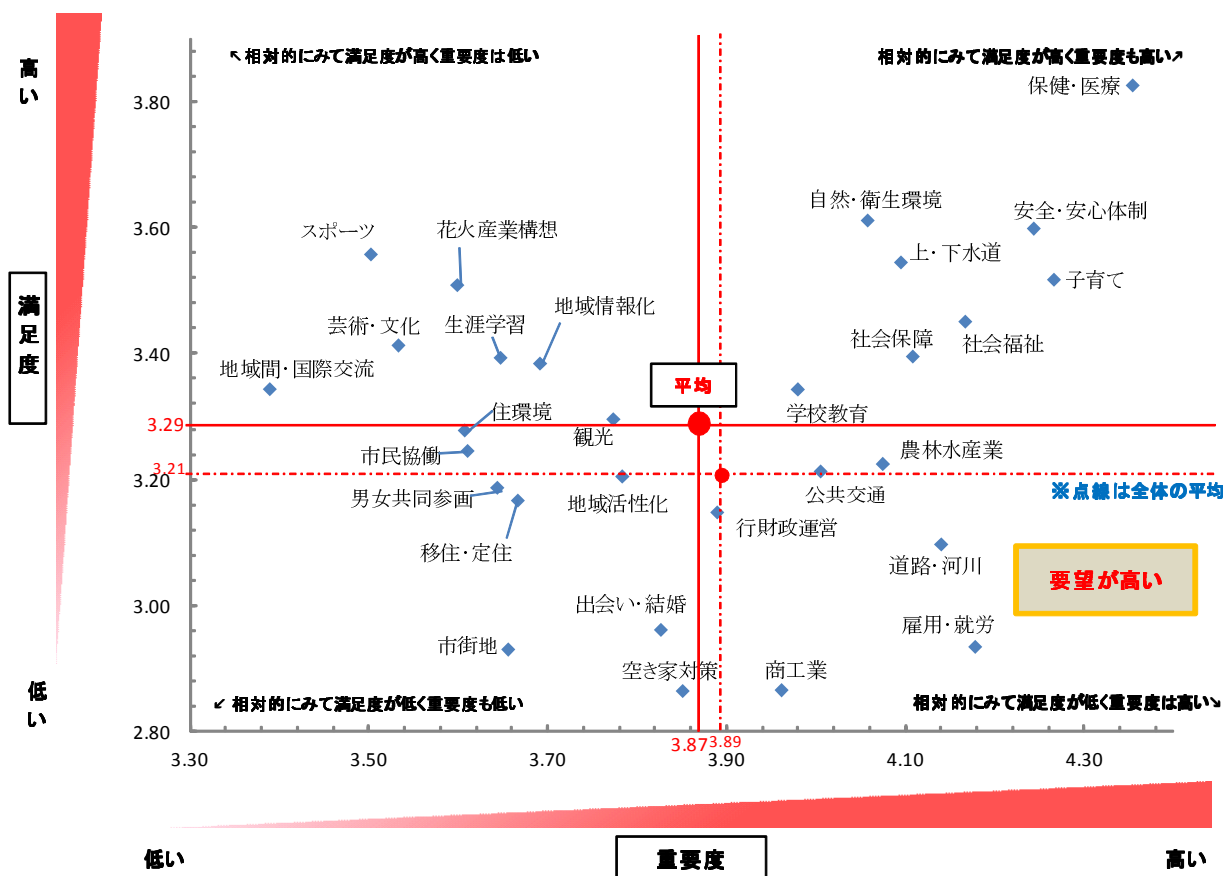
図表16 満足度・重要度の項目別比較(18歳から39歳)



図表 17 満足度・重要度の項目別比較（40 歳から 64 歳）



図表 18 満足度・重要度の項目別比較（65 歳以上）



2. 5 さらに推進すべき取り組み

2. 5. 1 産業分野に関する設問について

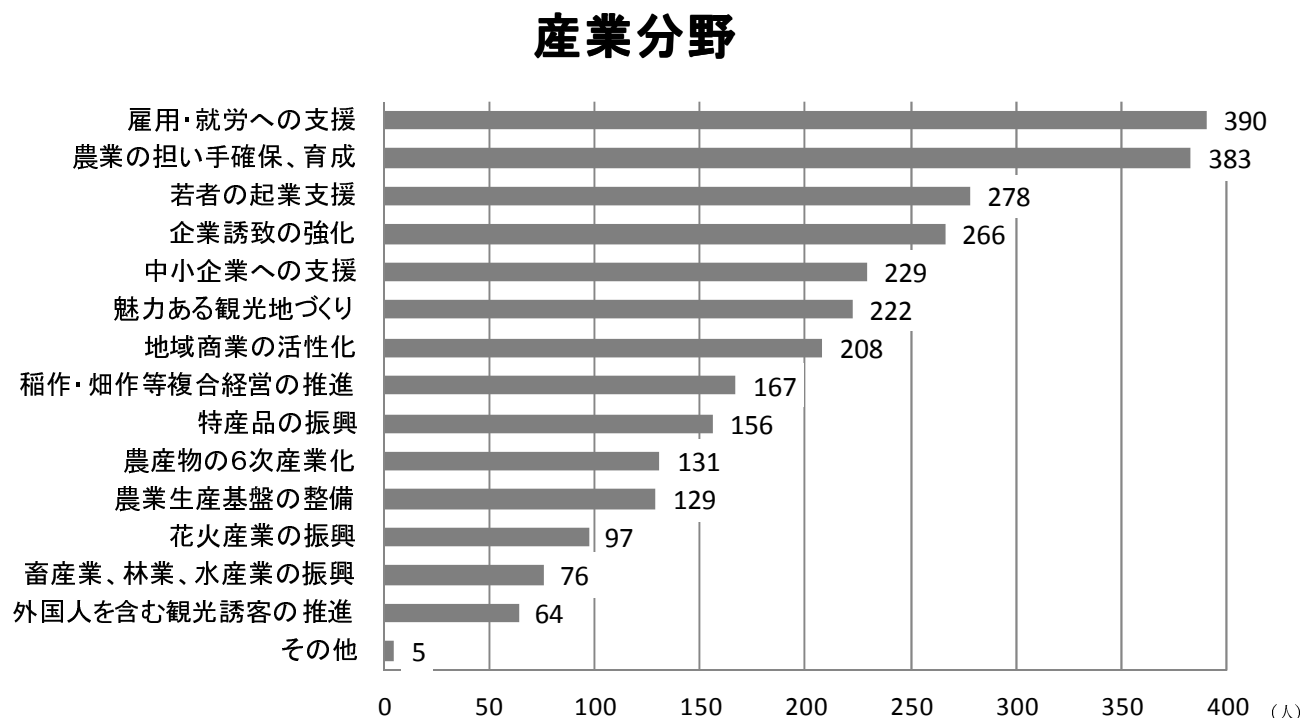
さらに推進すべき取り組みの上位は、「雇用・就労への支援」、「農業の担い手確保、育成」、「若者の起業支援」となっている。

一方、下位は「外国人を含む観光誘客の推進」、「畜産業・林業・水産業の振興」、「花火産業の振興」となっている。

年代別では、10代から30代において「魅力ある観光地づくり」が、40代以上において「企業誘致の強化」が他の年代に比べて高くなっている。

地域別では、上位の項目にほとんど差はないが、協和・太田地域において「稲作・畑作等複合経営の推進」、大曲・南外地域で「地域商業の活性化」が上位に入っている。

図表 19 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 20 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	7
2	農業の担い手確保、育成	6
	若者の起業支援	6
4	魅力ある観光地づくり	5
5	企業誘致の強化	4
	中小企業への支援	4

■20代

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	32
2	農業の担い手確保、育成	28
3	魅力ある観光地づくり	25
4	若者の起業支援	24
5	中小企業への支援	16

■30代

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	54
2	農業の担い手確保、育成	41
	若者の起業支援	41
4	魅力ある観光地づくり	36
5	企業誘致の強化	32

■40代

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	52
2	農業の担い手確保、育成	41
3	企業誘致の強化	34
4	若者の起業支援	33
	中小企業への支援	33

■50代

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	75
2	農業の担い手確保、育成	71
3	企業誘致の強化	56
4	中小企業への支援	43
5	魅力ある観光地づくり	39

■60代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	91
2	雇用・就労への支援	83
3	若者の起業支援	58
4	企業誘致の強化	50
	中小企業への支援	50

■70代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	67
2	雇用・就労への支援	55
2	若者の起業支援	52
4	企業誘致の強化	50
5	地域商業の活性化	44

■80代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	30
2	雇用・就労への支援	25
3	企業誘致の強化	22
4	若者の起業支援	20
5	稲作・畑作等複合経営の推進	16

図表 21 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	166
2	農業の担い手確保、育成	143
3	企業誘致の強化	134
4	若者の起業支援	116
5	地域商業の活性化	108

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	29
2	雇用・就労への支援	25
3	中小企業への支援	16
4	若者の起業支援	15
	魅力ある観光地づくり	15

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	34
2	農業の担い手確保、育成	33
3	企業誘致の強化	27
4	中小企業への支援	24
5	若者の起業支援	23

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	53
2	若者の起業支援	41
3	雇用・就労への支援	39
4	企業誘致の強化	29
5	中小企業への支援	25

■協和地域

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	32
2	農業の担い手確保、育成	30
3	若者の起業支援	21
4	中小企業への支援	18
	稲作・畑作等複合経営の推進	18

■南外地域

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	19
2	農業の担い手確保、育成	18
	若者の起業支援	10
3	中小企業への支援	10
	地域商業の活性化	10

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	37
2	農業の担い手確保、育成	36
3	若者の起業支援	24
4	企業誘致の強化	22
5	魅力ある観光地づくり	21

■太田地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	31
2	雇用・就労への支援	30
3	若者の起業支援	21
	中小企業への支援	21
5	稲作・畑作等複合経営の推進	18

2.5.2 出会い・結婚・子育て分野に関する設問について

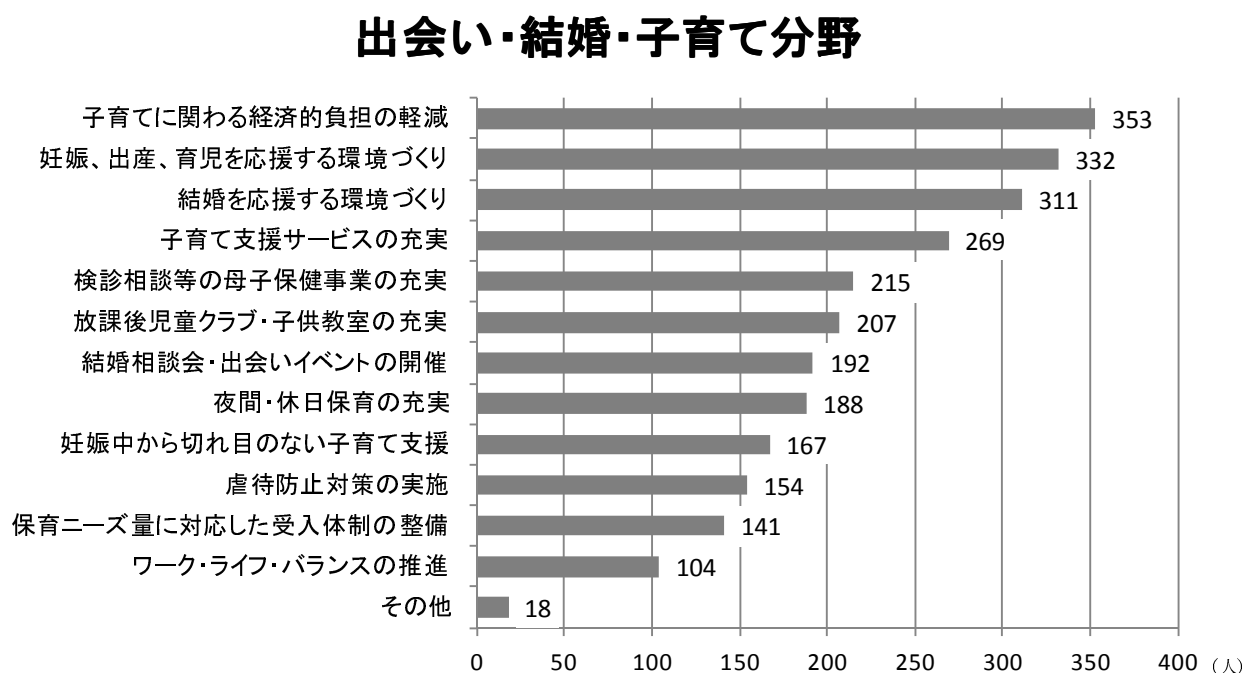
さらに推進すべき取り組みの上位は、「子育てに関わる経済的負担の軽減」、「妊娠、出産、育児を応援する環境づくり」、「結婚を応援する環境づくり」となっている。

一方、下位は「ワーク・ライフ・バランスの推進」、「保育のニーズ量に対応した受入体制の整備」、「虐待防止対策の実施」となっている。

年代別では、10代から40代において「夜間・休日保育の充実」、20代から40代において「夜間・休日保育の充実」が他の年代に比べて高くなっている。10代では「ワークライフバランス」、80代では「虐待防止対策の実施」が上位に入っている。

地域別では、神岡、中仙地域で「結婚相談会・出会いイベントの開催」が、太田地域では「虐待防止対策の実施」が上位に入っている。

図表 22 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 23 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	5
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	4
	結婚を応援する環境づくり	4
	検診相談等の母子保健事業の充実	4
	夜間・休日保育の充実	4
	結婚相談会・出会いイベントの開催	4
	ワーク・ライフ・バランスの推進	4

■20代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	34
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	30
3	結婚を応援する環境づくり	27
4	結婚相談会・出会いイベントの開催	23
5	検診相談等の母子保健事業の充実	20
	夜間・休日保育の充実	20
	子育て支援サービスの充実	20

■30代

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	60
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	58
3	結婚を応援する環境づくり	46
4	結婚相談会・出会いイベントの開催	44
5	夜間・休日保育の充実	35

■40代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	44
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	43
3	結婚を応援する環境づくり	41
4	夜間・休日保育の充実	27
5	放課後児童クラブ・子供教室の充実	25

■50代

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	58
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	56
3	結婚を応援する環境づくり	53
4	検診相談等の母子保健事業の充実	37
	子育て支援サービスの充実	37

■60代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	79
2	結婚を応援する環境づくり	66
	子育て支援サービスの充実	66
4	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	63
5	放課後児童クラブ・子供教室の充実	58

■70代以上

順位	項目	回答数
1	子育て支援サービスの充実	64
2	結婚を応援する環境づくり	51
3	子育てに関わる経済的負担の軽減	50
4	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	44
5	検診相談等の母子保健事業の充実	40

■80代以上

順位	項目	回答数
1	子育て支援サービスの充実	25
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	22
	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	22
4	結婚を応援する環境づくり	21
5	検診相談等の母子保健事業の充実	19
	虐待防止対策の実施	19

図表 24 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	149
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	146
3	結婚を応援する環境づくり	144
4	子育て支援サービスの充実	104
5	放課後児童クラブ・子供教室の充実	95

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	24
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	21
3	子育て支援サービスの充実	19
4	結婚を応援する環境づくり	18
5	放課後児童クラブ・子供教室の充実	16
	結婚相談会・出会いイベントの開催	16

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	35
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	31
3	結婚を応援する環境づくり	28
4	子育て支援サービスの充実	23
5	夜間・休日保育の充実	22

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	40
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	37
	結婚を応援する環境づくり	37
4	子育て支援サービスの充実	34
5	結婚相談会・出会いイベントの開催	33

■協和地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	29
	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	29
3	子育て支援サービスの充実	24
4	結婚を応援する環境づくり	21
5	検診相談等の母子保健事業の充実	16

■南外地域

順位	項目	回答数
1	子育て支援サービスの充実	14
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	13
	結婚を応援する環境づくり	13
4	検診相談等の母子保健事業の充実	11
5	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	10

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	子育て支援サービスの充実	29
	子育てに関わる経済的負担の軽減	29
3	結婚を応援する環境づくり	26
4	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	25
5	検診相談等の母子保健事業の充実	24

■太田地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	30
2	結婚を応援する環境づくり	21
3	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	20
4	検診相談等の母子保健事業の充実	17
5	子育て支援サービスの充実	16
	虐待防止対策の実施	16

2. 5. 3 健康福祉・スポーツ分野に関する設問について

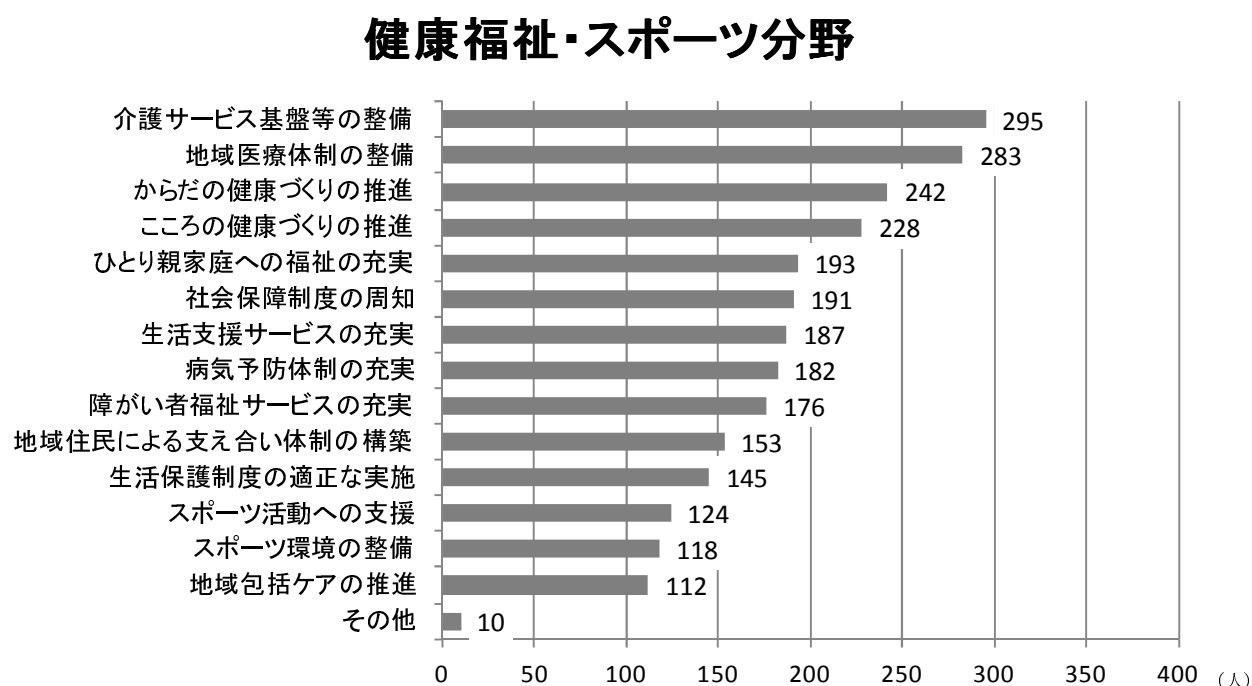
さらに推進すべき取り組みの上位は、「介護サービス基盤等の整備」、「地域医療体制の整備」、「からだの健康づくりの推進」となっている。

一方、下位については「地域包括ケアの推進」、「スポーツ環境の整備」、「スポーツ活動への支援」となっている。

年代別では、30代で「ひとり親家庭への福祉の充実」が他の年代に比べて高くなっており、20代では「スポーツ活動への支援」も上位に入っている。

地域別では、南外地域で「病気予防体制の充実」、仙北、太田地域で「障がい者福祉サービスの充実」が上位に入っている。

図表 25 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 26 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の整備	7
2	こころの健康づくりの推進	5
3	地域医療体制の整備	3
	からだの健康づくりの推進	3
	社会保障制度の周知	3
	ひとり親家庭への福祉の充実	3
	障がい者福祉サービスの充実	3
	地域包括ケアの推進	3
	スポーツ環境の整備	3

■20代

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の整備	22
2	地域医療体制の整備	21
3	こころの健康づくりの推進	19
4	障がい者福祉サービスの充実	18
5	スポーツ活動への支援	17

■30代

順位	項目	回答数
1	ひとり親家庭への福祉の充実	34
2	介護サービス基盤等の整備	33
3	こころの健康づくりの推進	27
	社会保障制度の周知	27
5	地域医療体制の整備	26
	障がい者福祉サービスの充実	26

■40代

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	38
2	介護サービス基盤等の整備	37
3	社会保障制度の周知	25
4	こころの健康づくりの推進	23
5	スポーツ環境の整備	22

■50代

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の整備	61
2	地域医療体制の整備	57
3	からだの健康づくりの推進	42
4	こころの健康づくりの推進	35
5	社会保障制度の周知	31

■60代

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	73
2	介護サービス基盤等の整備	61
3	からだの健康づくりの推進	50
4	病気予防体制の充実	46
5	社会保障制度の周知	45

■70代

順位	項目	回答数
1	からだの健康づくりの推進	59
2	介護サービス基盤等の整備	45
3	こころの健康づくりの推進	42
4	ひとり親家庭への福祉の充実	40
5	生活支援サービスの充実	38

■80代

順位	項目	回答数
1	こころの健康づくりの推進	30
2	からだの健康づくりの推進	27
3	介護サービス基盤等の整備	26
4	地域医療体制の整備	24
5	病気予防体制の充実	21

図表 27 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の整備	130
2	地域医療体制の整備	118
3	からだの健康づくりの推進	114
4	こころの健康づくりの推進	100
5	社会保障制度の周知	83

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	19
2	こころの健康づくりの推進	17
3	介護サービス基盤等の整備	16
4	からだの健康づくりの推進	15
	社会保障制度の周知	15

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	30
2	介護サービス基盤等の整備	27
3	社会保障制度の周知	23
4	からだの健康づくりの推進	21
5	生活支援サービスの充実	18

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の整備	33
2	こころの健康づくりの推進	32
	ひとり親家庭への福祉の充実	32
4	地域医療体制の整備	31
5	生活支援サービスの充実	27

■協和地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	24
2	介護サービス基盤等の整備	23
3	からだの健康づくりの推進	19
4	こころの健康づくりの推進	17
	ひとり親家庭への福祉の充実	17

■南外地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	14
2	こころの健康づくりの推進	13
3	介護サービス基盤等の整備	11
4	社会保障制度の周知	10
	病気予防体制の充実	10

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の整備	28
2	地域医療体制の整備	24
3	からだの健康づくりの推進	23
4	障がい者福祉サービスの充実	20
	ひとり親家庭への福祉の充実	20

■太田地域

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の整備	24
2	地域医療体制の整備	18
3	ひとり親家庭への福祉の充実	16
4	生活支援サービスの充実	15
5	からだの健康づくりの推進	14
	障がい者福祉サービスの充実	14

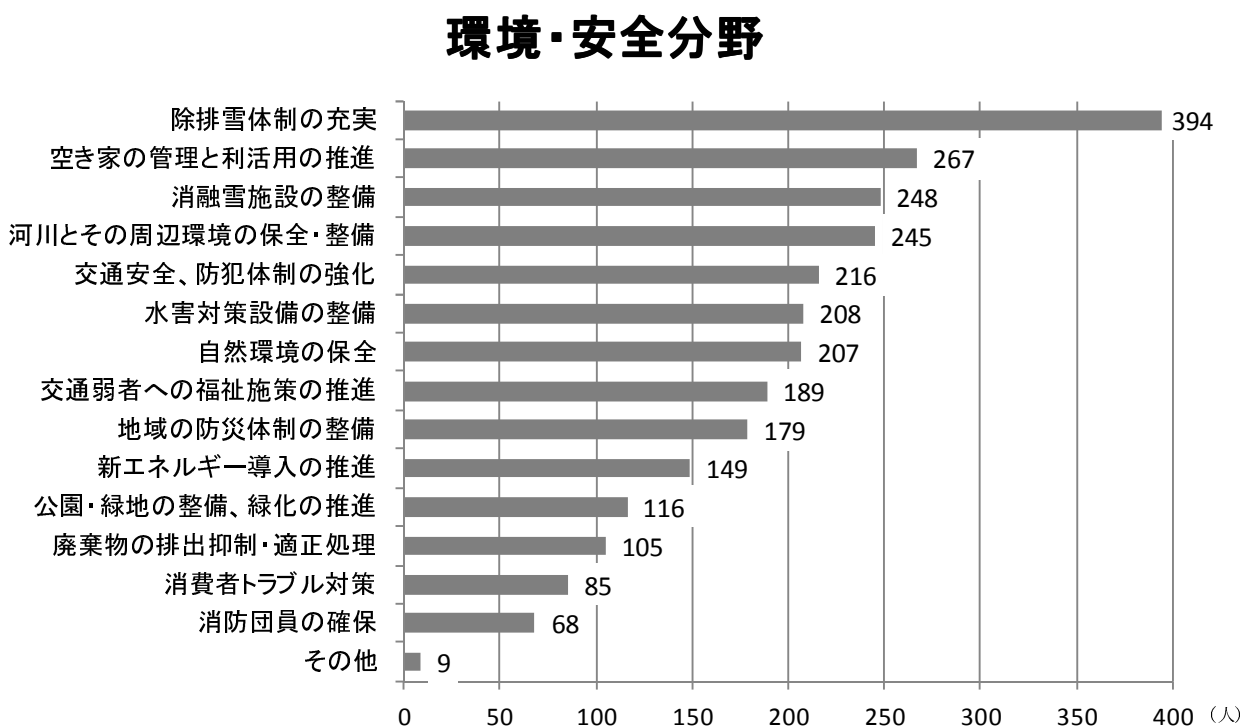
2.5.4 環境安全分野に関する設問について

さらに推進すべき取り組みの上位は、「除排雪体制の充実」、「空き家の管理と利活用の推進」、「消融雪施設の整備」となっている。

一方、下位は「消防団員の確保」、「消費者トラブル対策」、「廃棄物の排出抑制・適正処理」となっている。

年代別ではすべての年代で、地域別でもすべての地域で「除排雪体制の充実」が最も高くなっている。

図表 28 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 29 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	5
2	消融雪施設の整備	5
3	廃棄物の排出抑制・適正処理	4
4	空き家の管理と利活用の推進	3
	交通弱者への福祉施策の推進	3
	消費者トラブル対策	3

■20代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	34
2	空き家の管理と利活用の推進	21
3	水害対策設備の整備	18
4	河川とその周辺環境の保全・整備	17
	新エネルギー導入の推進	17

■30代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	48
2	空き家の管理と利活用の推進	39
3	交通安全、防犯体制の強化	35
4	消融雪施設の整備	34
5	新エネルギー導入の推進	31

■40代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	51
2	空き家の管理と利活用の推進	29
3	水害対策設備の整備	28
4	交通安全、防犯体制の強化	27
5	消融雪施設の整備	27

■50代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	68
2	消融雪施設の整備	50
3	空き家の管理と利活用の推進	47
4	河川とその周辺環境の保全・整備	43
5	交通安全、防犯体制の強化	40

■60代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	85
2	河川とその周辺環境の保全・整備	60
3	空き家の管理と利活用の推進	56
4	消融雪施設の整備	55
	水害対策設備の整備	47

■70代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	67
2	空き家の管理と利活用の推進	47
3	河川とその周辺環境の保全・整備	46
4	消融雪施設の整備	42
5	自然環境の保全	39

■80代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	26
2	河川とその周辺環境の保全・整備	25
3	空き家の管理と利活用の推進	21
4	自然環境の保全	17
5	公園・緑地の整備、緑化の推進	17

図表 30 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	172
2	空き家の管理と利活用の推進	111
3	交通安全、防犯体制の強化	104
4	消融雪施設の整備	102
5	河川とその周辺環境の保全・整備	91

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	27
2	河川とその周辺環境の保全・整備	22
3	消融雪施設の整備	17
4	空き家の管理と利活用の推進	15
5	交通安全、防犯体制の強化	15

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	38
2	河川とその周辺環境の保全・整備	31
3	消融雪施設の整備	26
4	地域の防災体制の整備	24
	自然環境の保全	24

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	43
2	消融雪施設の整備	31
3	空き家の管理と利活用の推進	30
4	河川とその周辺環境の保全・整備	29
5	自然環境の保全	27

■協和地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	27
2	空き家の管理と利活用の推進	22
	河川とその周辺環境の保全・整備	22
4	自然環境の保全	17
	水害対策設備の整備	17

■南外地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	18
2	水害対策設備の整備	15
3	交通弱者への福祉施策の推進	13
	空き家の管理と利活用の推進	11
4	河川とその周辺環境の保全・整備	11
	消融雪施設の整備	11

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	32
2	空き家の管理と利活用の推進	26
3	自然環境の保全	23
4	消融雪施設の整備	20
5	交通弱者への福祉施策の推進	18
	河川とその周辺環境の保全・整備	18

■太田地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	26
2	消融雪施設の整備	23
3	空き家の管理と利活用の推進	22
4	自然環境の保全	17
	地域の防災体制の整備	17

2. 5. 5 都市基盤分野に関する設問について

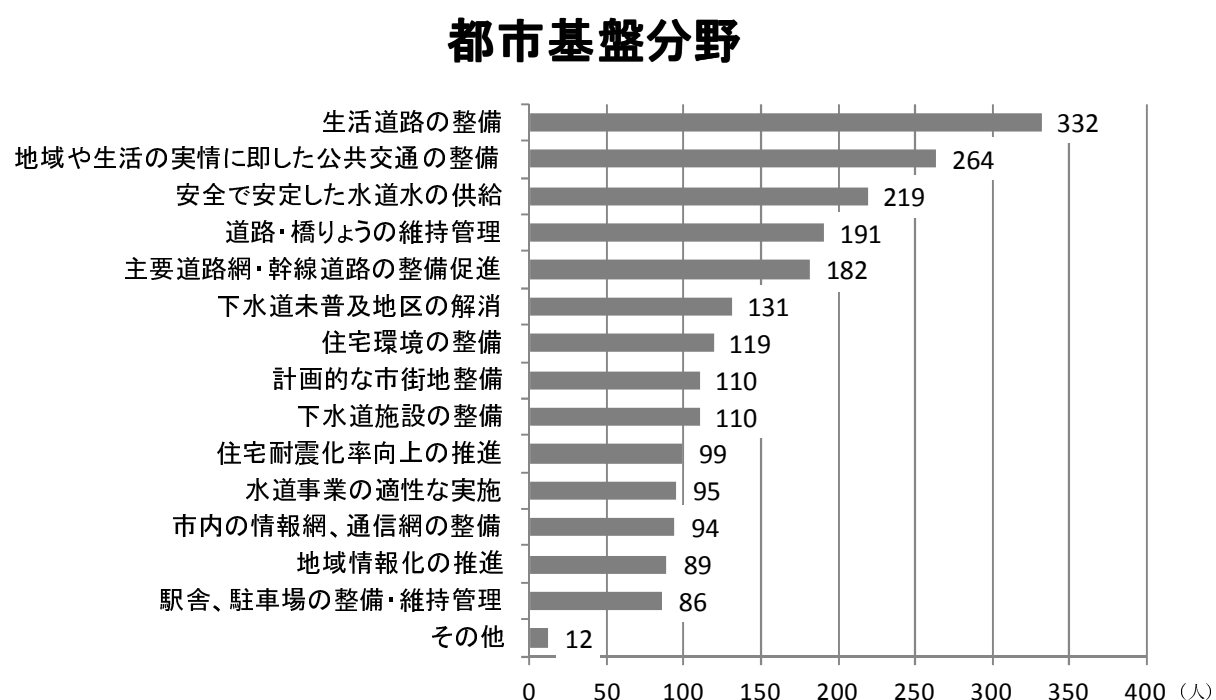
さらに推進すべき取り組みの上位は「生活道路の整備」、「地域や生活の実情に即した公共交通の整備」、「安全で安定した水道水の供給」となっている。

一方、下位については、「駅舎・駐車場の整備・維持管理」、「地域情報化の推進」、「市内の情報網、通信網の整備」となっている。

年代別では、10代以外のすべての年代で「生活道路の整備」が最も高い。

地域別では、協和地域以外では、「生活道路の整備」が最も高くなっている。協和地域では、「地域や生活の実情に即した公共交通の整備」が最も高くなっている。南外地域では、「下水道未普及地域の解消」が上位に入っている。

図表 31 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 32 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	主要道路網・幹線道路の整備促進	6
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	5
3	生活道路の整備	3
4	住宅耐震化率向上の推進	3
5	安全で安定した水道水の供給	2
6	市内の情報網、通信網の整備	2

■20代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	30
2	住宅環境の整備	17
3	主要道路網・幹線道路の整備促進	16
4	道路・橋りょうの維持管理	15
	駅舎、駐車場の整備・維持管理	15

■30代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	35
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	28
3	安全で安定した水道水の供給	27
4	主要道路網・幹線道路の整備促進	26
5	道路・橋りょうの維持管理	25

■40代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	37
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	29
3	安全で安定した水道水の供給	25
4	主要道路網・幹線道路の整備促進	22
5	道路・橋りょうの維持管理	20

■50代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	64
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	54
3	道路・橋りょうの維持管理	39
4	安全で安定した水道水の供給	36
5	主要道路網・幹線道路の整備促進	35

■60代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	71
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	65
3	安全で安定した水道水の供給	48
4	道路・橋りょうの維持管理	43
5	主要道路網・幹線道路の整備促進	36

■70代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	58
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	45
3	安全で安定した水道水の供給	42
4	道路・橋りょうの維持管理	28
5	主要道路網・幹線道路の整備促進	27

■80代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	24
2	安全で安定した水道水の供給	21
3	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	19
4	下水道未普及地区の解消	16
5	道路・橋りょうの維持管理	14
	住宅耐震化率向上の推進	14

図表 33 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	130
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	113
3	安全で安定した水道水の供給	97
4	道路・橋りょうの維持管理	74
5	主要道路網・幹線道路の整備促進	60

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	19
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	16
3	安全で安定した水道水の供給	16
4	道路・橋りょうの維持管理	13
5	主要道路網・幹線道路の整備促進	11
	住宅耐震化率向上の推進	11

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	34
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	25
3	道路・橋りょうの維持管理	21
4	安全で安定した水道水の供給	19
	主要道路網・幹線道路の整備促進	19

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	40
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	32
3	主要道路網・幹線道路の整備促進	32
4	道路・橋りょうの維持管理	28
5	安全で安定した水道水の供給	24

■協和地域

順位	項目	回答数
1	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	23
2	安全で安定した水道水の供給	22
3	生活道路の整備	19
4	主要道路網・幹線道路の整備促進	13
5	道路・橋りょうの維持管理	12

■南外地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	15
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	11
3	道路・橋りょうの維持管理	10
	下水道未普及地区の解消	10
5	主要道路網・幹線道路の整備促進	8

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	34
2	主要道路網・幹線道路の整備促進	17
	安全で安定した水道水の供給	17
4	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	15
	道路・橋りょうの維持管理	15

■太田地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	30
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	22
3	主要道路網・幹線道路の整備促進	17
4	道路・橋りょうの維持管理	12
	安全で安定した水道水の供給	12

2.5.6 教育・交流分野に関する設問について

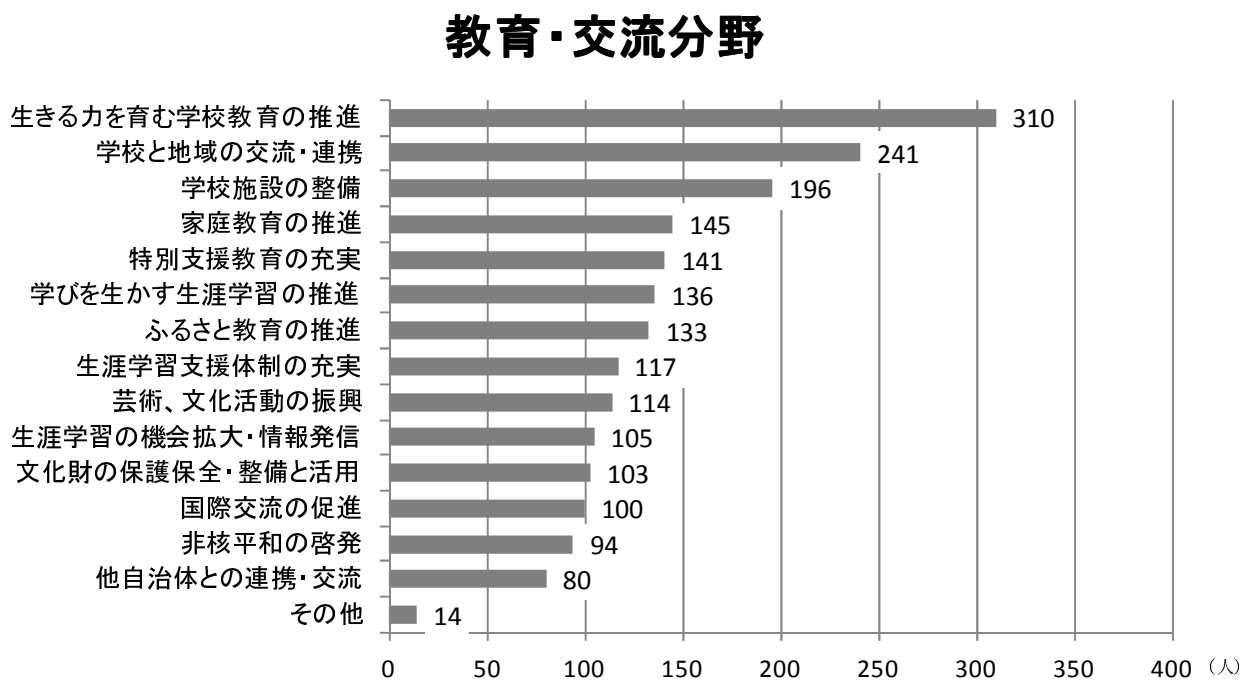
さらに推進すべき取り組みの上位は、「生きる力を育む学校教育の推進」、「学校と地域の交流・連携」、「学校施設の整備」となっている。

一方、下位は、「他自治体との連携・交流」、「非核平和の啓発」、「国際交流の促進」となっている。

年代別では、20代、80代以外で「生きる力を育む学校教育の推進」が最も高くなっている。

地域別では、いずれの地域でも「生きる力を育む学校教育の推進」、「学校と地域の交流・連携」が上位2つを占めている。

図表 34 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 35 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	6
2	学校と地域の交流・連携	5
3	国際交流の促進	5
4	学校施設の整備	3
	芸術、文化活動の振興	3
	非核平和の啓発	3

■20代

順位	項目	回答数
1	学校施設の整備	27
2	生きる力を育む学校教育の推進	23
3	学校と地域の交流・連携	23
4	家庭教育の推進	14
5	生涯学習支援体制の充実	12
	ふるさと教育の推進	12

■30代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	39
2	学校施設の整備	38
3	学校と地域の交流・連携	24
4	特別支援教育の充実	20
5	学びを生かす生涯学習の推進	19

■40代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	33
2	学校と地域の交流・連携	29
3	学校施設の整備	27
4	生涯学習支援体制の充実	19
5	学びを生かす生涯学習の推進	17

■50代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	62
2	学校と地域の交流・連携	40
3	学校施設の整備	34
4	ふるさと教育の推進	28
5	学びを生かす生涯学習の推進	22

■60代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	68
2	学校と地域の交流・連携	46
3	家庭教育の推進	38
4	学校施設の整備	32
5	特別支援教育の充実	31

■70代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	52
2	学校と地域の交流・連携	45
3	家庭教育の推進	29
4	ふるさと教育の推進	27
5	特別支援教育の充実	26

■80代

順位	項目	回答数
1	学校と地域の交流・連携	22
2	生きる力を育む学校教育の推進	21
3	特別支援教育の充実	14
	学びを生かす生涯学習の推進	14
	文化財の保護保全・整備と活用	14

図表 36 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	133
2	学校と地域の交流・連携	90
3	学校施設の整備	79
4	特別支援教育の充実	63
5	学びを生かす生涯学習の推進	57

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	22
2	学校と地域の交流・連携	14
3	学びを生かす生涯学習の推進	12
4	芸術、文化活動の振興	11
5	特別支援教育の充実	10
	家庭教育の推進	10

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	学校と地域の交流・連携	27
2	生きる力を育む学校教育の推進	25
3	学校施設の整備	18
4	学びを生かす生涯学習の推進	16
5	特別支援教育の充実	14
	家庭教育の推進	14

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	35
2	学校と地域の交流・連携	28
	学校施設の整備	28
4	家庭教育の推進	22
5	ふるさと教育の推進	17

■協和地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	28
2	学校と地域の交流・連携	21
3	学校施設の整備	14
4	学びを生かす生涯学習の推進	13
	家庭教育の推進	11
5	ふるさと教育の推進	11
	生涯学習支援体制の充実	11

■南外地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	14
2	学校と地域の交流・連携	9
3	特別支援教育の充実	9
4	ふるさと教育の推進	7
	学校施設の整備	6
5	学びを生かす生涯学習の推進	6
	文化財の保護保全・整備と活用	6
	他自治体との連携・交流	6

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	23
2	学校と地域の交流・連携	22
3	学校施設の整備	20
4	家庭教育の推進	15
	生涯学習支援体制の充実	15

■太田地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	24
2	学校と地域の交流・連携	22
3	学校施設の整備	18
4	家庭教育の推進	11
5	特別支援教育の充実	9
	ふるさと教育の推進	9

2. 5. 7 地域活性化・市民との協働・行政運営分野に関する設問について

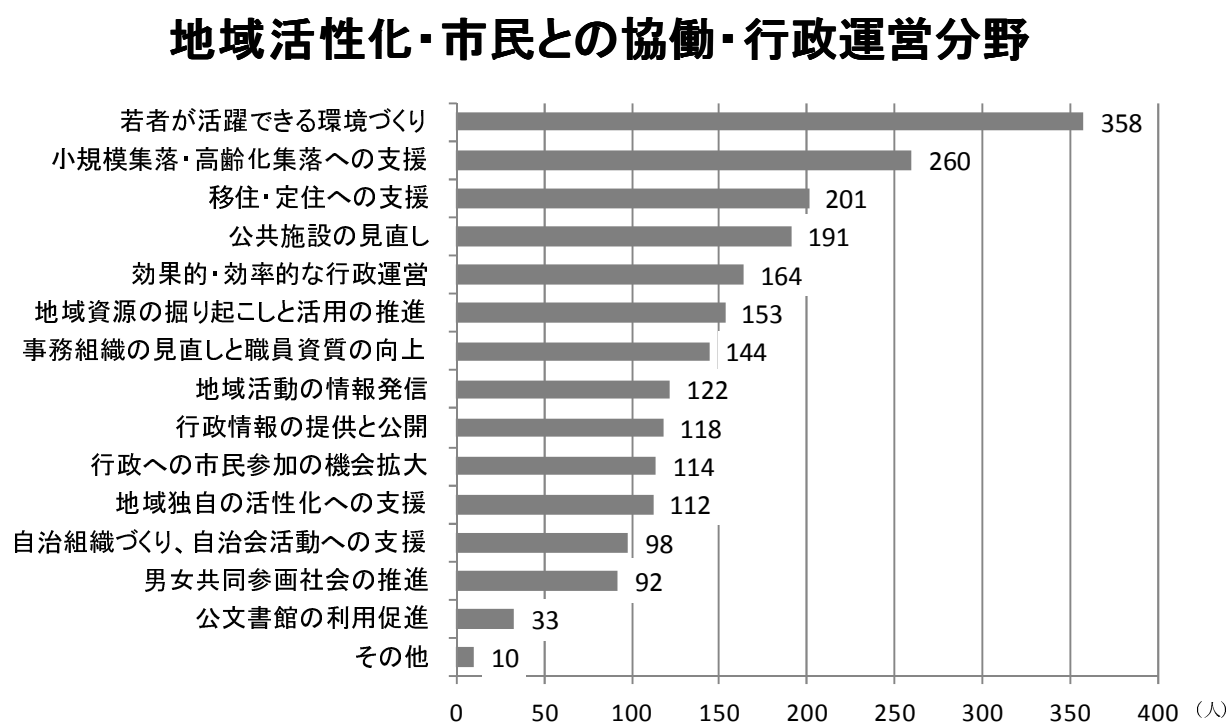
さらに推進すべき取り組みの上位は、「若者が活躍できる環境づくり」、「小規模集落・高齢化集落への支援」、「移住・定住への支援」となっている。

一方、下位は、「公文書館の利用促進」、「男女共同参画社会の推進」、「自治組織づくり、自治会活動への支援」となっている。

年代別では、全ての年代で「若者が活躍できる環境づくり」が、10代から60代で「公共施設の見直し」が高くなっている。

地域別では、「若者が活躍できる環境づくり」、「小規模集落・高齢化集落への支援」が上位2つを占めている。

図表 37 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 38 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	6
2	移住・定住への支援	5
	小規模集落・高齢化集落への支援	4
	地域資源の掘り起こしと活用の推進	4
	公共施設の見直し	3
	効果的・効率的な行政運営	3
	地域活動の情報発信	3

■20代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	32
2	移住・定住への支援	20
	小規模集落・高齢化集落への支援	20
4	公共施設の見直し	19
5	男女共同参画社会の推進	12

■30代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	48
2	小規模集落・高齢化集落への支援	30
	公共施設の見直し	30
4	移住・定住への支援	29
5	地域資源の掘り起こしと活用の推進	23

■40代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	36
2	移住・定住への支援	29
3	公共施設の見直し	25
	効果的・効率的な行政運営	25
5	事務組織の見直しと職員資質の向上	22

■50代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	65
2	小規模集落・高齢化集落への支援	49
3	移住・定住への支援	35
4	公共施設の見直し	34
5	地域資源の掘り起こしと活用の推進	31

■60代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	84
2	小規模集落・高齢化集落への支援	67
3	事務組織の見直しと職員資質の向上	40
4	公共施設の見直し	38
5	移住・定住への支援	37
	効果的・効率的な行政運営	37

■70代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	59
2	小規模集落・高齢化集落への支援	44
3	移住・定住への支援	28
4	効果的・効率的な行政運営	27
5	地域資源の掘り起こしと活用の推進	27

■80代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	22
2	小規模集落・高齢化集落への支援	21
3	行政情報の提供と公開	15
4	地域活動の情報発信	14
5	移住・定住への支援	13

図表 39 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	153
2	小規模集落・高齢化集落への支援	94
3	移住・定住への支援	84
4	公共施設の見直し	83
5	効果的・効率的な行政運営	73

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	23
2	小規模集落・高齢化集落への支援	18
3	公共施設の見直し	16
4	移住・定住への支援	12
5	事務組織の見直しと職員資質の向上	12

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	35
2	小規模集落・高齢化集落への支援	28
3	移住・定住への支援	22
4	公共施設の見直し	20
5	事務組織の見直しと職員資質の向上	15

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	42
2	小規模集落・高齢化集落への支援	37
3	公共施設の見直し	32
4	移住・定住への支援	24
5	効果的・効率的な行政運営	23

■協和地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	31
2	小規模集落・高齢化集落への支援	24
3	地域資源の掘り起こしと活用の推進	11
4	事務組織の見直しと職員資質の向上	11
5	移住・定住への支援	10

■南外地域

順位	項目	回答数
1	小規模集落・高齢化集落への支援	14
2	若者が活躍できる環境づくり	12
3	自治組織づくり、自治会活動への支援	10
4	地域資源の掘り起こしと活用の推進	9
5	事務組織の見直しと職員資質の向上	8
	移住・定住への支援	8

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	27
2	小規模集落・高齢化集落への支援	23
3	効果的・効率的な行政運営	18
4	移住・定住への支援	16
5	公共施設の見直し	14

■太田地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	27
2	移住・定住への支援	19
3	小規模集落・高齢化集落への支援	15
4	地域資源の掘り起こしと活用の推進	11
5	地域活動の情報発信	9

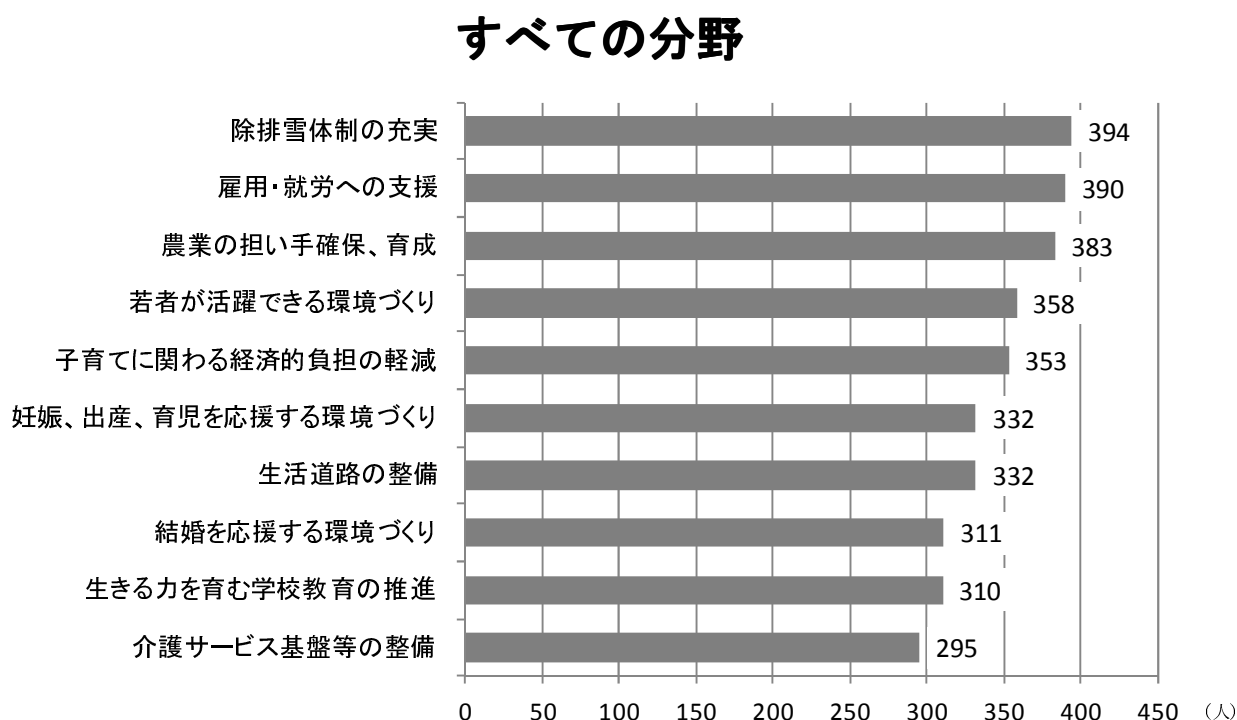
2.5.8 さらに推進すべき取り組みの総括

分野を分けずにすべての項目において比較すると、さらに推進すべき取り組みの上位となっているのは、「除排雪体制の充実」、「雇用・就労への支援」、「農業の担い手確保、育成」、「若者が活躍できる環境づくり」、「子育てに関わる経済的負担の軽減」の順となっている。

年代別では、20代、30代で子育てや結婚に関わる項目が高くなっており、80代では健康に関する項目が高くなっている。

地域別では、西仙北・協和地域で「若者が活躍できる環境づくり」が他の地域より高く、神岡、中仙、協和、仙北、太田地域で「農業の担い手確保、育成」が他の地域より高くなっている。

図表 40 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 41 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	7
	介護サービス基盤等の整備	7
	農業の担い手確保、育成	6
	若者が活躍できる環境づくり	6
3	生きる力を育む学校教育の推進	6
	若者の起業支援	6
	主要道路網・幹線道路の整備促進	6
	除排雪体制の充実	5
	子育てに関わる経済的負担の軽減	5
	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	5
	こころの健康づくりの推進	5
8	消融雪施設の整備	5
	魅力ある観光地づくり	5
	学校と地域の交流・連携	5
	移住・定住への支援	5
	国際交流の促進	5

■20代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	34
	子育てに関わる経済的負担の軽減	34
3	雇用・就労への支援	32
	若者が活躍できる環境づくり	32
5	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	30
	生活道路の整備	30
7	農業の担い手確保、育成	28
8	結婚を応援する環境づくり	27
	学校施設の整備	27
10	魅力ある観光地づくり	25

■30代

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	60
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	58
3	雇用・就労への支援	54
4	除排雪体制の充実	48
	若者が活躍できる環境づくり	48
6	結婚を応援する環境づくり	46
7	結婚相談会・出会いイベントの開催	44
8	農業の担い手確保、育成	41
	若者の起業支援	41
10	生きる力を育む学校教育の推進	39
	空き家の管理と利活用の推進	39

■40代

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	52
2	除排雪体制の充実	51
3	子育てに関わる経済的負担の軽減	44
4	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	43
5	農業の担い手確保、育成	41
	結婚を応援する環境づくり	41
7	地域医療体制の整備	38
8	生活道路の整備	37
	介護サービス基盤等の整備	37
10	若者が活躍できる環境づくり	36

■50代

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	75
2	農業の担い手確保、育成	71
3	除排雪体制の充実	68
4	若者が活躍できる環境づくり	65
5	生活道路の整備	64
6	生きる力を育む学校教育の推進	62
7	介護サービス基盤等の整備	61
8	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	58
9	地域医療体制の整備	57
10	子育てに関わる経済的負担の軽減	56
	企業誘致の強化	56

■60代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	91
2	除排雪体制の充実	85
3	若者が活躍できる環境づくり	84
4	雇用・就労への支援	83
5	子育てに関わる経済的負担の軽減	79
6	地域医療体制の整備	73
7	生活道路の整備	71
8	生きる力を育む学校教育の推進	68
9	小規模集落・高齢化集落への支援	67
10	結婚を応援する環境づくり	66
	子育て支援サービスの充実	66

■70代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	67
	除排雪体制の充実	67
3	子育て支援サービスの充実	64
4	若者が活躍できる環境づくり	59
	からだの健康づくりの推進	59
6	生活道路の整備	58
7	雇用・就労への支援	55
8	生きる力を育む学校教育の推進	52
	若者の起業支援	52
10	結婚を応援する環境づくり	51

■80代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	30
	こころの健康づくりの推進	30
3	からだの健康づくりの推進	27
4	除排雪体制の充実	26
	介護サービス基盤等の整備	26
	子育て支援サービスの充実	25
5	雇用・就労への支援	25
	河川とその周辺環境の保全・整備	25
9	生活道路の整備	24
	地域医療体制の整備	24

図表 42 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	172
2	雇用・就労への支援	166
3	若者が活躍できる環境づくり	153
4	子育てに関わる経済的負担の軽減	149
5	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	146
6	結婚を応援する環境づくり	144
7	農業の担い手確保、育成	143
8	企業誘致の強化	134
9	生きる力を育む学校教育の推進	133
10	介護サービス基盤等の整備	130

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	29
2	除排雪体制の充実	27
	雇用・就労への支援	25
4	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	24
	若者が活躍できる環境づくり	23
6	生きる力を育む学校教育の推進	22
	河川とその周辺環境の保全・整備	22
	子育てに関わる経済的負担の軽減	21
9	生活道路の整備	19
10	地域医療体制の整備	19
	子育て支援サービスの充実	19

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	38
2	若者が活躍できる環境づくり	35
	子育てに関わる経済的負担の軽減	35
4	雇用・就労への支援	34
	生活道路の整備	34
6	農業の担い手確保、育成	33
7	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	31
	河川とその周辺環境の保全・整備	31
9	地域医療体制の整備	30
10	結婚を応援する環境づくり	28
	小規模集落・高齢化集落への支援	28

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	53
2	除排雪体制の充実	43
3	若者が活躍できる環境づくり	42
4	若者の起業支援	41
5	子育てに関わる経済的負担の軽減	40
6	生活道路の整備	40
7	雇用・就労への支援	39
8	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	37
9	結婚を応援する環境づくり	37
10	小規模集落・高齢化集落への支援	37

■協和地域

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	32
2	若者が活躍できる環境づくり	31
3	農業の担い手確保、育成	30
4	子育てに関わる経済的負担の軽減	29
5	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	29
6	生きる力を育む学校教育の推進	28
7	除排雪体制の充実	27
8	小規模集落・高齢化集落への支援	24
9	子育て支援サービスの充実	24
10	地域医療体制の整備	24

■南外地域

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	19
	農業の担い手確保、育成	18
3	除排雪体制の充実	18
4	生活道路の整備	15
	水害対策設備の整備	15
	生きる力を育む学校教育の推進	14
	小規模集落・高齢化集落への支援	14
	子育て支援サービスの充実	14
	地域医療体制の整備	14
10	子育てに関わる経済的負担の軽減	13
	結婚を応援する環境づくり	13
	こころの健康づくりの推進	13
	交通弱者への福祉施策の推進	13

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	37
2	農業の担い手確保、育成	36
3	生活道路の整備	34
4	除排雪体制の充実	32
5	子育て支援サービスの充実	29
	子育てに関わる経済的負担の軽減	29
7	介護サービス基盤等の整備	28
8	若者が活躍できる環境づくり	27
9	結婚を応援する環境づくり	26
	空き家の管理と利活用の推進	26

■太田地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	31
	雇用・就労への支援	30
2	生活道路の整備	30
	子育てに関わる経済的負担の軽減	30
5	若者が活躍できる環境づくり	27
6	除排雪体制の充実	26
7	介護サービス基盤等の整備	24
	生きる力を育む学校教育の推進	24
9	消融雪施設の整備	23
	空き家の管理と利活用の推進	22
10	学校と地域の交流・連携	22
	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	22

2.6 あなたが思う大仙市について

2.6.1 市内在住の経緯に関する設問について

現在、大仙市に住んでいる経緯については、「生まれてからずっと住んでいる」が60.1%、「市外に住んだことがあり、家族、仕事などの理由で引っ越して来た」が27.2%、「市外に住んだことがあり、自分の意志で引っ越して来た」が12.8%となっている。

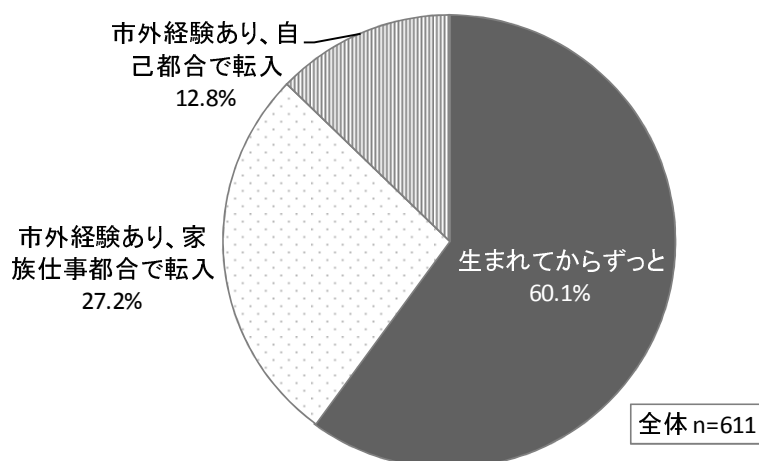
属性別で、男女の性別では、「生まれてからずっと」住んでいる、と回答した方が多いのは男性の方が多く65.8%、女性の方が少なく55.7%となっており、10.1ポイントの差がある。

「市外に住んだことがあり、家族、仕事などの理由で引っ越して来た」と回答しているのは、女性の方が多く30.8%、男性の方が少なく22.7%となっており、8.1ポイントの差がある。

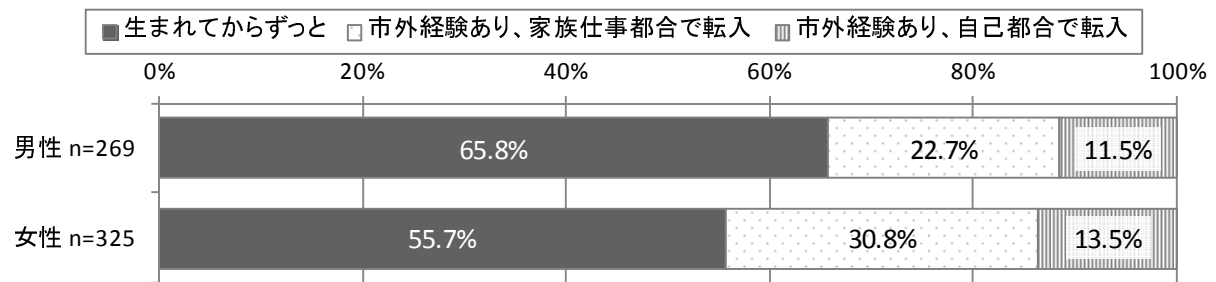
年代別では、「生まれてからずっと」住んでいる、と回答した方が多いのは、80代が最も多く69.8%、10代と20代と合わせた年代が次に多く67.8%となっている。「生まれてからずっと」住んでいる割合が最も少ないのは40代で48.7%となっており、40代から年代が上がるごとに「生まれてからずっと」と回答した方の割合が上がっている。「市外に住んだことがあり、家族、仕事などの理由で引っ越して来た」と回答した方が最も多いのは40代で41.0%となっている。「市外に住んだことがあり、自分の意思で引っ越して来た」と回答した方が最も多いのは70代で15.0%、最も少ないのは30代で9.2%となっている。

地域別では、大曲地域と神岡地域で他の地域と比較して「生まれてからずっと」住んでいる、と回答した方が少なく、大曲地域で52.0%、神岡地域で51.2%となっている。「市外に住んだことがあり、家族、仕事などの理由で引っ越して来た」と回答した方が最も多いのは大曲地域で34.5%、「市外に住んだことがあり、自分の意思で引っ越して来た」と回答した方が最も多いのは神岡地域で17.1%となっている。

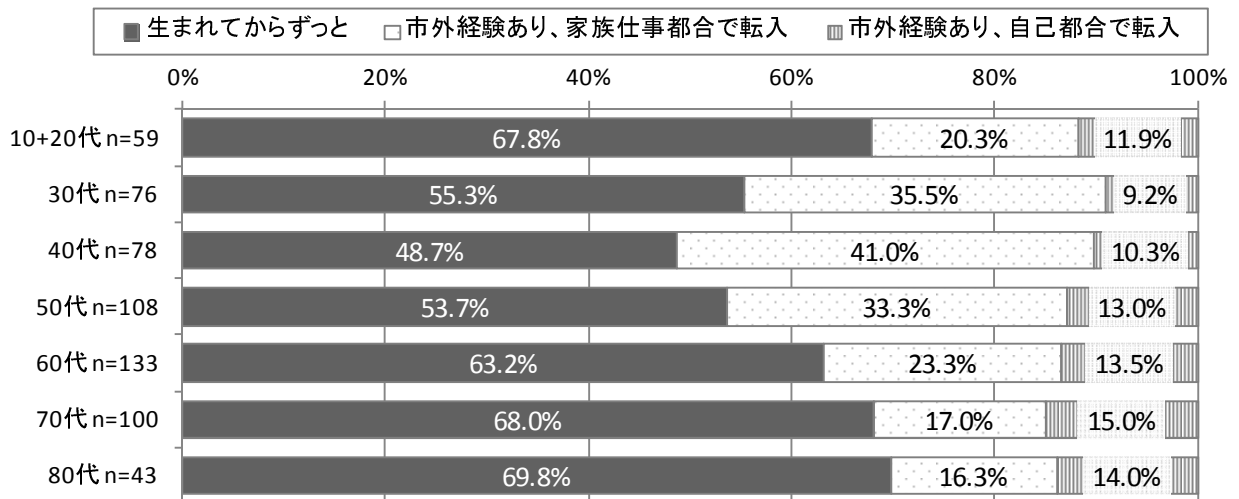
図表 43 大仙市に住んでいる経緯は



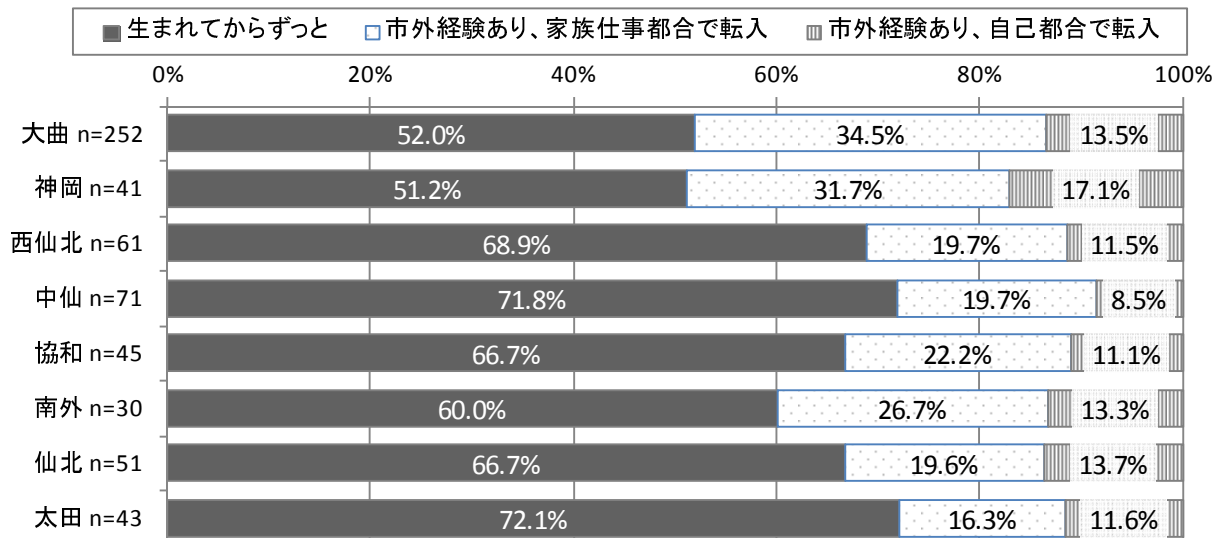
図表 44 大仙市に住んでいる経緯は（性別）



図表 45 大仙市に住んでいる経緯は（年代別）



図表 46 大仙市に住んでいる経緯は（地域別）



2.6.2 大仙市への愛着度に関する設問について

「大仙市」にどのくらい愛着を感じているか、との設問に対し、「やや好き」と回答した方が最も多く 57.7%、次に「とても好き」が多く 29.9%となっている。「とても好き」「やや好き」を合わせると、87.6%の方が大仙市に愛着を持っている。

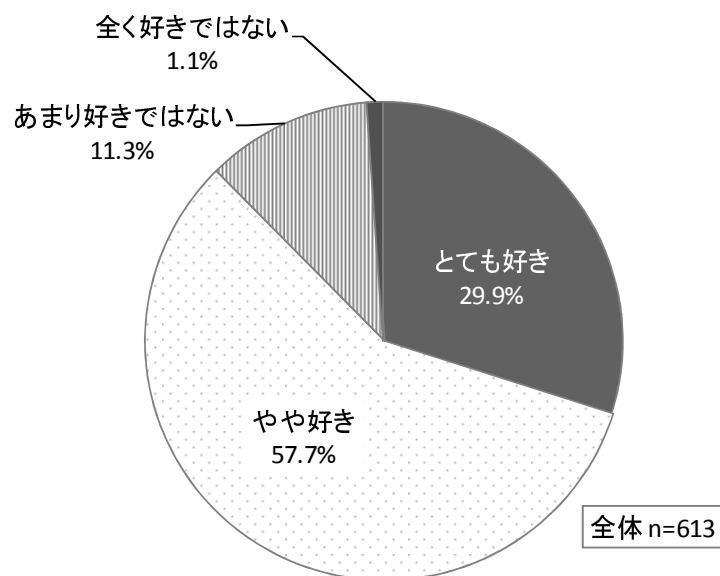
属性別で、性別での愛着度の違いは見られない。

年代別で、「とても好き」と回答している方が最も多いのは 80 代で 40.9%、最も少ないのは 30 代で 23.4%となっており、30 代から年代が上がるにつれて「とても好き」の割合は上がっている。「全く好きではない」と回答している方は全年代とも非常に少ないが、「あまり好きではない」と回答している方が最も多いのは 10 代と 20 代を合わせた年代で 15.3%、次に 50 代で 15.1%となっている。

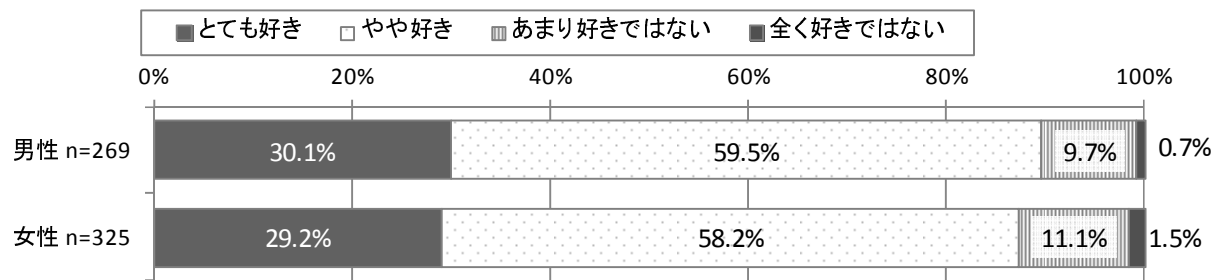
地域別では、地域でばらつきが見られるが、「とても好き」と回答している方が最も多いのは仙北地域で 35.3%、「とても好き」「やや好き」を合わせた割合が最も多いのは南外地域で、96.6%（「とても好き」33.3%、「やや好き」63.3%）となっている。

大仙市への愛着度を、大仙市に住んでいる経緯の別で見ると、「とても好き」と回答している方が最も多いのは、「生まれてからずっと」住んでいる方で 35.8%、次に「市外に住んだことがあり、自分の意思で引っ越して来た」と回答した方で 24.4%となっている。

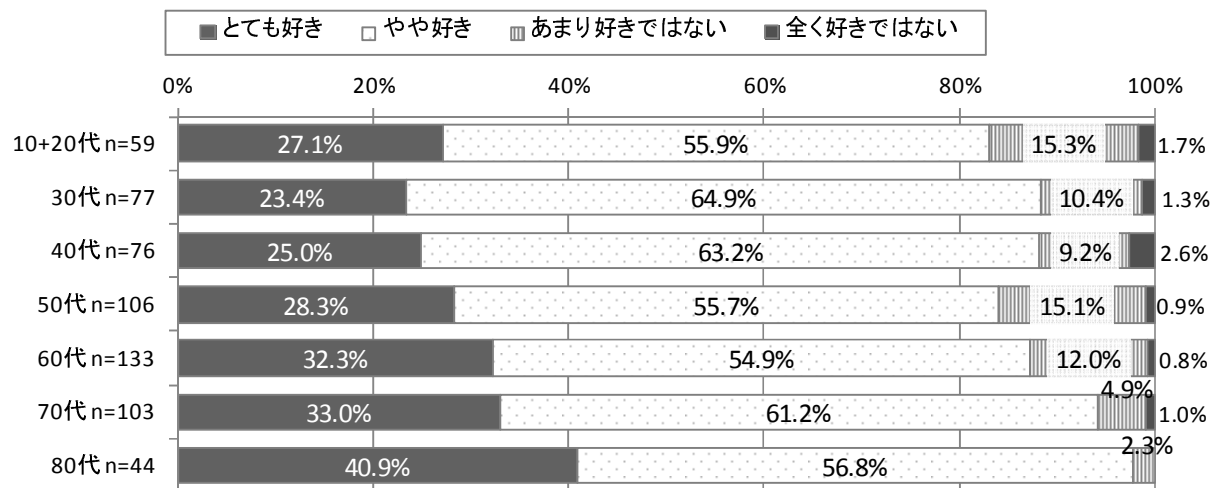
図表 47 大仙市にどれくらい愛着を感じているか



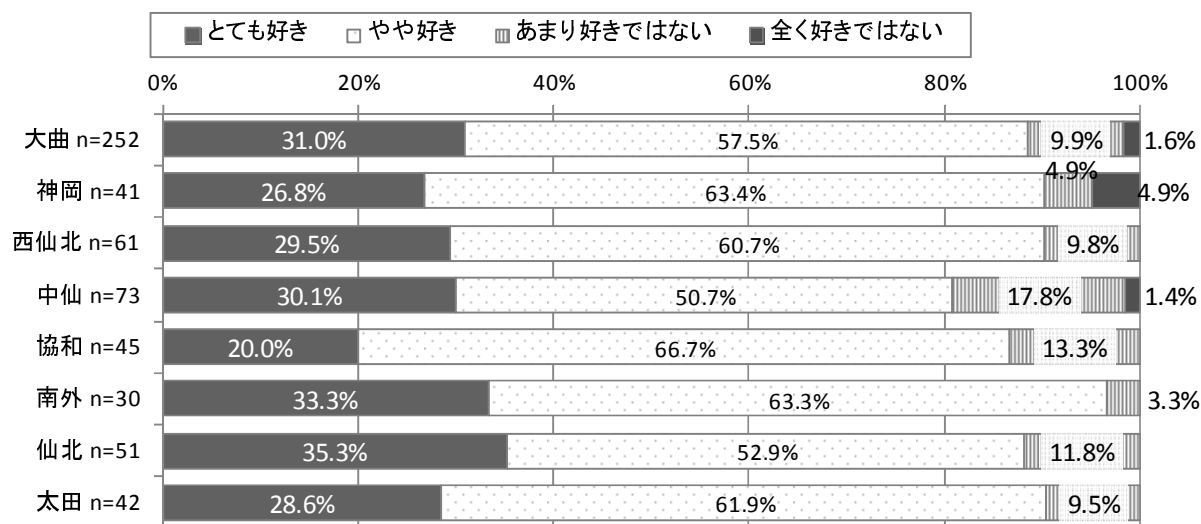
図表 48 大仙市にどれくらい愛着を感じているか（性別）



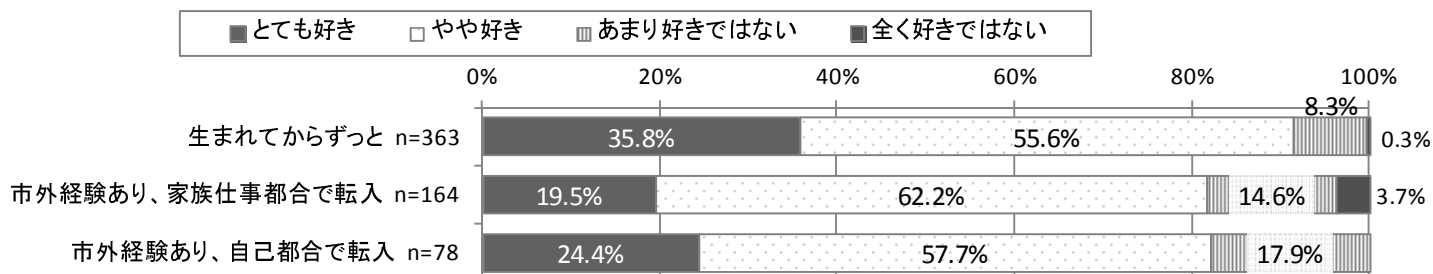
図表 49 大仙市にどれくらい愛着を感じているか（年代別）



図表 50 大仙市にどれくらい愛着を感じているか（地域別）



図表 51 大仙市にどれくらい愛着を感じているか（住んでいる経緯別）



2.6.3 「住みやすさ」に関する設問について

大仙市は、住みやすいまちだと思いますか、という設問について、「どちらかといえば住みやすい」と回答した方が最も多く 55.2%、「住みやすい」と回答した方が次に多く 26.7%となっている。「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と回答した方の割合を合わせると、81.9%で、8割以上を占めている。

また、これからも大仙市に住み続けたいか、という設問について、「今の場所に住み続けたい」と回答した方が最も多く 71.8%となっており、7割以上を占めている。

属性別で、男女の性別での「住みやすいまちだと思うか」「住み続けたいか」の大きな違いは見られない。

年代別では、「住みやすい」と回答している方が最も多いのは80代で36.4%、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合が最も多いのは70代で87.4%（「住みやすい」29.1%、「どちらかといえば住みやすい」58.3%）となっている。「住みにくい」と回答している方が最も多いのは30代で5.2%となっている。

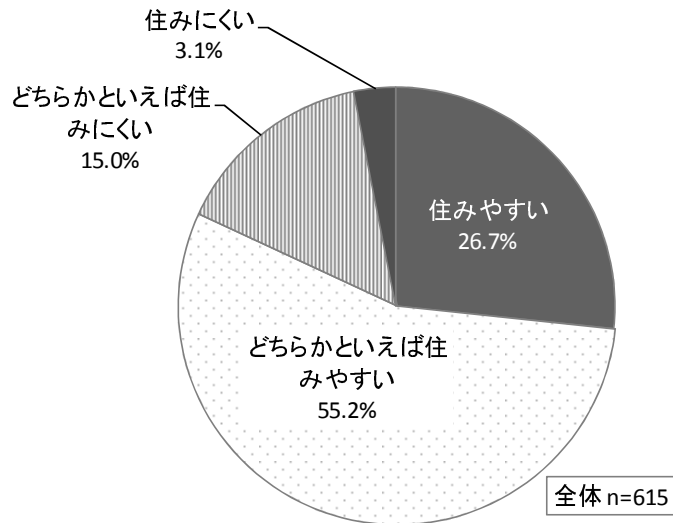
年代別で、「大仙市に住み続けたい」と回答している方が最も多いのは80代で89.1%となっている。10代と20代では、「市外に移りたい」と回答している方が18.6%、「住み続けたいが、移らざるを得ない」が13.6%で他の年代と比較すると最も多い。

地域別で、「住みやすい」と回答している方が最も多いのは中仙地域で31.5%、次に大曲地域で29.8%となっている。「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合が最も高いのは、仙北地域で92.2%（「住みやすい」27.5%、「どちらかといえば住みやすい」64.7%）となっている。

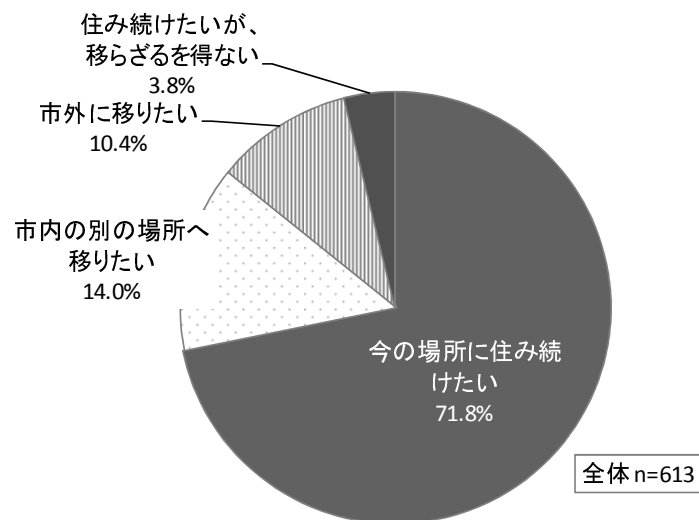
地域別で、「今の場所に住み続けたい」と回答している方が最も多いのは仙北地域で84.3%となっている。

大仙市の住みやすさを、大仙市に住んでいる経緯の別で見ると、「住みやすい」「住み続けたい」と回答している方の割合が最も多いのは、「生まれてからずっと」住んでいる方で（「住みやすい」31.0%、「住み続けたい」78.2%）、最も少ないのは「市外に住んだことがあり、家族、仕事などの理由で引っ越して来た」と回答した方（「住みやすい」19.4%、「住み続けたい」57.4%）となっている。

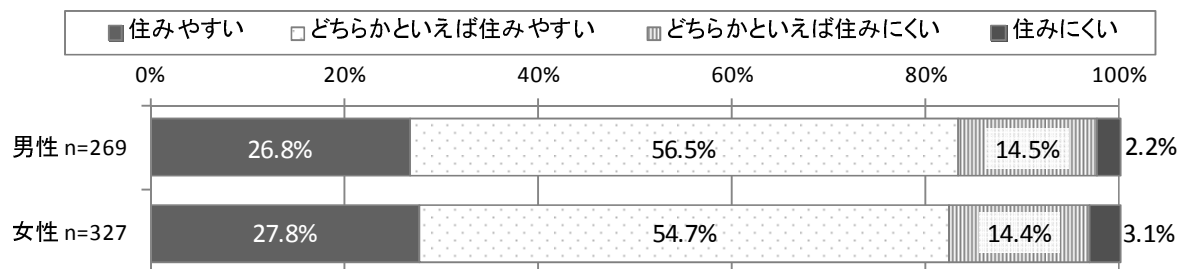
図表 52 大仙市は住みやすいか



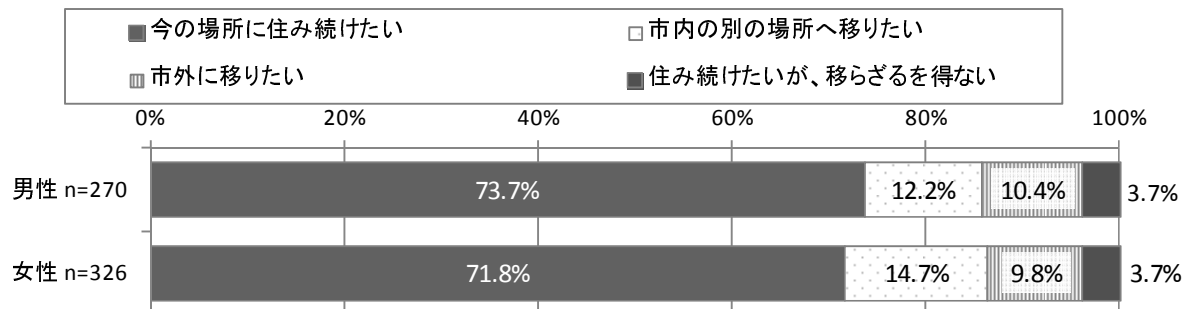
図表 53 大仙市に住み続けたいか



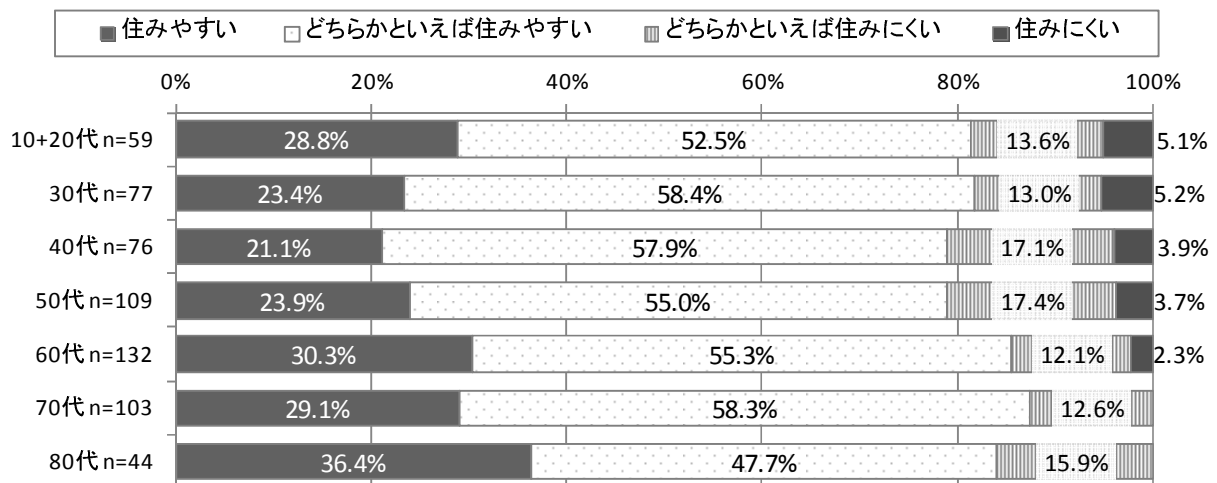
図表 54 大仙市は住みやすいか（性別）



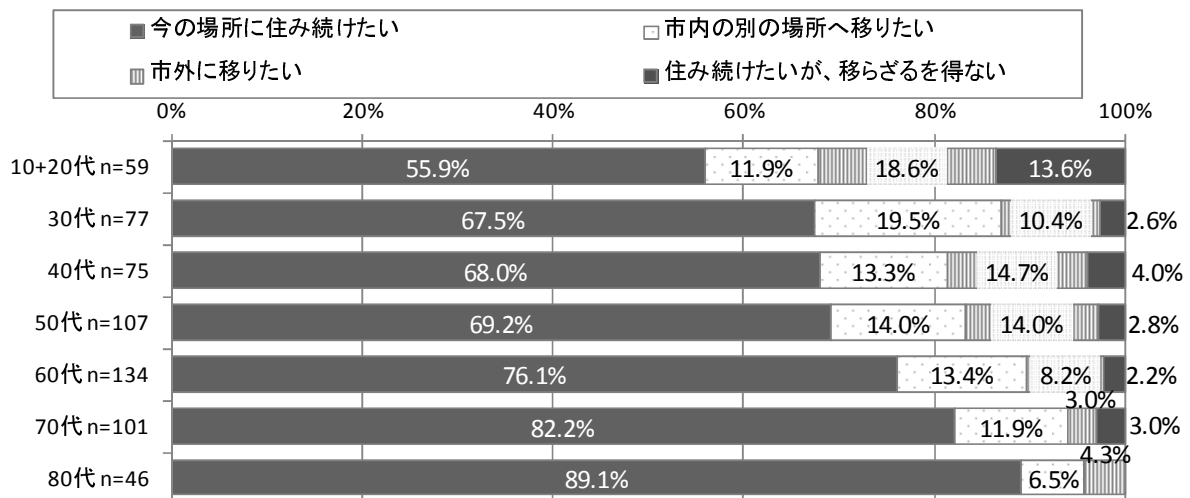
図表 55 大仙市に住みたいか（性別）



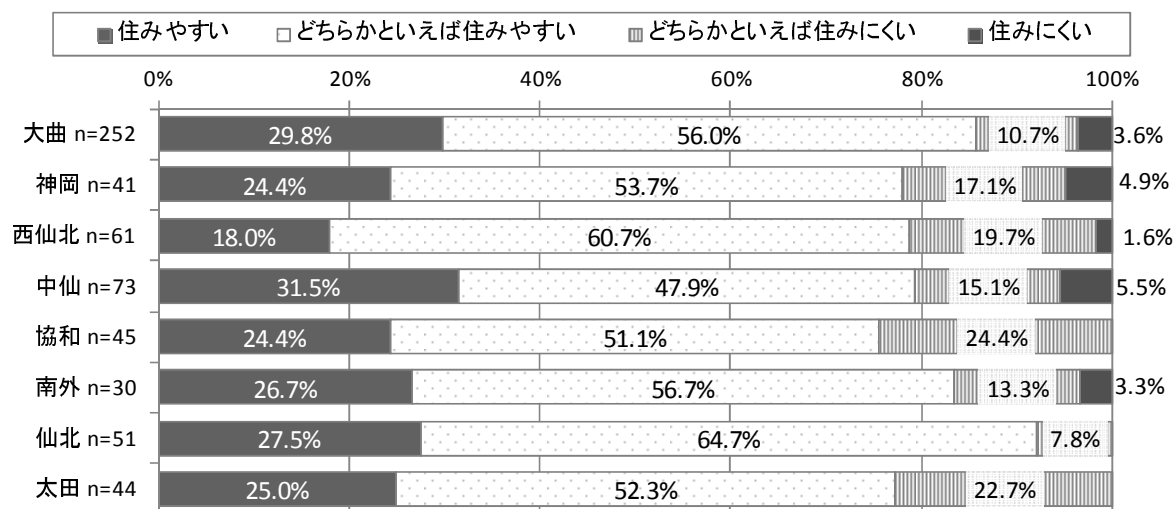
図表 56 大仙市は住みやすいか（年代別）



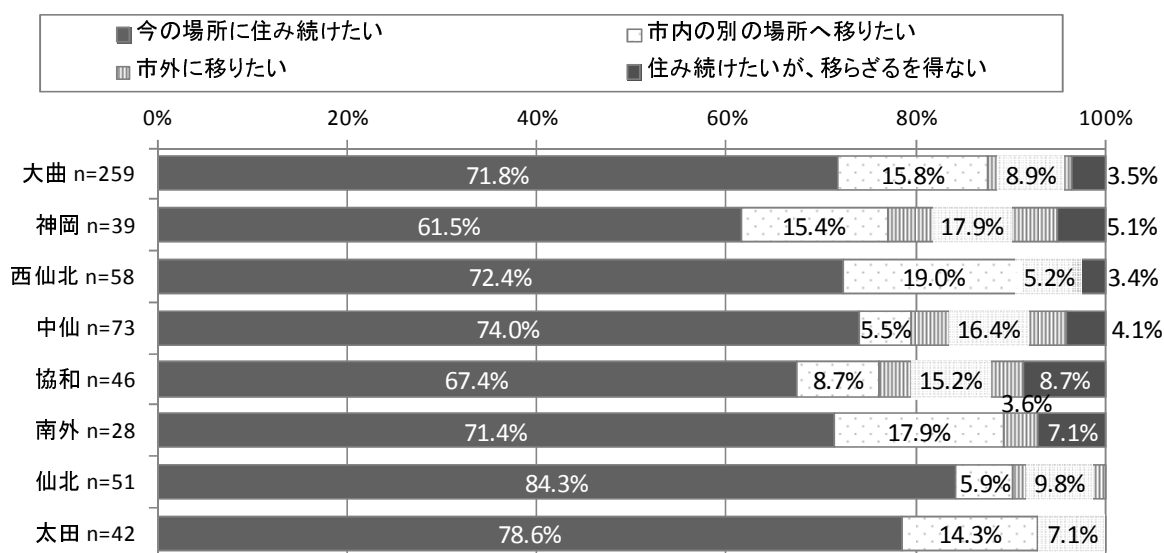
図表 57 大仙市に住みたいか（年代別）



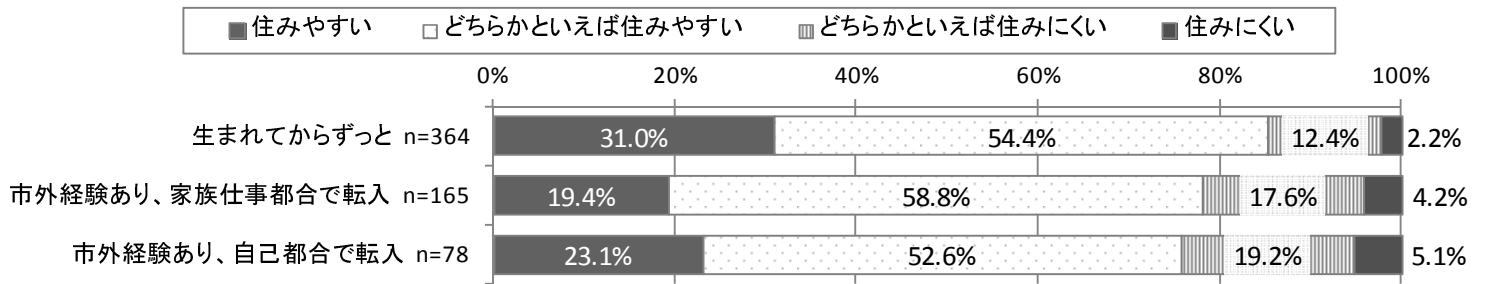
図表 58 大仙市は住みやすいか（地域別）



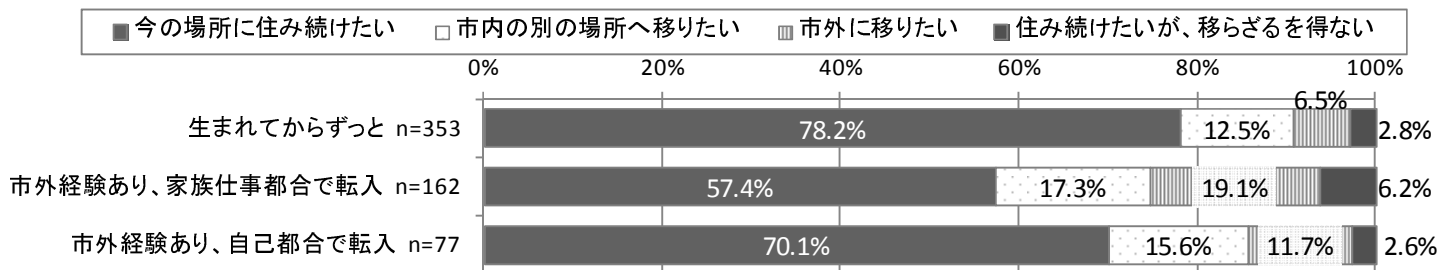
図表 59 大仙市に住み続けたいか（地域別）



図表 60 大仙市は住みやすいか（住んでいる経緯別）



図表 61 大仙市に住み続けたいか（住んでいる経緯別）



2.6.5 「住む場所」「訪れる場所」としての推薦度に関する設問について

大仙市を「住む場所」として知人にすすめるか、との設問に対し、「どちらかといえばすすめる」と回答した方が最も多く 45.0%となっている。次に「わからない」と回答した方が多く 22.9%となっている。「強くすすめる」「どちらかといえばすすめる」を合わせると、52.0%となっている。「どちらかといえばすすめない」「すすめない」を合わせると 25.1%となっている。

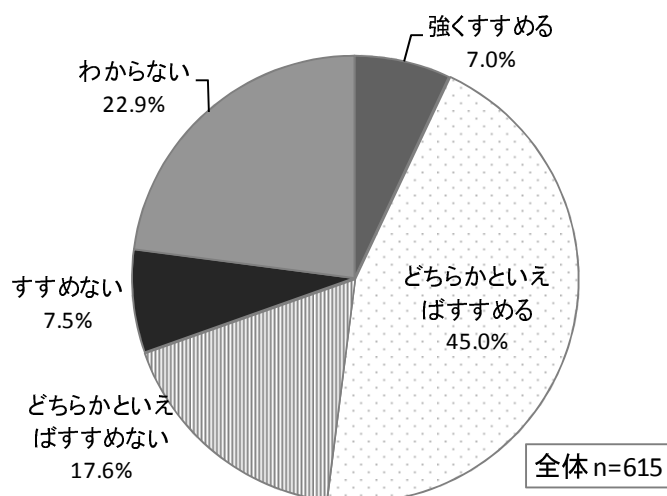
また、大仙市を「訪れる場所」として知人にすすめるか、との設問に対し、「どちらかといえばすすめる」と回答した方が最も多く 45.4%となっている。次に「どちらかといえばすすめない」と回答した方が多く 23.4%となっている。「強くすすめる」「どちらかといえばすすめる」を合わせると、52.0%となっている。「どちらかといえばすすめない」「すすめない」を合わせると 30.8%となっている。

属性別で男女の性別では、「住む場所」として知人にすすめるか、との設問に対し、「わからない」と回答している方が女性の方で多く 25.0%、男性の方が少なく 18.9%となっており、6.1 ポイントの差がある。「訪れる場所」として知人にすすめるか、との設問に対しては、「どちらかといえばすすめる」と回答した方が男性の方で多く 49.1%、女性の方が少なく 43.5%となっており、5.6 ポイントの差がある。

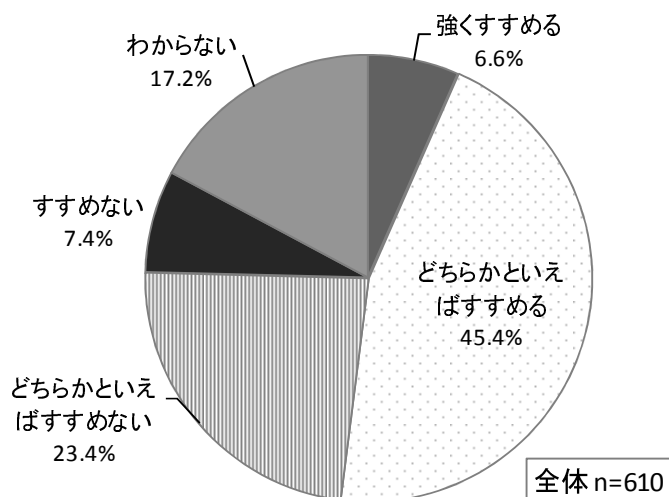
年代別では、「住む場所」として、「訪れる場所」として知人にすすめる、という度合いで「強くすすめる」「どちらかといえばすすめる」を合わせた割合が最も多いのはどちらも 70 代で、「住む場所」としてすすめる割合は 62.3%（「すすめる」6.9%「どちらかといえばすすめる」55.4%）、「訪れる場所」としてすすめる割合は 58.5%（「すすめる」4.0%「どちらかといえばすすめる」54.5%）となっている。一方、最も少ないのは 40 代で、「住む場所」としてすすめる割合は 42.6%（「すすめる」9.3%「どちらかといえばすすめる」33.3%）、「訪れる場所」としてすすめる割合は 37.3%（「すすめる」5.3%「どちらかといえばすすめる」32.0%）となっている。

地域別では、「住む場所」として知人にすすめるか、という設問に対し、「強くすすめる」と回答した方の割合が最も多いのは仙北地域で 13.7%、最も少ないのは西仙北地域で 1.7%となっており、12.0 ポイントの差がある。「訪れる場所」として知人にすすめるか、という設問に対しては、仙北地域で「強くすすめる」という回答が最も多く 13.7%、協和地域で最も少なく 2.2%となっており、11.5 ポイントの差がある。

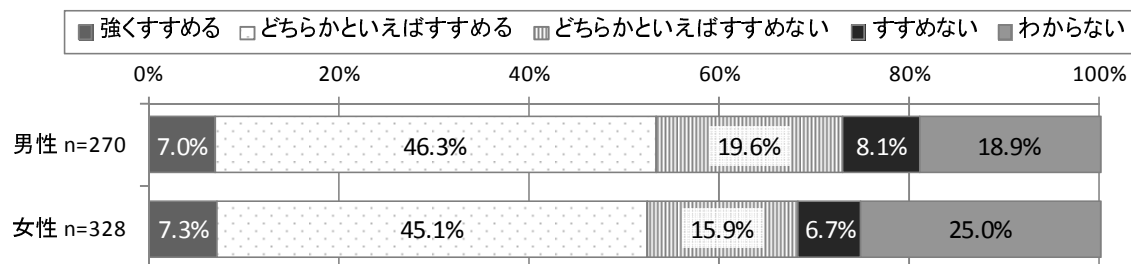
図表 62 大仙市を「住む場所」として知人にすすめるか



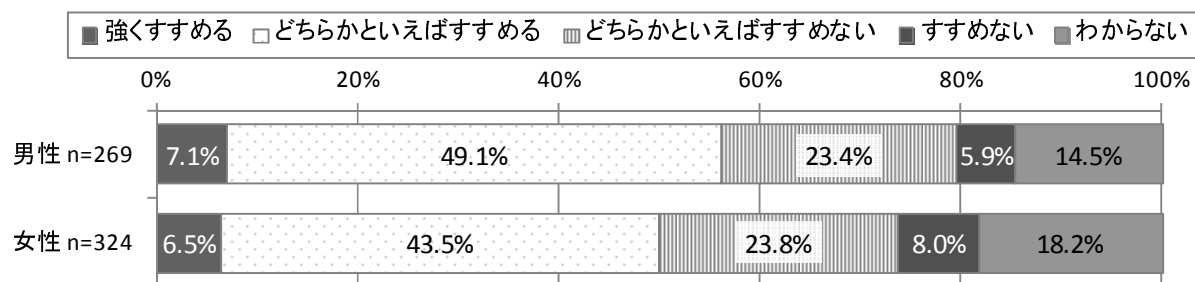
図表 63 大仙市を「訪れる場所」として知人にすすめるか



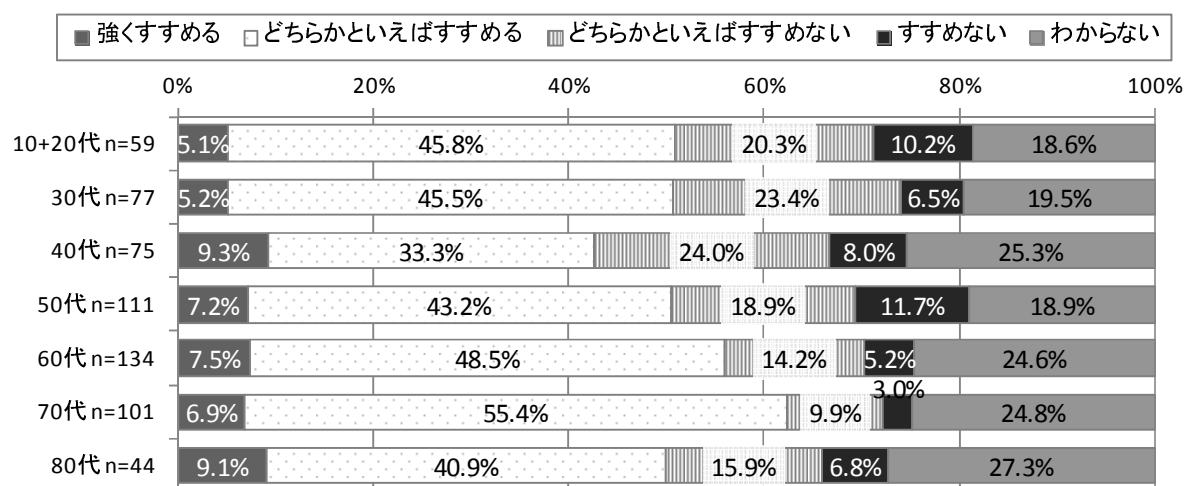
図表 64 大仙市を「住む場所」として知人にすすめるか（性別）



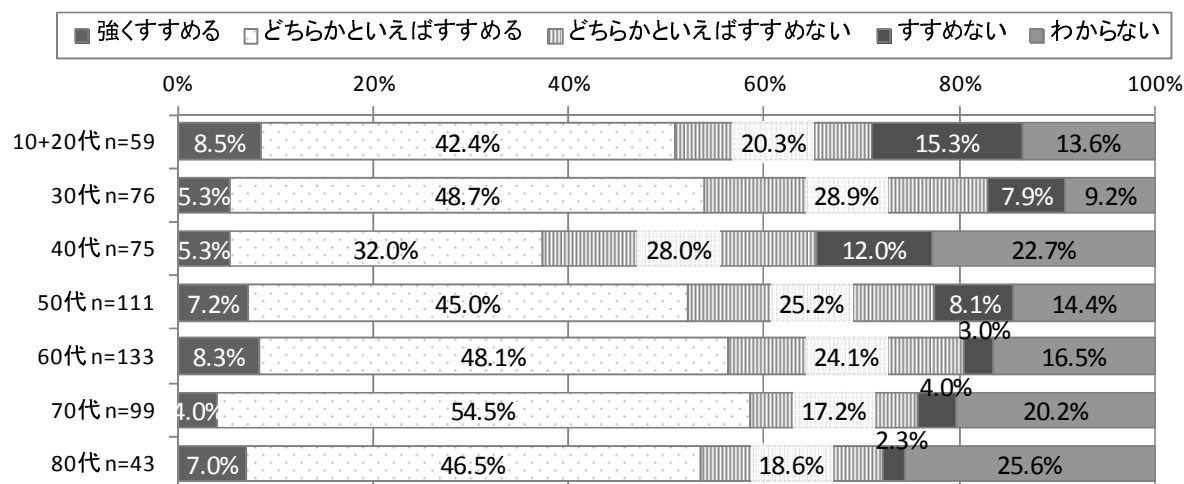
図表 65 大仙市を「訪れる場所」として知人にすすめるか（性別）



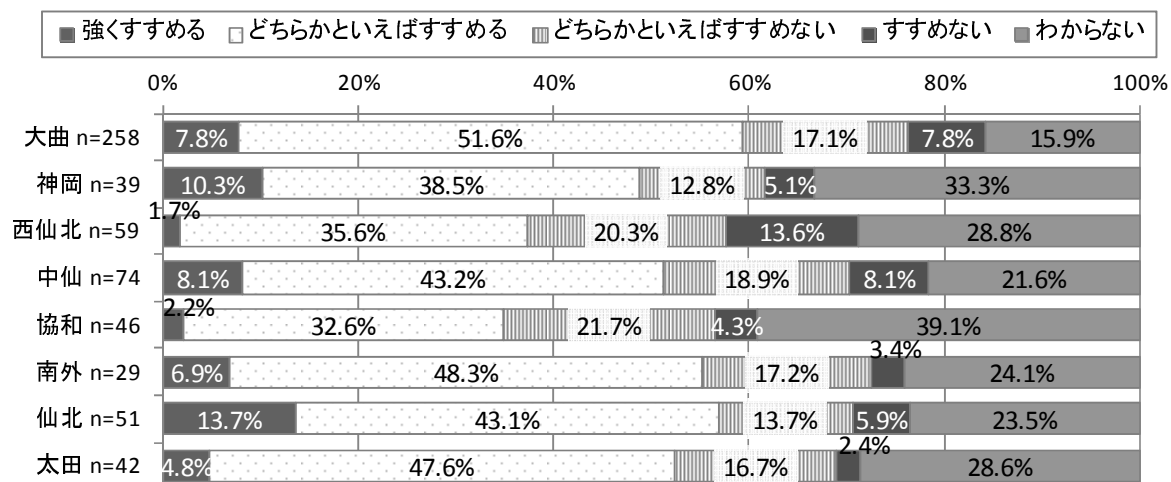
図表 66 大仙市を「住む場所」として知人にすすめるか（年代別）



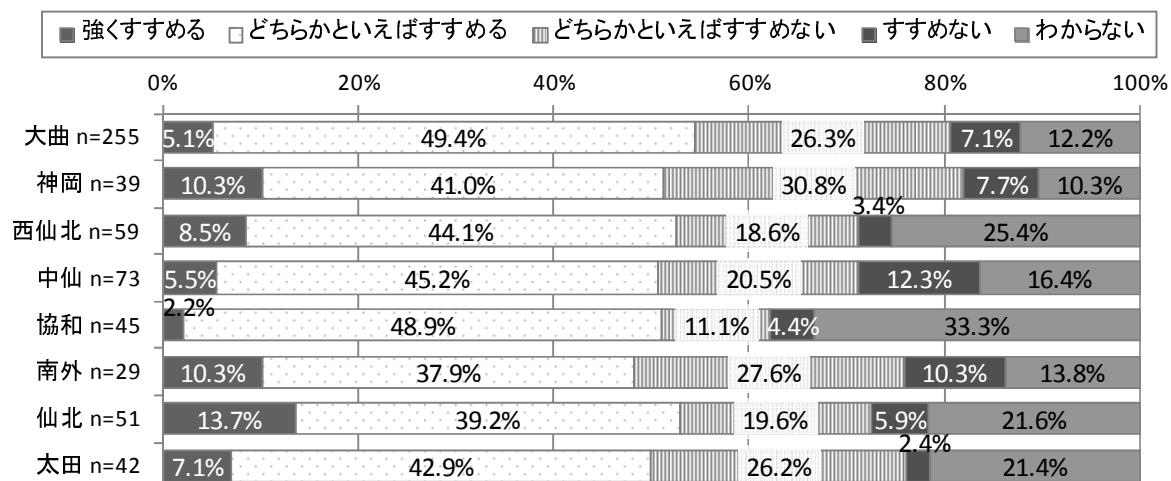
図表 67 大仙市を「訪れる場所」として知人にすすめるか（年代別）



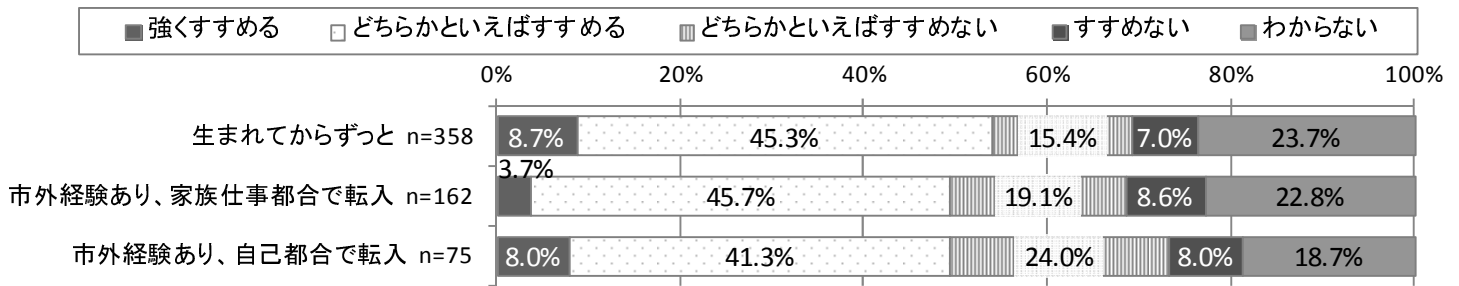
図表 68 大仙市を「住む場所」として知人にすすめるか（地域別）



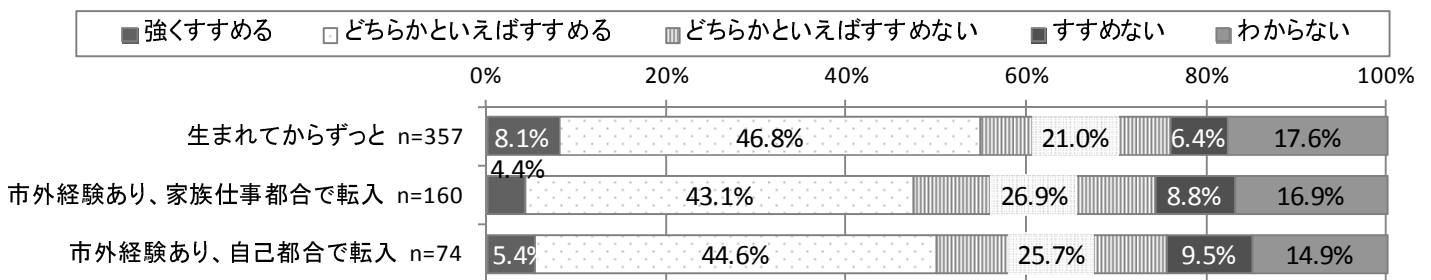
図表 69 大仙市を「訪れる場所」として知人にすすめるか（地域別）



図表 70 大仙市を「住む場所」として知人にすすめるか（住んでいる経緯別）



図表 71 大仙市を「住む場所」として知人にすすめるか（住んでいる経緯別）



◇「住む場所」としてすすめるか、の回答を選択した理由（主なものを抜粋）

■強くすすめる

- ・ 人が良いから（20代／男性／大曲）
- ・ 大仙市は自然豊かで人たちは優しくとても良い街です。（60代／女性／中仙）
- ・ 毎月花火が上がる街、しかも自然がいっぱいの街（50代／男性／大曲）
- ・ 山と川があり新幹線を利用できる（60代／女性／大曲）
- ・ 交通アクセス、各機関が充実（40代／男性／中仙）

■どちらかといえばすすめる

- ・ スーパー、病院など生活基盤が揃っている（20代／男性／大曲）
- ・ 住みやすい（40代／女性／仙北）
- ・ 自然が豊かで交通の便もわりと良い（60代／男性／大曲）
- ・ 災害が少ない、色んな面で安全（80代／女性／大曲）
- ・ 心あたったかい人が多い（50代／女性／西仙北） など

■どちらかといえばすすめない

- ・ 給料が安いから（20代／女性／大曲）
- ・ 娯楽が少ない（30代／男性／大曲、40代／男性／大曲）
- ・ 大曲はすすめるが、少し離れると何かと不便なため（30代／女性／大曲）

- ・ 車がないと動きにくい、公園などが少ない（30代／女性／大曲）
- ・ 交通の便が悪い、店がない（70代／女性／協和）
- ・ 市民税が他よりも高い（30代／女性／大曲）
- ・ 子育て環境の充実が必要（30代／男性／西仙北）
- ・ 雪が多く、大変だから（40代／男性／太田） など

■おすすめしない

- ・ 遊ぶところがない（20代／男性／大曲）
- ・ 車がないと不便（50代／女性／協和）
- ・ 雪が多い（40代／女性／大曲）
- ・ 特にすすめる理由がない（30代／男性／西仙北）
- ・ わざわざ引っ越しをするほどの所でもない（30代／男性／中仙） など

■わからない

- ・ 近くに店がない（60代／男性／中仙）
- ・ 魅力が十分に感じられない（50代／男性／太田）
- ・ 交通の便が悪い（60代／女性／神岡）
- ・ 冬場をクリアしたらいい所（60代／男性／中仙）
- ・ よくもわるくも花火しかないから（30代／女性／大曲）
- ・ 明確にすすめられるポイントが分からない（40代／女性／大曲）
- ・ 人それぞれなので（40代／女性／大曲）
- ・ 今以外の市町村に住んだことがないので、比べられない。（60代／女性／西仙北） など

◇「訪れる場所」としてすすめるか、の回答を選択した理由（主なものを抜粋）

■強くすすめる

- ・ 花火（男性／太田）
- ・ 花火産業（20代／男性／大曲）
- ・ 花火大会は自信ありだが、それに続くものがなさ過ぎかも？（60代／男性／仙北）
- ・ 故郷を感じさせる雰囲気がある（50代／男性／大曲）

■どちらかといえばすすめる

- ・ 全国に誇れる花火がある（30代／男性／大曲）
- ・ 大曲の花火は一度見てもらいたい（30代／女性／大曲）
- ・ 祭り（30代／男性／西仙北）
- ・ 自然がいっぱい（80代／女性／西仙北）
- ・ 自然な風土と人間同士のふれあい（70代／女性／大曲） など

■どちらかといえばすすめない

- ・ 若い人にすすめて遊びに行く場所が浮かばない（10代／女性／南外）
- ・ 花火以外にオススメがない（30代／男性／大曲）
- ・ 紹介できるスポットがない（30代／女性／神岡）
- ・ 誇れるものがないから（40代／女性／中仙）
- ・ 目玉がない。角館など他市町村に行ってしまう。お土産の目玉も少なくて困る（60代／女性／大曲）
- ・ 自然豊かしくない。いい所がすぐ思いつかないから（60代／男性／西仙北） など

■すすめない

- ・ 観光地はあるがそれぞれ場所が離れていて移動しづらい（20代／女性／神岡）
- ・ 観光するものが少ないから（30代／女性／大曲）
- ・ 花火大会しかない（50代／女性／大曲）
- ・ すすめる場所がない（60代／女性／南外）
- ・ 特に有名な観光地でないから（70代／男性／中仙） など

■わからない

- ・ 知人の年齢にもよる。若い人は来ても楽しくないのでは（20代／男性／大曲）
- ・ 花火をアピールしたいが、毎日やっているわけではないから（40代／女性／大曲）
- ・ 花火のイメージが強すぎて他の特色が浮かばない（40代／男性／中仙）
- ・ とりたてて他市より優位とは思わない（50代／女性／大曲）
- ・ 大曲は新幹線が停まるが、他の場所への移動手段を考えると何とも言えない（50代／女性／中仙）
- ・ すすめて満足してもらえる自信がない（50代／男性／太田）
- ・ 温泉はあるが、オールシーズン的な観光がない。（60代／男性／中仙） など

2.6.5 社会活動・地域活動に関する設問について

ここ1年間で、仕事以外で社会活動や地域活動（自治会、PTA、環境保全、見守り活動など）に参加したか、の設問について、「参加した」と「参加していない」とでは概ね半数ずつとなっている。

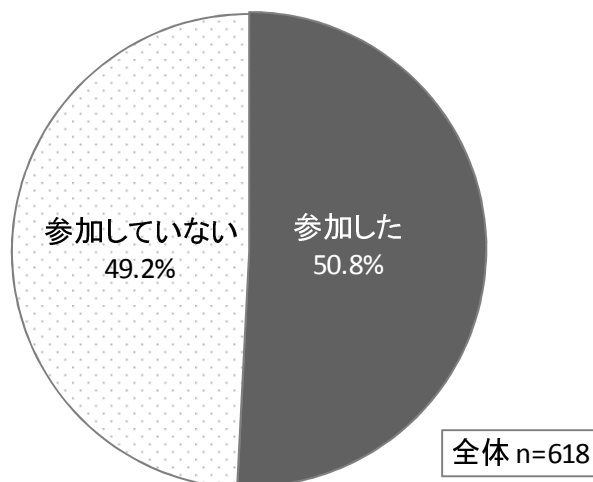
まちを良くするために活動したいと思うか、の設問について、「どちらかといえば参加したい」が53.8%と最も多く、次に「あまり参加したくない」が多く32.7%となっている。

属性別の男女の性別では、男性の方が社会活動・地域活動に参加している割合が多く、男性が59.0%、女性が44.5%となっており、14.5ポイントの差がある。「まちを良くするために活動したいと思うか」との設問に対しては、「積極的に参加したい」「どちらかと言えば参加したい」と回答している割合は男性の方が多く67.8%（「積極的に参加したい」12.2%「どちらかと言えば参加したい」55.6%）、女性の方が少なく58.3%（「積極的に参加したい」5.3%「どちらかと言えば参加したい」53.0%）となっており、9.5ポイントの差がある。

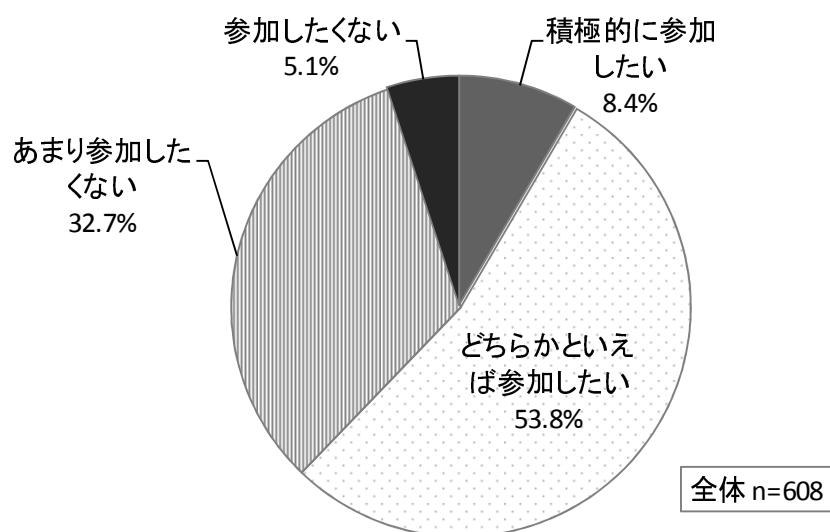
年代別では、社会活動・地域活動に「参加した」と回答している割合が最も多いのは60代で65.4%となっている。「まちを良くするために活動したいか」との設問では、「積極的に参加したい」と回答しているのは30代で最も多く13.2%となっている。

地域別では、社会活動・地域活動に「参加した」と回答している割合が最も多いのは南外地域で79.3%となっている。「まちを良くするために活動したいか」との設問では、「積極的に参加したい」と回答しているのは仙北地域で最も多く15.7%となっている。

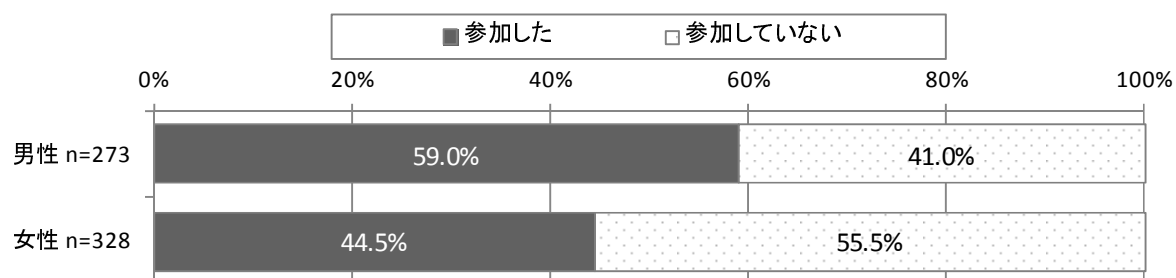
図表 72 社会活動、地域活動に参加したか



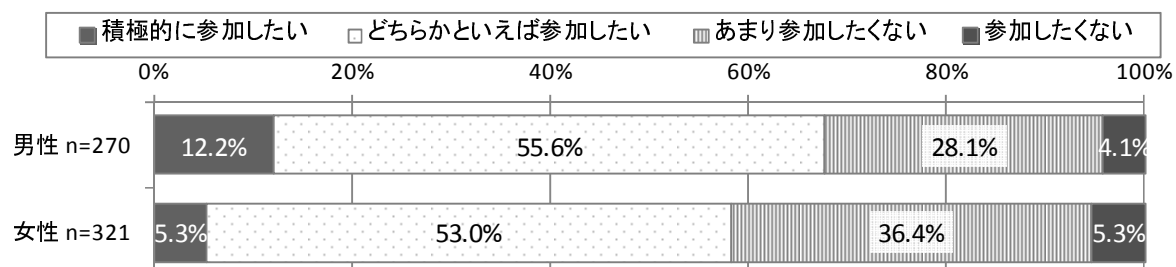
図表 73 まちを良くするために活動したいと思うか



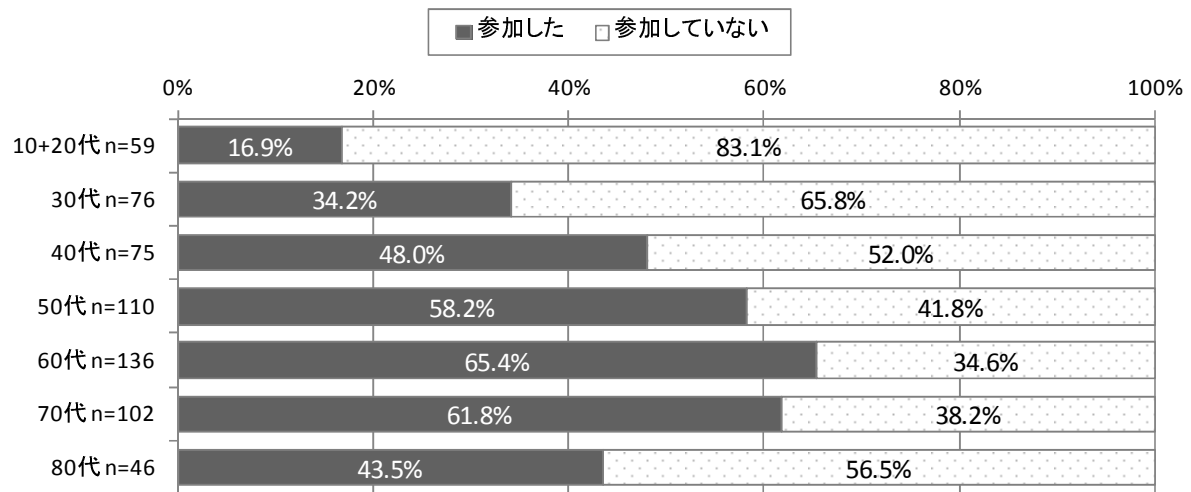
図表 74 社会活動、地域活動に参加したか（性別）



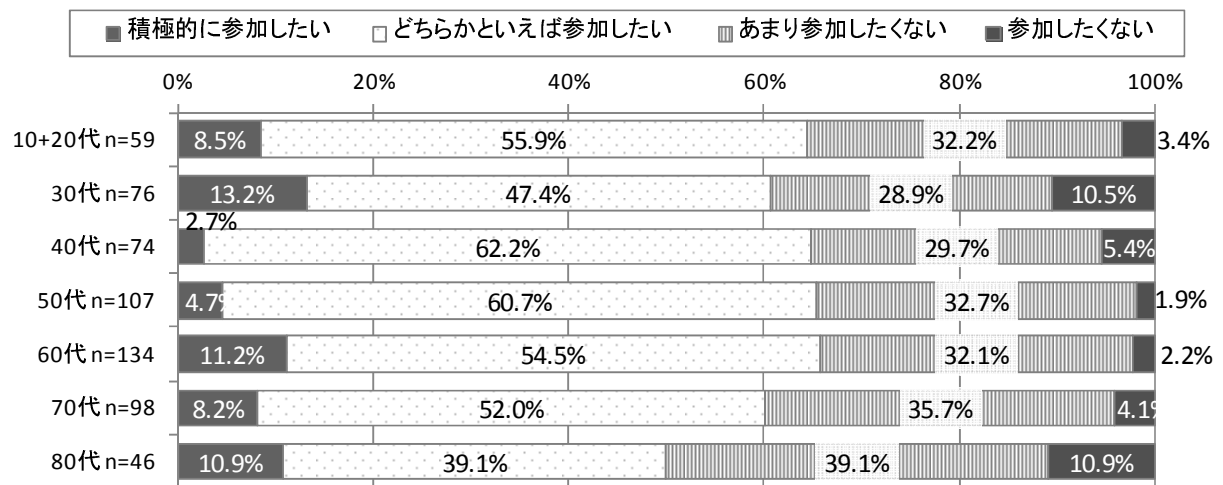
図表 75 まちを良くするために活動したいと思うか（性別）



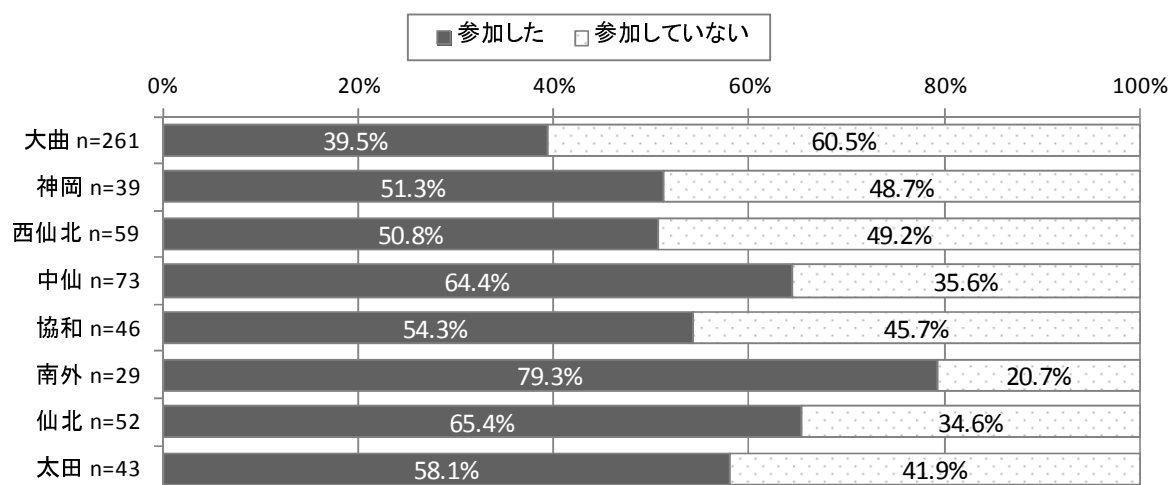
図表 76 社会活動、地域活動に参加したか（年代別）



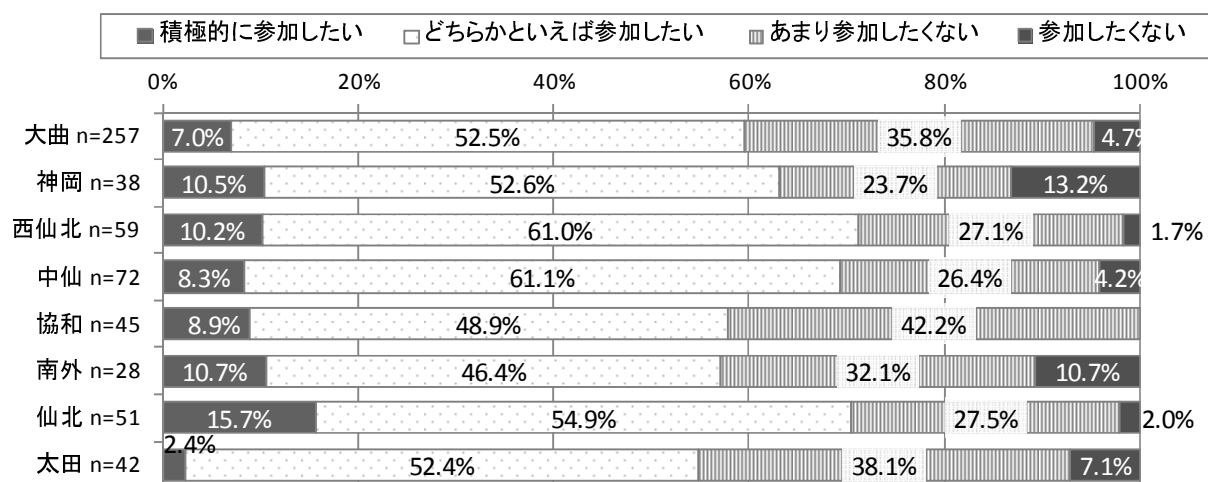
図表 77 まちを良くするために活動したいと思うか（年代別）



図表 78 社会活動、地域活動に参加したか（地域別）



図表 79 まちを良くするために活動したいと思うか（地域別）

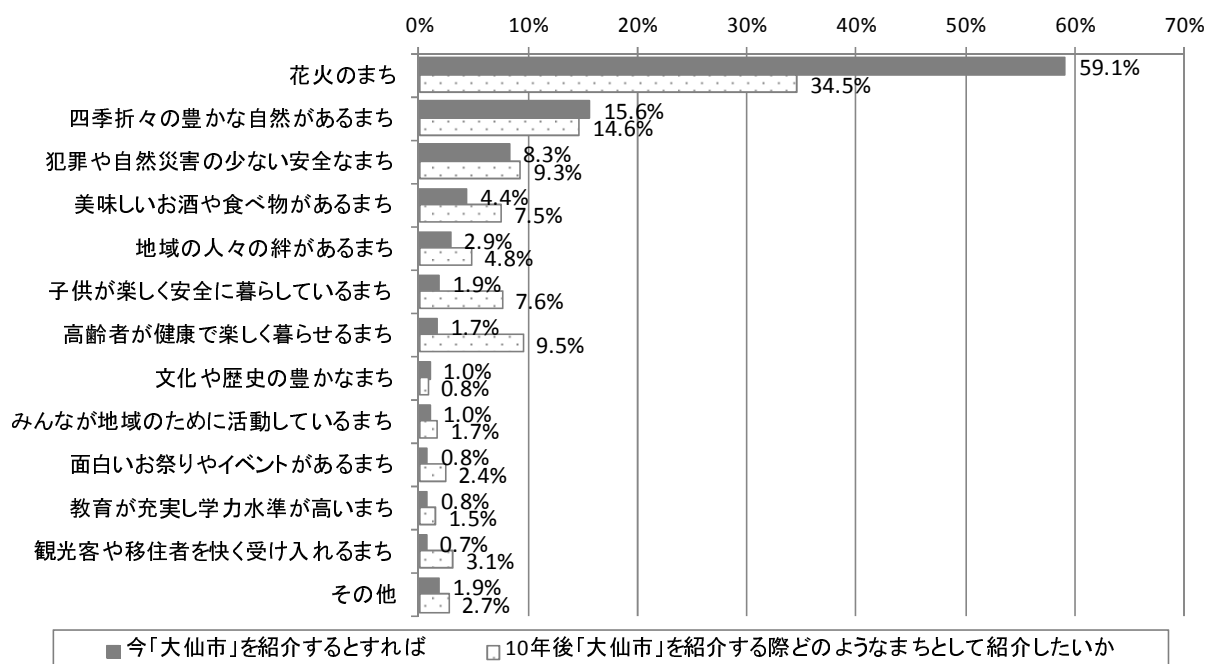


2.6.6 現在・未来のまちの姿に関する設問について

今現在、「大仙市」を知人へ紹介する場合に、どのようなまちとして紹介するか、また、10年後に知人へ「大仙市」を紹介する場合、どのようなまちとして紹介していきたいか（選択はいずれか一つ）、という設問について、いずれも「花火のまち」が最も多かった。

「今どのように紹介するか」と「10年後に紹介する場合、どのようなまちとして紹介していきたいか」の割合で、「今」と「10年後」で比較して10年後の方が高くなる割合の差が最も大きかったのは、「高齢者が健康で楽しく暮らせるまち」となっており、7.8ポイントの差、次に差が大きかったのは、「子供が楽しく安全に暮らしているまち」で、5.7ポイントの差となっている。

図表 80 「大仙市」を知人へどのように紹介するか



【設問「今『大仙市』大仙市を紹介するとすれば」 その他回答 （主なものを抜粋）】

- ・ 静かで穏やか（60代／女性／西仙北）
- ・ 花火以外何もないまち（50代／女性／神岡）
- ・ 交通の便（70代／男性／大曲） など

【設問「10年後『大仙市』大仙市を紹介するとすれば」 その他回答 （主なものを抜粋）】

- ・ 花火・子育てのまち（30代／男性／西仙北）
- ・ 上・下水道がない街（20代／女性／大曲）
- ・ 自然と最先端技術が融合した街（50代／男性／西仙北）
- ・ 交通の便が良い（70代／男性／大曲）
- ・ スポーツが盛んなまち（30代／男性／大曲）
- ・ 医療・教育の充実のまち（60代／男性／大曲） など

2.7 経年比較

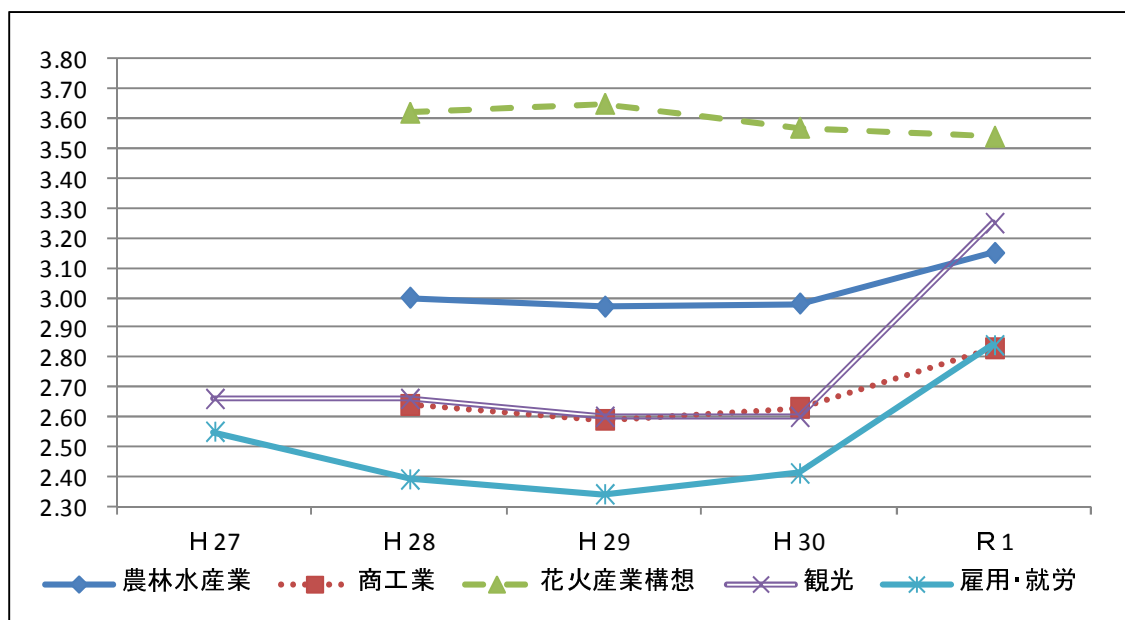
平成27年度から令和元年度までの過去5年間ににおける満足度、重要度及び要望度についての推移と、平成28年度から調査を行っている本市の住みやすさについての3年間の推移をまとめた。

なお、満足度、重要度については、平成27年までは大仙市総合計画基本計画、平成28年からは第2次大仙市総合計画基本構想に基づいた設問項目での調査となっているため、経年比較できない項目については「―」で示してある。

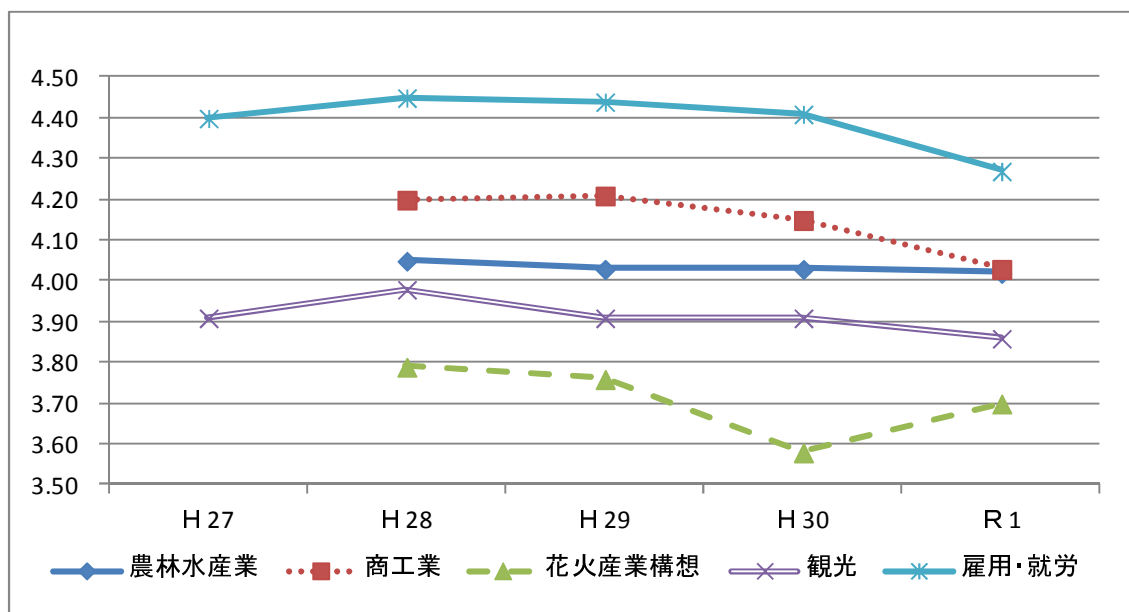
I 魅力ある産業のまちを創ります！～産業振興・雇用など～

満足度については、全体の項目で大幅に増加した一方で、「花火産業構想」は横ばい傾向であった。重要度及び要望度は、「花火産業構想」以外は減少傾向で推移している。

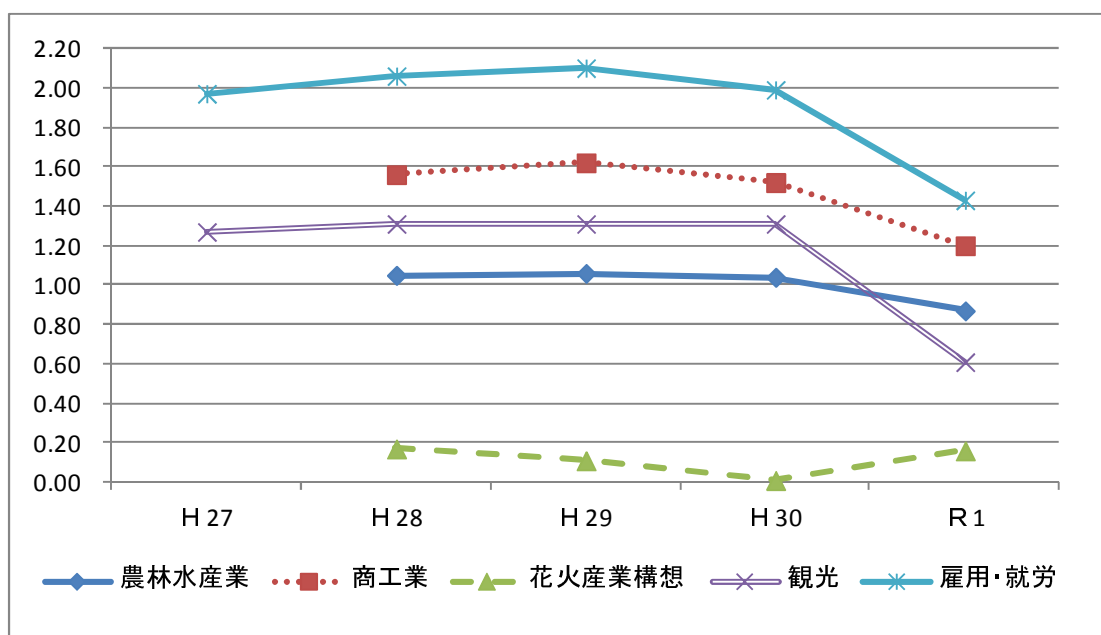
満足度	H27	H28	H29	H30	R1
農林水産業	―	3.00	2.97	2.98	3.15
商工業	―	2.64	2.59	2.63	2.83
花火産業構想	―	3.62	3.65	3.57	3.54
観光	2.66	2.66	2.60	2.60	3.25
雇用・就労	2.55	2.39	2.34	2.41	2.84



重要度	H27	H28	H29	H30	R1
農林水産業	—	4.05	4.03	4.03	4.02
商工業	—	4.20	4.21	4.15	4.03
花火産業構想	—	3.79	3.76	3.58	3.70
観光	3.91	3.98	3.91	3.91	3.86
雇用・就労	4.40	4.45	4.44	4.41	4.27



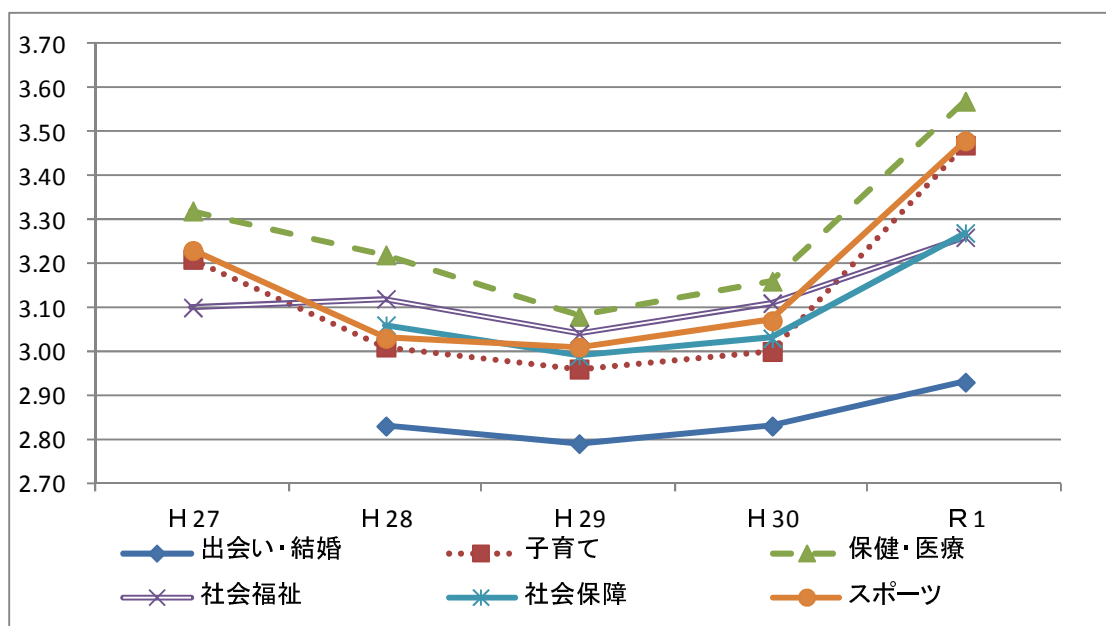
要望度	H27	H28	H29	H30	R1
農林水産業	—	1.05	1.06	1.04	0.87
商工業	—	1.56	1.62	1.52	1.20
花火産業構想	—	0.17	0.11	0.01	0.16
観光	1.27	1.31	1.31	1.31	0.61
雇用・就労	1.97	2.06	2.10	1.99	1.43



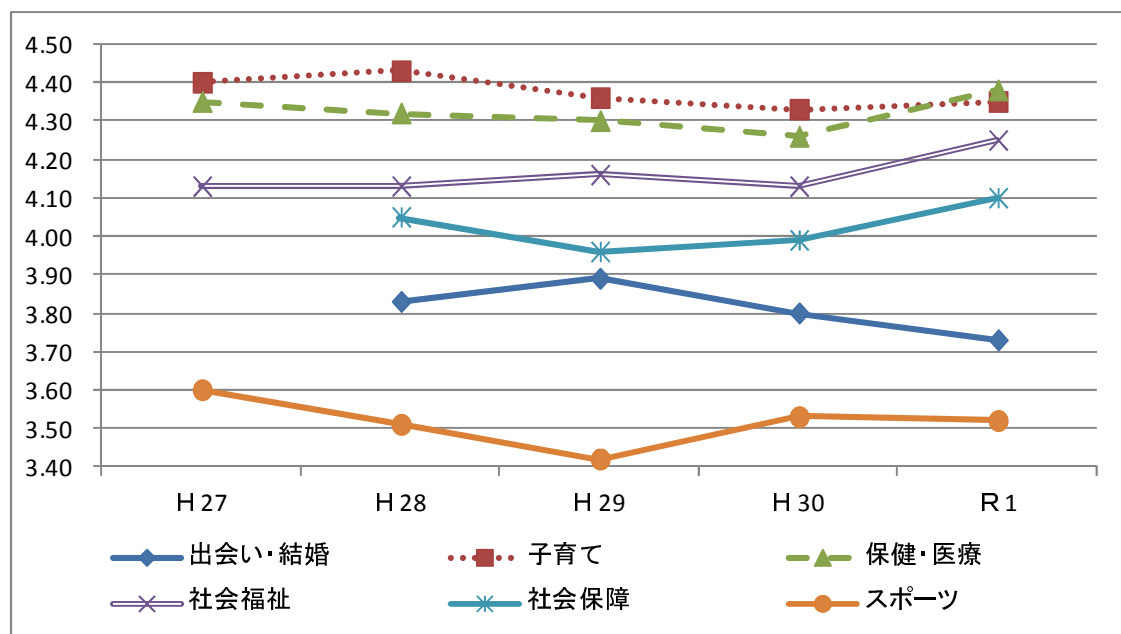
Ⅱ みんなの元気を応援します！～出会い・結婚・子育て、健康・福祉など～

昨年度までは、満足度が大幅な減少傾向で推移していたが、今年度は全項目において増加している。同じテーマの柱の中で、「出会い・結婚」の満足度が低い。重要度及び要望度については、「スポーツ」が他の項目に比べて低く推移している。全体の満足度が増加したことにより、要望度が大きく減少している。

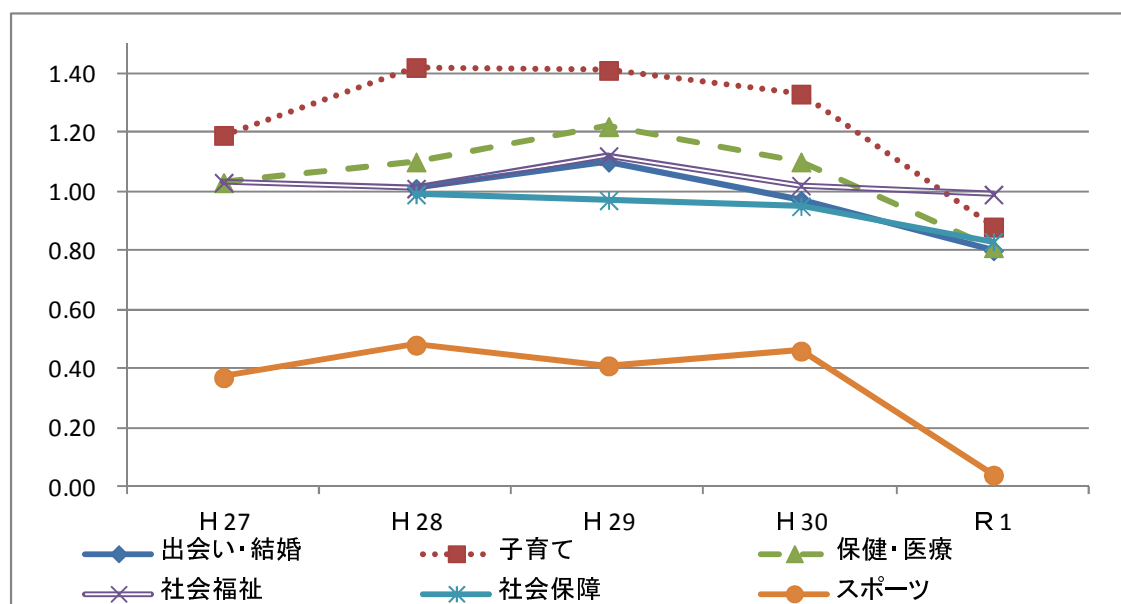
満足度	H27	H28	H29	H30	R1
出会い・結婚	—	2.83	2.79	2.83	2.93
子育て	3.21	3.01	2.96	3.00	3.47
保健・医療	3.32	3.22	3.08	3.16	3.57
社会福祉	3.10	3.12	3.04	3.11	3.26
社会保障	—	3.06	2.99	3.03	3.27
スポーツ	3.23	3.03	3.01	3.07	3.48



重要度	H27	H28	H29	H30	R1
出会い・結婚	—	3.83	3.89	3.80	3.73
子育て	4.40	4.43	4.36	4.33	4.35
保健・医療	4.35	4.32	4.30	4.26	4.38
社会福祉	4.13	4.13	4.16	4.13	4.25
社会保障	—	4.05	3.96	3.99	4.10
スポーツ	3.60	3.51	3.42	3.53	3.52



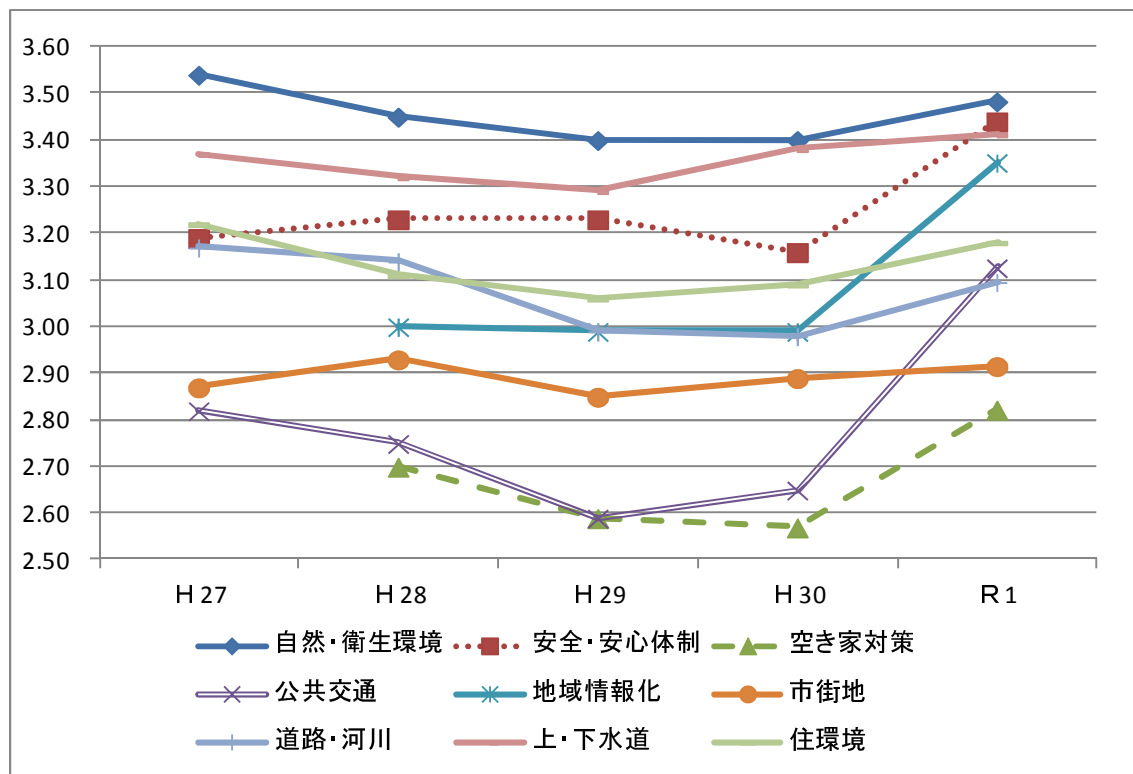
要望度	H27	H28	H29	H30	R1
出会い・結婚	—	1.01	1.10	0.97	0.80
子育て	1.19	1.42	1.41	1.33	0.88
保健・医療	1.03	1.10	1.22	1.10	0.81
社会福祉	1.03	1.01	1.12	1.02	0.99
社会保障	—	0.99	0.97	0.95	0.83
スポーツ	0.37	0.48	0.41	0.46	0.04



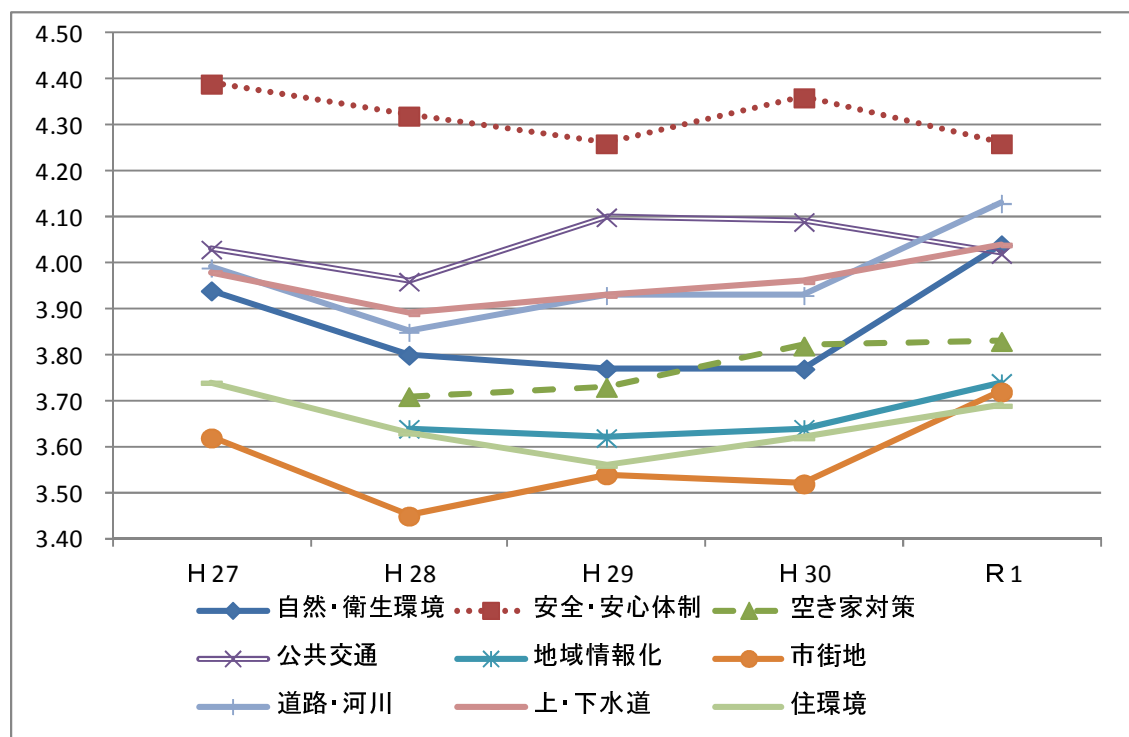
Ⅲ 住みよいまちを築きます！～安全・安心、都市整備など～

すべての項目において満足度が昨年度から増加し、重要度は「安全・安心体制」「公共交通」以外でわずかに増加している。要望度は、満足度で大きく増加し、重要度で減少した「公共交通」が大きく減少している。

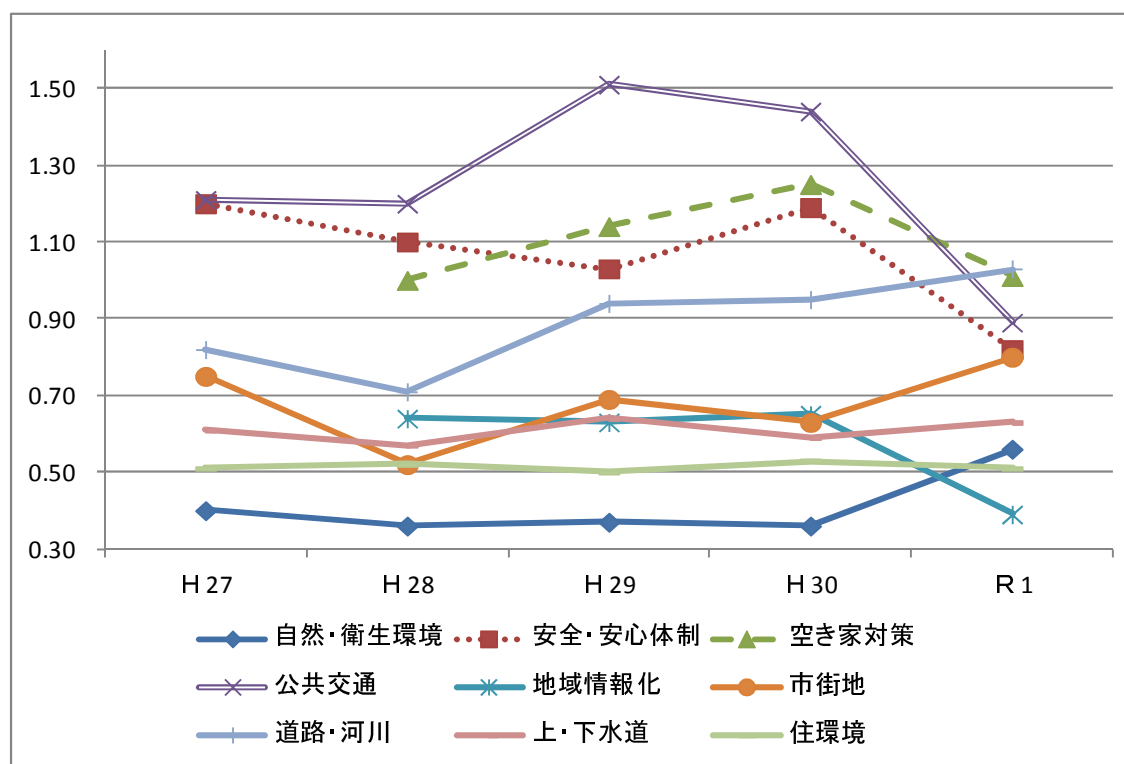
満足度	H27	H28	H29	H30	R1
自然・衛生環境	3.54	3.45	3.40	3.40	3.48
安全・安心体制	3.19	3.23	3.23	3.16	3.44
空き家対策	—	2.70	2.59	2.57	2.82
公共交通	2.82	2.75	2.59	2.65	3.13
地域情報化	—	3.00	2.99	2.99	3.35
市街地	2.87	2.93	2.85	2.89	2.92
道路・河川	3.17	3.14	2.99	2.98	3.10
上・下水道	3.37	3.32	3.29	3.38	3.41
住環境	3.22	3.11	3.06	3.09	3.18



重要度	H27	H28	H29	H30	R1
自然・衛生環境	3.94	3.80	3.77	3.77	4.04
安全・安心体制	4.39	4.32	4.26	4.36	4.26
空き家対策	—	3.71	3.73	3.82	3.83
公共交通	4.03	3.96	4.10	4.09	4.02
地域情報化	—	3.64	3.62	3.64	3.74
市街地	3.62	3.45	3.54	3.52	3.72
道路・河川	3.99	3.85	3.93	3.93	4.13
上・下水道	3.98	3.89	3.93	3.96	4.04
住環境	3.74	3.63	3.56	3.62	3.69



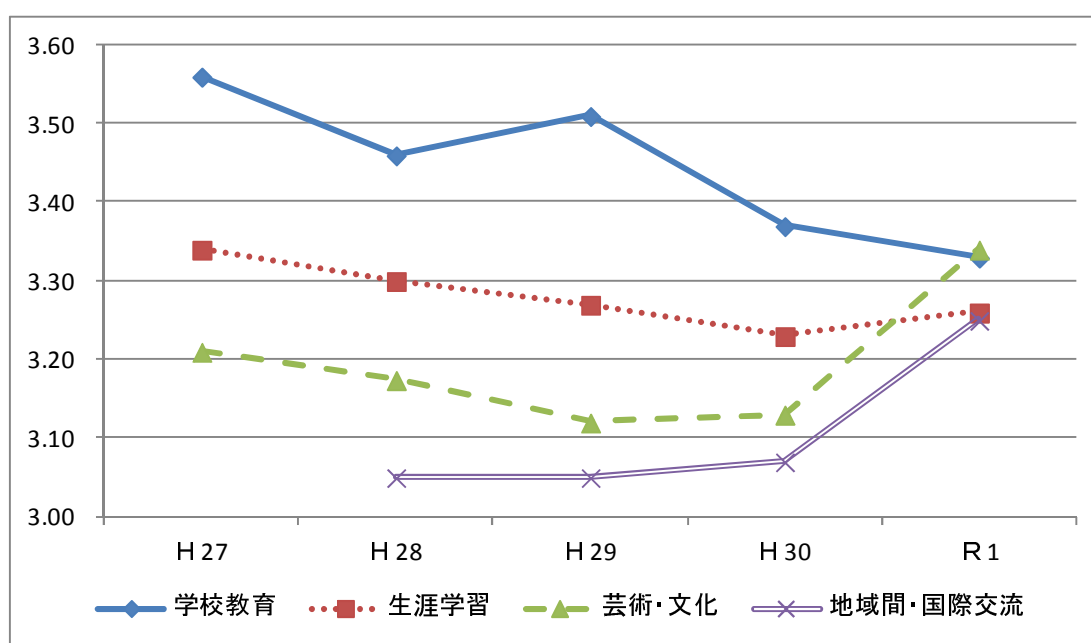
要望度	H27	H28	H29	H30	R1
自然・衛生環境	0.40	0.36	0.37	0.36	0.56
安全・安心体制	1.20	1.10	1.03	1.19	0.82
空き家対策	—	1.00	1.14	1.25	1.01
公共交通	1.21	1.20	1.51	1.44	0.89
地域情報化	—	0.64	0.63	0.65	0.39
市街地	0.75	0.52	0.69	0.63	0.80
道路・河川	0.82	0.71	0.94	0.95	1.03
上・下水道	0.61	0.57	0.64	0.59	0.63
住環境	0.51	0.52	0.50	0.53	0.51



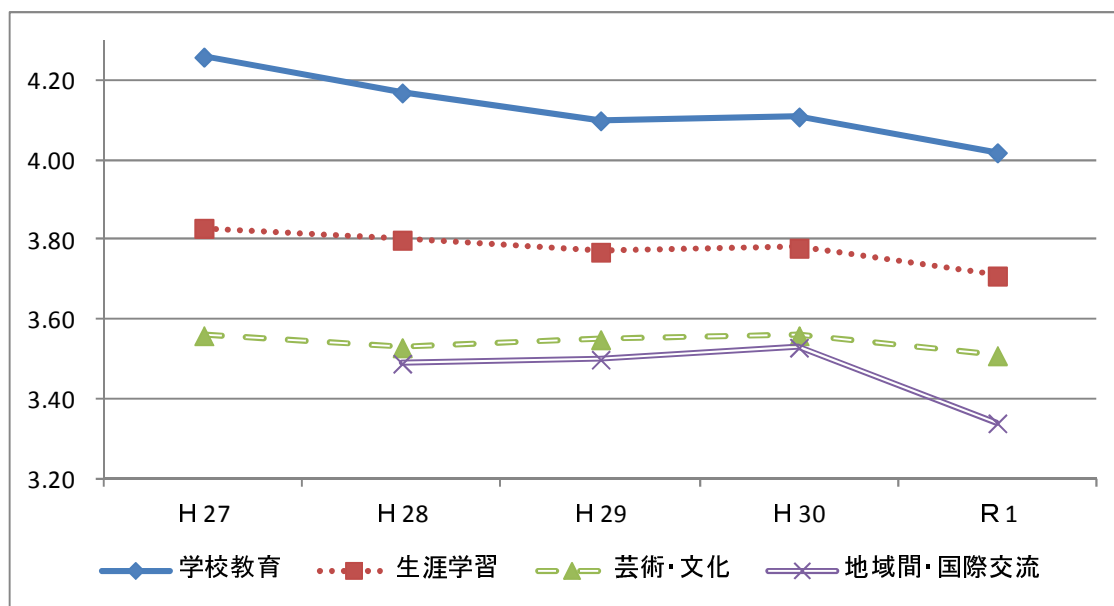
Ⅳ 豊かな心と創造力を育みます！～教育、生涯学習、芸術・文化など～

「学校教育」以外は満足度が大幅に増加した。重要度は全体的に微減傾向で推移している。
要望度は、全体的に満足度の減少に伴い大幅に増加している。

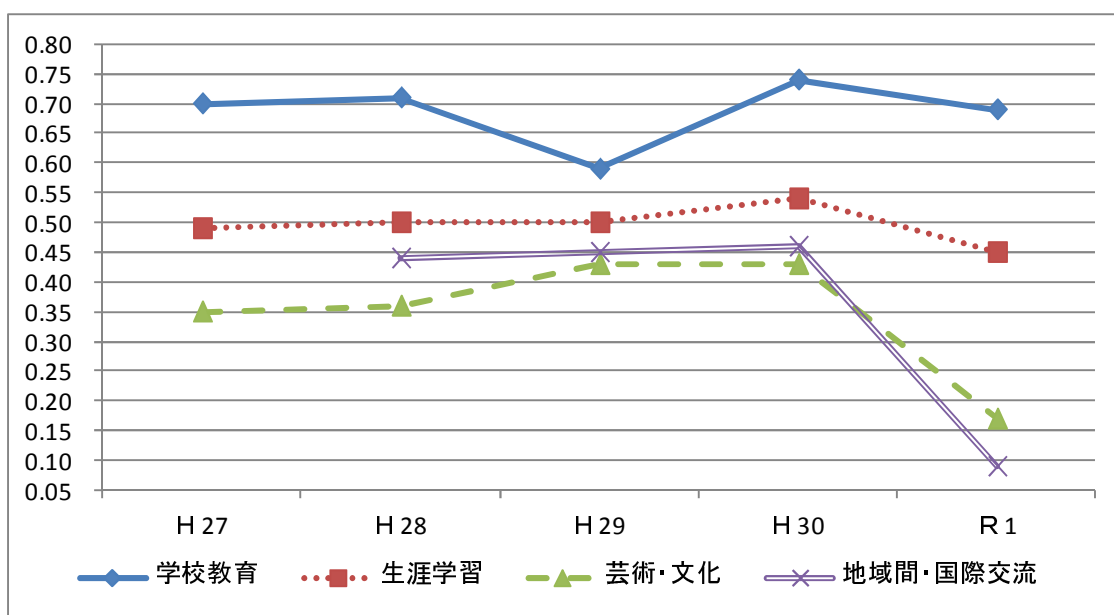
満足度	H27	H28	H29	H30	R1
学校教育	3.56	3.46	3.51	3.37	3.33
生涯学習	3.34	3.30	3.27	3.23	3.26
芸術・文化	3.21	3.17	3.12	3.13	3.34
地域間・国際交流	—	3.05	3.05	3.07	3.25



重要度	H27	H28	H29	H30	R1
学校教育	4.26	4.17	4.10	4.11	4.02
生涯学習	3.83	3.80	3.77	3.78	3.71
芸術・文化	3.56	3.53	3.55	3.56	3.51
地域間・国際交流	—	3.49	3.50	3.53	3.34



要望度	H27	H28	H29	H30	R1
学校教育	0.70	0.71	0.59	0.74	0.69
生涯学習	0.49	0.50	0.50	0.54	0.45
芸術・文化	0.35	0.36	0.43	0.43	0.17
地域間・国際交流	—	0.44	0.45	0.46	0.09

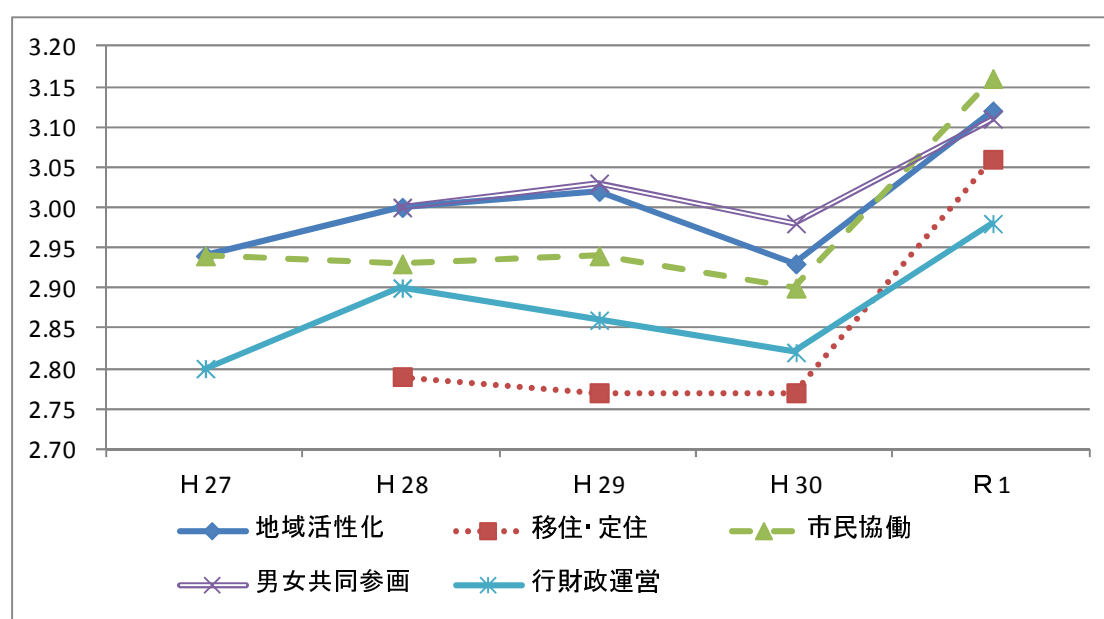


V 時代に合った地域を創ります！

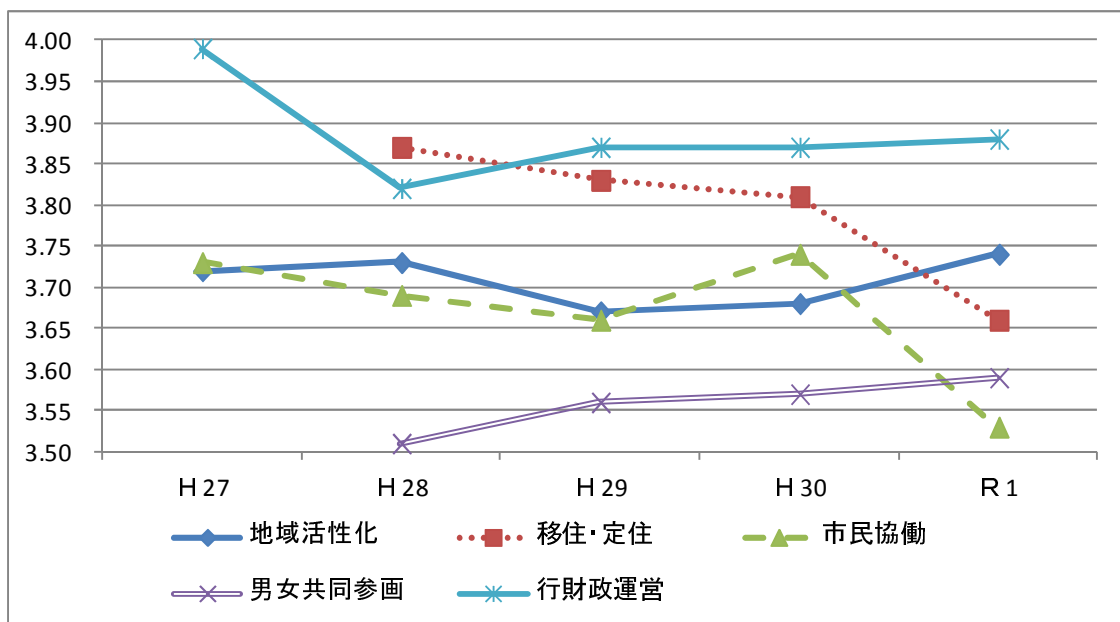
～地域社会の維持・活性化、市民との協働、行財政運営など～

満足度は全体的に大幅に増加している。要望度は全体的に減少しているが、「移住・定住」「市民協働」の重要度が他の項目と比較して大きく減少したことに伴い、要望も大幅に減少している。

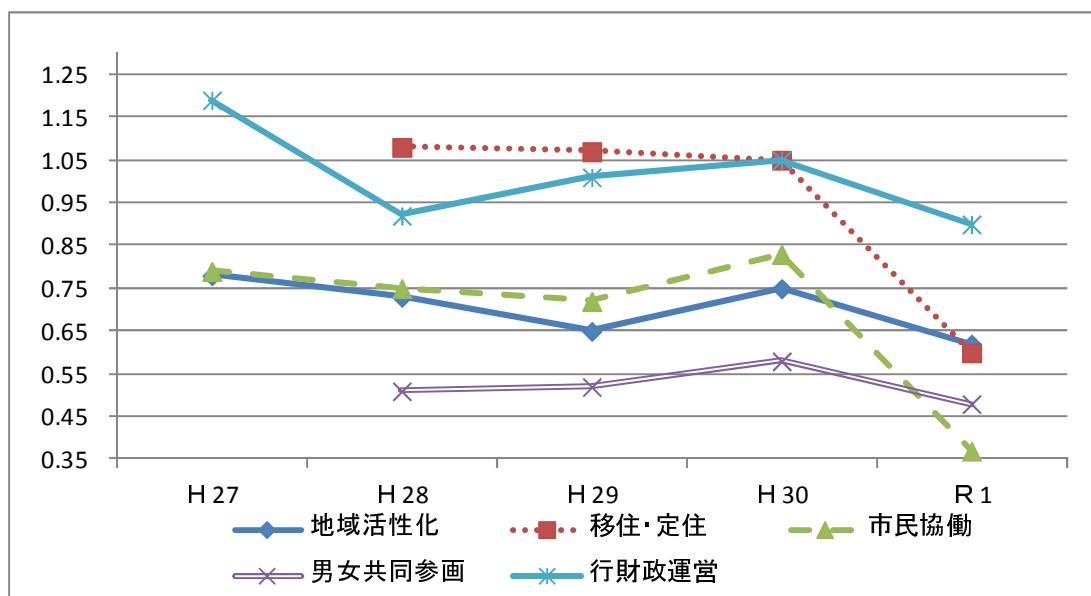
満足度	H27	H28	H29	H30	R1
地域活性化	2.94	3.00	3.02	2.93	3.12
移住・定住	—	2.79	2.77	2.77	3.06
市民協働	2.94	2.93	2.94	2.90	3.16
男女共同参画	—	3.00	3.03	2.98	3.11
行財政運営	2.80	2.90	3.03	2.98	2.98



重要度	H27	H28	H29	H30	R1
地域活性化	3.72	3.73	3.67	3.68	3.74
移住・定住	—	3.87	3.83	3.81	3.66
市民協働	3.73	3.69	3.66	3.74	3.53
男女共同参画	—	3.51	3.56	3.57	3.59
行財政運営	3.99	3.82	3.87	3.87	3.88



要望度	H27	H28	H29	H30	R1
地域活性化	0.78	0.73	0.65	0.75	0.62
移住・定住	—	1.08	1.07	1.05	0.60
市民協働	0.79	0.75	0.72	0.83	0.37
男女共同参画	—	0.51	0.52	0.58	0.48
行財政運営	1.19	0.92	1.01	1.05	0.90



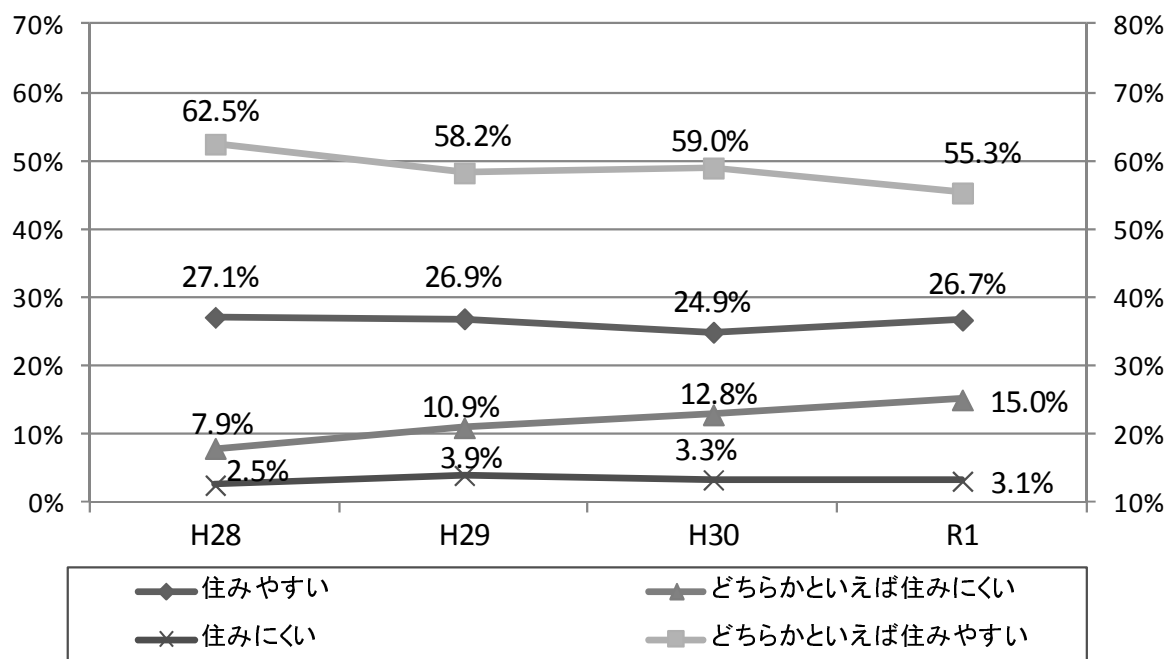
大仙市の住みやすさについて

「大仙市に住みやすいか」について

「どちらかといえば住みやすい」は下降傾向で推移、「どちらかといえば住みにくい」は上昇傾向で推移している。

大仙市は住みやすいか	H28	H29	H30	R1
住みやすい	27.1%	26.9%	24.9%	26.7%
どちらかといえば住みやすい	62.5%	58.2%	59.0%	55.3%
どちらかといえば住みにくい	7.9%	10.9%	12.8%	15.0%
住みにくい	2.5%	3.9%	3.3%	3.1%

※経年比較のため、H28,H29 調査における割合は無回答を省いた数で求め直した

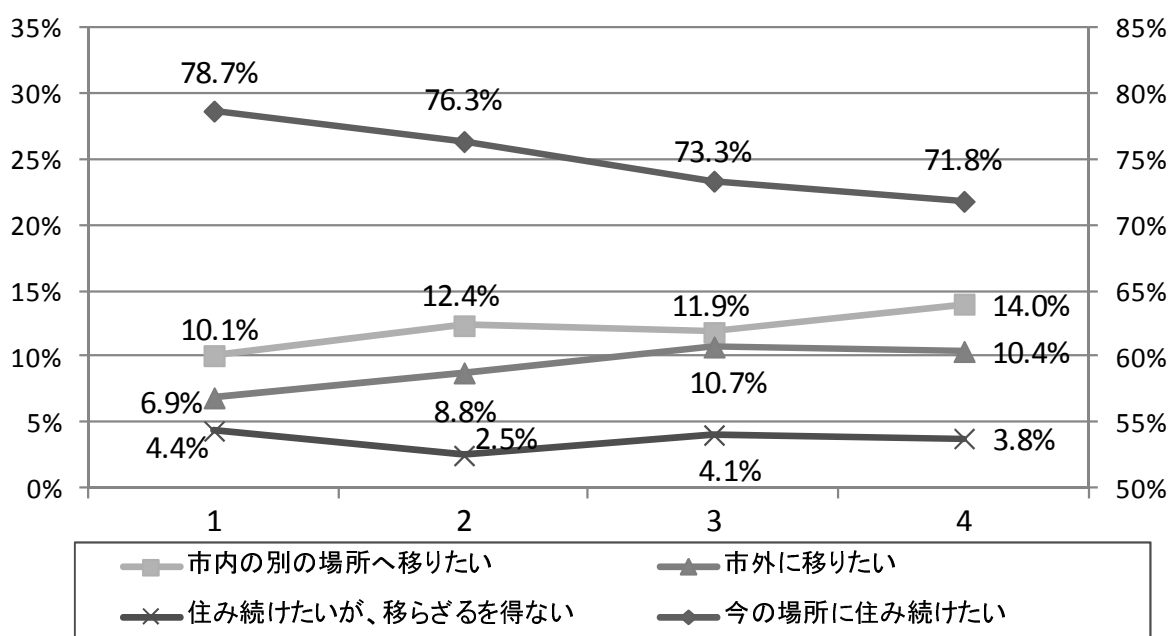


「大仙市に住み続けたいか」について

「今の場所に住み続けたい」は下降傾向、「市内の他の場所へ移りたい」、「市外に移りたい」は上昇傾向で推移している。

大仙市に住み続けたいか	H28	H29	H30	R1
今の場所に住み続けたい	78.7%	76.3%	73.3%	71.8%
市内の別の場所へ移りたい	10.1%	12.4%	11.9%	14.0%
市外に移りたい	6.9%	8.8%	10.7%	10.4%
住み続けたいが、移らざるを得ない	4.4%	2.5%	4.1%	3.8%

※経年比較のため、H28,H29 調査における割合は無回答を省いた数で求め直した



3 市民による個別事業評価

3 市民による個別事業評価

3.1 市民全体を調査対象とした個別事業評価

調査対象を市民全体（年代・性別を問わない）とした個別事業評価については、「2 市民による市政評価」の調査票に合冊し、併せて実施した。

従って、調査対象、回答率、回答者の属性については、市民による市政評価の結果と同じ（p 4・5を参照）になっている。

3.1.1 食品ロス（フードロス）の削減対策について

（市民部生活環境課）

- ◆ 調査目的： 食品ロスの削減について、国の対策に加えて市でも環境保全や経済損失、廃棄物削減の観点から啓発活動に取り組んでいる。本調査で、市民の皆さんの「食品ロスに対する意識を伺い、今後、市で行う食品ロス対策啓発活動を効果的に行うための参考とする。

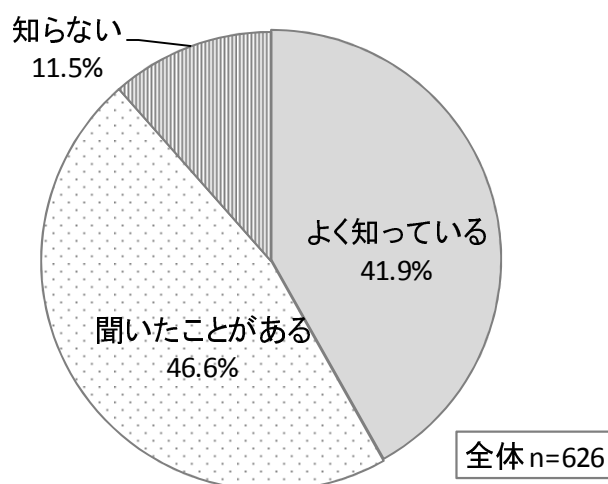
【問1】「食品ロス」という言葉を知っていましたか。

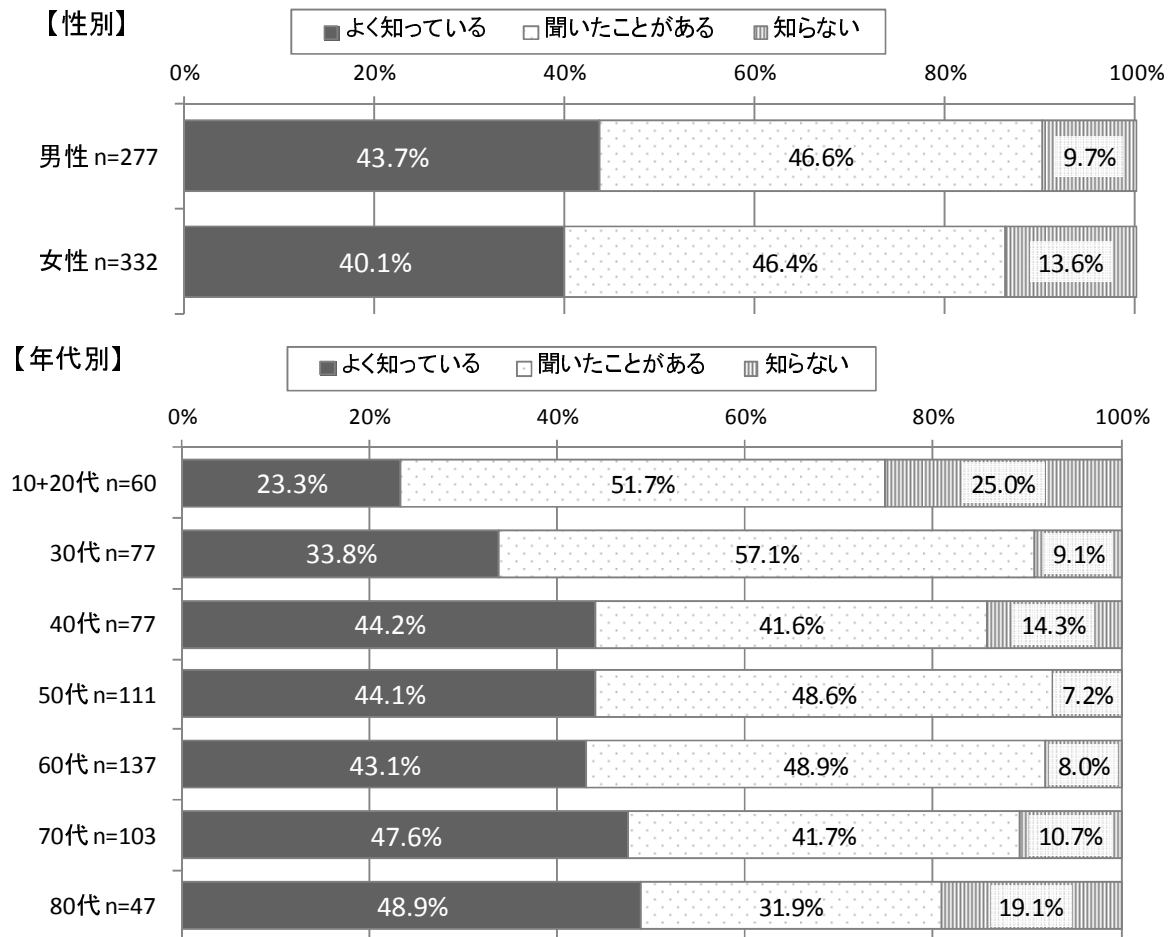
○全体では、「聞いたことがある」と回答した方が最も多く 46.6%、「よく知っている」と回答した方が次に多く 41.9%、「知らない」と回答した方は 11.5%となっており、「聞いたことがある」を含めると「食品ロス」を知っている方は 88.5%と 9 割に近い。

○性別で見ると、「よく知っている」と回答した方の割合は男性の方が女性より多く、「知らない」と回答した方の割合は女性の方が男性より多い。

○年代別で見ると、「よく知っている」と回答した割合は年代が上がる毎に大きくなっている。「知らない」と回答した割合は、10 代、20 代を足した年代が最も多く 25.0%、80 代が次に多く 19.1%となっている。

【全体】

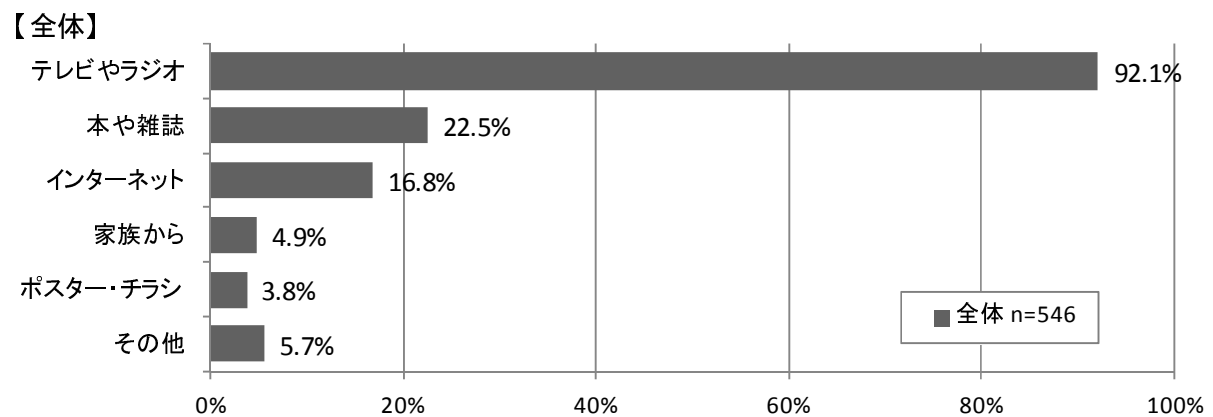




【問2】「食品ロス」という言葉をどこで見たり聞いたりしましたか。（複数回答可）

（問1で「よく知っている」「聞いたことがある」と回答した方）

○全体では「テレビやラジオ」が最も多く 92.1%で、次に多いのは「本や雑誌」が 22.5%となっており、「テレビやラジオ」から見聞きしている方が突出して多い。



■その他回答

仕事上・職場 13名(2.4%)、新聞 8人(1.5%)、学校 3人(0.5%)、講演会 2人(0.4%)、スーパー／商店 2人(0.4%)

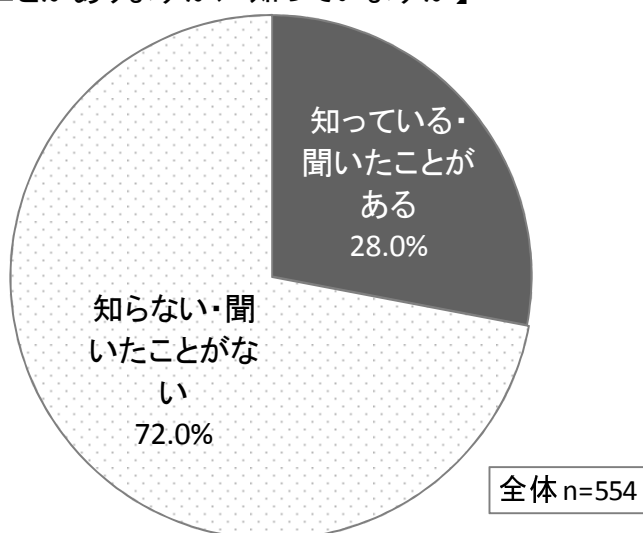
【問3】 次の言葉を、聞いたことがあったり（知っていたり）、心がけたりしていますか。

■ 3010運動

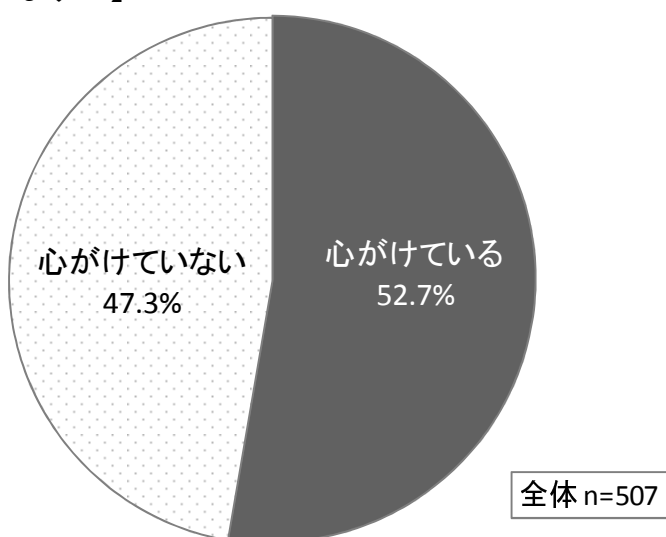
宴会等での食べ残しを削減するため、開始後30分間と解散前10分間は自席を離れず料理を楽しむことを呼びかける運動

- 「聞いたことがあったり知っていたりするか」、という問いでは、全体では「知らない・聞いたことがない」と回答した方が多く72.0%で、「知っている・聞いたことがある」と回答した方は28.0%となっている。
- 「心がけているか」、という問いでは、全体では「心がけている」と回答した方が多く52.7%、「心がけていない」と回答した方は47.3%となっている。

【聞いたことがありますか／知っていますか】



【心がけていますか】

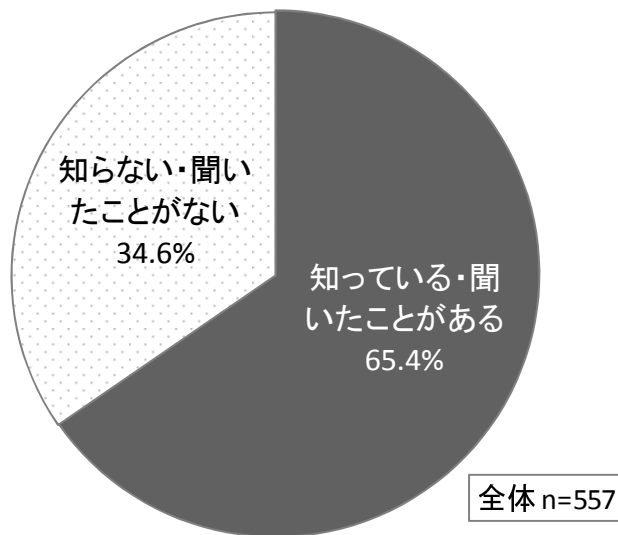


■エコクッキング

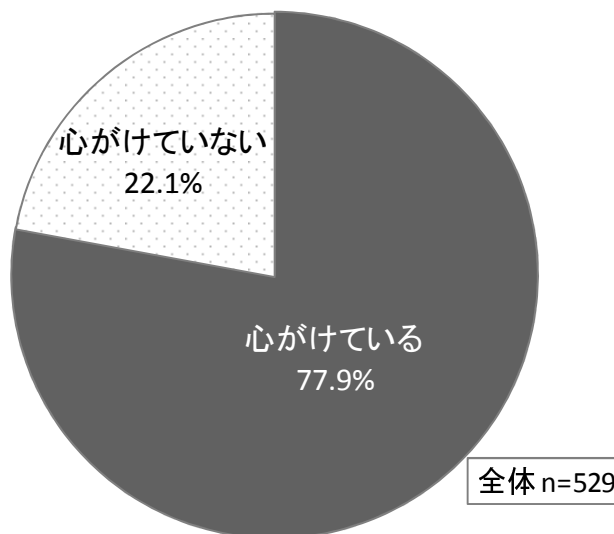
地球環境を考慮して、食材を買いすぎない、作りすぎない、捨てないなど、買い物、調理、片付けなどを行うこと。

- 「聞いたことがあったり知っていたりするか」、という問いでは、全体では「知っている・聞いたことがある」と回答した方の方が多く 65.4%で、「知らない・聞いたことがない」と回答した方は 34.6%となっている。
- 「心がけているか」、という問いでは、全体では「心がけている」と回答した方の方が多く 77.9%、「心がけていない」と回答した方は 22.1%となっている。

【聞いたことがありますか／知っていますか】



【心がけていますか】



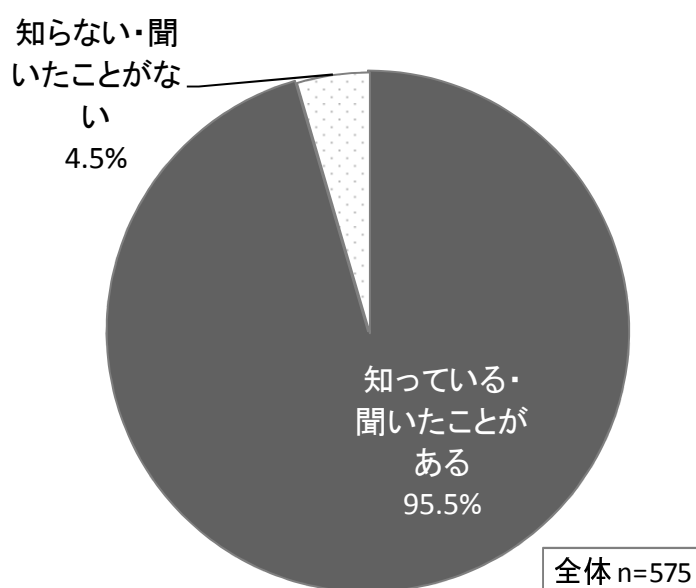
■賞味期限と消費期限

「賞味期限」：おいしく食べることのできる期限

「消費期限」：安全に食べることのできる期限

- 「聞いたことがあったり知っていたりするか」、という問いでは、全体では「知っている・聞いたことがある」と回答した方が多く 95.5%で、「知らない・聞いたことがない」と回答した方は 4.5%となっている。

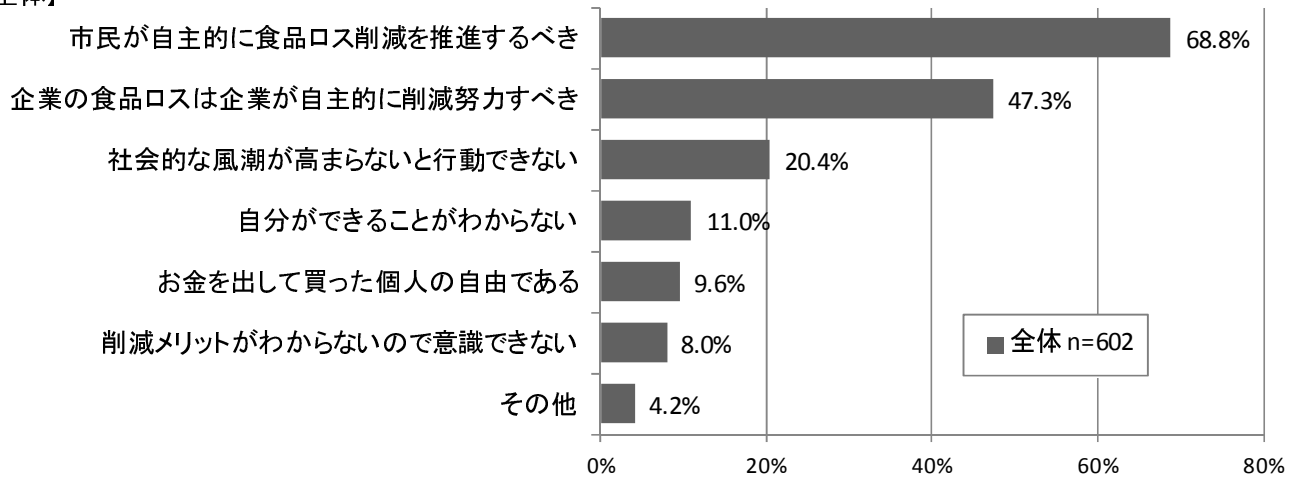
【聞いたことがありますか／知っていますか】



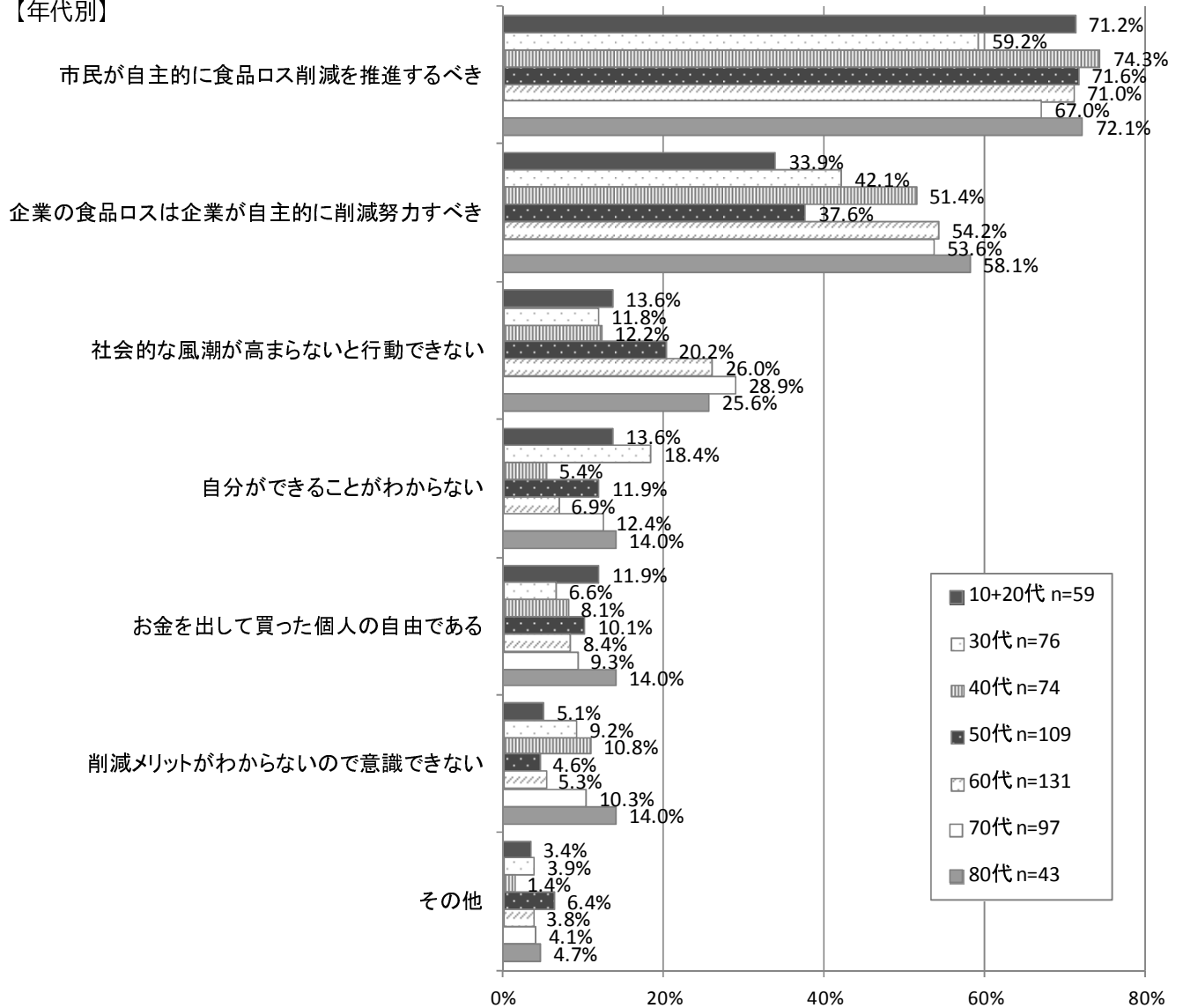
【問4】「食品ロス」について、どう思われますか。（複数回答可）

- 「市民が自主的に食品ロス削減を推進すべき」と回答した方が最も多く 68.8%、次に多かったのは「企業の食品ロスは企業が自主的に削減努力すべき」と回答した方が 47.3%となっている。
- 年代別に見てみると、いずれの年代も「市民が自主的に食品ロス削減を推進すべき」が最も多い。60代以上の年代で「企業の食品ロスは企業が自主的に削減努力すべき」「社会的な風潮が高まらないと行動できない」と回答する割合が50代以下の年代に比べて高い割合になっている。30代だけで見ると、全体で3番目に回答の多かった「社会的な風潮が高まらないと行動できない」が 11.8%で、全体で4番目に回答の多かった「自分ができることがわからない」が 18.4%と順位が入れ替わっており、6.6ポイントの差となっている。

【全体】



【年代別】

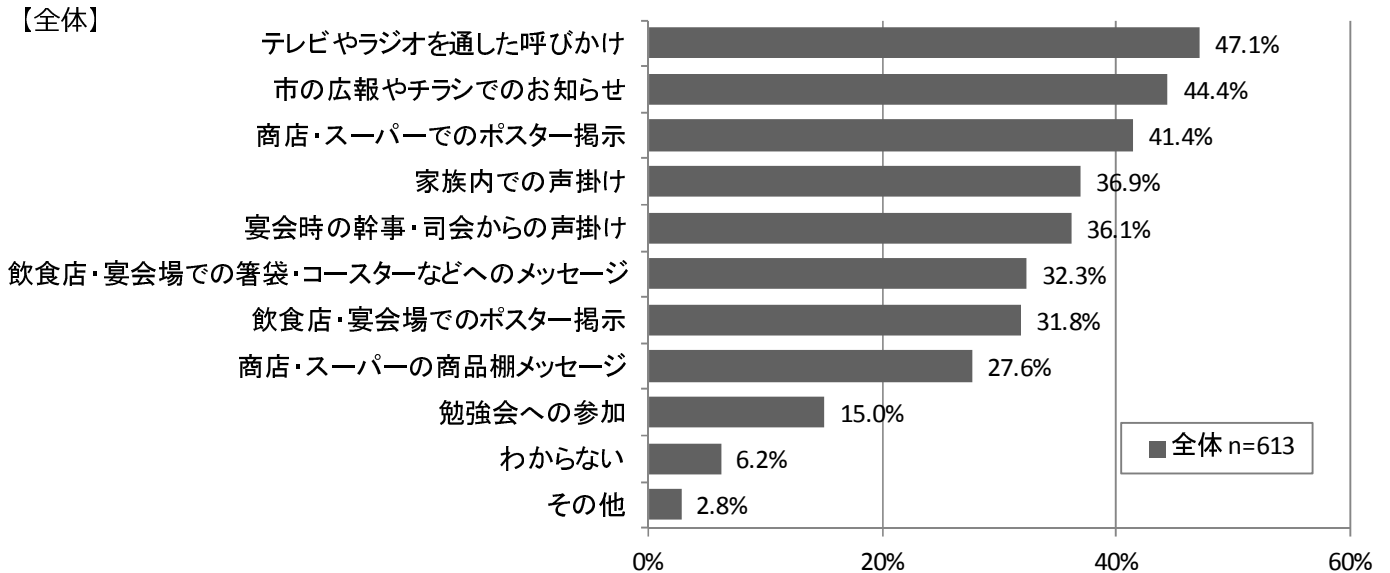


■その他回答

- ポップを作ったり宴会時スタッフや料理長などが声をかけたりすれば良いと思う (20 代／男性)
- スーパー等で残った惣菜の値下げ時間や値下げ額を一律にする (30 代／男性)
- スーパーやコンビニ等の売れ残りを値引きするほうが、無駄を無くすことになると思う (50 代／女性)
- 値引きしたり、期限が切れたものでも安く売ったりする都会の方のニュースでよく見るような取組をこちらでも取り入れた方がいい。 (20 代／女性)
- バレンタイン、恵方巻、x's ケーキ、正月オードブルなど企業が従業員や店舗にノルマを決めて作りすぎだと思う。 (40 代／女性)
- 商習慣そのものを見直す必要がある (30 代／男性)
- 流通させる以前の「規格外農作物」にも目を向けるべき。これだって立派な食品ロス及び農家の収入ロスと思う。 (60 代／男性)
- 秋に収穫した野菜等を春に捨てる現状はどうでしょうか。 (60 代／男性)
- 捨てるのではなく何かに活用していくべき。家畜等に与えたりたい肥にする (50 代／女性)
- 堆肥とか他のものに変えてリサイクルする (50 代／男性)
- スーパーやレストランなど企業と子供食堂などボランティア団体との橋渡しを行政がやるべき (50 代／男性)
- 十分に食生活ができていない子どもたちへ何とかまわすサイクルを考えていく方向は？ (60 代／女性)
- 余った食品は生活困窮者などへ配布する (50 代／男性)
- 考えた買い方、食べ方をする (70 代／男性)
- 元からしない方だが特に作ったものは捨てることはしない。 (70 代／女性)
- みんなが食べ物をもったいないと思わなければいけない (60 代／男性)
- 社会全体で考え実行していく問題
- 期限切れでも十分食べられる (50 代／男性)
- 学校でも教えて欲しい。介護施設でも行うべき。 (50 代／女性)
- 3010 運動の啓蒙が大事！ (60 代／男性)
- 削減にかかるメリット少ない (70 代／男性)
- ロスのないように心がけている。現実、大仙市内等どれほどのロスがあるのか分からないので、考えにくい (30 代／女性)
- ロスという言葉がわからない (80 代／女性)
- わからない (70 代／男性)

【問5】「食品ロス」削減に向けてどのような働きかけがあれば、心がけたり意識したりすることができると思いますか。（複数回答可）

○「テレビやラジオを通した呼びかけ」と回答した方が最も多く 47.1%、次に多かったのは「市の広報やチラシでのお知らせ」と回答した方で 44.4%となっている。



◆ 調査結果のまとめ及び今後の方針

○「食品ロス」を知っていると回答した方は、「聞いたことがある」を含めると 88.5%を占め、情報を得る手段として「テレビやラジオ」が 92.1%と高いことから、食品ロスが社会問題となっており、多くのマスメディアで報道される中で関心が高くなってきていることが伺える。

また、食品ロスについての意識については、「市民が自主的に食品ロス削減を推進すべき」が 68.8%、「企業の食品ロスは企業が自主的に削減努力すべき」が 47.3%となっており、何らかの形で食品ロスの削減を推進していくべきと考えていることが伺える。

一方で、「社会的な風潮が高まらないと行動できない」、「自分ができることがわからない」と回答した方を合わせると 31.4%となっており、このような方に対する働きかけも必要である。

○問5で食品ロスを心がけたり意識したりできる働きかけは何か、との設問では、3割以上でスーパー・飲食店でのポスター等による啓発、宴会時の声掛けなどが挙げられている。今後市ホームページで、今年度から導入した「大仙市食べきり協力店」登録制度の取組紹介を行うなど、民間企業とも協力しながら食品ロス削減の啓発を実践し、市民意識の醸成と定着を図っていく。

3.1.2 墓地の利用について

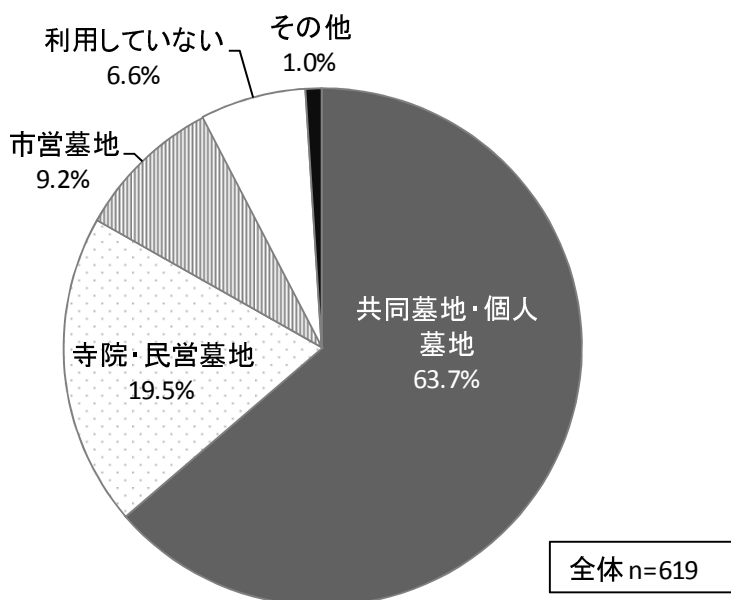
(生活環境課)

- ◆ 調査目的： 少子高齢化や核家族化により、先祖からのお墓を子孫に継承することが困難となっている、いわゆる「無縁墓(むえんぼ)」の増加が問題になっている。現在市では、市内14カ所に墓地公園を整備しており、地域によって異なるものの、全体で約9割の利用率となっている。市民の方々の墓地についての考え方や心配事などの意識を調査し、無縁墓の増加の問題等に対して方針を検討する。

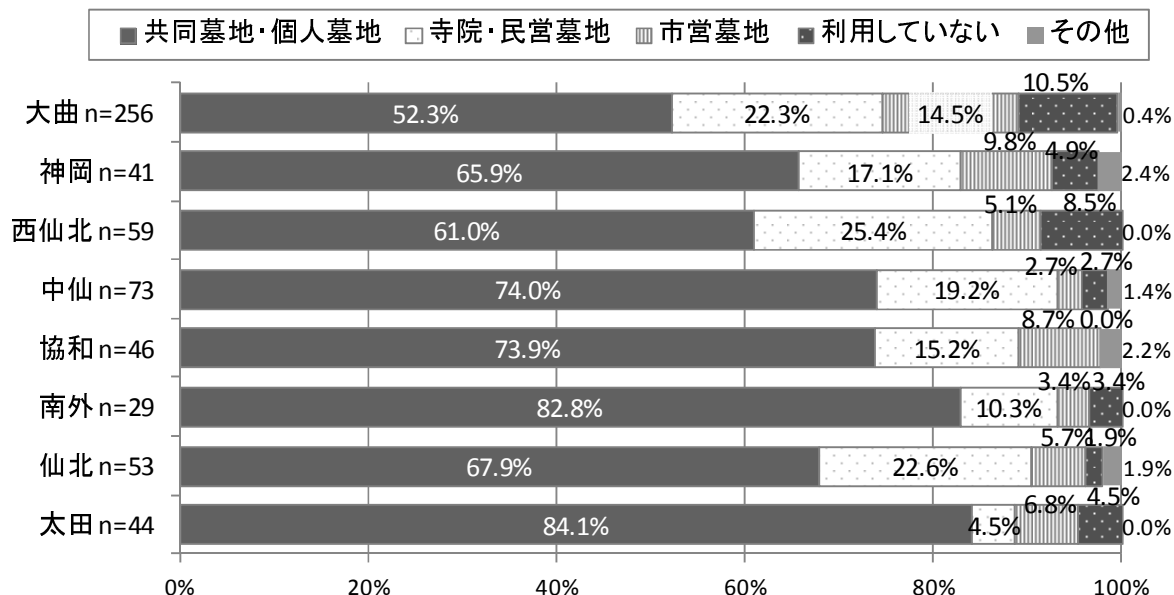
【問1】現在、あなたの家で利用している墓地はどれですか。

○全体では、「共同墓地・個人墓地」と回答した方が最も多く63.7%、次に「寺院・民営墓地」と回答した方が多く19.5%となっている。「利用していない」と回答した方は6.6%となっている。

○地域別に見ると、いずれの地域も「共同墓地・個人墓地」を利用していると回答した方の割合が最も多い。「利用していない」と回答した方が最も多かったのは大曲地域で、10.5%となっている。



【地域別】

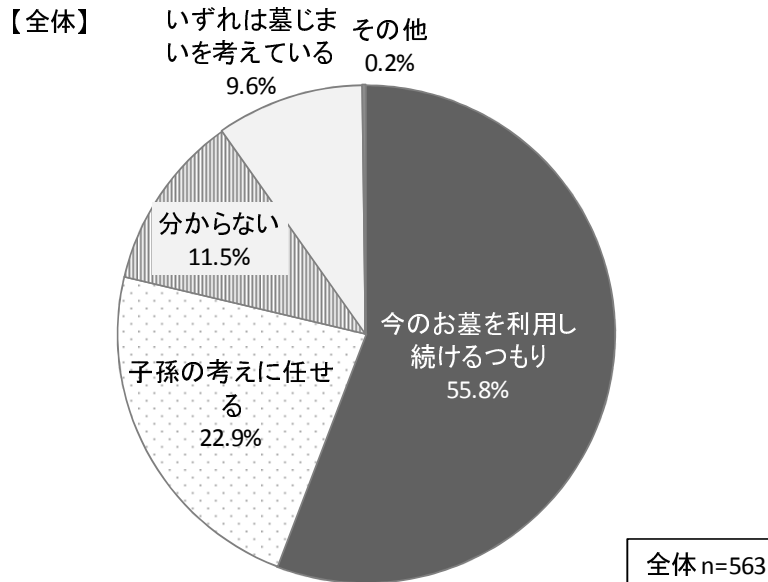


【問2】 今後のお墓の管理についてどのようにしたいと思っているか、あなたはお考えに最も近いものはどれですか。

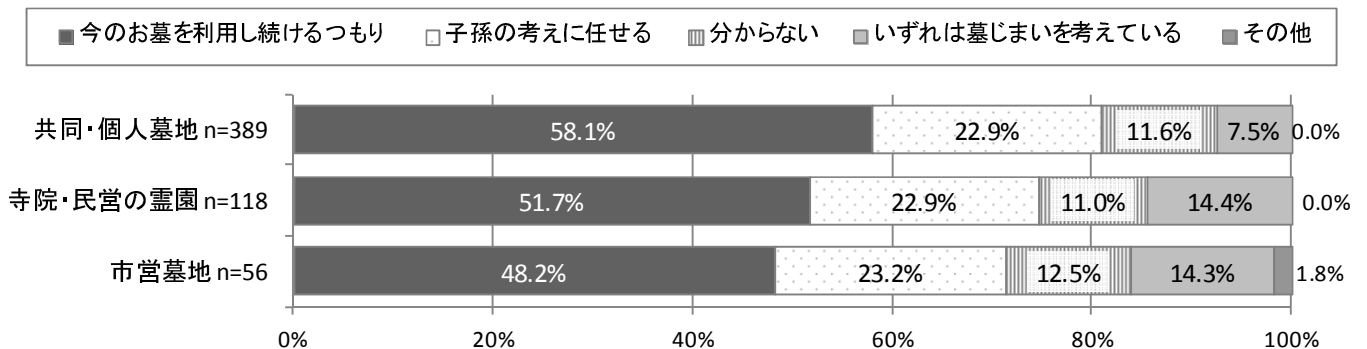
(問1で「1. 共同墓地・個人墓地」「2. 寺院・民営墓地」「3. 市営墓地」を利用していると回答した方)

○全体では、「今のお墓を利用し続けるつもり」と回答した方が最も多く 55.8%、次に「子孫の考えに任せる」と回答した方が多く 22.9%となっている。「いずれは墓じまいを考えている」と回答した方は9.6%となっている。

○問1の利用墓地別に見ると、いずれも「今のお墓を利用し続けるつもり」と回答した方の割合が最も多いが、「共同・個人墓地」を利用している方の「今のお墓を利用し続けるつもり」と回答した割合が 58.1%と回答したのに対し、「市営墓地」を利用している方の「今のお墓を利用し続けるつもり」と回答した割合は 48.2%となっており、9.9 ポイントの差がある。また、「いずれは墓じまいを考えている」と回答した方の割合は、「共同・個人墓地」を利用している方が 7.5%なのに対し、「寺院・民営の霊園」を利用している方は 14.4%、「市営墓地」を利用している方は 14.3%となっている。



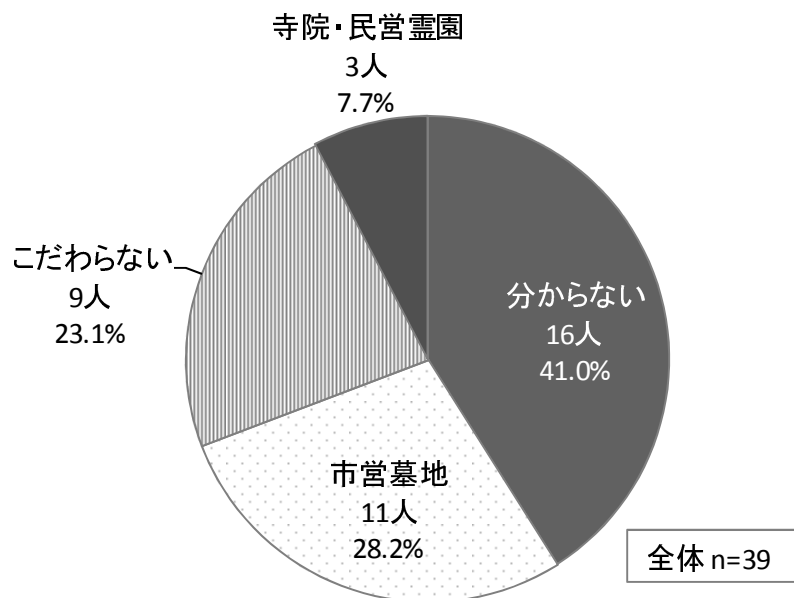
【問1 利用墓地別】



【問3】今後、あなたが利用したいお墓は次のどれですか。

(問1で墓地を「4. 利用していない」と回答していないと回答した方)

○問1で「利用していない」と回答した方が39人と少ないものの、「分からない」と回答した方が41.0%で最も多くなっており、次に多いのは「市営墓地」で28.2%となっている。



【問4】市営の合葬墓があれば利用したいと思いますか。

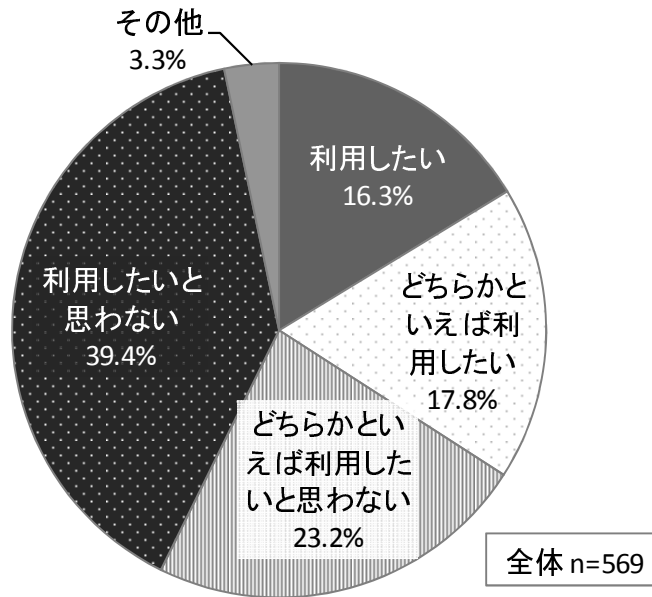
○全体では、「利用したいと思わない」と回答した方が最も多く39.4%、次に多いのは「どちらかといえば利用したいと思わない」と回答した方で23.2%となっている。「利用したいと思わない」「どちらかといえば利用したいと思わない」と回答した方を合わせると、62.6%となっており、6割を超えている。

○年代別では、いずれの年代も「利用したいと思わない」と回答した方が最も多く、「利用したいと思わない」の割合が最も高いのは70代で50.6%となっている。

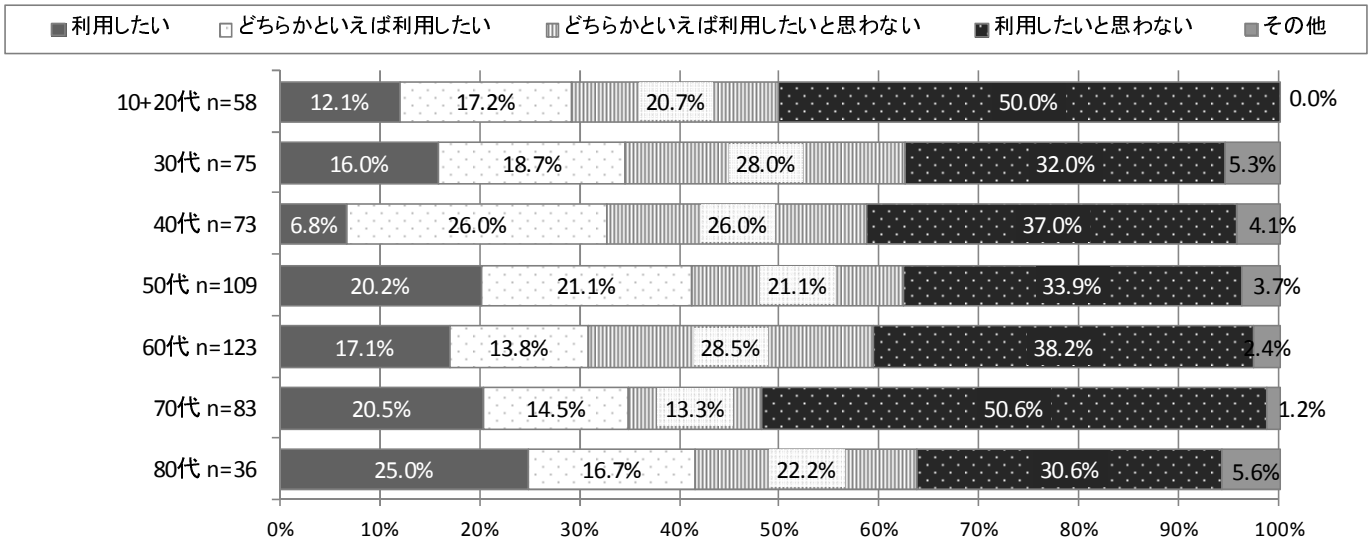
○年代別で、「利用したい」と回答した方が最も多いのは80代で25.0%、次に多いのは70代で20.5%となっている。

○問1の利用墓地別に見ると、「市営墓地」を利用している方、墓地を「利用していない」方では合葬墓を「利用したい」と回答した割合が最も多くなっているが、「寺院・民営の霊園」、「個人・共同墓地」を利用している方では反対に、合葬墓を「利用したいと思わない」と回答した割合が最も多くなっている。

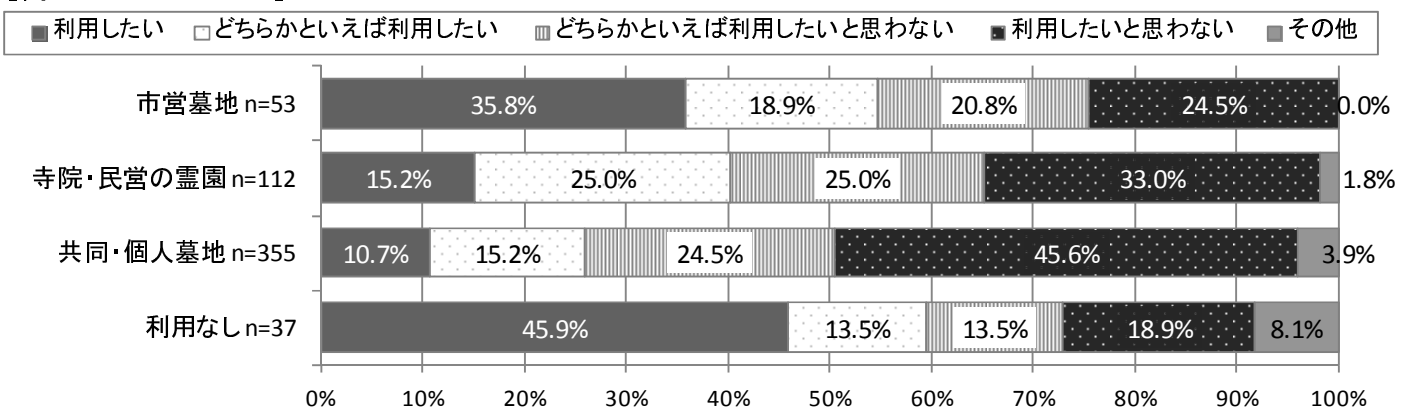
○問2の今後のお墓の管理についての考え別に見ると、「今後も今のお墓を利用し続けたい」と考えている方では合葬墓を「利用したいと思わない」と回答した方が最も多く54.0%、「いずれは墓じまいをしたい」と考えている方では合葬墓を「利用したい」と回答した方が最も多く52.8%となっている。



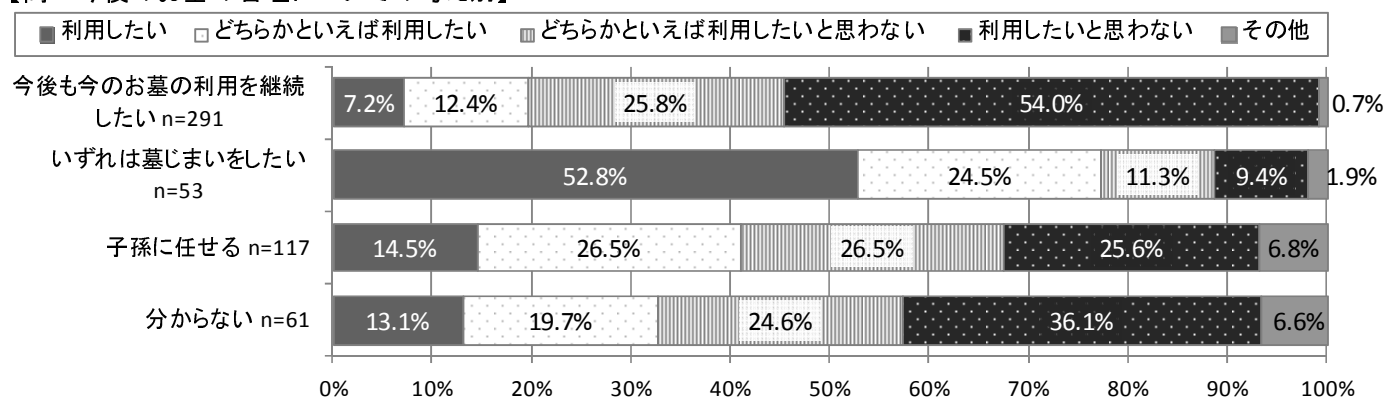
【年代別】



【問1 墓地利用状況別】



【問2 今後のお墓の管理についての考え別】



【問5】将来のことも含め、あなたが考えるお墓についての不安、心配はありますか。

(自由記述形式)

※主要な回答を抜粋しています

□費用・管理について

- ・ 墓を買えるお金があるのか心配です。(20代/女性)
- ・ 年老いてから管理が出来るか不安。(30代/女性)
- ・ 両親が維持できなくなり自分自身がお墓の管理をしなければいけない状況になった場合、不安である(20代/女性)
- ・ 亡くなった人が入るお墓がないのは悲しい。寺院の維持費が高くて払えるか心配だ。(30代/女性)
- ・ お金がかかること、守ってくれる人がいなくなる(80代/女性)
- ・ 今後父母が亡くなった時の管理と自分が死亡した後の管理体制(30代/男性)
- ・ 維持費(30代/男性)
- ・ 墓地の管理について、今後も継続していけるか心配だ。(70代/女性)
- ・ 自分がお墓を守っていけるか不安。(30代/女性) など

□墓地の継承について

- ・ 子供達の負担になる(50代/男性)
- ・ 今は自分の子どもがいるので将来守ってくれると思うが、その後はわからない。誰も管理していない墓を見ることが多くなってきている。今後どうなるのかと思うことはある。(40代/女性)
- ・ 個人墓地ですが、子供達が守ってくれるだろうと思っている。(70代/女性)
- ・ 子供達が大仙市に居住していないのでお墓を守ってくれるかどうかわからない(50代/女性)
- ・ 若い人達が仕事もなく県外に出て行ってしまった場合、墓を守ってくれる人がいなくなってしまうのではないかと不安です。(60代/女性)
- ・ 子供達が家を離れた後のことを考えると、墓を残しておいて良いのか不安だ。(40代/女性)
- ・ 高齢者世帯となり、子供も帰省、継承の確信がないので、今後は不安(60代/男性)

- ・ お墓を守ることと家を守るとは同じ考えのように思います。相続問題と合わせて、子どもに過重な負担を負わせることも今の時代どうなのかと心配です。(60代/女性)
- ・ 子孫に将来の維持費がかかることへの懸念(70代/女性)
- ・ 長男に任せる(60代/女性)
- ・ 子供に対して自由に生きてほしい。その為に、家、墓は子孫の考えに任せたい。(50代/男性)
- ・ 自分の子どもが将来秋田にずっといるかは分からないので、もし出て行くことになった場合のお墓の管理(30代/男性)
- ・ 東京と秋田にお墓があるので今後どうするか心配です(30代/女性)
- ・ 墓の増加はこれからどんどん増えると思います。数が増えることで放置される、もしくは増えてしまう可能性があるため、家族以外の方も整理が必要になると思います。(20代/男性)
- ・ 子どもが就職・結婚で家を出て戻ってこないことが想定される。その時のことを考えると不安です。(50代/女性)
- ・ 家に残る人がいない、今も一人暮らしなので(80代/女性)
- ・ 今まで、先祖代々守られ続けて来た、自分の家の墓を自分は守り続けていけるかという不安は感じている。(30代/男性)
- ・ 自分は、このまま生活し続けるのであまり心配はしていないが、自分の子どもがここで生活し続けるのかどうかは分からない。そうなった時の事は心配になる。代々続いている墓は、途中から、合併してしまうのは少し悲しい。(30代/女性)
- ・ 継いでくれる人がこの先も居るのかどうか、その人の負担にならないかどうか、先のことは誰にも分からないので、不安といえば不安に感じる。(30代/男性)

□墓じまいについて

- ・ 墓じまいをするための手続きや費用の心配(50代/女性)
- ・ 墓じまいを考えているが、そのすべを知らない(40代/男性)
- ・ 将来一人暮らしとなるため永代供養墓の設置をお願いしたい。おひとりさまになったときの私財等の処理についての勉強会の開催をお願いしたい。(60代/男性)
- ・ 跡継ぎがいないので墓じまいを考えている(60代/男性)
- ・ 子どもが関東にいますので、将来的には墓じまいを考えないといけなと思っています(60代/女性)
- ・ 親類3軒によるお墓がありますが、個人管理が難しくなっている。それぞれ継ぐ家族が居なくなる見込み。我が家はお寺の敷地内に移送予定です。次期後継ぎは永代供養を望んでいます。(70代/女性)

□合葬墓・その他埋葬について

- ・ 墓の管理が心配。合葬墓を作って欲しい。(60代/男性)
- ・ 散骨でもいいと思います。ただし、市などへの届出とか必要なのかわからない(40代/女性)
- ・ 海や山に散骨し、お墓を持ちたくない(40代/女性)
- ・ 市営墓地の納骨室は狭いので、子や孫の世代までは、利用は無理である。よって、合葬墓も検討しなければと思っている。(70代/男性)
- ・ 代々継承してきたお墓を合葬墓にしたら、今までのはどうしたらいいのかわからない！(30代/男性)
- ・ 私の代では、将来を含め、不安等がないが、墓の継承が一親等に限られるため、今後の少子化の影響が必ず出てくると思う。その前に墓を代々守れるような環境整備が必要かと、合葬墓だけが過疎地域の結論ではないでしょう。(40代/男性)
- ・ 将来については合葬墓を望むので、又、考え方が年々変わって来ているから時代の流れに合った方がよいのではないか(80代/男性)

- ・ 合葬墓が普及する時に、今までの個人墓地の処理方法はどうするのか。今までの遺骨の移動、墓石の処理に何十万もかかるとすれば、利用者は少ないと思うし、利用者が少なくて使用料が高くなることはないでしょうか。（30代／男性）
- ・ 子どもが県外にいて、墓の管理がどうなるかわからないので、墓は無くてもいいかなと思う。（50代／女性）

□その他

- ・ 今はわからない（30代／男性）
- ・ 若い人達の考えがどうなるかわからない（70代／女性）
- ・ 実家の墓に入ります。（60代／女性）
- ・ 不安、心配はないが、もっとざっくばらんに話せる場所があればいい。（50代／女性）
- ・ 不安はありますが、今心配しても何も分からない（60代／男性）

◆ 調査結果のまとめ及び今後の方針

○現在利用している墓地については、「共同墓地・個人墓地」「寺院・民営墓地」が合わせて83.2%、「市営墓地」は9.2%、「利用していない」が6.6%となっている。また、今後のお墓の管理については、「今後もお墓を利用し続けるつもり」「子孫の考えに任せる」を合わせると78.7%となっており、「いずれは墓じまいを考えている」は9.6%に留まっている。

全体的に見ると、既に墓地を持ち、現状のまま維持管理していきたいと考えている方が多いものの、自由意見には「子どもが地元にいないので将来の墓の管理が心配」「子どもに維持管理費等で負担をかけたくない」といった意見がみられ、人口減少や少子高齢化の社会情勢から将来の墓の管理に不安を抱いている方も少なくないことが伺える。

○合葬墓については、34.1%が「利用したい、どちらかといえば利用したい」と考えているが、一方で「利用したくない、どちらかといえば利用したいと思わない」が62.6%となっている。

墓地の利用状況や所有しているお墓の今後の管理についての考え方別で見ると、問1で現在墓地を「利用していない」と回答した方のうちの59.4%、また、問2で今後のお墓の管理について「いずれ墓じまいを考えている」と回答した方のうち77.3%の方が「利用したい、どちらかといえば利用したい」と回答しており、共同墓地や寺院などの先祖代々のお墓を利用している方以外の、比較的踏襲にこだわらない方の墓じまいの手段の一つと受け入れられていることが伺える。

墓じまいの方法としては、寺院や民営霊園の永代供養墓、合葬墓等の利用もあることから、現在の市内寺院、民営霊園の合葬墓設置状況や墓地の利用状況の把握に努めていく。

3. 1. 3 市の温泉施設について

(経済産業部観光課)

- ◆ 調査目的： 市民のみなさんへ保養、休養の場を提供し、市民同士の交流や観光を促進するために市内7カ所に温泉施設を所有している。しかし、各施設の老朽化等に伴う管理費の増大や利用者の減少等を踏まえ、今後の施設の方向性について再検討する必要があるため、利用状況や意見を伺い、今後の事業の見直しを進める参考とする。

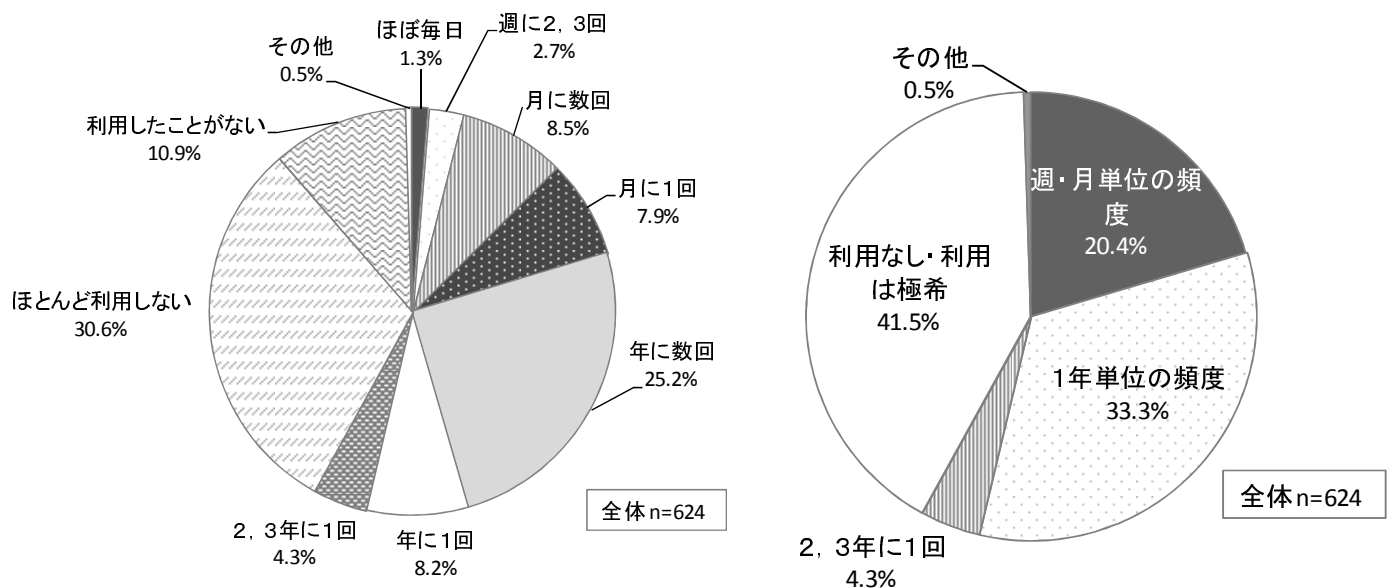
【問1】市が所有している温泉施設を（入浴、宴会、宿泊などで）どのくらい利用していますか。

○全体では、「ほとんど利用しない」と回答した方が30.6%と最も多く、次に「年に数回」と回答した方が25.2%となっている。

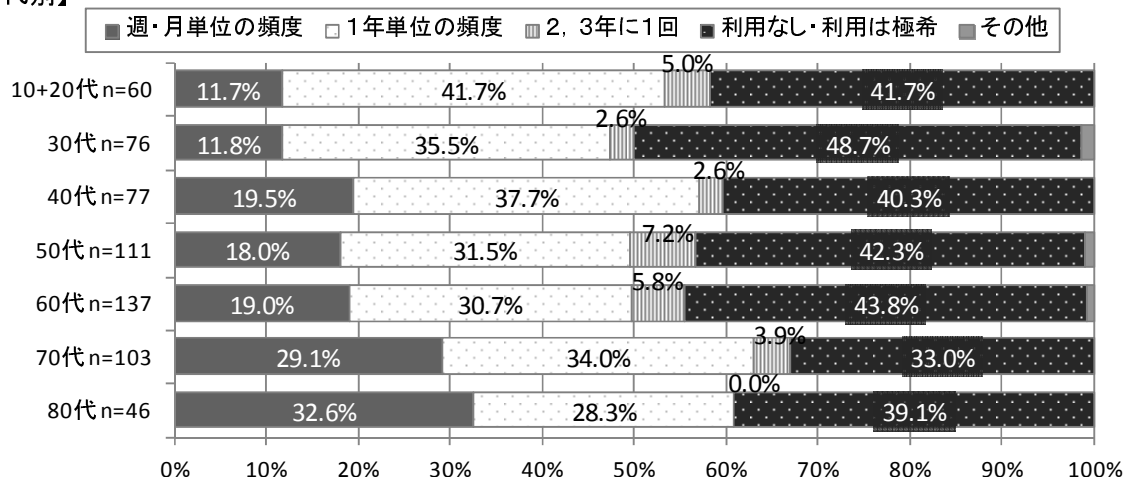
○利用頻度を、「ほぼ毎日」「週に2、3回」「月に数回」「月に1回」を合わせた「週・月単位の頻度」グループと、「年に数回」「年に1回」を合わせた「1年単位の頻度」グループと、「2、3年に1回」グループと、「ほとんど利用しない」「利用したことがない」を合わせた「利用なし・利用は極希」グループの4グループで比較すると、最も多いのは「利用なし・利用は極希」のグループで41.5%、次に多いのが「1年間隔の利用頻度」のグループで33.3%、3番目に多いのは「1か月間隔以上の利用頻度」のグループで20.4%となっている。

○年代別に、利用頻度を「週・月単位の頻度」「1年単位の頻度」「2、3年に1回」「利用なし・利用は極希」の4グループに分けると、いずれの年代も最も多いのは「利用なし・利用は極希」のグループで、年代の中でも30代が最もその割合が高く48.7%となっている。

○年代別で、「週・月単位の頻度」の割合が最も高いのは80代で32.6%、次に70代で29.1%となっている。



【年代別】



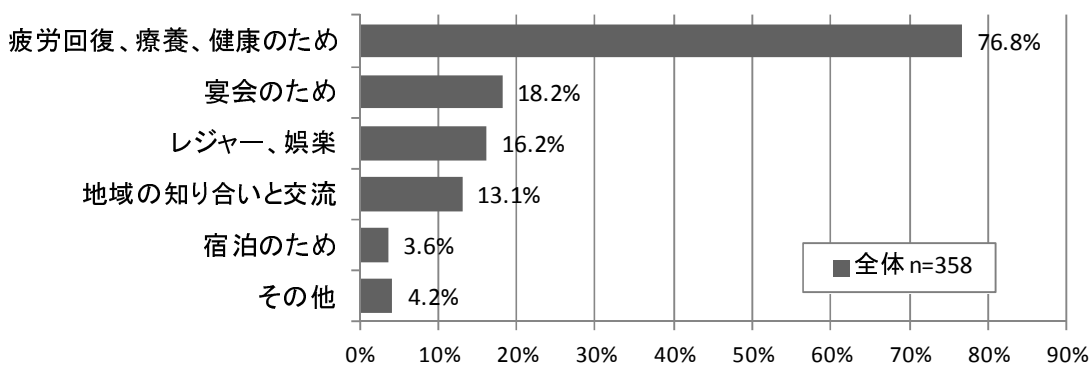
【問2-1】市の温泉施設に行く目的は何ですか。（複数回答可）

（問1で「1. ほぼ毎日」～「7. 2, 3年に1回程度」と回答した、温泉施設を利用している方）

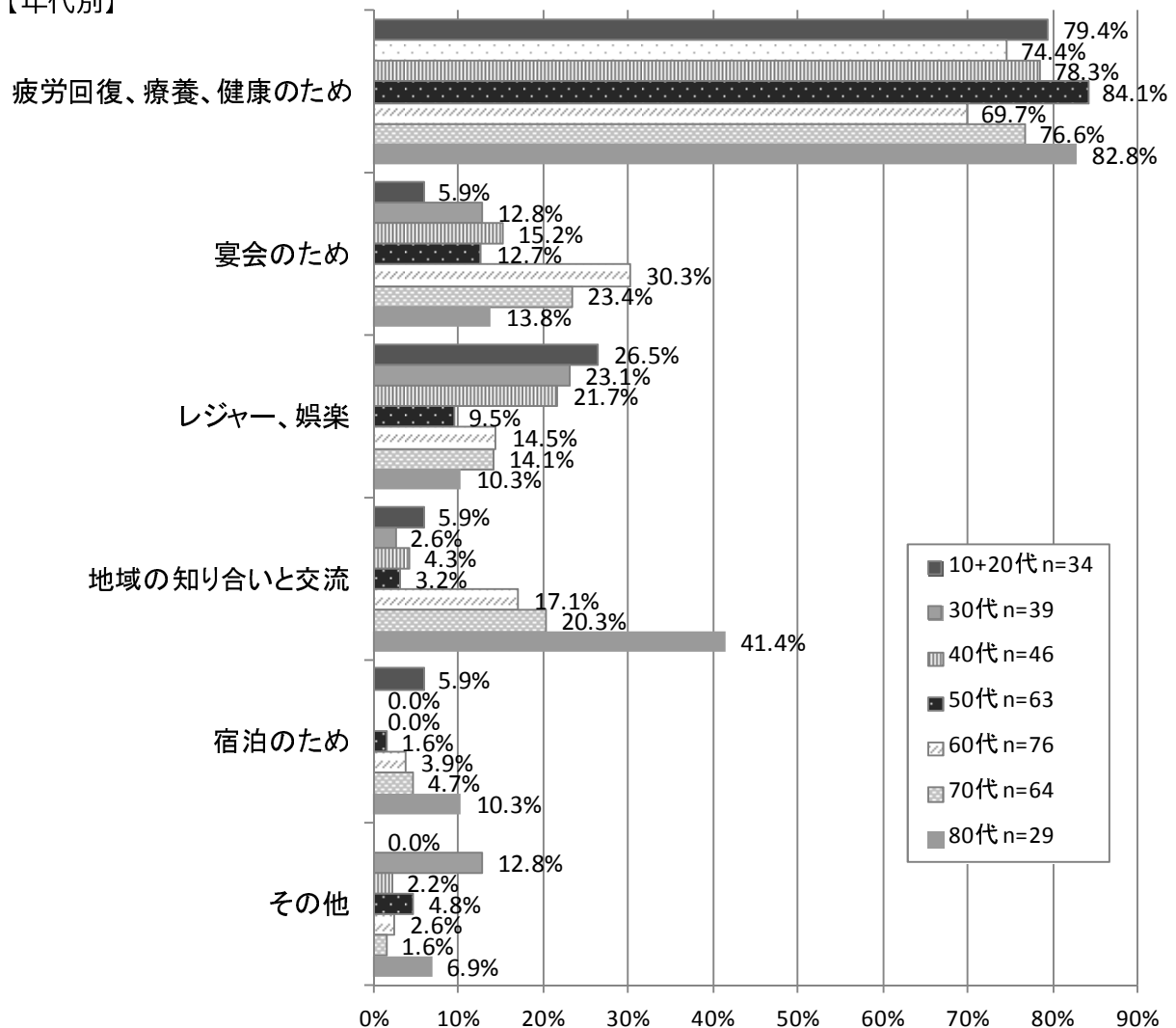
○全体では、「疲労回復、療養、健康のため」と回答した方が最も多く 76.8%、次に「宴会のため」と回答した方が 18.2%となっており、「疲労回復、療養、健康のため」が突出して多い。

○年代別で見ると、いずれの年代も「疲労回復、療養、健康のため」と回答した方が最も多くなっている。「宴会のため」と回答した方の割合が最も高いのは60代で30.3%、「レジャー、娯楽」と回答した方の割合が最も高いのは10代・20代で26.5%、「地域の知り合いと交流」と回答した方の割合が最も高いのは80代で41.4%となっている。

【全体】



【年代別】



■その他の回答

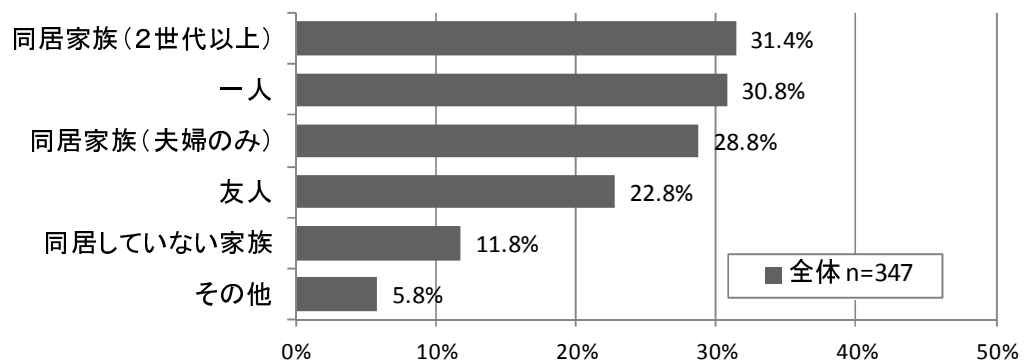
- 自宅の風呂が故障したとき (50代/女性、30代/男性、年代性別不明)
- 気分転換のため (60代/女性、30代/女性)
- 農作業後の入浴 (60代/男性、50代/男性)
- 親戚が何人も家に泊まりに来た時 (50代/女性)
- 体を動かすとき (70代/男性)
- もっと利用したいが、余裕がない。(30代/女性)
- ただ、温泉に入るため (30代/男性)
- 市の所有する温泉が遠いため、横手市の温泉年5回利用している。(80代)
- ごはんを食べて帰る。家に帰って寝るだけで済むので (40代/女性)

【問 2－2】主に誰と市の温泉施設に行きますか。（回答は多いものから順に1つか2つ）
（問1で「1. ほぼ毎日」～「7. 2, 3年に1回程度」と回答した、温泉施設を利用している方）

○全体では、「同居家族（子供と一緒に、など2世代以上）」と回答した方が最も多く 31.4%、次に「一人」と回答した方が多く 30.8%となっている。

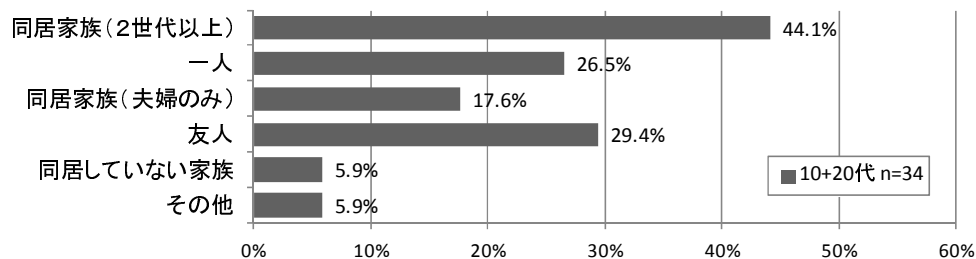
○年代別に見てみると、10代と20代を合わせた世代から50代までは「同居家族（子供と一緒に、など2世代以上）」と回答した割合が最も多いが、60代、70代では「同居家族（夫婦のみ）」、80代では「友人」と回答した割合が最も多くなっている。

【全体】

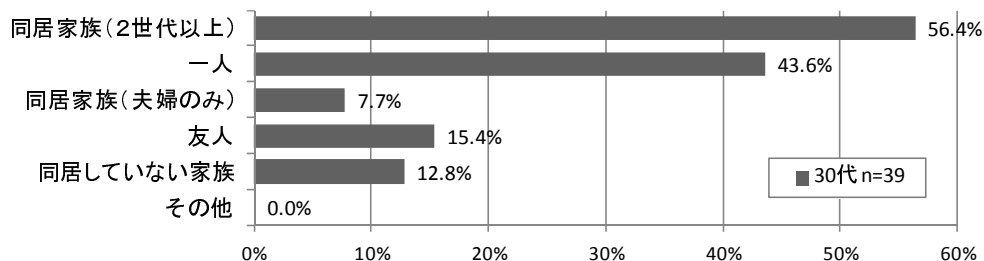


【年代別】

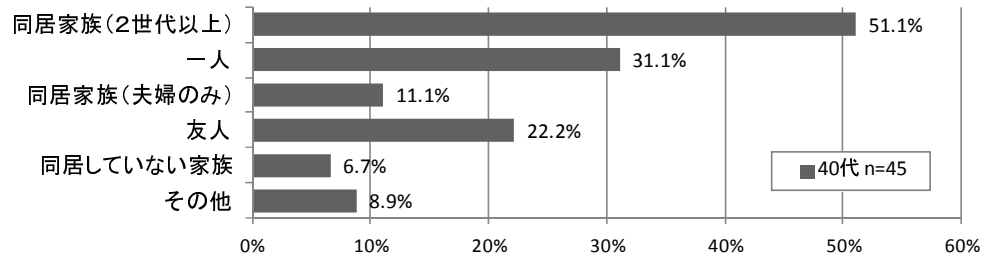
【10代+20代】



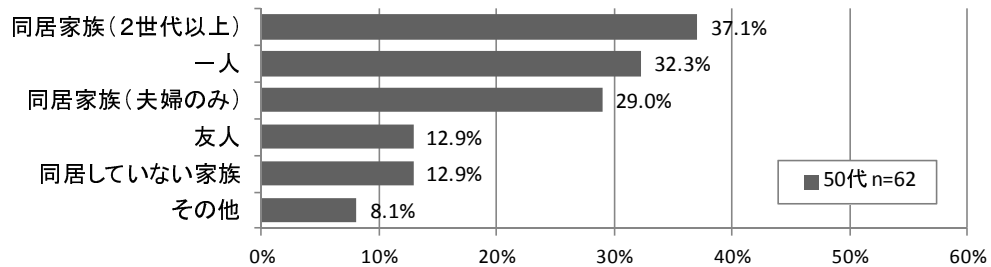
【30代】



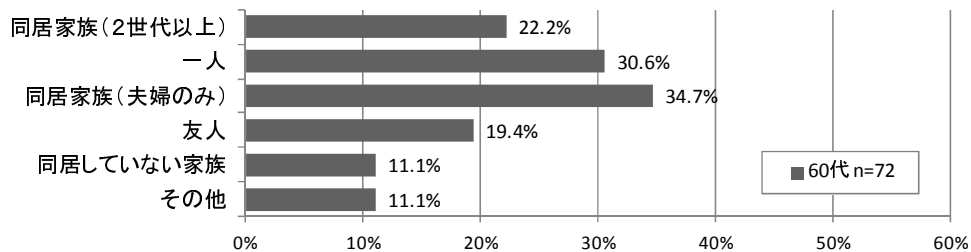
【40代】



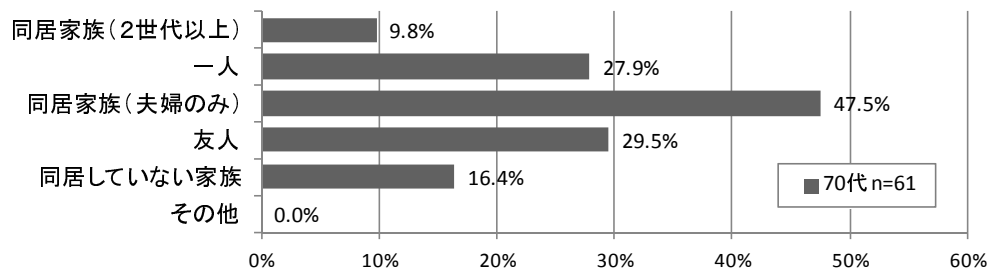
【50代】



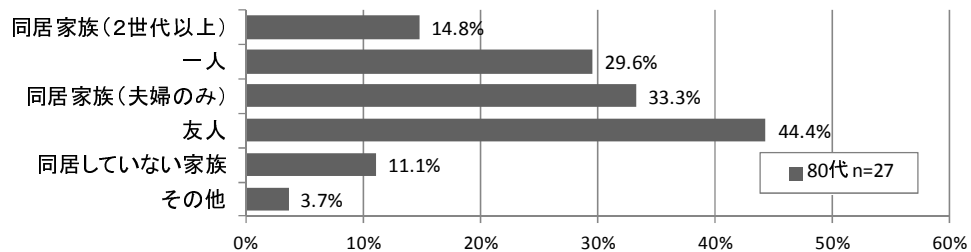
【60代】



【70代】



【80代】



■ その他の回答

- 町内会、地元集会 (60代／男性、40代／男性、60代／男性、60代／女性)
- 職場 (10/20代／男性、40代／女性 2人、50代／男性 2人)
- 学校行事、スポ少年部活等 (40代／男性、50代男性)
- 野球チーム (60代／男性)
- 農作業員と (50代／男性)

【問 2－3】市の温泉施設に行く際、主に利用する交通手段は何ですか。（回答は 1 つ）

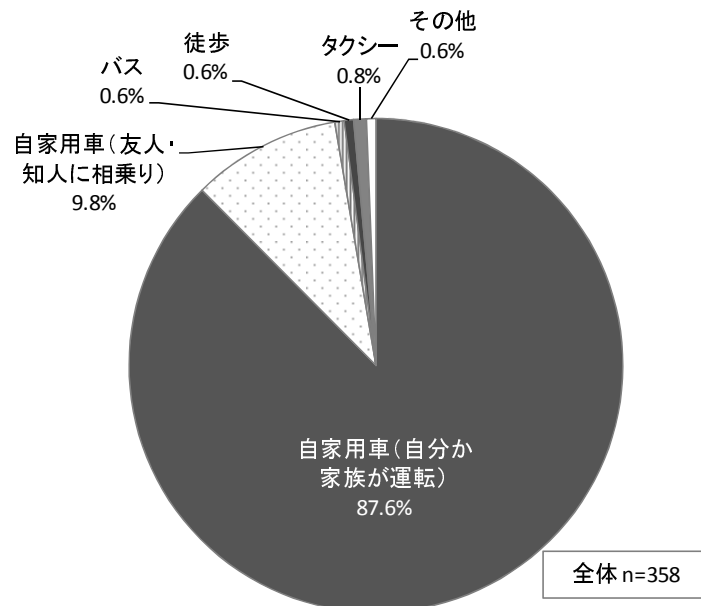
（問 1 で「1. ほぼ毎日」～「7. 2, 3 年に 1 回程度」と回答した、温泉施設を利用している方）

○全体では、「自家用車（自分か家族が運転して）」と回答した方が最も多く 87.6%、次に「自家用車（友人・知人の車に相乗りして）」と回答した方が多く 9.8%となっている。自家用車を利用している方は、合わせると 97.4%となっている。

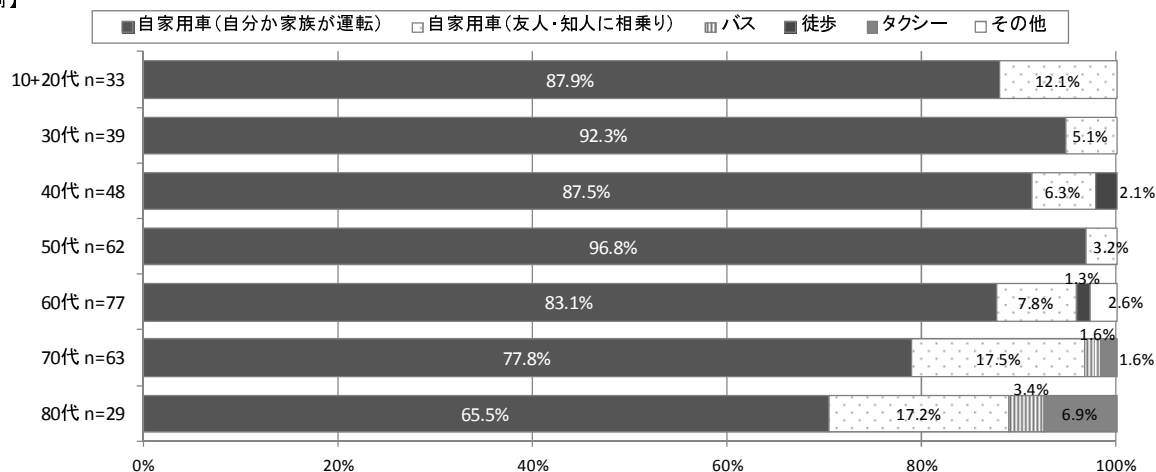
○年代別に見ても、全ての年代で「自家用車（自分か家族が運転して）」と回答した方が最も多く、「自家用車（友人・知人の車に相乗りして）」と回答した方が次に多くなっている。「自家用車（友人・知人の車に相乗りして）」については、年代別に比較すると、回答した割合が最も多いのは 70 代で 17.5%、次に 80 代で 17.2%、最も少ないのは 50 代で 3.2%となっている。

○年代別で、「バス」や「タクシー」と回答した方は、10 代と 20 代を足した年代から 60 代までの年代ではおらず、70 代で「バス」「タクシー」がいずれも 1.6%（各 1 人）、80 代で「バス」が 3.4%（1 人）「タクシー」が 6.8%（2 人）となっている。

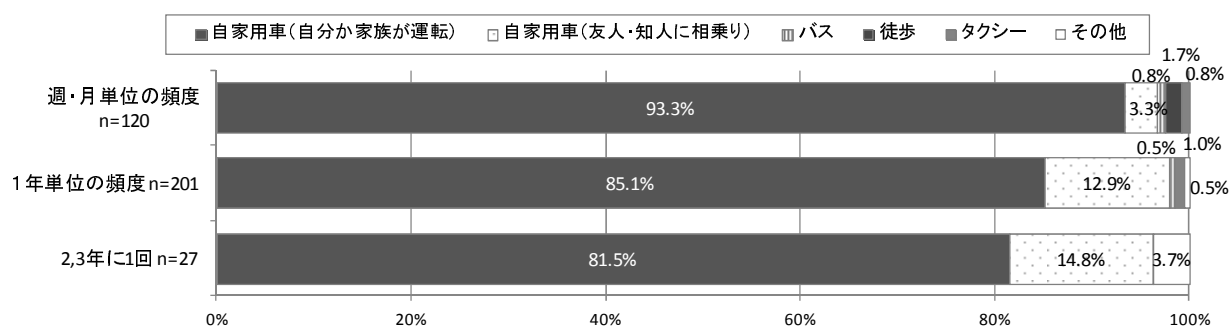
○問 1 の利用頻度別でも、全てのグループで「自家用車（自分か家族が運転して）」と回答した方が最も多く、「自家用車（友人・知人の車に相乗りして）」と回答した方が次に多くなっている。グループ別に比較すると、「自家用車（自分か家族が運転して）」と回答した割合が最も高いのは「週・月単位の頻度」の方で 93.3%、「自家用車（友人・知人の車に相乗りして）」と回答した割合が最も高いのは「2, 3 年に 1 回の利用頻度」の方で 14.8%となっている。



【年代別】



【問1 利用頻度別】



■その他の回答

- 温泉施設のバス (60代/男性/大曲 2名)

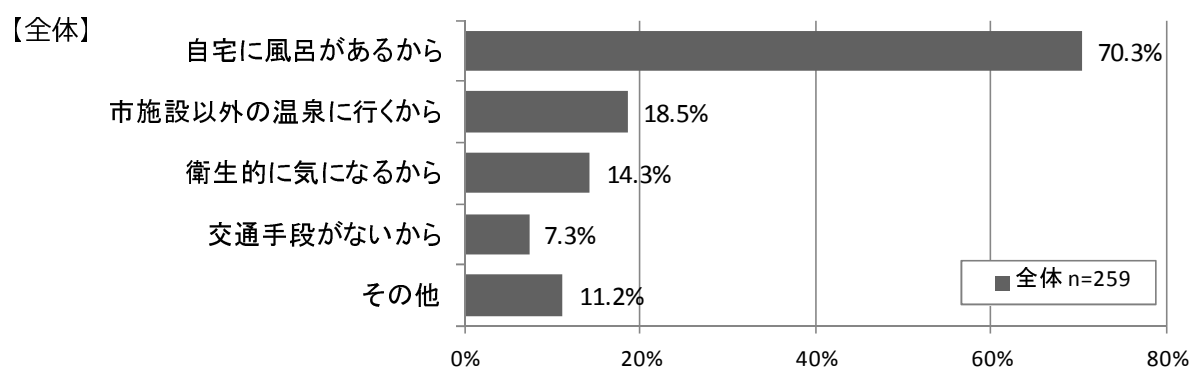
【問3】市の温泉施設を利用しない理由は何ですか。(複数回答可)

(問1で「8. ほとんど利用しない」、「9. 利用したことがない」と回答した方)

○全体では、「自宅に風呂があり温泉に行く必要がないから」と回答した方が最も多く 70.3%、次に「市の温泉施設以外の温泉に行くから」と回答した方が多く 18.5%、3番目に「衛生的に気になるから」と回答した方が 14.3%となっており、「自宅に風呂があり温泉に行く必要がないから」が突出して多い。

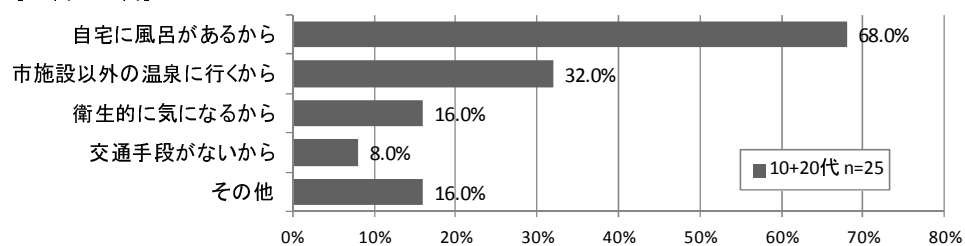
○年代別でも、全年代で「自宅に風呂があり温泉に行く必要がないから」と回答した方が最も多い。

○年代別で比較すると、「自宅に風呂があり温泉に行く必要がないから」という回答の次に来るのは、10代と20代を合わせた年代では「市の温泉施設以外の温泉に行くから」が 32.0%、30代、40代では「共同浴場という場所が衛生的に気になるから」が30代で 27.0%、40代で 25.8%、50代では「市の温泉施設以外の温泉に行くから」が 23.4%、60代では「市の温泉施設以外の温泉に行くから」、「共同浴場という場所が衛生的に気になるから」が同割合で 11.7%、70代、80代では「交通手段がないから」が70代で 20.6%、80代で 16.7%となっており、「自宅に風呂があるから」の次に来る温泉に行かない理由は、年代により異なっている。

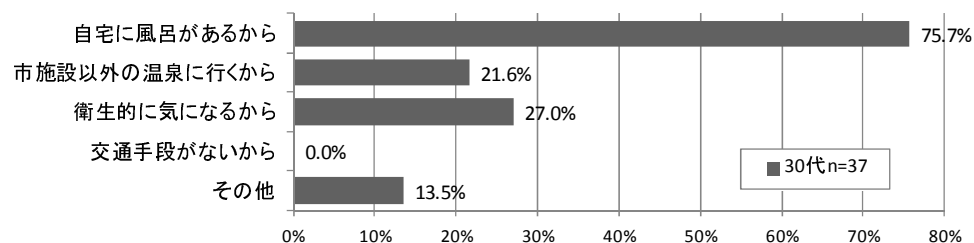


【年代別】

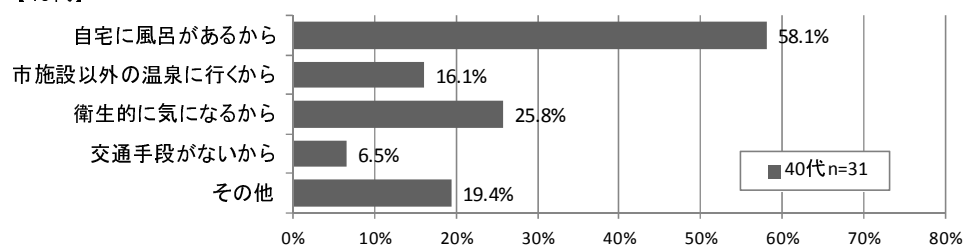
【10代+20代】



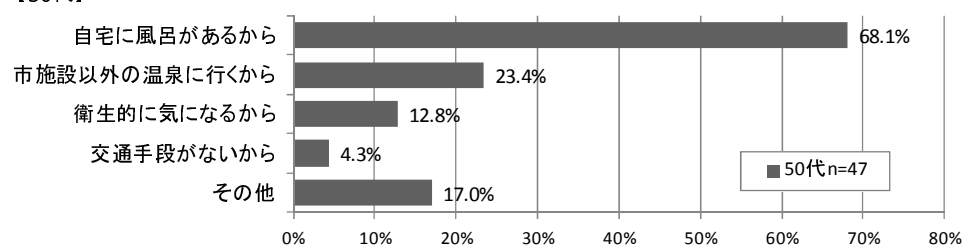
【30代】



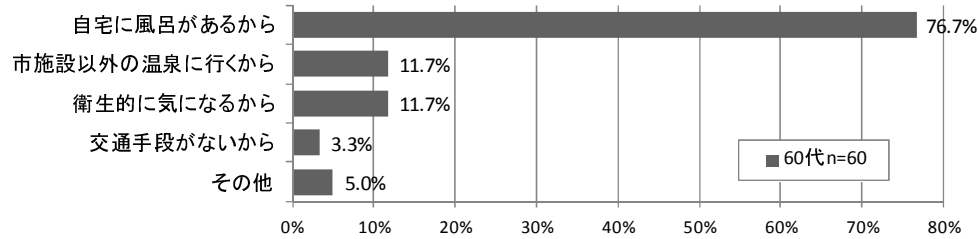
【40代】



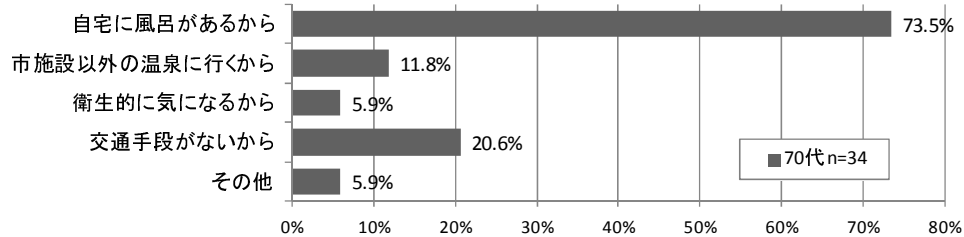
【50代】



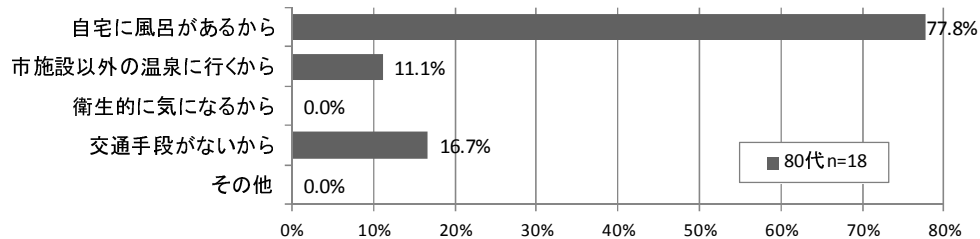
【60代】



【70代】



【80代】



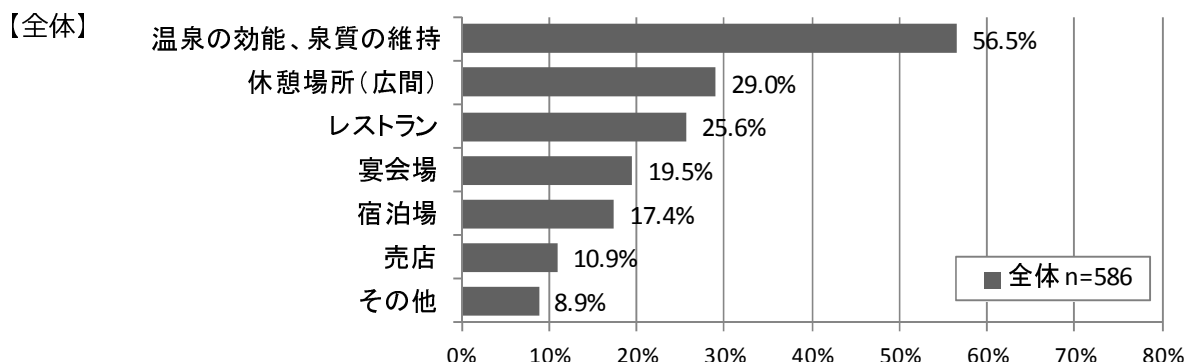
■ その他の回答

- 近くにないから、遠い (20代/男性/大曲 3名、50代/男性/大曲、50代/女性/大曲、30代/大曲)
- 時間や余裕がない
(50代/女性/大曲、40代/女性/神岡、40代/女性/協和、50代/男性/大曲、50代/女性/南外)
- 恥ずかしい (20代/女性/大曲、60代/女性/南外、40代/女性/大曲)
- 家族が病気等で行くことができない (60代/女性/仙北、50代/女性/大曲、60代/男性/大曲)
- 子どもが小さいから、子どもと行くのは大変 (30代/女性/大曲 2人、30代/女性/協和)
- 行くきっかけがほとんど無い。(30代/男性/大曲)
- 昔はよく行っていたが、行けない理由ができた (40代/男性/西仙北)
- 混んでいる。タイミングがあわない。(40代/女性/仙北)
- 行ってみたいと思う施設がない、古い (50代/女性/仙北)
- 費用のわりにサービスが良くない (20代/男性/西仙北)
- お年寄りが多くて、風呂からあがってからのイベントも特になさそう (50代/女性/大曲)
- 東日本大震災があってから不安で行く気にならない (70代/女性/大曲)
- 興味がない (40代/女性/大曲)

【問 4】市が運営する温泉施設に必要なと思うこと、ものは何だと思いますか。

(○は1つか2つ)

○全体では、「温泉の効能、泉質の維持」と回答した方が最も多く 56.5%、次に「休憩のできる場所（広間）」と回答した方が多く 29.0%となっている。



■ その他の回答

□改善・サービス向上について

- 市外への宣伝 (30 代/男性/太田)
- 集客のための工夫 (30 代/男性/大曲)
- I T、ユーチューブで拡散 (40 代/男性/大曲)
- 衛生管理、清潔さ (30 代/女性/西仙北、30 代/女性/大曲、60 代/女性/大曲、50 代/女性/大曲、30 代/男性/大曲、40 代/男性/大曲)
- 施設、温泉の衛生管理。掃除が行き届いて清潔であること。サロン機能もあって気軽に利用者が集い交流ができる場所 (60 代/女性/神岡)
- メンテナンス (60 代/男性/大曲)
- 無料のスペースかWi-Fi(¥0)の設置 (30 代/男性/仙北)
- Wi-Fi (10 代/男性/中仙)
- 営業時間、クリーニングコーナー (50 代/女性/神岡)
- サービスの向上 (70 代/男性/太田)
- 気軽に行けること (60 代/男性/大曲)
- 観光拠点 (30 代/男性/西仙北)
- 観光できる場所 (歩ける距離) (30 代/女性/神岡)
- 周囲に人が集まる施設、観光地、レジャー等 (30 代/女性/神岡)
- そもそも客が少ないのが問題、つまり、観光客を増やしたり、温泉までのアクセスを良くすることを心掛けるべきではないでしょうか。 (20 代/男性/仙北)
- 施設までの交通手段 (80 代/女性/西仙北)
- 立地条件 (20 代/男性/大曲)
- 子どもが楽しめるスペースの確保 (子どものリピーターを増やせば家族も利用する) (30 代/男性/大曲)
- クラウドファンディング。若い世代が集えるように、「木のおもちゃ美術館」のブースを一角に設けるのはどうか。大仙市には森林がいっぱいあるから利用した方がいい。木の効果は素晴らしい。「活樹」してほしい。 (40 代/女性/大曲)

- 図書館がある、スーパーがあるなど、行きやすく温泉以外のこともできるとよい。バスや車が行きやすいところ。（50 代／女性／神岡）
- 複合施設として温泉以外のサービスも提供できるようにすること（30 代／男性／仙北）
- 老人ホーム、介護施設の併設 病院、厚生施設など（30 代／女性）
- 体育館、ジム（30 代／男性／大曲、50 代／女性／大曲）
- オリジナルの特長
- 民間活力導入による経費削減（50 代／男性／西仙北）
- 民営化、老人ホームなどとの合併、若い人を呼ぶ工夫、スパ化など（20 代／女性／大曲）
- イベント（50 代／女性／大曲、60 代／男性／仙北）
- 料金の安さ（40 代／男性／大曲）

□施設整理等について

- 施設毎の PL 開示と今後の取組方針の周知。赤字でも運営続行するのは愚行。（60 代／男性／仙北）
- やめた方がよい
- 市営は不要（40 代／男性／大曲）
- 利用者の多い施設と少ない施設を差別化する。前者は、レジャー要素を取り入れるほか、産直、会議室などを整備し集客を図る。後者は、利用者の協力などを受け、維持出来る程度に施設を簡素化する。（30 代／女性／西仙北）
- だんだん人口が少なくなって温泉の利用者が少なくなって来ている中で年間 1 億円もの維持費がかかるのにまたいろいろ増やすのですか？もう少し温泉施設のあり方というものを根本的にもう一度考えるべき問題ではないですか？一度 10 枚つづりの無料券でも配って皆に知らせることを考えてみたら．．．（60 代／女性／大曲）
- 施設の削減をするべき（60 代／男性／大曲）
- 統合廃止の検討（30 代／男性／大曲）
- 施設は少なくとも良いので、衛生的で安価であれば良いと思う。高齢者の利用については、送迎バス等のサービスがあれば良い。（20 代／女性／中仙）
- 維持費 1 億円にびっくりした。若い人達の子育てにもう少し向けて欲しい。採算の悪い所は縮小していったらと思う。（60 代／男性／西仙北）
- 維持費の面で困難（70 代／女性／大曲）
- 市営で約 1 億円の維持費がかかるなら、採算もとれない所などやめれば良いと思う。（40 代／女性／大曲）

□その他

- 従業員の待遇を改善して欲しい（60 代／女性／大曲）
- 場所がわからない（60 代／男性／西仙北）

◆調査結果まとめ及び今後の方針

○温泉施設の利用者数は年々減少傾向にあり、本アンケートでは1か月に1回以上利用する方が全体の20.4%にとどまっていることがわかった。また、利用なし・利用は極希という方は41.5%に上っている。

利用者の利用目的は疲労回復、療養、健康のためが76.8%と高いが、レジャー、娯楽が16.2%、地域の知り合いと交流が13.1%であり、温泉施設に行くことを楽しみにしている市民も一定数いることがわかった。

○市民の保養、休養及び交流を促進し、市民の豊かな生活に一定の役割を果たしているものの、利用者の減少や市民のニーズを受け、施設機能の一部見直しなども視野に入れながら、温泉施設の今後のあり方について検討する必要がある。

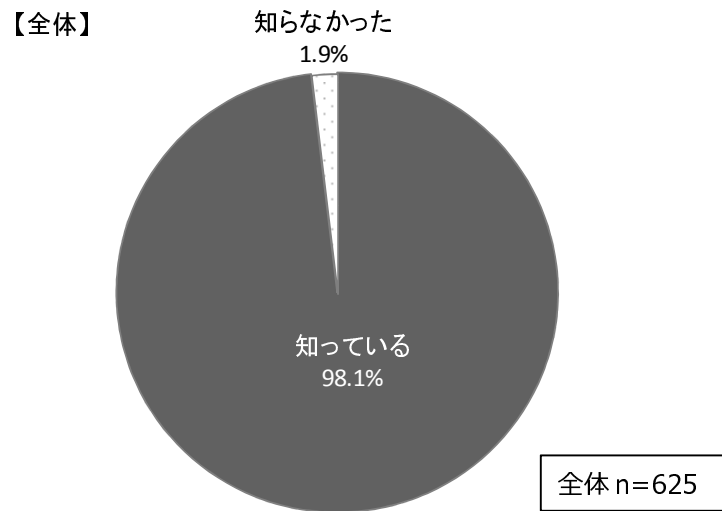
3. 1. 4 マイナンバーカードについて

(市民部市民課)

- ◆ 調査目的：今後、健康保険証としてもマイナンバーカードを利用可能にするよう整備が進む中、市民のみなさんのカード取得に対する意識を調査し、普及促進のための参考とする。

【問 1】「マイナンバーカード」を知っていますか。

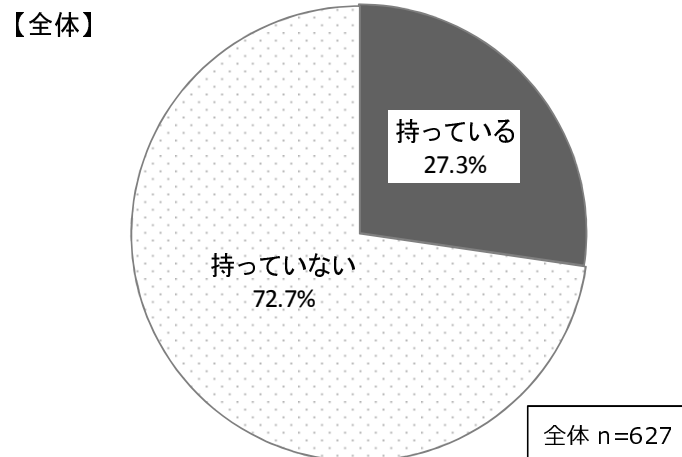
○全体では、「知っている」と回答した方が 98.1%となっており、ほとんどの方に「マイナンバーカード」が知られている。



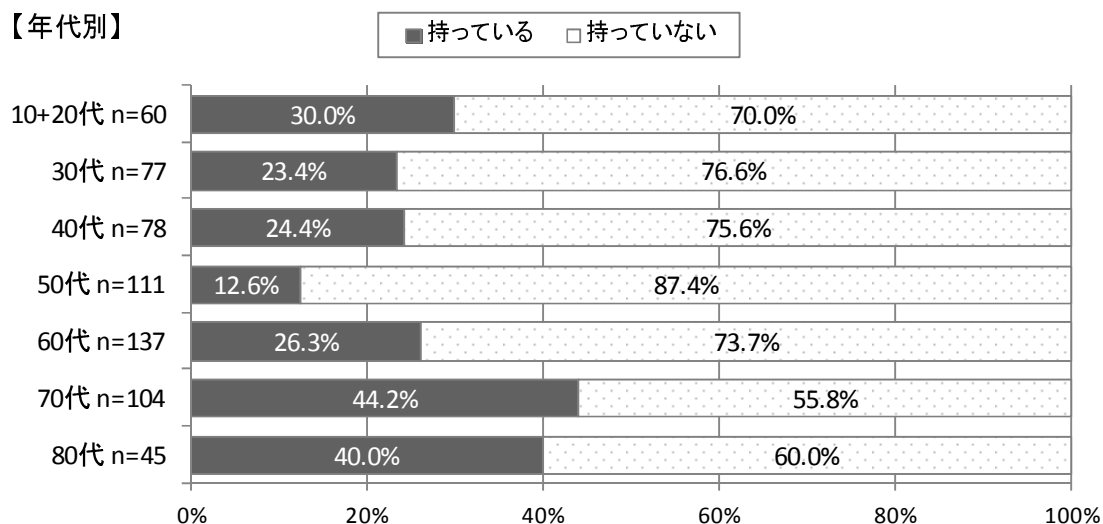
【問 2】「マイナンバーカード」を持っていますか

○全体では、「持っている」と回答した方が 27.3%、「持っていない」と回答した方が 72.7%となっており、所持している方は3割を下回っている。

○年代別で見ると、持っている割合が最も高いのは70代で44.2%、最も低いのは50代で12.6%となっている。



【年代別】

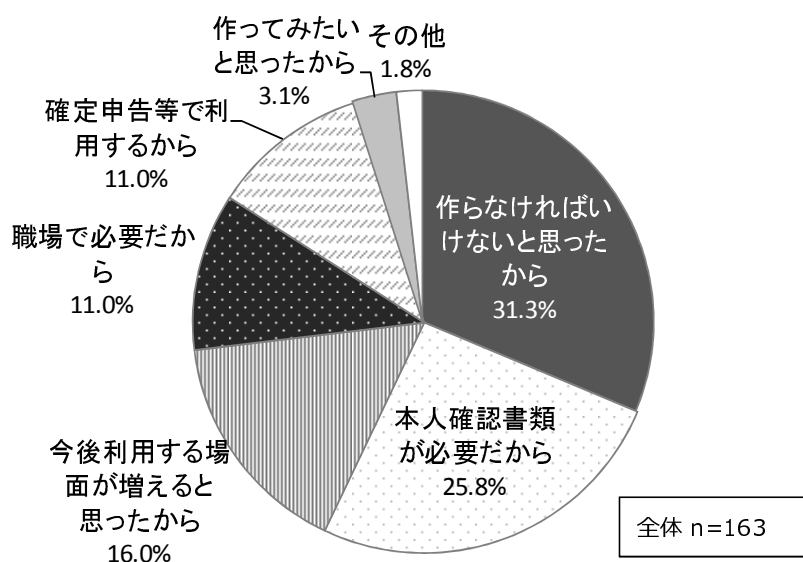


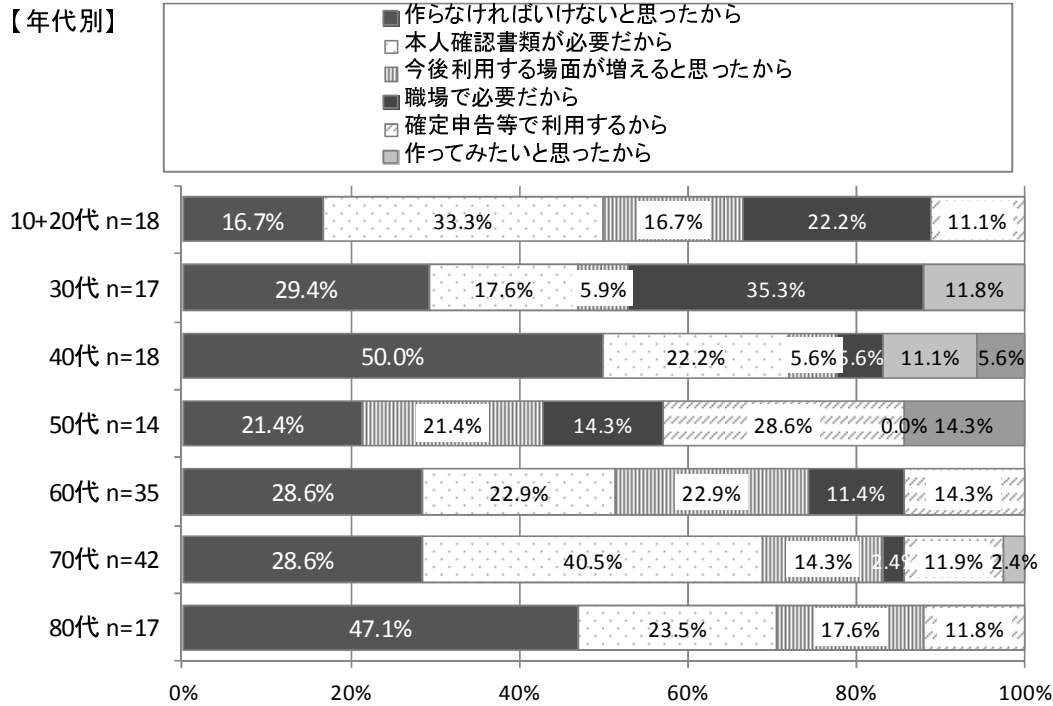
【問3】マイナンバーカードを作った理由は何ですか。（○は1つ）

（問2で「持っている」と回答した方）

○全体では、「作らなければいけないと思ったから」が最も多く 31.3%、次に「本人確認書類が必要だから」が多く 25.8%、3番目に「今後利用する場面が増えると持ったから」が多く 16.0%となっている。

○年代別で見ると、各年代の持っている方の母数が少ないものの、問2で「持っている」と回答した割合の多い70代では、「本人確認書類が必要だから」と回答した方が最も多く 40.5%となっている。





【問 4】マイナンバーカードを持たない理由は何ですか。（複数回答可）

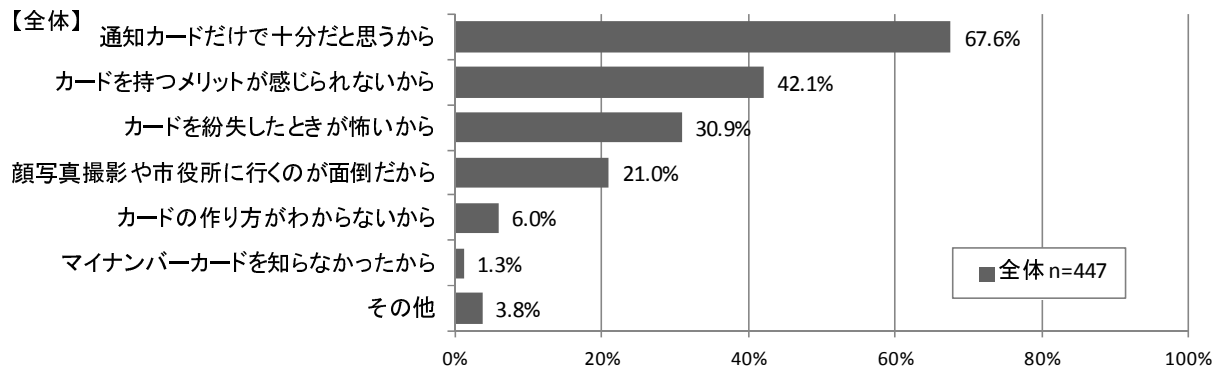
（問 2 で「持っていない」と回答した方）

○全体では、「通知カードだけで十分だと思うから」が最も多く 67.6%、次に「カードを持つメリットが感じられないから」が多く 42.1%、三番目に「カードを紛失した時が怖いから」が多く 30.9%となっている。

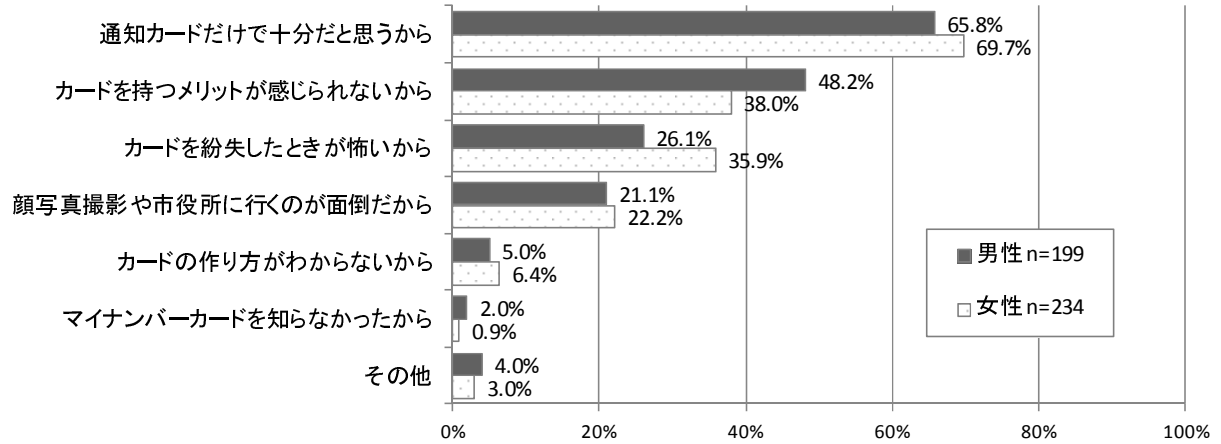
○性別で見ると、男女とも全体と同じく「通知カードだけで十分だと思うから」が最も多く、次に「カードを持つメリットが感じられないから」が多く、三番目に「カードを紛失した時が怖いから」が多くなっている。

○性別で二番目に多い「カードを持つメリットが感じられないから」と回答した割合は、男性の方が多く 48.2%、女性の方が少なく 38.0%となっており、10.2 ポイントの差がある。

○性別で三番目に多い「カードを紛失したときが怖いから」と回答した割合は、女性の方が多く 35.9%、男性の方が少なく 26.1%となっており、9.8 ポイントの差がある。



【性別】



■ その他の回答

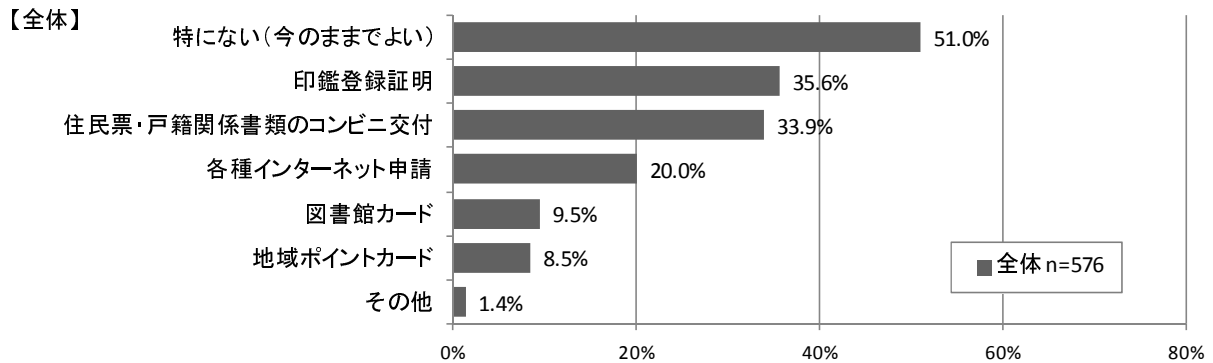
- カードの数を増やしたくない (20 代／男性)
- 使用頻度が少ない (60 代／男性)
- 個人情報すべて露出されてしまうのがこわい (60 代／女性)
- 現時点では必要ではないから。(70 代／男性)
- 別に現状に困ってないから。作るのがめんどくさい。(40 代／男性)
- 今までなくてもやってこられた (70 代／女性)
- 仕組みがわからなかったから
- 作成中 (70 代／男性)
- 健康保険証として利用できるようになったらカードを作りたい (60 代／男性)
- 生活の中で証明書として運転免許証で充分だから (40 代／女性)
- 作成予定 (50 代／女性)
- 顔写真の証明書は他にもあるから (30 代／男性)

【問5】マイナンバーカードを利用してできるといいと思う市役所のサービスはありますか。
(複数回答可)

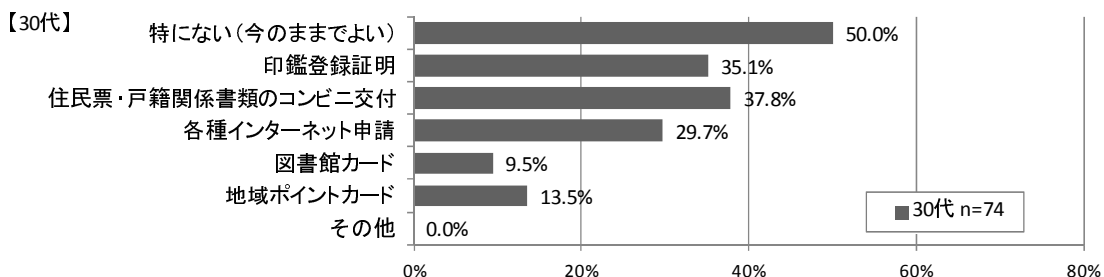
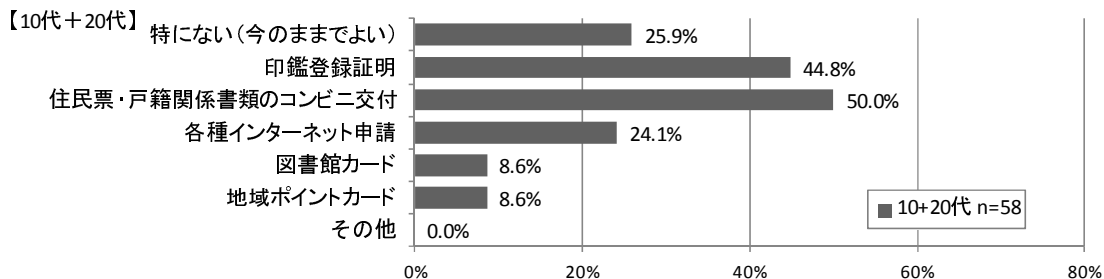
○全体では、「特にない(今のままでよい)」が最も多く 51.0%、次に「印鑑登録証明」が多く 35.6%、三番目に「住民票・戸籍関係書類のコンビニ交付」が多く 33.9%となっている。

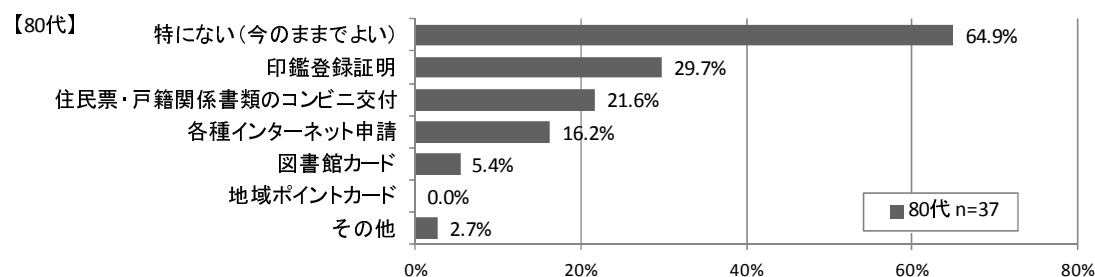
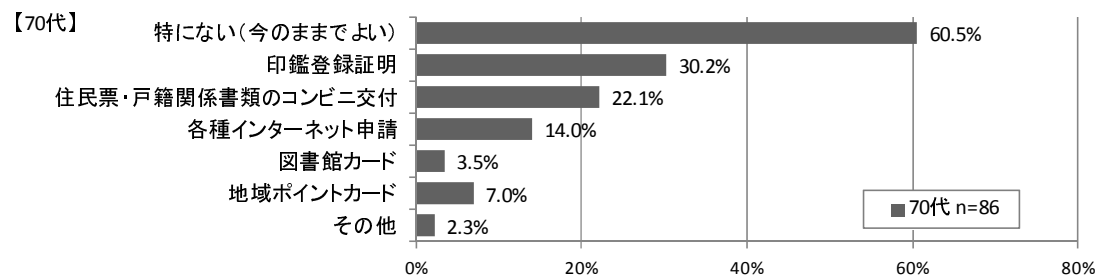
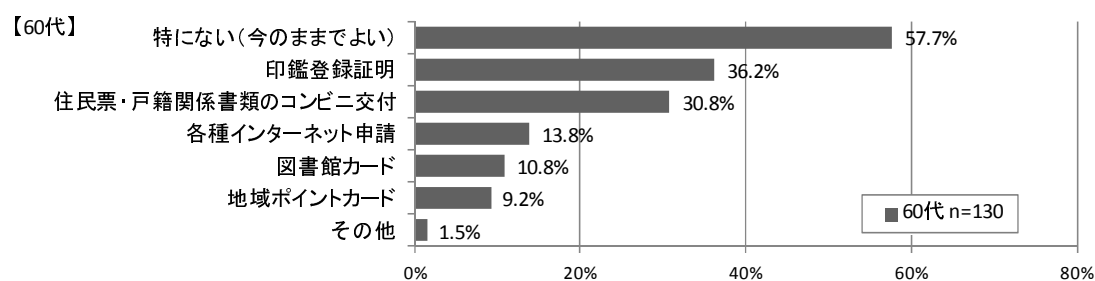
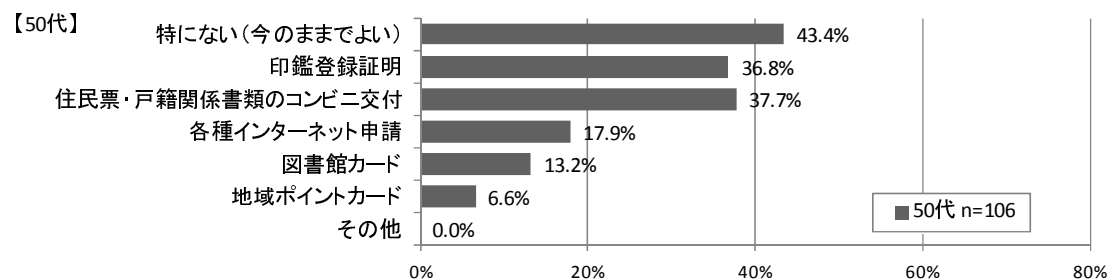
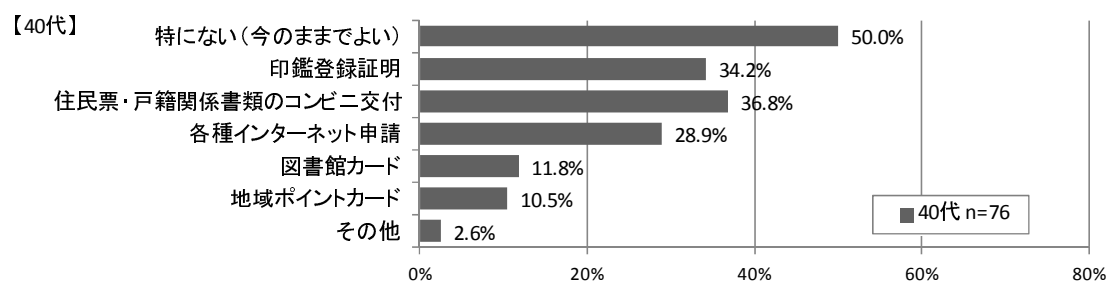
○年代別では、10代+20代で「住民票・戸籍関係書類のコンビニ交付」と回答した方の割合が最も多く 50.0%、30代以上のすべての年代では「特にない(今のままでよい)」と回答した方の割合が最も多くなっている。

○「住民票・戸籍関係書類のコンビニ交付」と回答した方の割合は、10代+20代で最も多いが、30代、40代、50代では「特にない(今のままでよい)」の回答に続き、二番目に回答した方の割合が多い項目になっている。60代、70代、80代では、二番目に回答した方の割合が多いのは「印鑑登録証明」となっている。



【年代別】





■その他の回答

- 分からない。税申請時のみ使用（80代／女性）
- いまいちカードの情報が周知されていないので、あまり持ち歩きたくないという人が多いと思うし、軽く使うことはしないほしい。（60代／男性）
- 今は自分にとって必要ないと思っているので、わかりません。（60代／女性）
- 今まで利用したことはない（70代／男性）
- 医者（70代／男性）
- プリペイドカードとしても使える（40代／女性）
- 免許証に代わる各種手続きの証明書として活用したい（40代／女性）

◆ 調査結果のまとめ及び今後の方針

○問1でマイナンバーカードを「知っている」と回答した方の割合は98.1%となっておりほとんどの方が知っているが、問2では、マイナンバーカードを「持っている」と回答した方は27.3%に留まっている。マイナンバーカードの普及に向けて、国では、郵送・パソコン・スマートフォン・まちなかの証明写真機での申請を可能にしており、市役所窓口でも顔写真の撮影を無料で行う「マイナンバーカード申請サポート」を行っているなど、カードを取得しやすい環境を作り普及に努めているが、本市の令和元年10月時点での取得率は10%程度となっている。

○年代別で、マイナンバーカードを「持っている」と回答した方の割合が最も多かった70代では、「本人確認書類が必要なため」と回答した方が40.5%であるなど、写真付き公的身分証としての一定の必要性は感じられていることがわかった。しかし、問4では、マイナンバーカードを「持っていない」と回答した方の67.6%が「通知カードで十分だと思う」、42.1%が「カードを持つメリットが感じられない」と回答している。また、問5ではマイナンバーカードを利用してできるといいと思うサービスについては、「特にない（今のままでよい）」と回答した方が最も多く51.0%となっている。

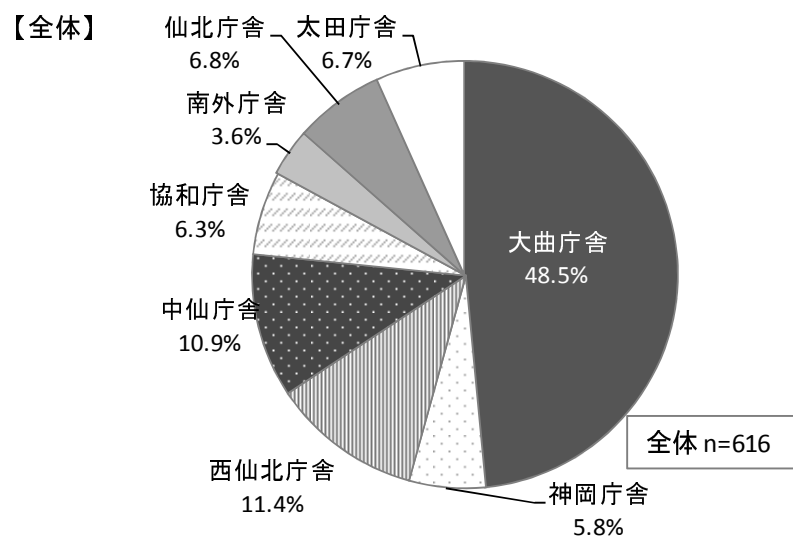
○今後、マイナンバーカードを健康保険証としても利用可能にするよう国でも整備が進む中、引き続きマイナンバーカード申請方法のPRを行い、普及促進を行うと共に、市民のみなさんが、マイナンバーカードを活用して生活の利便性が向上するなど、メリットを感じられる利用方法も検討していく。

- ◆ **調査目的**：市民の皆さんに親しみやすく分かりやすい、信頼される行政運営を目指し、普段市民のみなさんが感じている市役所サービスについての意見を調査することにより、分かりやすい、利用しやすいと感じる環境づくりを進めていくための参考とする。

【問 1】市役所でよく利用する庁舎はどの庁舎ですか。

○全体では、「大曲庁舎」と回答した方が最も多く 48.5%、次に「西仙北庁舎」と回答した方が多く 11.4%となっている。

○居住地別で見ると、それぞれ居住地域の庁舎を利用する割合が最も高い。



	有効 回答 数	大 曲 庁 舎	神 岡 庁 舎	西 仙 北 庁 舎	中 仙 庁 舎	協 和 庁 舎	南 外 庁 舎	仙 北 庁 舎	太 田 庁 舎
全体	616	299	36	70	67	39	22	42	41
		48.5%	5.8%	11.4%	10.9%	6.3%	3.6%	6.8%	6.7%
【居住地】									
大曲	260	254		4	1				1
		97.7%	0.0%	1.5%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%
神岡	41	5	35	1					
		12.2%	85.4%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
西仙北	59	3		56					
		5.1%	0.0%	94.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
中仙	74	8			65				1
		10.8%	0.0%	0.0%	87.8%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%
協和	44	1		5		38			
		2.3%	0.0%	11.4%	0.0%	86.4%	0.0%	0.0%	0.0%
南外	30	7	1				22		
		23.3%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	73.3%	0.0%	0.0%
仙北	51	9		1				40	1
		17.7%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	78.4%	2.0%
太田	41	3						1	37
		7.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	90.2%
無回答	16	9		3	1	1		1	1

【問2】市役所の仕事の取り組み方に対して、どのように感じていますか

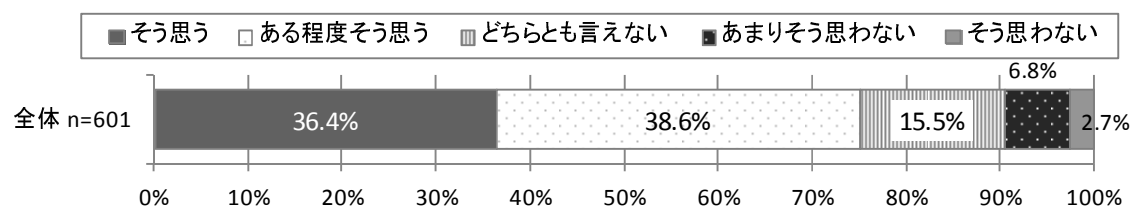
■窓口や電話で親切な対応を行っている

○全体では、「ある程度そう思う」が最も多く 38.6%、次に「そう思う」と回答した方が多く 36.4%となっており、「そう思う」「ある程度そう思う」を合わせると 75.0%となっている。

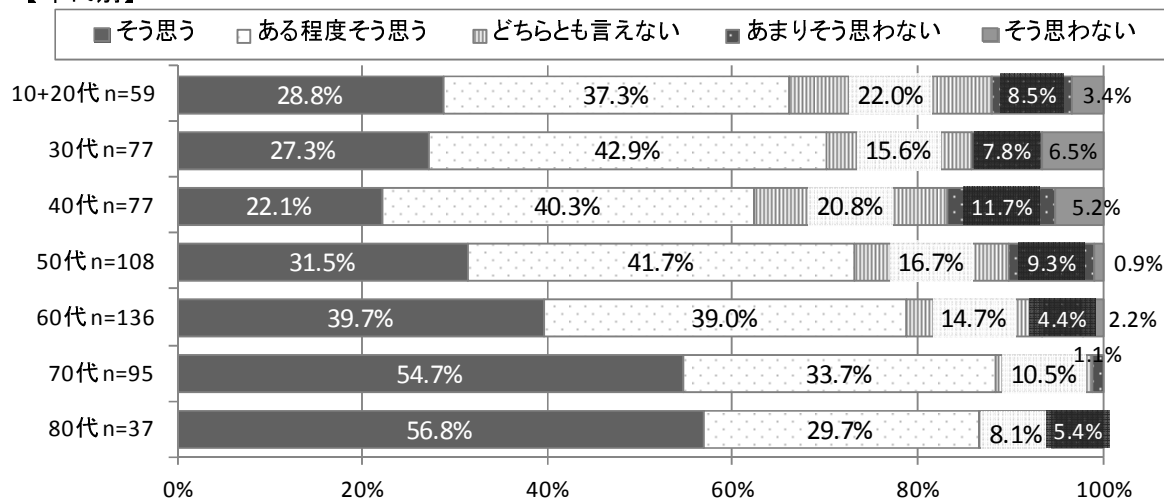
○年代別で見ると、「そう思う」と回答した方が最も多いのは80代で56.8%、次に70代で54.7%となっている。逆に、「そう思わない」と回答した方が最も多いのは30代で6.5%、次に40代で5.2%となっている。

○年代別で、「そう思う」「ある程度そう思う」を合わせた割合が最も多いのは70代で88.4%、最も少ないのは40代で62.4%となっており、26ポイントの差がある。

○年代別で、逆に、「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた割合が最も多いのは40代で16.9%、最も少ないのは70代で1.1%となっており、15.8ポイントの差がある。



【年代別】



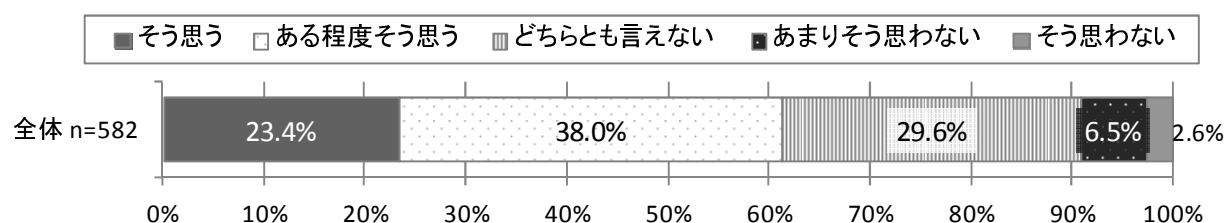
■必要なサービスが利用しやすい

○全体では、「ある程度そう思う」が最も多く 38.0%、次に「どちらとも言えない」と回答した方が多く 29.6%となっている。「そう思う」「ある程度そう思う」を合わせると 61.4%となっている。

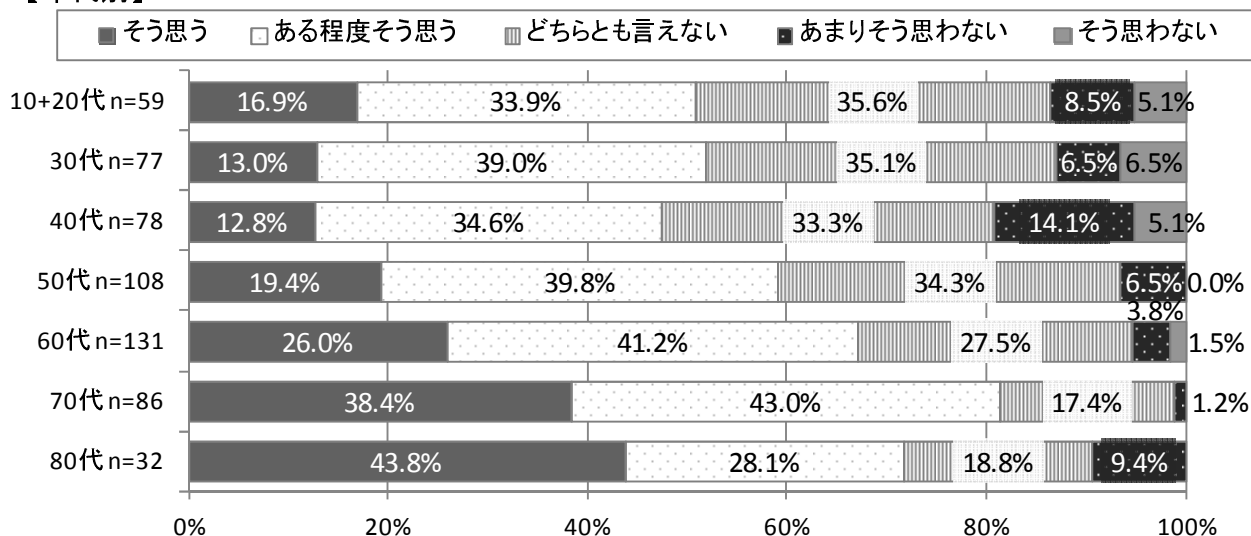
○年代別で見ると、30代から70代では「ある程度そう思う」を回答した方の割合が最も多かったが、10代と20代を合わせた年代で「どちらとも言えない」が最も多く 35.6%、80代では「そう思う」が最も多く 43.8%となっている。

○年代別で、「そう思う」「ある程度そう思う」を合わせた割合が最も多いのは70代で 81.4%、最も少ないのは40代で 47.4%となっており、34ポイントの差がある。

○年代別で、逆に、「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた割合が最も多いのは40代で 19.2%、最も少ないのは70代で 1.2%となっており、18ポイントの差がある。



【年代別】



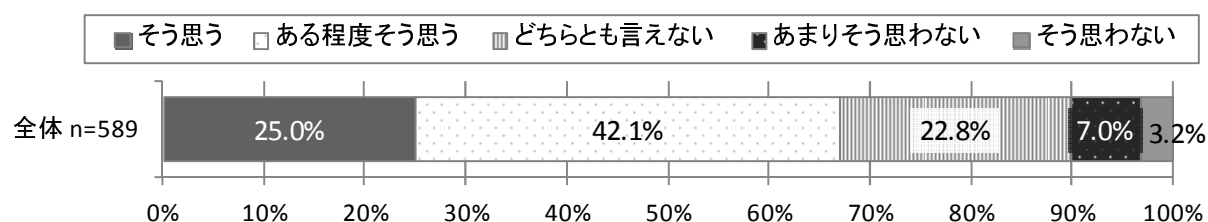
■届出や申請がスムーズでわかりやすい

○全体では、「ある程度そう思う」が最も多く 42.1%、次に「そう思う」と回答した方が多く 25.0%となっている。「そう思う」「ある程度そう思う」を合わせると 67.1%となっている。

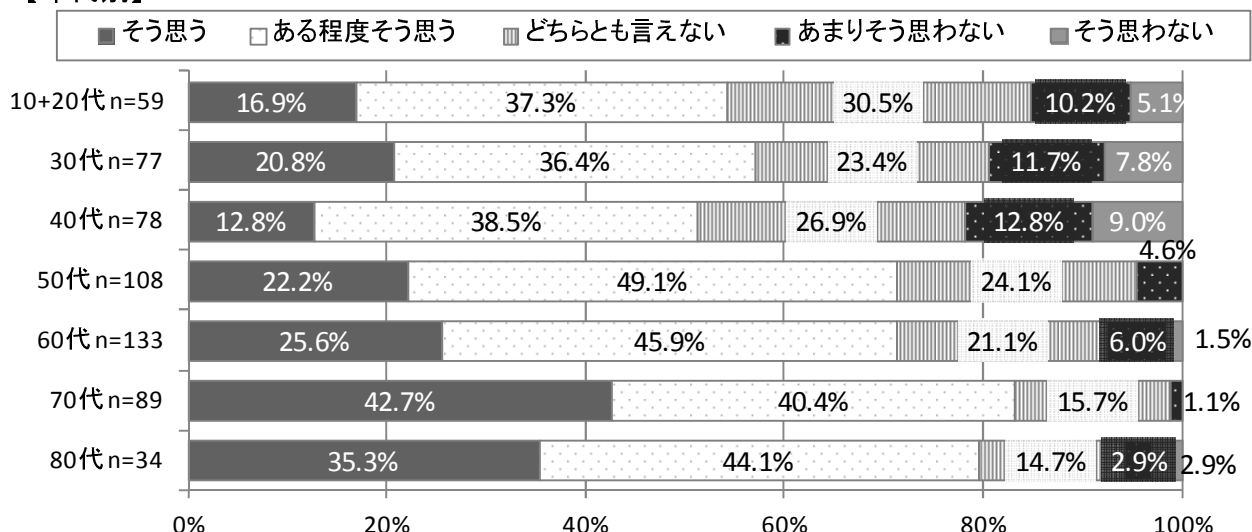
○年代別で見ると、70代では「そう思う」を回答した方の割合が最も多く、それ以外の年代では「ある程度そう思う」と回答した方の割合が最も多くなっている。

○年代別で、「そう思う」「ある程度そう思う」を合わせた割合が最も多いのは70代で83.1%、最も少ないのは40代で51.3%となっており、31.8ポイントの差がある。

○年代別で、逆に、「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた割合が最も多いのは40代で21.8%、最も少ないのは70代で1.1%となっており、20.7ポイントの差がある。



【年代別】



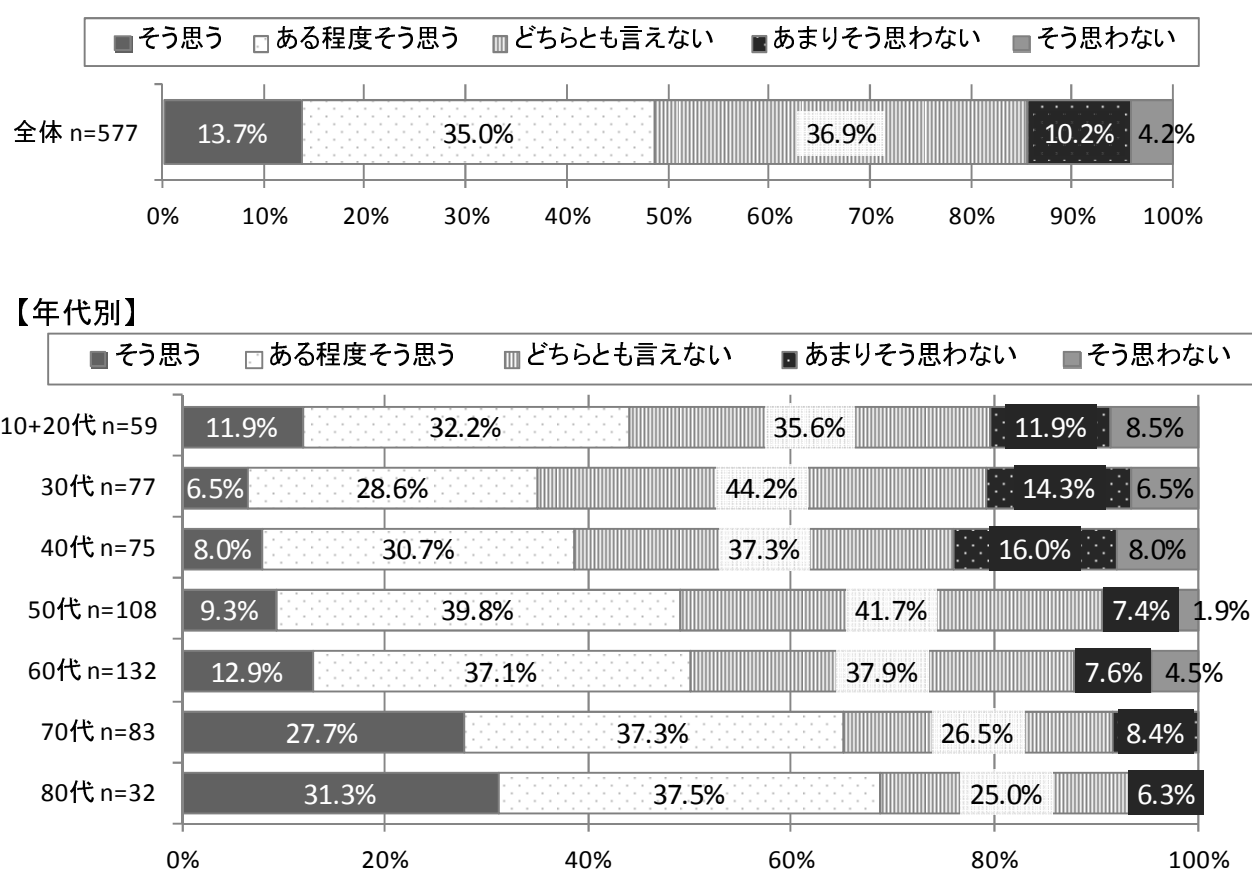
■行政サービスの改善・効率化に努めている

○全体では、「どちらとも言えない」が最も多く 36.9%、次に「ある程度そう思う」と回答した方が多く 35.0%となっている。「そう思う」「ある程度そう思う」を合わせると 48.7%となっている。

○年代別で見ると、70代、80代では「ある程度そう思う」を回答した方の割合が最も多く、それ以外の年代では「どちらとも言えない」と回答した方の割合が最も多くなっている。

○年代別で、「そう思う」「ある程度そう思う」を合わせた割合が最も多いのは80代で 65.0%、最も少ないのは30代で 35.1%となっており、29.9ポイントの差がある。

○年代別で、「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた割合が最も多いのは40代で 24.0%、最も少ないのは80代で 6.3%となっており、17.7ポイントの差がある。



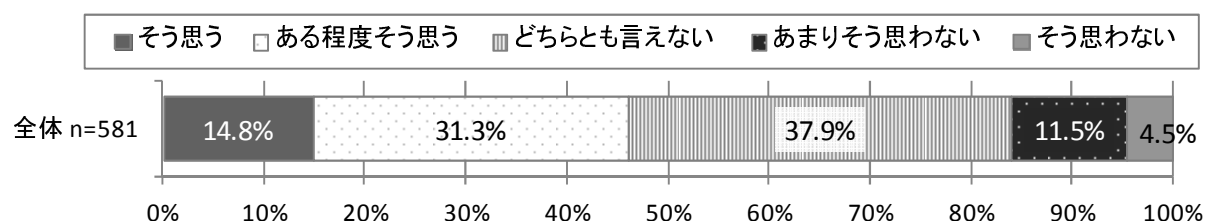
■市の情報を分かりやすく積極的に発信している

○全体では、「どちらとも言えない」が最も多く 37.9%、次に「ある程度そう思う」と回答した方が多く 31.3%となっている。「そう思う」「ある程度そう思う」を合わせると 46.1%となっている。「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせると 16.0%となっている。

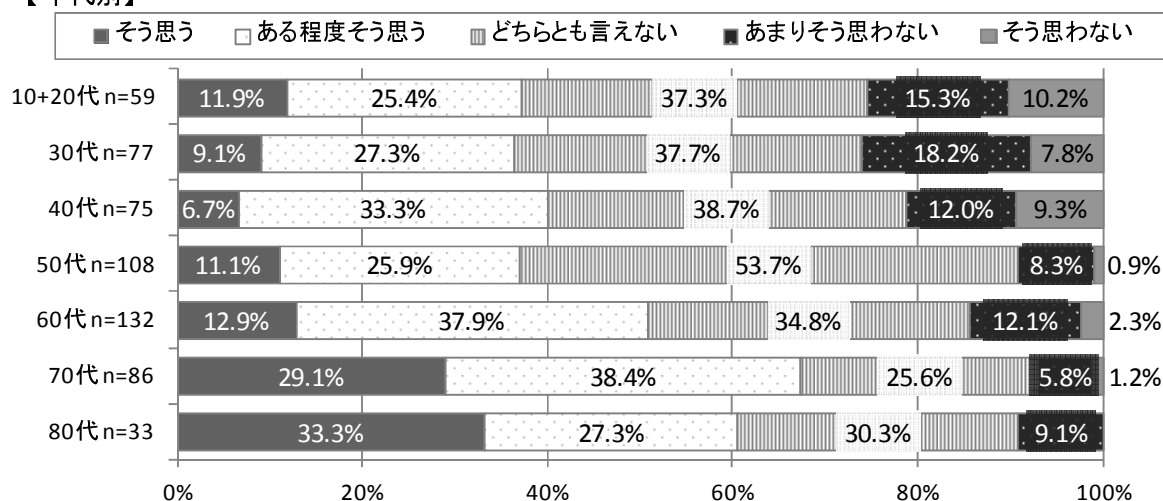
○年代別で見ると、回答した方の割合が最も多いのは、80代では「そう思う」（33.3%）、60代、70代では「ある程度そう思う」（60代 37.9%、70代 38.4%）となっており、10代と20代を合わせた年代から50代では「どちらとも言えない」と回答した方の割合が最も多くなっている。

○年代別で、「そう思う」「ある程度そう思う」を合わせた割合が最も多いのは70代で 67.5%、最も少ないのは30代で 36.4%となっており、31.1ポイントの差がある。

○年代別で、「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた割合が最も多いのは30代で 26.0%、最も少ないのは70代で 7.0%となっており、19.0ポイントの差がある。



【年代別】



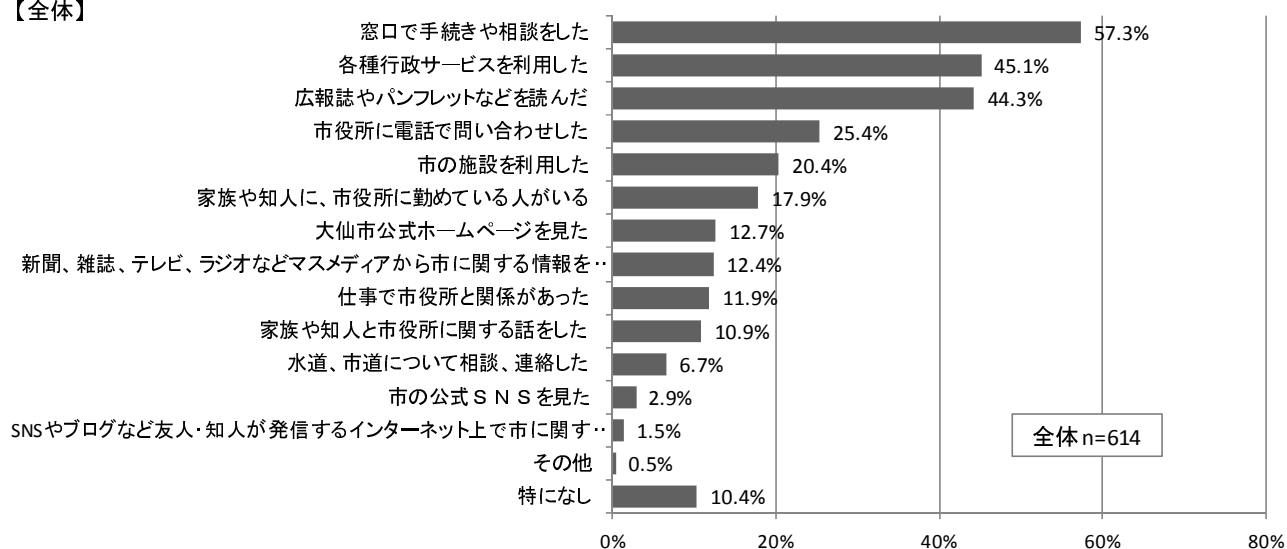
【問3】この1年間で、あなたが市役所と関わった機会は何ですか。（複数回答可）

○全体では、「窓口で手続きや相談をした」と回答した方が最も多く 57.3%、次に「各種行政サービスを利用した」と回答した方が多く 45.1%となっている。

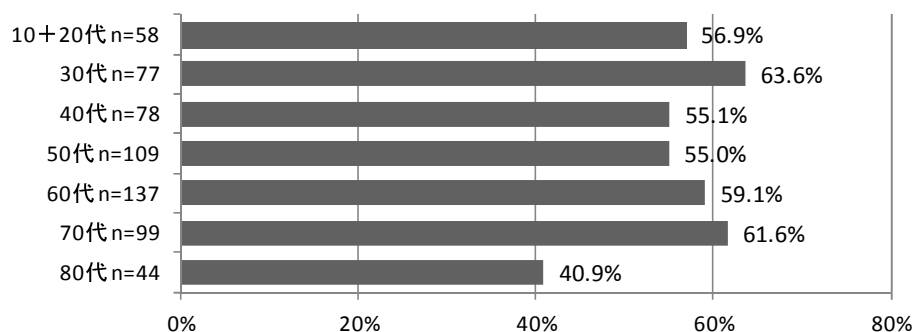
○市役所と関わった機会を年代別で見ると、「窓口で手続きや相談をした」と回答している方の割合は、80代で40.9%ではあるものの、10代と20代を合わせた年代から70代までの年代で50%以上を超えており、年代に関わりなく半数程度が1年間に窓口手続きに市役所に訪れている、と回答している。

○年代別で見ると、1年間で市役所と関わった機会を「特になし」と回答しているのは、80代で最も割合が多く25.0%、10代と20代を合わせた年代で次に割合が多く17.2%となっている。

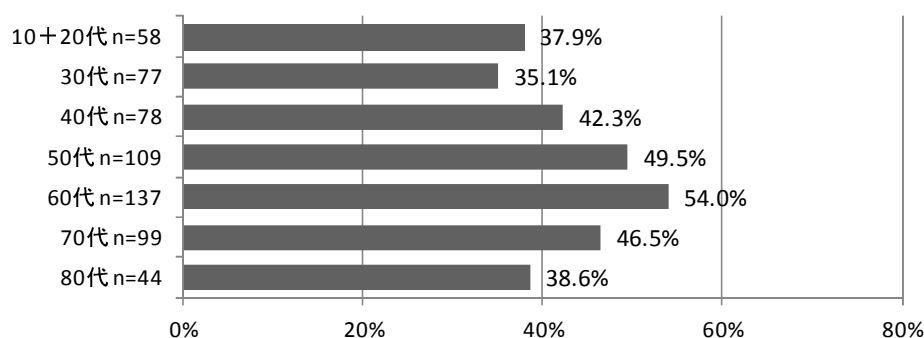
【全体】



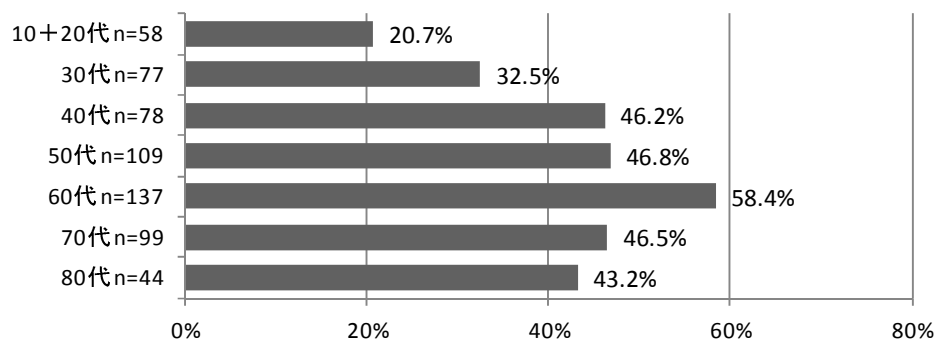
■窓口で手続きや相談をした



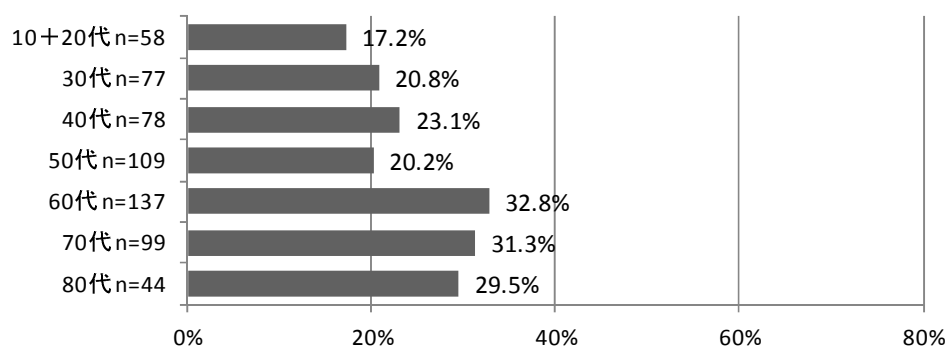
■各種行政サービスを利用した（証明交付、福祉サービス、医療費等の助成）



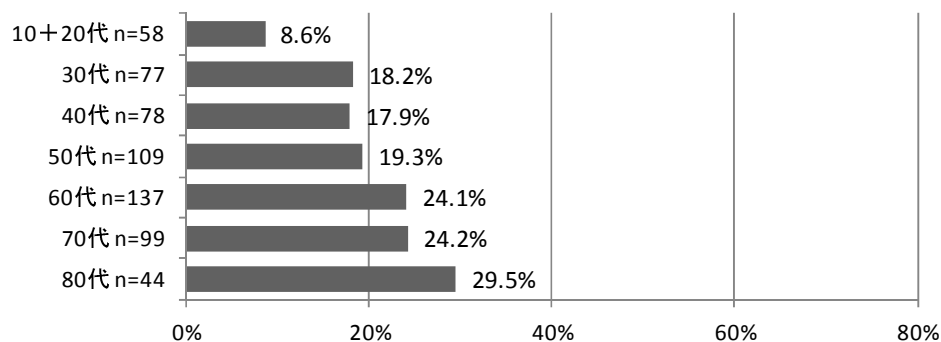
■広報紙やパンフレットを読んだ



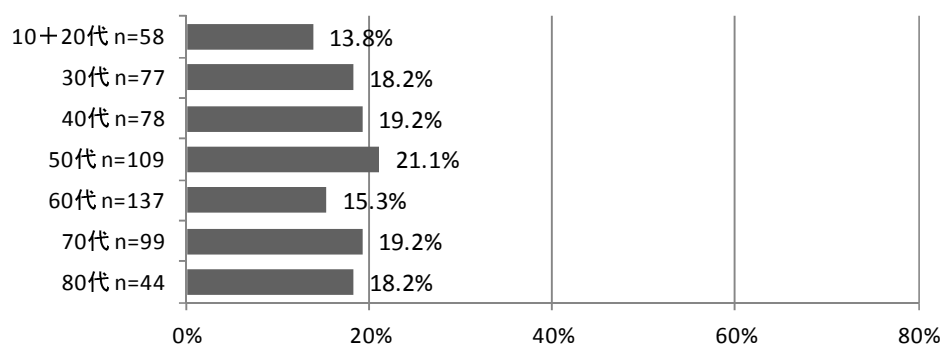
■市役所に電話で問い合わせた



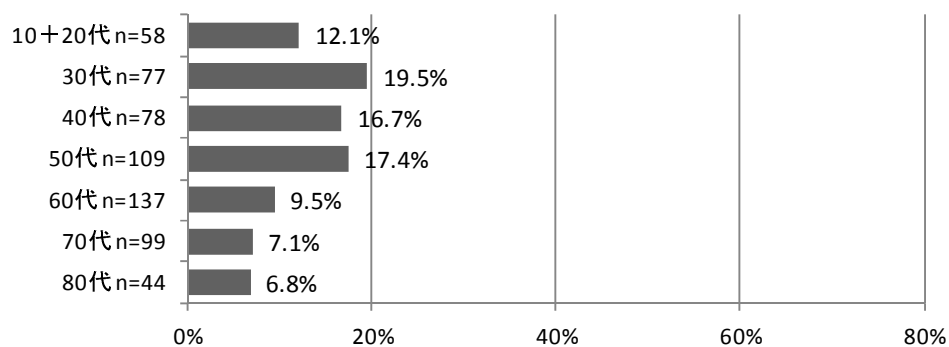
■市の施設を利用した



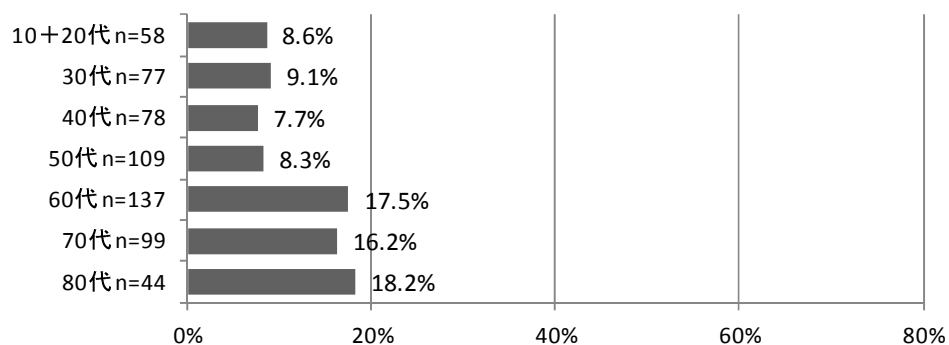
■家族や知人に市役所に勤めている人がいる（いた）



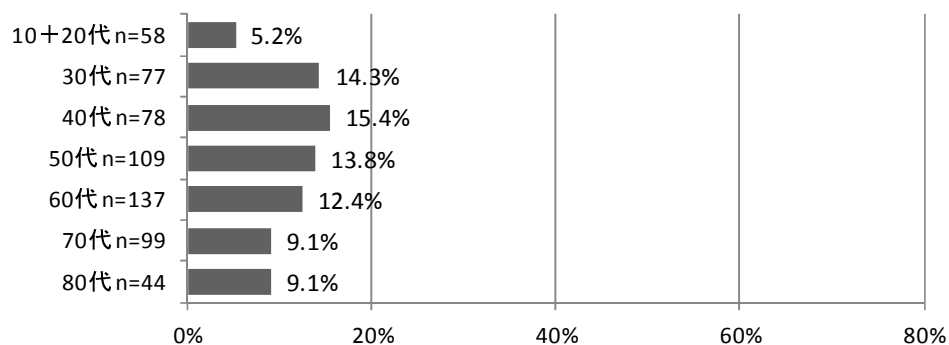
■市の公式ホームページを見た



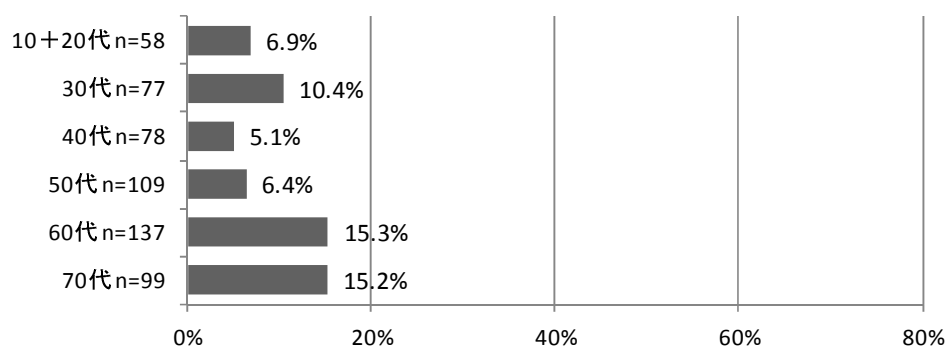
■新聞、雑誌、テレビ、ラジオなどのマスメディアから市に関する情報を得た



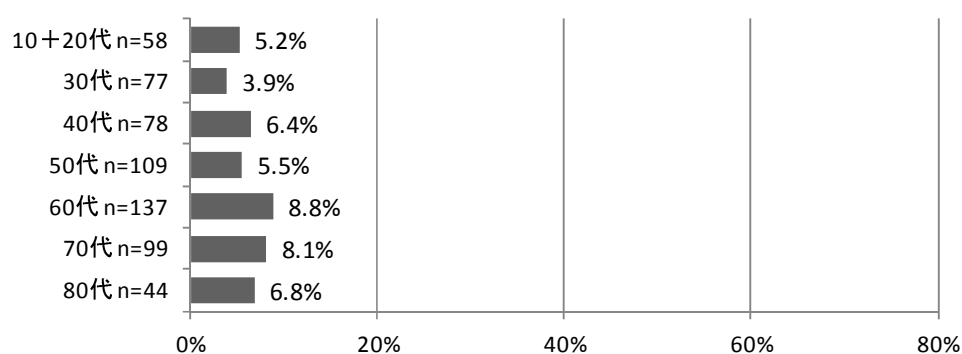
■仕事で市役所と関係がある（あった）



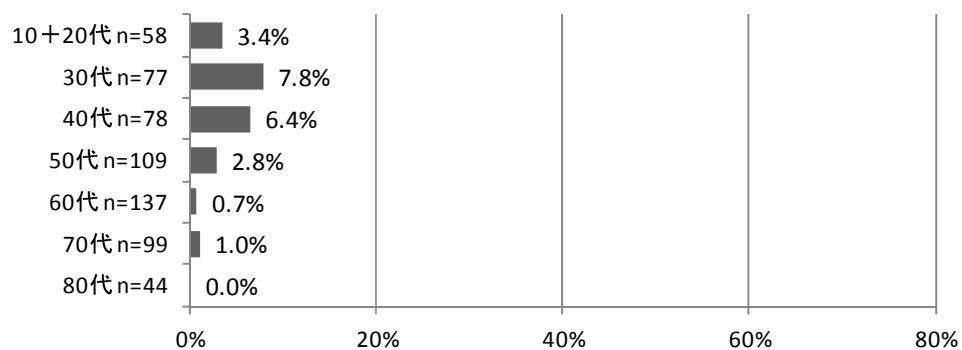
■家族や知人と市役所に関する話をした



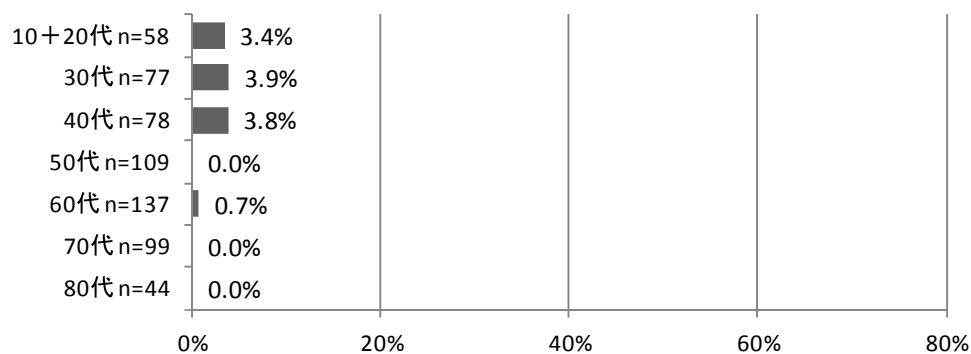
■水道、市道について相談、連絡した



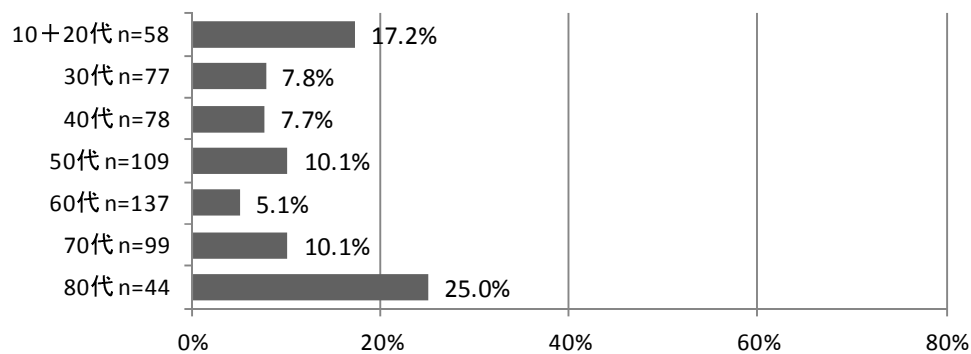
■市の公式SNS（フェイスブックやInstagram）を見た



■SNSやブログなど友人・知人が発信するインターネット上で市の情報を得た



■特になし



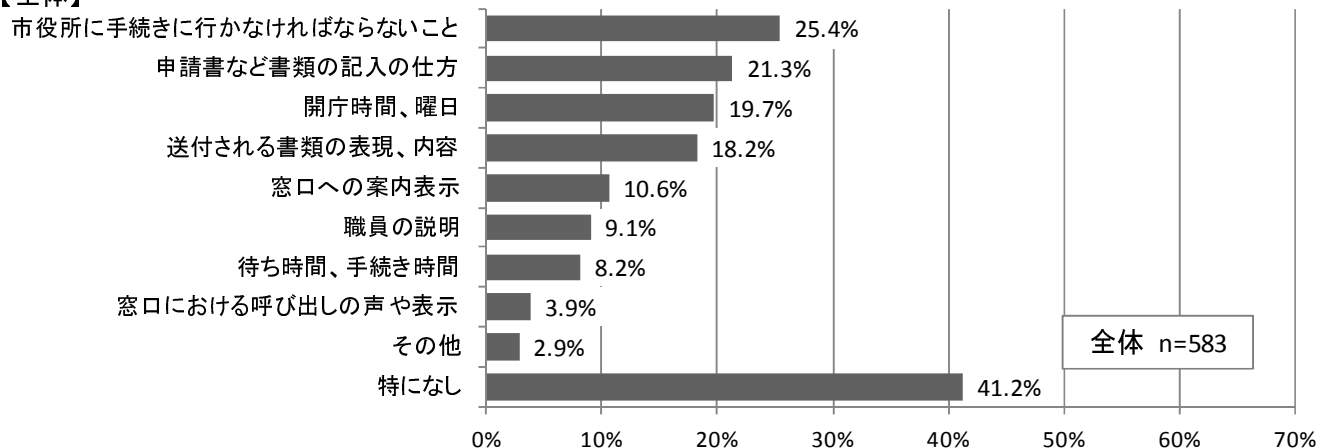
【問4】市役所で届出や申請をした際に、わかりづらい、不便だと感じたことはありますか。

(〇は3つまで)

○全体では、「特になし」と回答した方が最も多く 41.2%、次に「市役所に手続きに行かなければならないこと」と回答した方が多く 25.4%となっている。

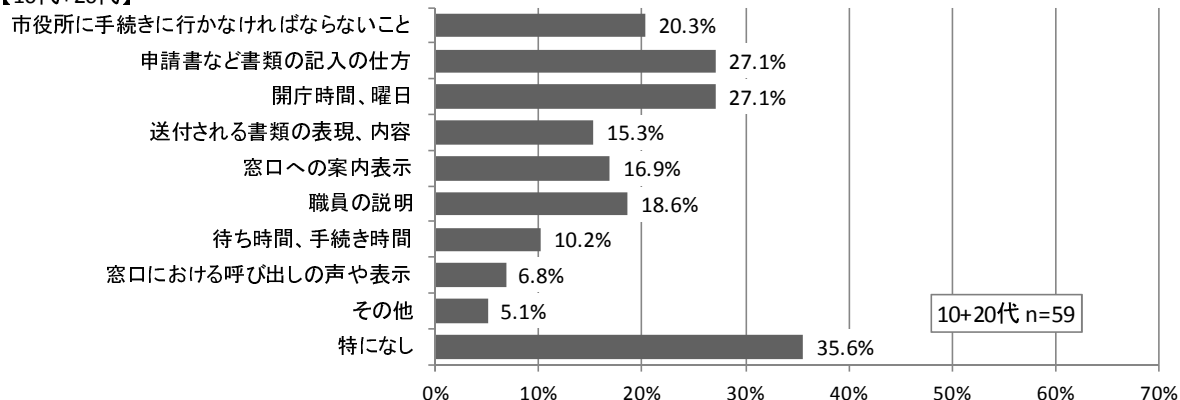
○年代別では、すべての年代で「特になし」と回答している方の割合が最も多い。次に回答している方の割合が多いのは、10代と20代を合わせた年代で「申請書など書類の記入の仕方」と「開庁時間、曜日」（いずれも 27.1%）、30代、40代では「開庁時間、曜日」（30代 31.2%、40代 30.1%）、50代と70代では「市役所に手続きに行かなければならないこと」（50代 30.6%、70代 22.7%）、60代と80代では「送付される文書の表現、内容（専門用語、役所言葉が多くわかりにくいなど）」（60代 25.0%、80代 28.6%）となっている。

【全体】

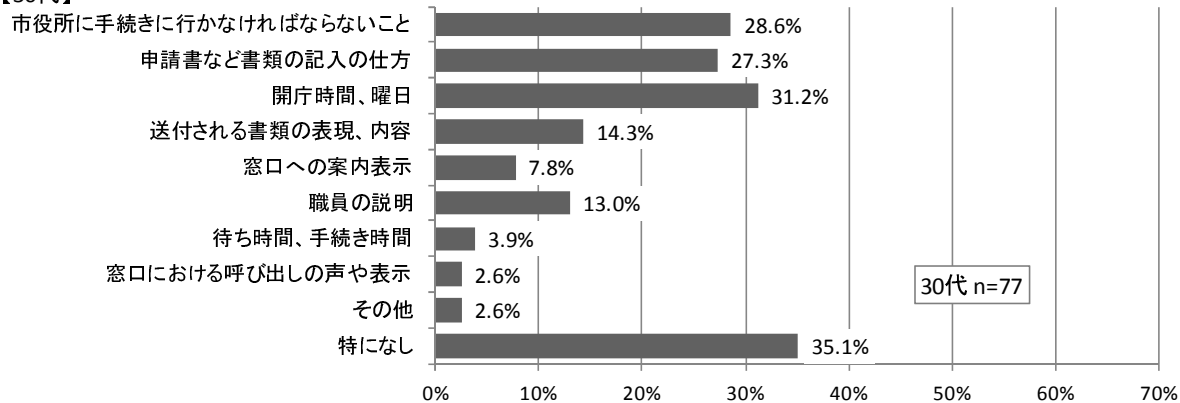


■年代別

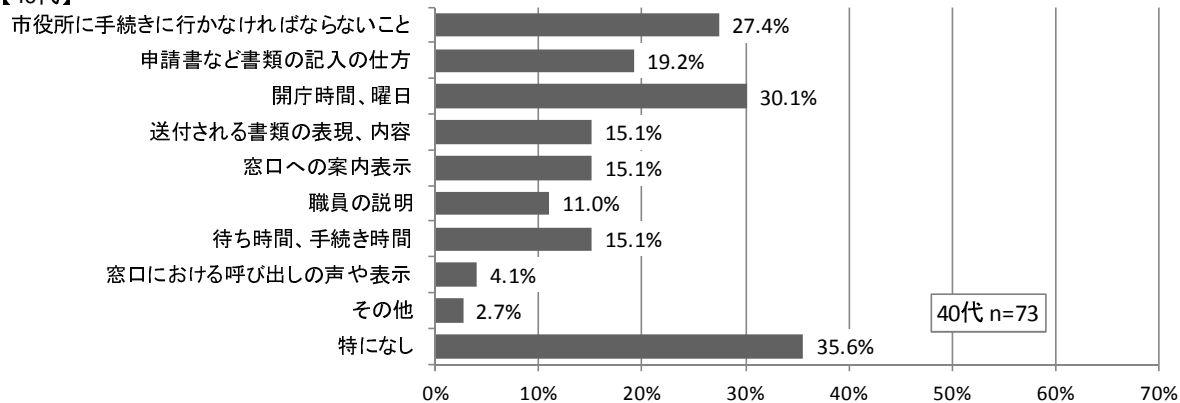
【10代+20代】



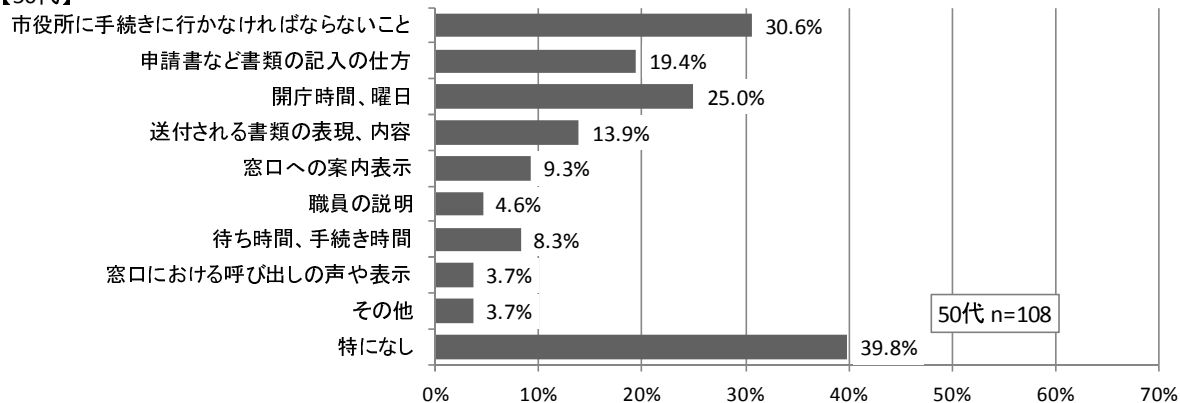
【30代】



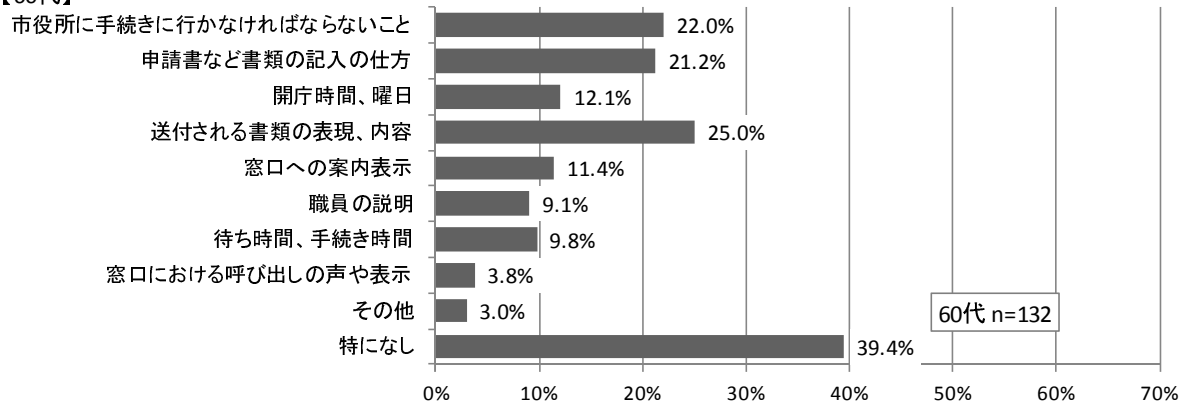
【40代】



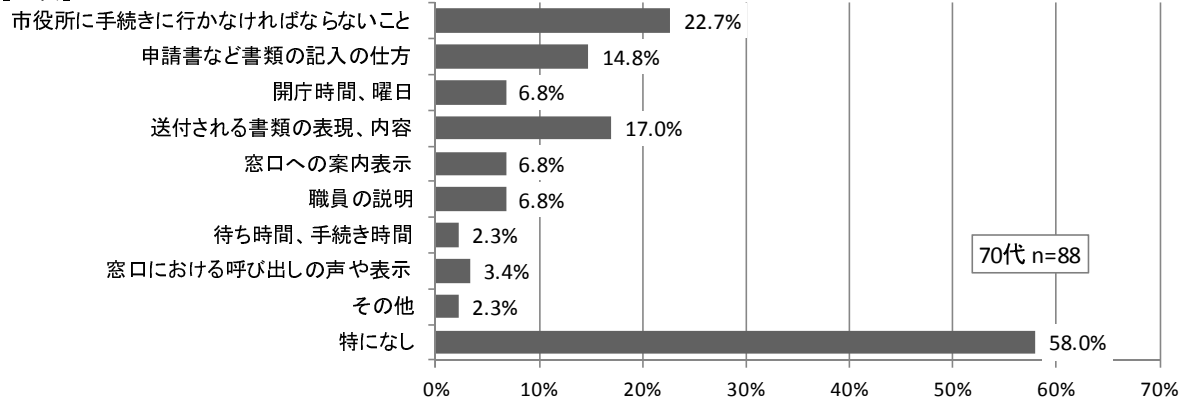
【50代】



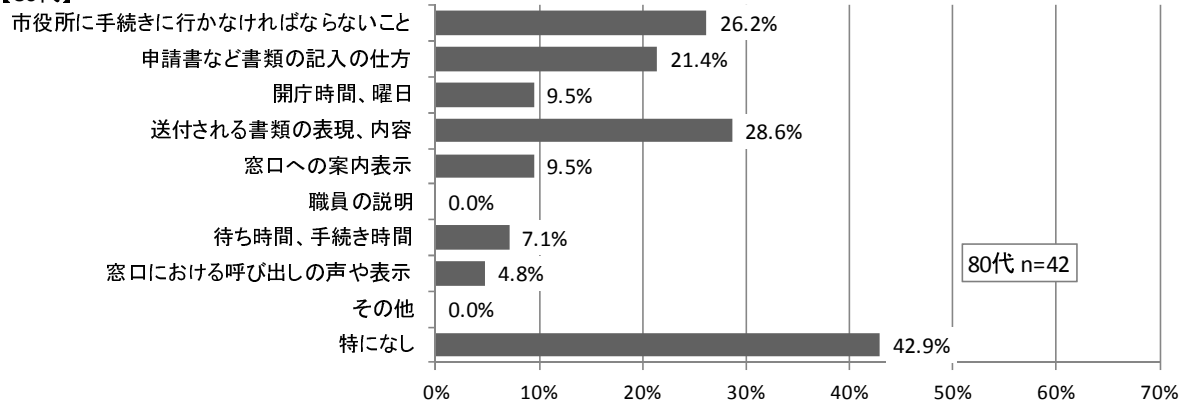
【60代】



【70代】



【80代】



【問5】わかりづらい、不便だと感じた具体的な事例など、理由があれば記入してください。
(自由記述形式)

□開庁時間・開庁日

- ・ 土日、祝祭日に申請等できないことが不便であり、交代制の当番も検討して欲しい。(50代/男性/仙北)
- ・ 住民票を取るのに土日手続きできないこと。秋田市はコンビニで取れるのだから大仙市でも導入してほしい(20代/男性/西仙北)
- ・ 月1～2回(土)(日)の窓口を開いて欲しい(50代/女性/中仙)
- ・ 月1回程度、平日と同様に利用できる日(祝休日)があれば助かります。(本庁、支所も。花館のクリーンセンターのように。)(40代/男性/中仙)
- ・ 土日営業してほしい(働いている人のため)(20代/女性/大曲)
- ・ 今回は特別かもしれませんが、ゴールデンウィークの時、10日間も市役所がお休みの際、提出したい書類など、専用ポスト(休日)専用があれば、封筒などに入れて、投函できる便利さがあれば助かると思います。(例えば、銀行にある夜間金庫のように預かってくれること)(50代/女性/仙北)

- ・ 土日祝日に手続きができない（40 代／女性／大曲）
- ・ 市民のために働いて下さっていると思うのですが、仕事が終わってから市役所に行っても終わってしまっていて、行ける時間には開いていない。開庁時間を 10 時～18 時にしてほしい（30 代／男性／大曲）
- ・ 平日は仕事が遅いため、なかなか時間内に行けない（特に年度末や年度初めの手続きなど）（50 代／女性／大曲）
- ・ 営業時間が短い（20 代／男性／大曲）
- ・ 自分の就業時間が開庁時間とバッティングするため、有給休暇を利用し市役所へ手続に行かなければならない。（30 代／男性／大曲）
- ・ 仕事をしていると、開いている時間に行けない（40 代／女性／仙北）
- ・ 日曜日しか休みのない仕事をしてると、手続きの為に休んでいかないといけない・・・月一でいいので日曜も営業してほしい。（40 代／男性／太田）
- ・ 土日やってないこと、土日休みの人が多いのに（70 代／男性／中仙）
- ・ 休日でも申請等できることをもっとわかりやすくしてほしい。（50 代／女性／大曲）

□繁雑さ・時間

- ・ 郵送で申請書類を送付できないものかなあと思った（40 代／男性／南外）
- ・ 文書到着のタイムラグ。「お金」絡みだと早いですが、それ以外はすこぶる遅い。どちらも重要書類だ。（30 代／男性／仙北）
- ・ 戸籍関係書類の手続きが面倒である（60 代／男性／仙北）
- ・ 大曲庁舎へ国保の加入手続きに行った際、国保、税務、振込、とすぐ出来て良かった。しかし、その後下水道の振込手続きもお願いしたら、担当が二階の下水道へ行ってくれと言われ、もう疲れたのでその日はそこまででやめて帰りました。（60 代／男性／大曲）
- ・ 待ち時間（40 代／女性／大曲）
- ・ 手続きで、急いでいるのに時間がかかること（20 代／女性／中仙）
- ・ 部門が分かれているため 1 カ所でできない（50 代／女性／中仙）
- ・ 必要な書類を数回に分けて小出しにして、何回も足を運ぶことになった。（30 代／男性）
- ・ 申請手続きの書類が多い。記入が多い（60 代／男性／仙北）

□書類・言葉のわかりにくさなど

- ・ 説明の言葉、言いまわしが分かりづらく難しく感じた。説明が適当で、雑だと感じるがあった。（20 代／女性／大曲）
- ・ 郵便で届いたハガキ(下水道)が専門用語ばかりで何のことだかよく分からなかった。一般に広く使われている語句で記入して欲しかった。（40 代／女性／中仙）
- ・ 専門用語ではなく、例えば方言を使用しても良いと思う。（60 代／男性／仙北）
- ・ 書類によって記入方法が分かりにくいものがある。職員さんが声を掛けてくれるとありがたいです。（20 代／男性／大曲）
- ・ 専門用語が多い（30 代／女性／西仙北）
- ・ 専門用語、むずかしい言葉で言われると、すぐ理解することができない。（80 代／女性／大曲）

- ・ 記入例がない場合がある。毎回記入内容が変わり、面倒。(40代／男性／大曲)
- ・ 国民年金の免除の件で「将来の年金には反映されません」とあるが、反映されないのなら全額普通にもらえるように思える。「免除されたことにより将来もらえる年金は〇割減ります」と書くべきではないか。まったく逆の意味になる。あいまいな表現はやめてほしい。(50代／女性／大曲)
- ・ 申請書などを記入する際、記入例の字が消えかかっていたり、ラバーマットが汚れていて字が見えにくい時があった。(20代／男性／太田)
- ・ このアンケートの言葉、表現がわかりづらい(70代／女性／南外)
- ・ このように書いてくださいと書類を出されても分からないことがあるので、対面してここはどのようにと説明して一つ一つ教えて欲しかった(60代／女性／太田)
- ・ 言葉がわからないこともありましたので、記入しないところもありました(80代／女性／神岡)
- ・ 年金の申請(50代／男性／西仙北)
- ・ 保育料(20代／男性／大曲)
- ・ カタカナが多く、注釈があればいい。(70代／男性／大曲)

□場所、来庁者案内のわかりにくさ

- ・ 入口に入った方がいいが、どの窓口に行けばいいのか戸惑う(60代／女性／仙北)
- ・ どこに何課があるのかわかりづらい。(20代／女性／中仙)
- ・ どこに行けばよいのかわからず、いつも近くの職員に声をかけてしまっており、申し訳ないと思う。親切な人が多いので助かってます。(30代／女性／大曲)
- ・ 各種窓口の案内表示、高齢者の方々にも分かりやすいように(例えば大きな字とか、見取り図)していただきたい。(60代／女性／大曲)
- ・ あまり機会が無く自動車税を支払う場所がよく分からなかった。窓口付近に行った時すぐ職員の方が来てくれなく場所を間違ったかと思ってしまった。職員の方も仕事をしているので仕方ないとは思いますが、...。(20代／女性／大曲)
- ・ 銀行のように、発券機があるといいのでは？(40代／女性／大曲)
- ・ フロアーに1人立ち、誰が何で待っているか聞いて回るのもいいと思う。ただ待っているより不安が解消される。(40代／女性／大曲)
- ・ 中に入るとシーンと静まりかえり、誰に話しかけたら？と戸惑うので、総合受付みたいな案内の人がいてくれるとすぐ聞くことが出来るので良いと思う。(60代／男性／中仙)
- ・ トイレの位置(20代／男性／大曲)
- ・ 市役所内の手続きする場所の位置がわかりにくい(20代／男性／大曲)

□職員の態度・マナー

- ・ 職員によっては上から目線で雑な説明をしてくる人がいてイラッとすることがある。分からないから聴いているのに「どうしてそんなこと分からないの」という態度で接してくる職員もいる。(60代／女性／神岡)
- ・ みなさんがパソコンをさわり、対応、気づきが遅い。横柄。見下げするような態度を感じる。(50代／女性／神岡)

- ・ 二階に昼休み時間に行ったら、対応が悪かった。職員の方々はお昼休憩で迷惑だったかもしれないが、こちらは普通にお昼でも対応してくれるものと思い込んでいたので（50代／女性／大曲）
- ・ 人によって電話対応が違うのは仕方ないと思うが、上から目線や態度、電話だからいいものではない。わからないから聞いていたり、知らなくて話していることもあるのに親切でない。電話に出る人を決めたらいいのでは？（30代／女性／大曲）
- ・ 分かりづらいとは別ですが、記入のしかたがわからなくてそのことを職員に伝えたと、ていねいに教えてもらっているのが助かります。どの窓口でも親切です。（60代／女性／西仙北）
- ・ 市役所に行くと、市民が主役なのか、市職員が主役なのか疑問に思います。職員の態度を見ていて思います。（70代／女性／大曲）
- ・ 職員によって対応が違ったこと。欲しい書類に対して1枚しかくれなかった人もいれば、同じ書類をもらいにいってプラス予備でもう1枚くれた人もいた。（40代／男性／西仙北）
- ・ 税申告手続の際、名札を付けず名前を聞いた所不満な顔で答えず、こちらの不手際だけを指摘しとても不快感を感じた。（70代／女性／中仙）

□職員の説明不足・知識不足

- ・ 質問をした時などに、的確に、回答・対応できる職員が少ない。支所の場合は特に顕著で、常に言い訳先行が多く落胆すること有り。（60代／女性／南外）
- ・ 職員の異動時期（4月）は聞いても分からない職員の方がいて、残念に思う。妻は介護関係の仕事をしているので支所に行くことが多いが、職員によって対応の遅さがみられ仕事に支障を感じている（30代／男性／中仙）
- ・ 資産の名義変更を行うには、市役所の他に県や国などに対しても手続を行う必要がある。県や国などでも手続が必要なことを教えて貰えなかった。（40代／男性／大曲）
- ・ 電話してから行ったのに、準備できてなかった（60代／女性／協和）
- ・ たらい回しの時がある（50代／女性／中仙）
- ・ 専門知識の不足（40代／男性／大曲）
- ・ 電話番号によく分からない人が応対しているような時がある（60代／男性／西仙北）

□その他

- ・ インターネットで検索とかホームページで見るとか最新機器がありません。又、使い方もわかりません。人対人の必要性を感じます。（70代／女性／大曲）
- ・ 分からないとき市役所の方に聞いた（50代／女性／大曲）
- ・ 駐車場スペースが無い（70代／男性／大曲）
- ・ 税金の支払いがコンビニでできるようになったのはいいことだ。（60代／男性／中仙）

◆調査結果まとめ及び今後の方針

○問3ではこの1年間に市役所と関わった機会を聞いたところ、10代から70代で半数以上、80代でも4割の方が窓口で手続きや相談をしている、という結果が出た。市役所で行っている窓口業務は、あらゆる年代の多くの方から利用され、どの年代でも利用しやすい、わかりやすいサービスを提供する必要性が改めて確認できた。

○問2の「市役所の仕事の取り組み方に対して」の回答では、7割強の方が窓口や電話で親切な対応を行っていると感じているものの、届出や申請がスムーズでわかりやすいと感じている方は7割弱、必要なサービスを利用しやすいと感じている方は6割となっており、市の情報を分かりやすく積極的に発信している、行政サービスの改善・効率化に努めていると感じている方は5割に満たない。

また、問4で、わかりづらい、不便だと感じたこと、として「市役所に手続きに行かなければならないこと」「申請書など書類の記入の方式」「開庁時間、曜日」などが挙げられており、問5の自由記述からも「開庁時間や曜日を緩和して欲しい」、「申請書や説明文がわかりにくい」、「窓口がわかりにくい」などと感じられていることが伺われる。

○市では、これまでも多岐に渡る行政改革の取り組みを行っており、財政の健全化など一定の効果・影響は出ているが、一般的にはわかりにくいものだったのではないかと推察される。今後、人口減少や高齢化が更に進むことも見据え、調査結果を参考にしながら、ワンストップ窓口、申請書の簡素化、電子申請の導入、職員研修を通じた接客対応や業務のスキルアップなど、市民のみなさんにとってもわかりやすい「市民サービスの向上」を目指していく。

3. 2 事業対象者層を調査対象とした個別事業評価

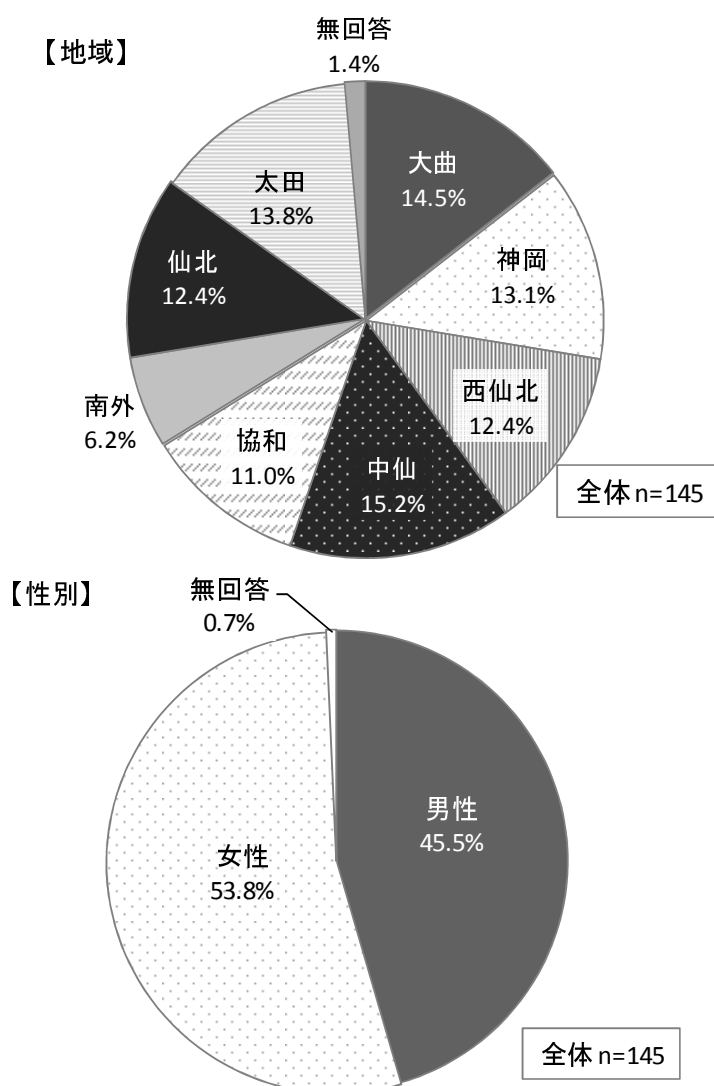
事業対象者層を調査対象とした個別事業評価については、事業ごとの調査票で調査を実施した。調査対象、回収率、回答者の属性については、各事業の調査結果に記載する。

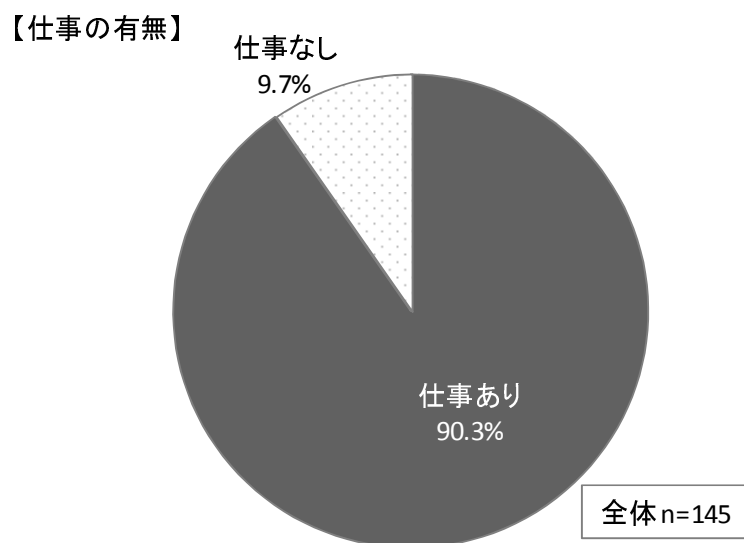
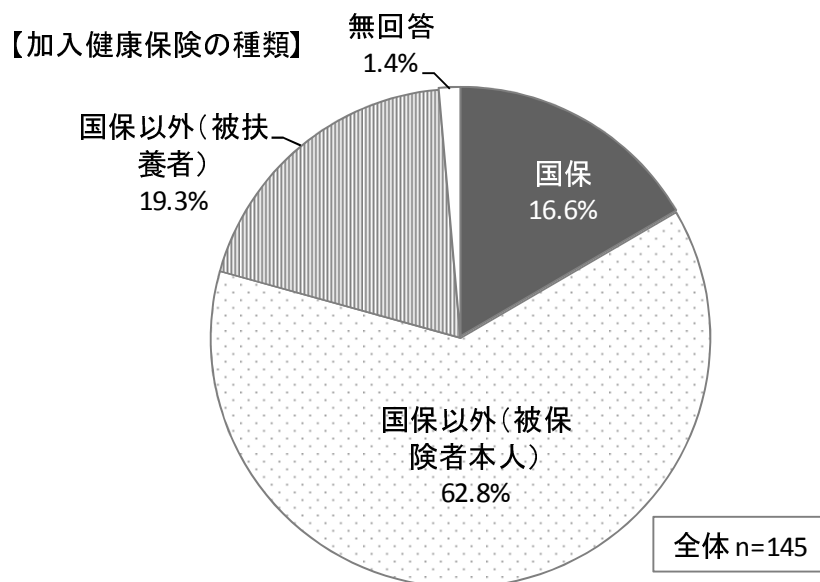
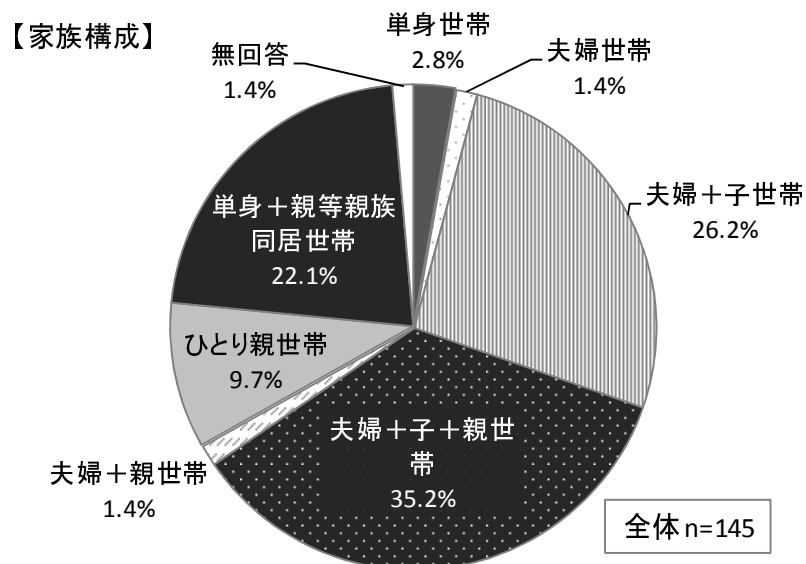
3. 2. 1 特定健康診査事業について

(健康福祉部健康増進センター)

- ◆ **調査目的**：市で行っている、国民健康保険（以下「国保」）加入者に対する特定健康診査（以下「特定健診」）は、受診者が約4割となっており、半数以上の方が健診受診の機会を逃している状態である。本調査では、特定健診の対象となる年齢の方に、自身の健康や健診受診の状況、健康への意識等を伺うことにより、今後の健診体制の整備を検討するための参考とする。
- ◆ **調査対象**：40歳以上の市民の中から無作為に抽出した300人
- ◆ **回収数・回収率**： 回収数 145 回収率 48.3%

回答者の属性



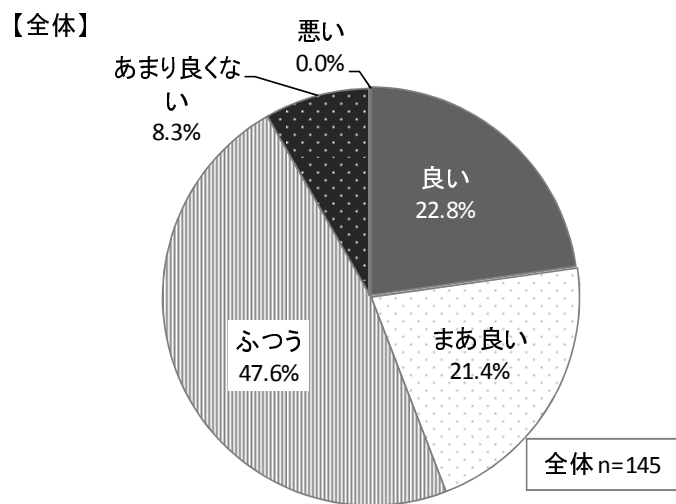


【問 1】 あなたの現在の健康状態はいかがですか。

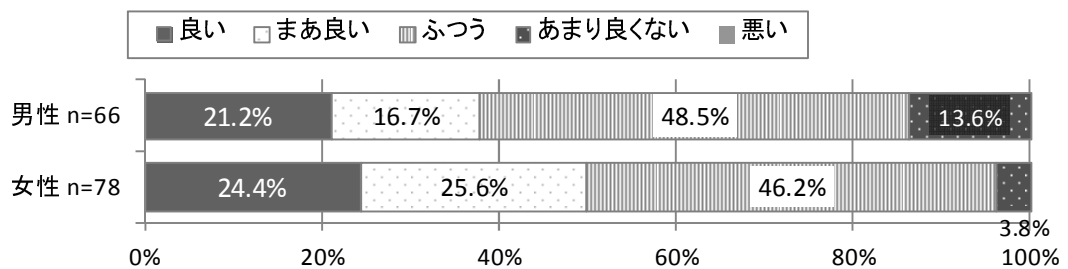
○全体では、「良い」「まあ良い」と回答した方は合わせて 44.2%、「ふつう」と回答した方が 47.6%、「あまり良くない」が 8.3%、「悪い」と回答した方はいなかった。

○性別では、女性の方が「良い」「まあ良い」と回答した方は合わせて 50.0%で、男性の「良い」「まあ良い」を合わせた割合は 37.9%となっており、女性の方が 12.1 ポイント高い。

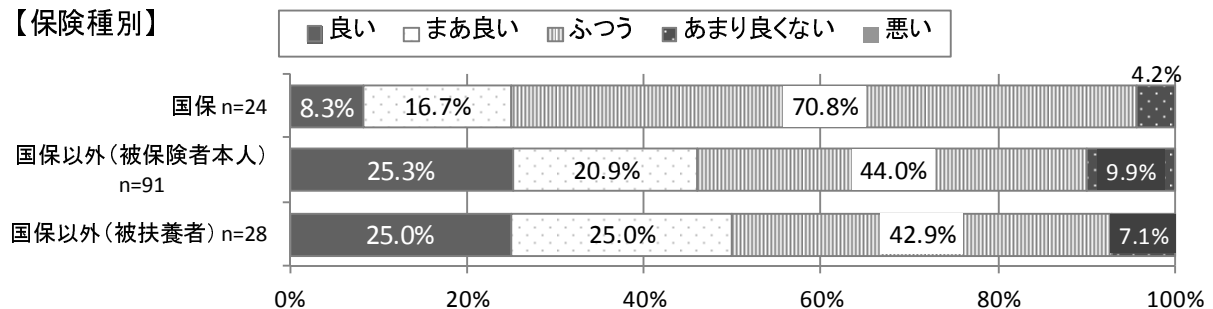
○加入保険種別では、「国保以外（被保険者本人）」と「国保以外（被扶養者）」では概ね似通った割合となっている。「良い」「まあ良い」を合わせると「国保以外（被保険者本人）」で 46.2%、「国保以外（被扶養者）」で 50.0%となっているが、「国保」では「良い」「まあ良い」は 25.0%となっており、約 2 倍の差がある。



【性別】



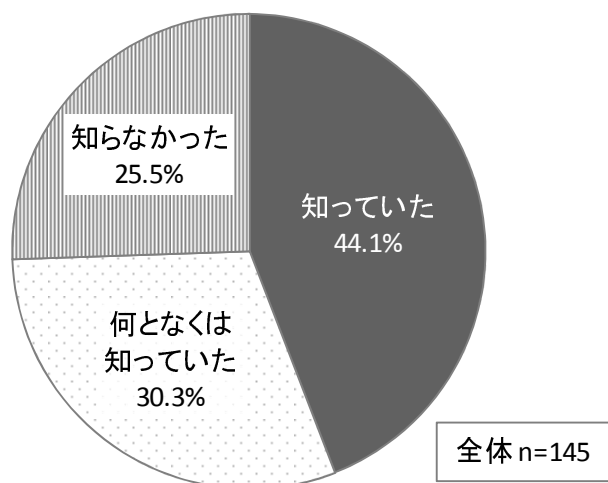
【保険種別】



【問 2】 特定健診の対象年齢が40歳以上ということを知っていましたか。

○全体では、「知っていた」と回答した方が最も多く 44.1%、「何となくは知っていた」と回答した方が 30.3%となっており、「知っていた」と「何となくは知っていた」を合わせると 74.4%となっている。

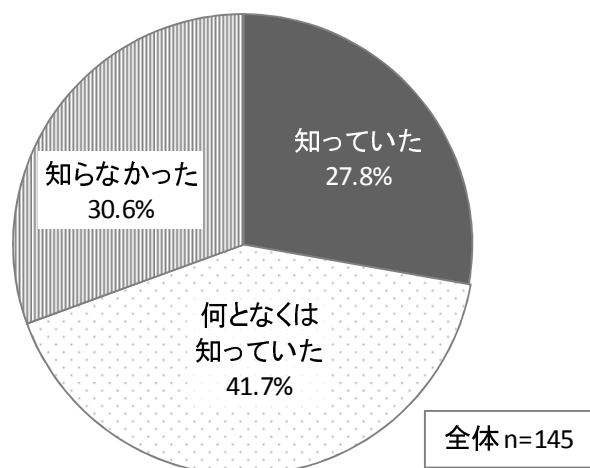
【全体】



【問 3】 特定健診の目的や内容（健診項目等）を知っていましたか。

○全体では、「何となくは知っていた」と回答した方が最も多く 41.7%、次に「知らなかった」と回答した方が多く 30.6%となっている。「知っていた」と「何となくは知っていた」を合わせると 69.5%となっている。

【全体】



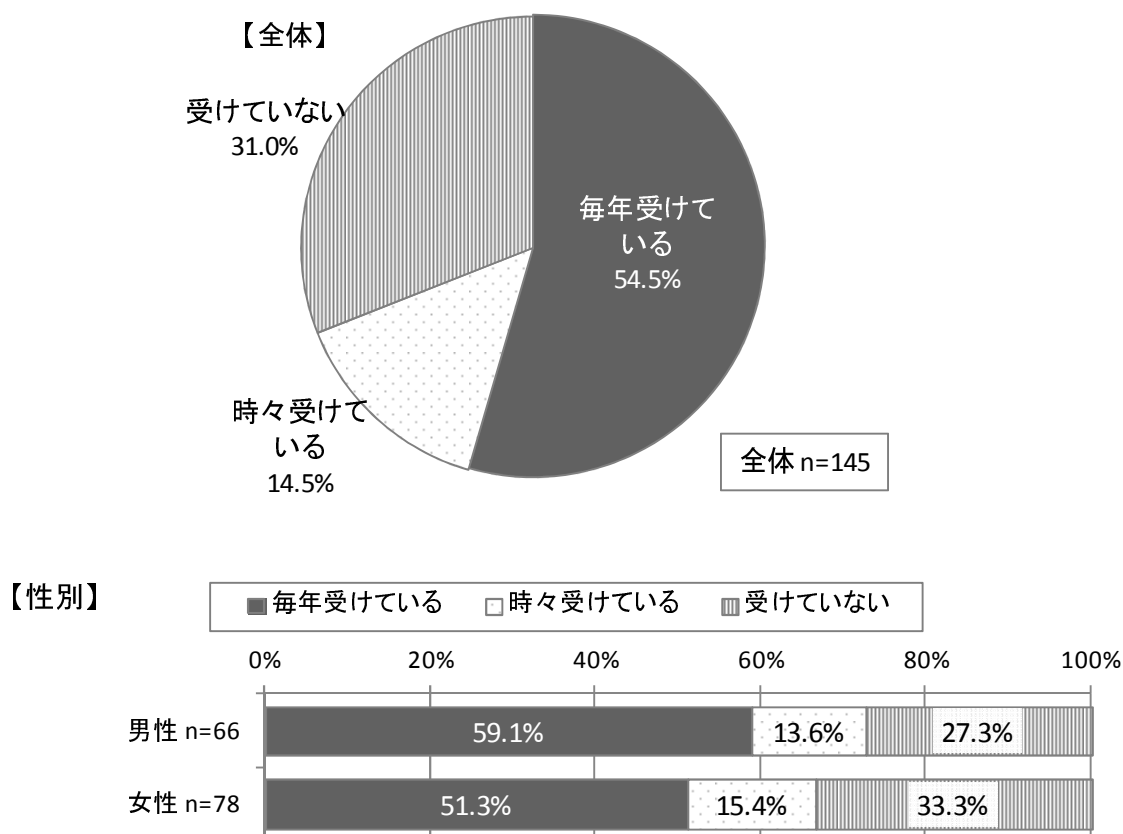
【問 4】 特定健診を受けていますか。

○全体では、「毎年受けている」と回答した方が最も多く 54.5%となっている。「受けていない」と回答した方は 31.0%となっている。

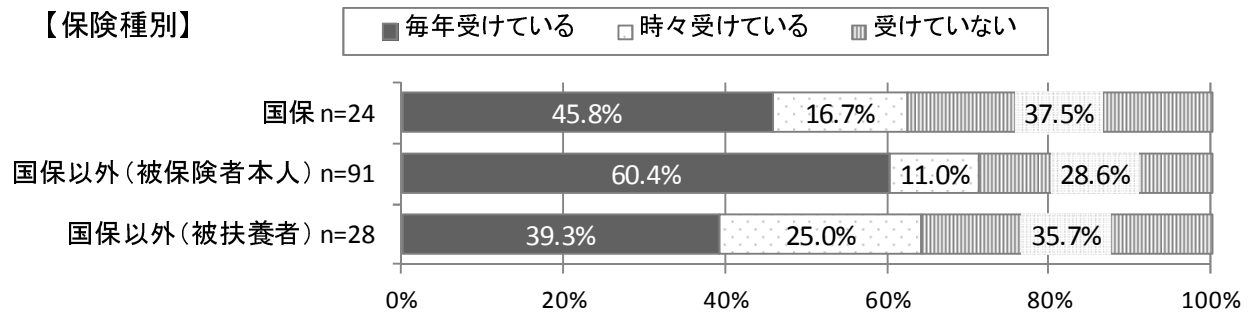
○性別では、「毎年受けている」と回答した方は男性の方が多く 59.1%、女性の方が少なく 51.3%となっている。また、「受けていない」と回答した方については女性の方が多く 33.3%、男性の方が少なく 27.3%となっている。

○加入保険種別では、「毎年受けている」と回答した割合が最も多いのは「国保以外（被保険者本人）」で 60.4%、最も少ないのは「国保以外（被扶養者）」で 39.3%となっており、21.1ポイントの差がある。また、「受けていない」の割合が最も多いのは「国保」で 37.5%、次に「国保以外（被扶養者）」で 35.7%となっている。

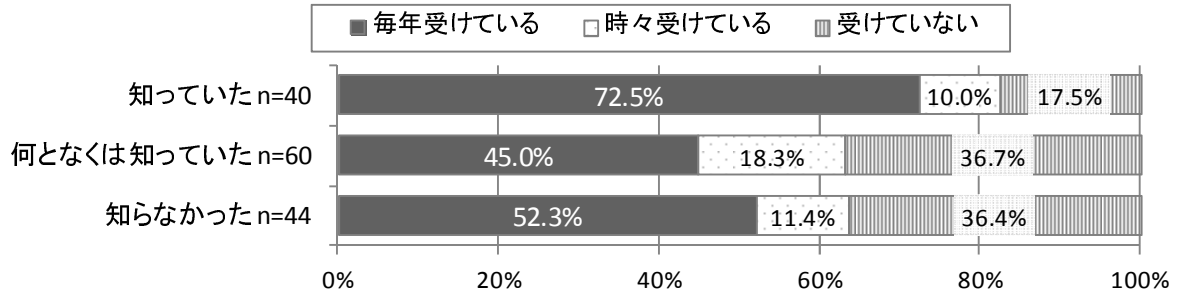
○問 3 の「特定健診の内容・目的を知っているか」の回答別では、「毎年受けている」と回答した方の割合が最も多いのは「（内容・目的を）知っていた」方で 72.5%、「何となくは知っていた」方が 45.0%、「知らなかった」方が 52.3%となっており、内容、目的を知っている方との健診受診率の差が 20 ポイント以上の差がある。



【保険種別】



【問3 健診の内容・目的について】



【問5-1】特定健診を受診した理由は何ですか。（複数回答可）

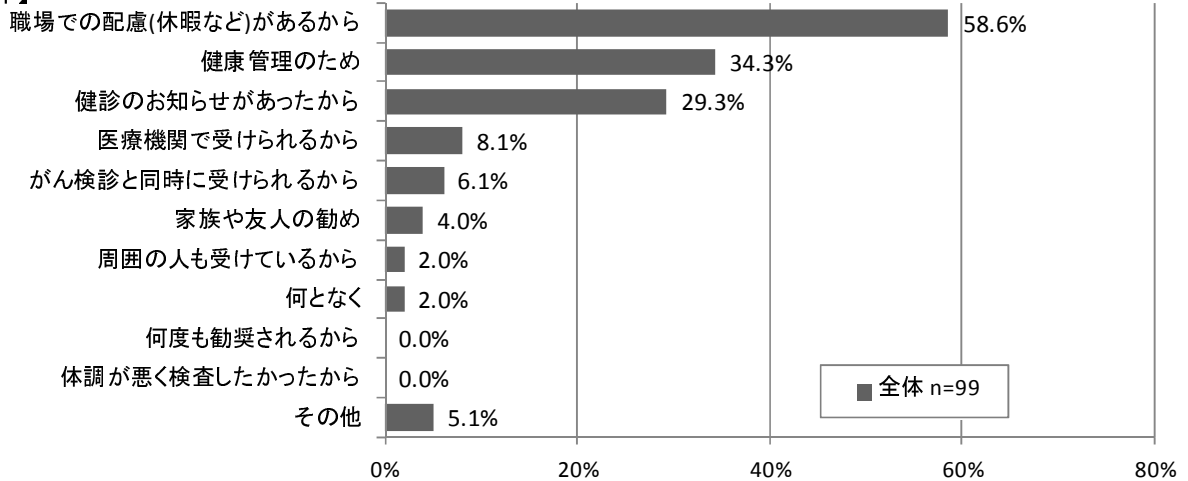
（問4で特定健診を「毎年受けている」「時々受けている」と回答した方）

○全体では、「健診受診のための職場での配慮（休暇など）があるから」と回答した方が最も多く 58.6%、次に「健康管理のため」と回答した方が多く 34.3%、三番目に「健診のお知らせがあったから」と回答した方が 29.3%となっている。それ以外を受診の理由とした方は10%以下となっている。

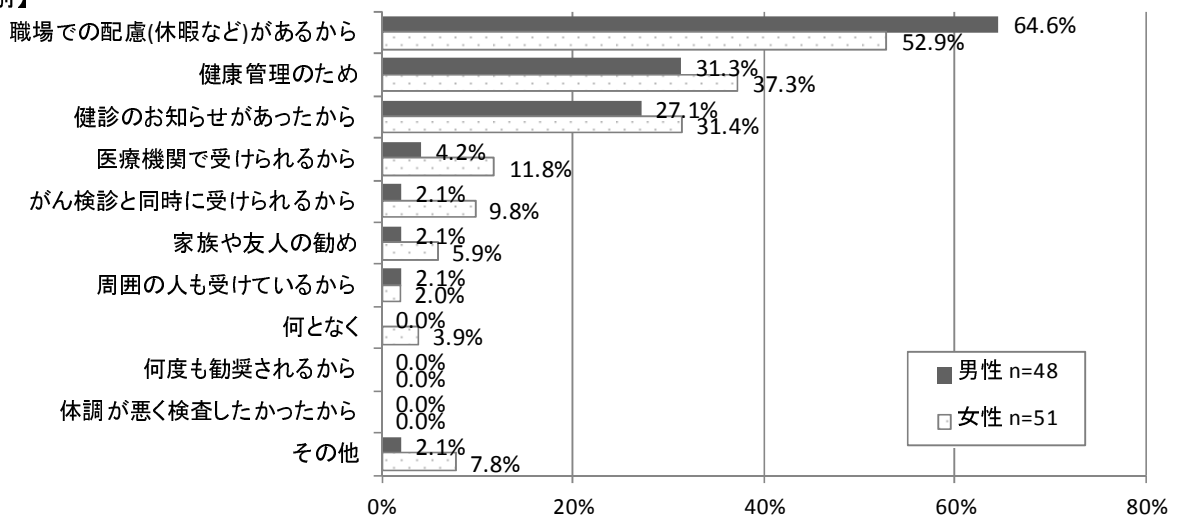
○性別では、男女とも、回答した方の割合が多い項目の順序は全体と同様になっている。「健診受診のための職場での配慮（休暇など）があるから」と回答した方は、女性より男性の方が多く、「健康管理のため」など、その他の項目を回答した方の割合は、男性より女性の方が多くなっている。

○加入保険種別では、「国保」の方では「健康管理のため」と回答した方の割合が最も多く 46.7%、「国保以外（被保険者本人）」では「健診受診のための職場での配慮（休暇など）があるから」と回答した方の割合が最も多く 67.2%、「国保以外（被扶養者）」では、「健診のお知らせがあったから」が最も多く 55.6%となっている。

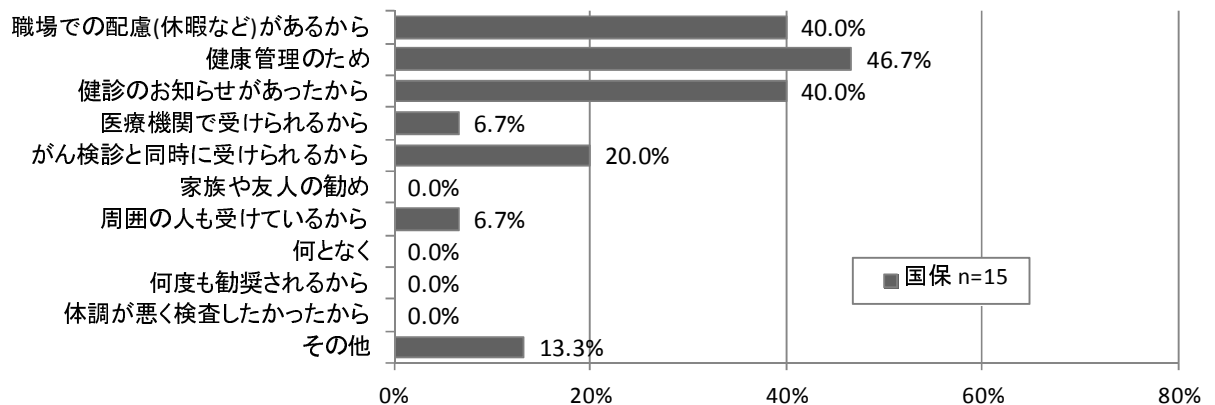
【全体】



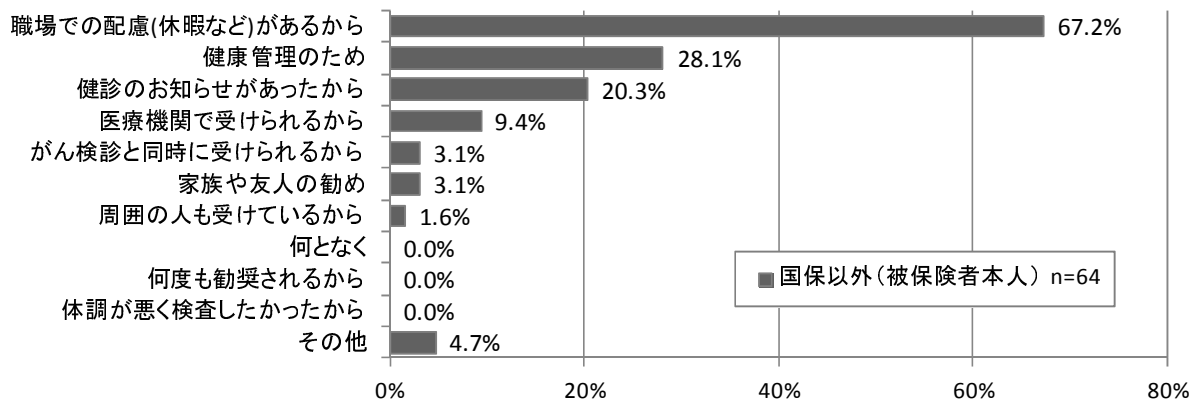
【性別】



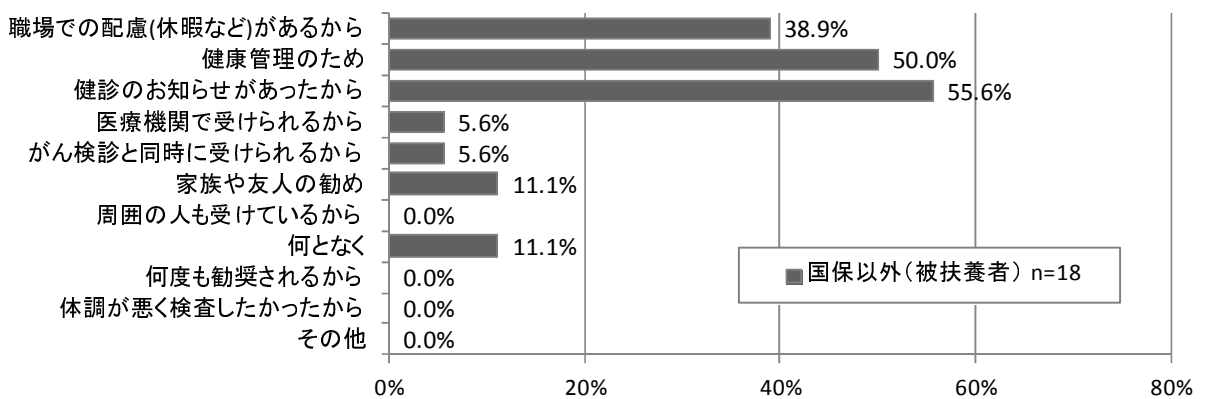
【保険種別 国保】



【保険種別 国保以外(被保険者本人)】



【保険種別 国保以外(被扶養者)】



■ その他の回答

- 通院しているから (女性/国保)
- 職場で健診を受診 (女性/国保以外 (被保険者本人))
- 職場の検診、人間ドックを受診し、特定健診に係る項目を必ず受けることになっているから (女性/国保以外 (被保険者本人))
- 年齢を重ねると体質が変化するから (男性/国保)
- 職場で特定検診と同じ項目を毎年受ける義務があるから (女性/国保以外 (被保険者本人))

【問 5－2】一番最近受けた健診の結果はいかがでしたか。

(問 4 で特定健診を「毎年受けている」「時々受けている」と回答した方)

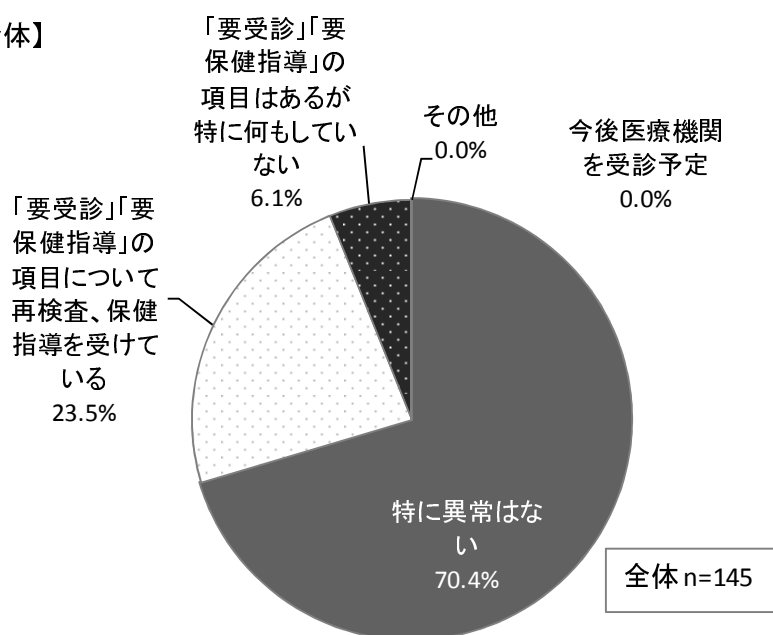
○全体では、「特に異常はない」と回答した方が最も多く 70.4%となっている。「『要受診』『要保健指導』の項目があるが、特に何もしていない」と回答した方は、6.1%となっている。

○性別では、「特に異常はない」と回答した方の割合は女性の方が多く 75.0%、男性の方が少なく 65.2%となっている。また、「『要受診』『要保健指導』の項目があるが、特に何もしていない」と回答した方の割合は女性の方が多く 7.7%、男性の方が少なく 4.3%となっている。

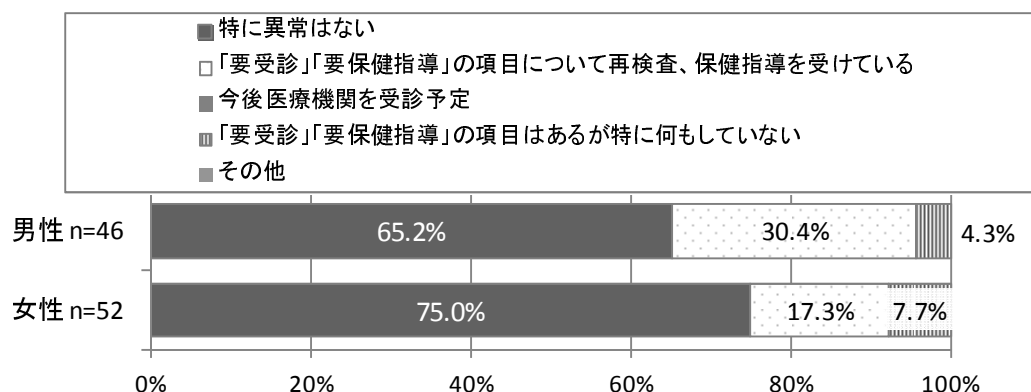
○加入保険種別では、「特に異常はない」と回答した方の割合が最も多いのは「国保以外（被保険者本人）」で 77.8%となっており、最も少ないのは「国保」で 53.3%となっている。

○加入保険種別で、「『要受診』『要保健指導』の項目があるが、特に何もしていない」と回答した方の割合が最も多いのは「国保以外（被扶養者）」で 16.7%、次に「国保」で 13.3%となっている。「国保以外（被保険者本人）」では最も割合が少なく 1.6%で、「国保」「国保以外（被扶養者）」のいずれとも 10 ポイント以上の差がある。

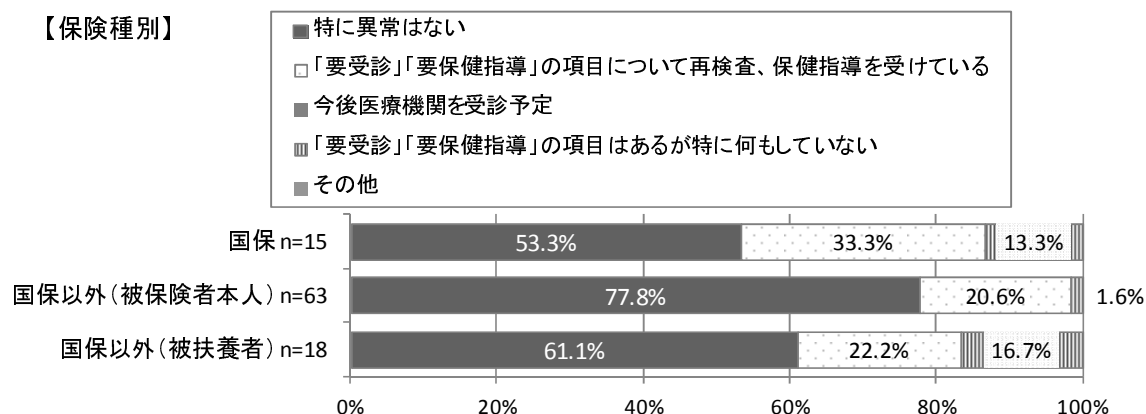
【全体】



【性別】



【保険種別】



【問５－３】「要受診」「要保健指導」の項目があっても、特に何もしていない理由は何ですか。（複数回答可）（問５－２で「『要受診』『要保健指導』の項目があるが、特に何もしていない」と回答した方）

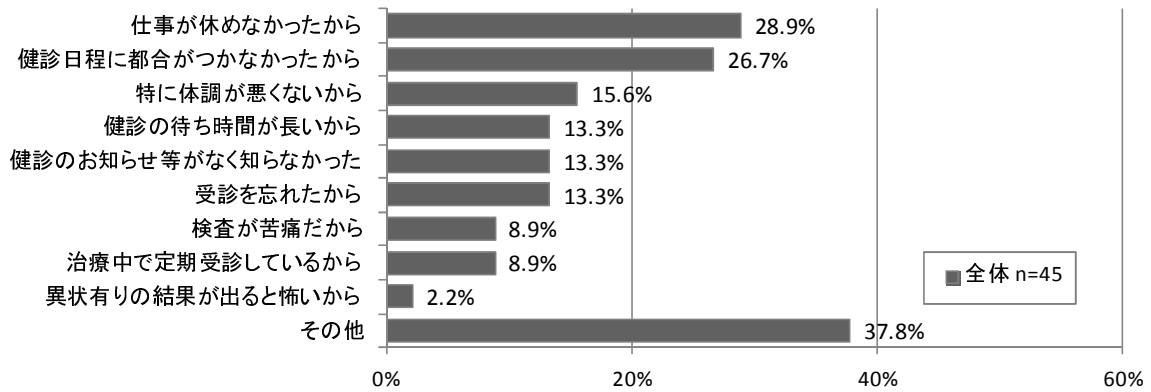
○問５－２で「『要受診』『要保健指導』の項目があるが、特に何もしていない」と回答した方が６名と人数が少なかったものの、６名中５名が「時間がないから」と回答しており最も多かった。次に、「体調に変化がなく大丈夫だと思ったから」と回答した方が６名中３名となっている。

	有効回答数	時間がないから	大体から大丈夫に変化がなくて	忘れたから	お金がかかるから	面倒だったから	悪い結果が出るのが怖いから	検査をするのが苦痛だから	その他
全体	6	5	3	1	1				
		83.3%	50.0%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【問６－１】特定健診を受けていない理由は何ですか。（複数回答可）
（問４で「受けていない」と回答した方）

○「仕事が休めなかったから」と回答した方が最も多く 28.9%、次に「健診日程に都合が付かなかったから」が多く 26.7%となっている。

○その他の回答の中で、職場で受けているため、職場の人間ドックを受診しているため、という、市の特定健診ではないが、特定健診の項目を含む健康診査を行っていると思われる方が 14 名（「受診していない」と回答した方に対し 31.1%）であった。



■その他の回答

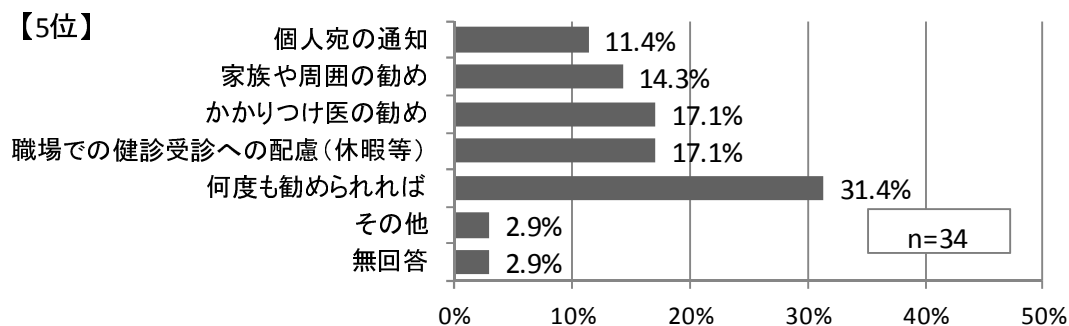
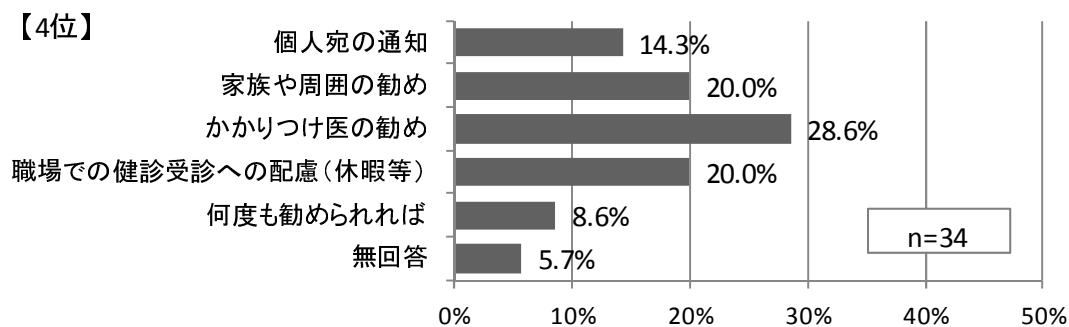
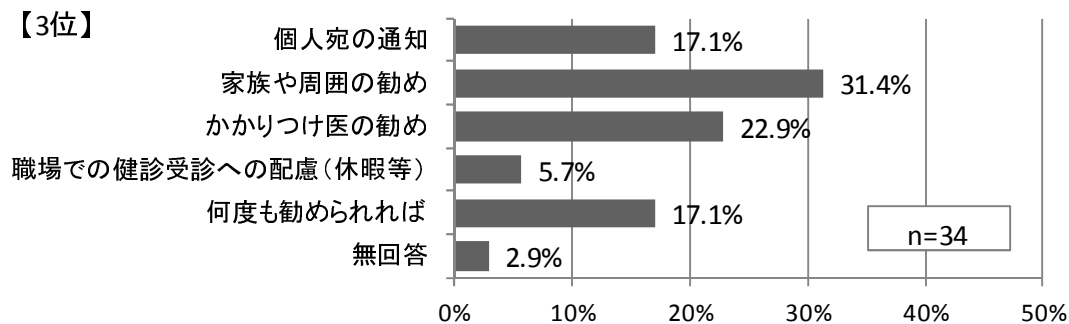
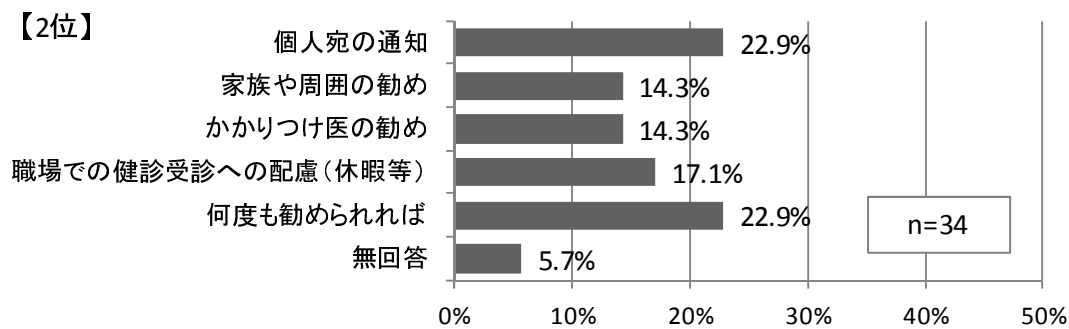
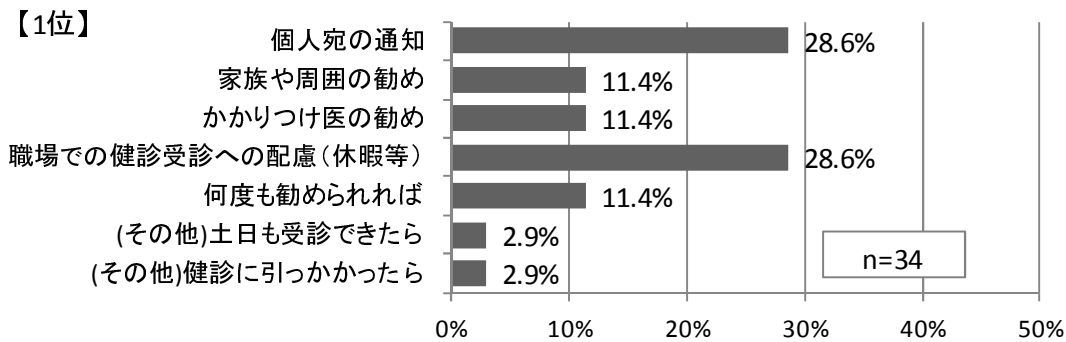
- 職場で受けているため（男性／国保以外（被保険者本人）2人、女性／国保以外（被保険者本人）5人、女性／国保以外（被扶養者））
- 協会けんぽの生活習慣病予防健診を受けている（女性／国保以外（被保険者本人））
- 職場で人間ドックを半年に1回受診しているから（女性／国保以外（被保険者本人））
- 職場で毎年ドック受診（男性／国保以外（被保険者本人）、女性／国保以外（被保険者本人）2人）
- がん健診に照準をおいている（女性／国保以外（被扶養者））
- 日にちが決められているので、合わせられない（女性／国保以外（被扶養者））
- 毎月内科医院に通院している。半年に1回検査している。（男性／国保）
- 特定健診は受けていないが一部は受けている（女性／国保）

【問6－2】どのような働きかけがあれば、特定健診を受けることができますか。

（最も必要だと思うものから順に1～5を記入）

（問4で「受けていない」と回答した方）

○受診に繋がる可能性のある働きかけの順位は、1位では「個人宛の通知」と「職場での健診受診への配慮（休暇等）」と回答した方が最も多く28.6%（10人）、2位では「個人宛の通知」と「何度も勧められれば」が最も多く22.9%（9人）、3位では「家族や周囲の人の勧め」で31.4%（11人）、4位では「かかりつけ医の勧め」で28.6%（10人）、5位では「何度も勧められれば」で31.4%（11人）となっている。



■その他の回答

- 土日も受けることができたなら（女性／国保以外（被扶養者））
- 健診で引っかかれれば（女性／国保以外（被保険者本人））

【問 7】健康に関する知識や情報をどのようにして知りますか。

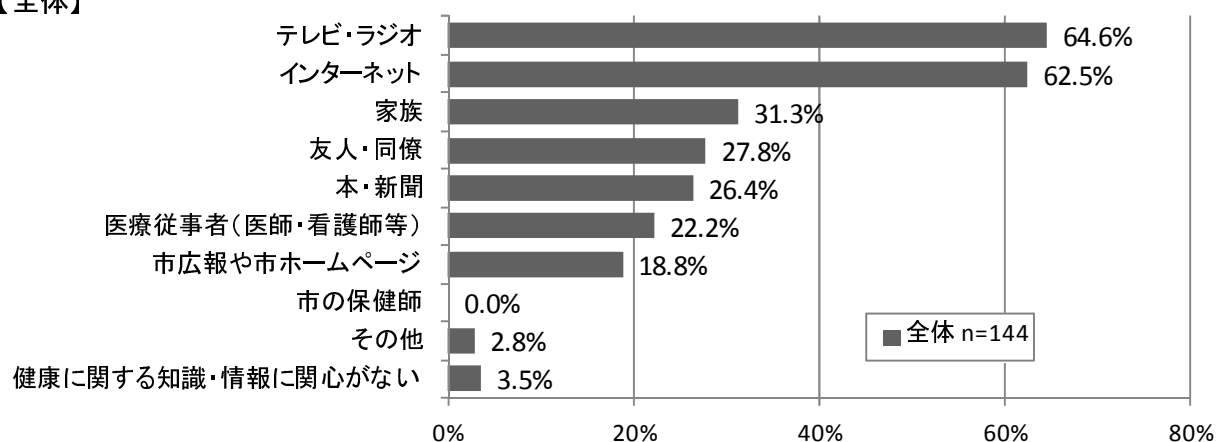
(主に利用しているもの最大 5 つ)

○全体では、「テレビ・ラジオ」と回答した方が最も多く 64.6%、次に「インターネット」と回答した方が多く 62.5%となっている。

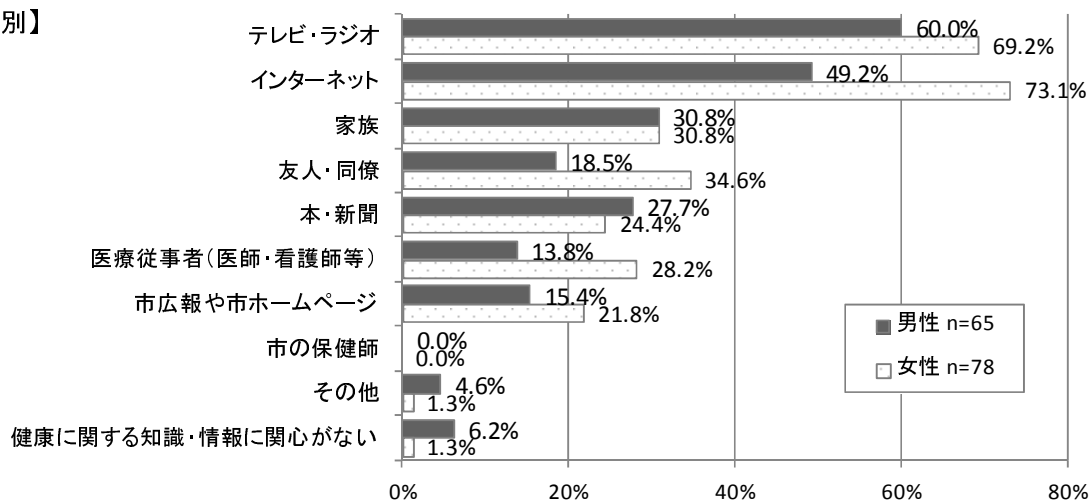
○性別では、男性では「テレビ・ラジオ」と回答した方が最も多く 60.0%、次に「インターネット」と回答した方が多く 49.2%となっている。女性では、「インターネット」と回答した方が最も多く 73.1%、次に「テレビ・ラジオ」と回答した方が 69.2%となっている。

○加入保険種別では、「国保」では「テレビ・ラジオ」と回答している方が最も多く 75.0%、「国保以外（被保険者本人）」で「インターネット」が最も多く 65.6%、「国保以外（被扶養者）」では「テレビ・ラジオ」、「インターネット」と回答している方が同じ割合で最も多く 71.4%となっている。

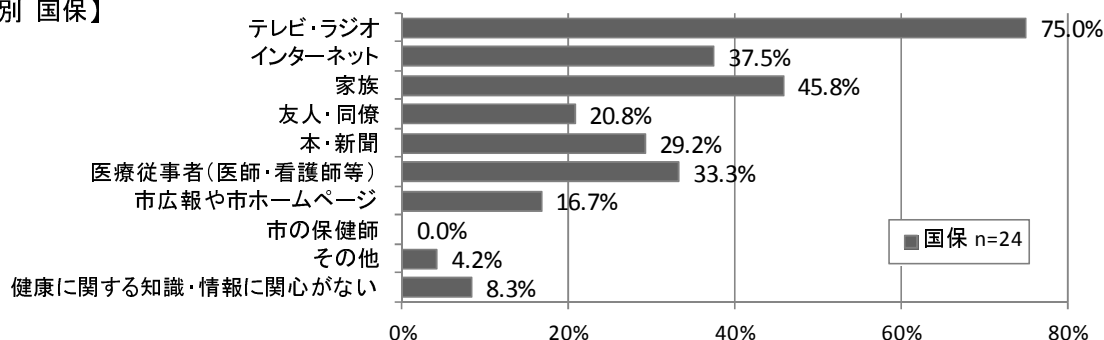
【全体】



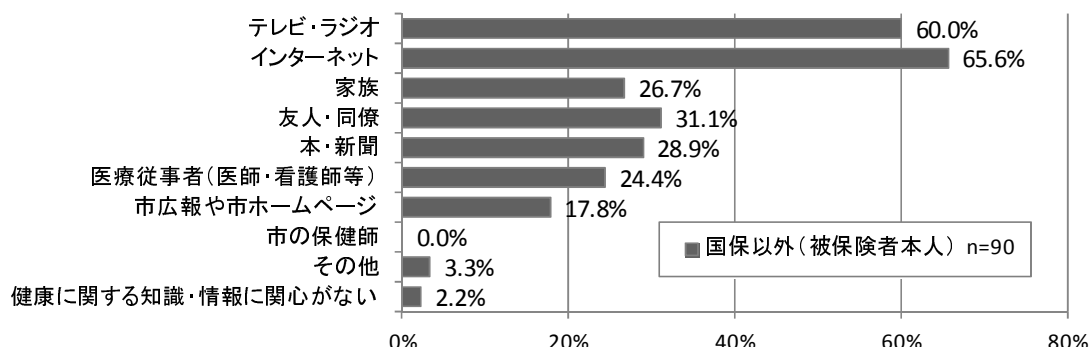
【性別】



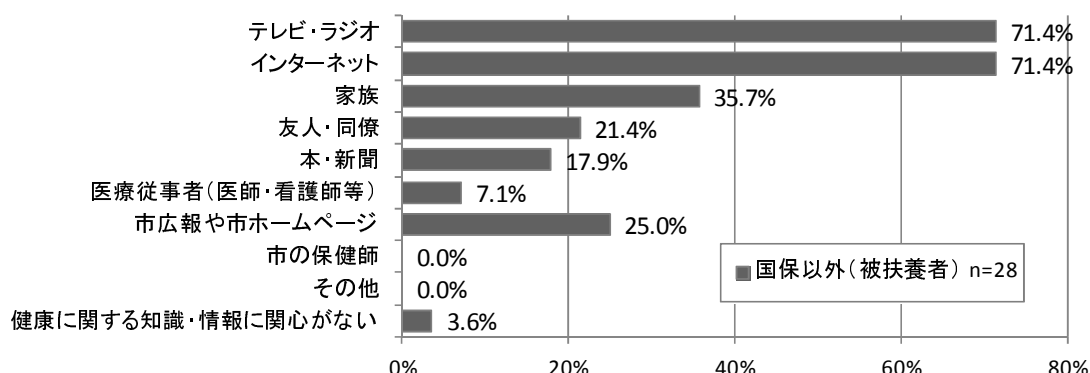
【保険種別 国保】



【保険種別 国保以外(被保険者)】



【保険種別 国保以外(被扶養者)】



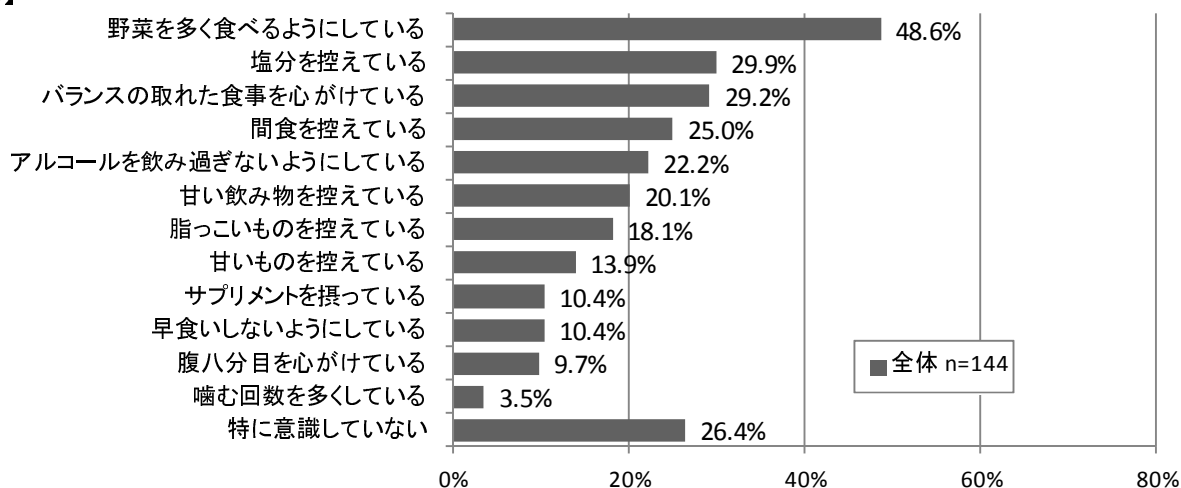
【問 8】 普段の食生活で、健康のために意識していることはありますか。（最大5つ）

○全体では、「野菜を多く食べるようにしている」と回答した方が最も多く 48.6%、次に「塩分を控えている」と回答した方が多く 29.9%となっている。

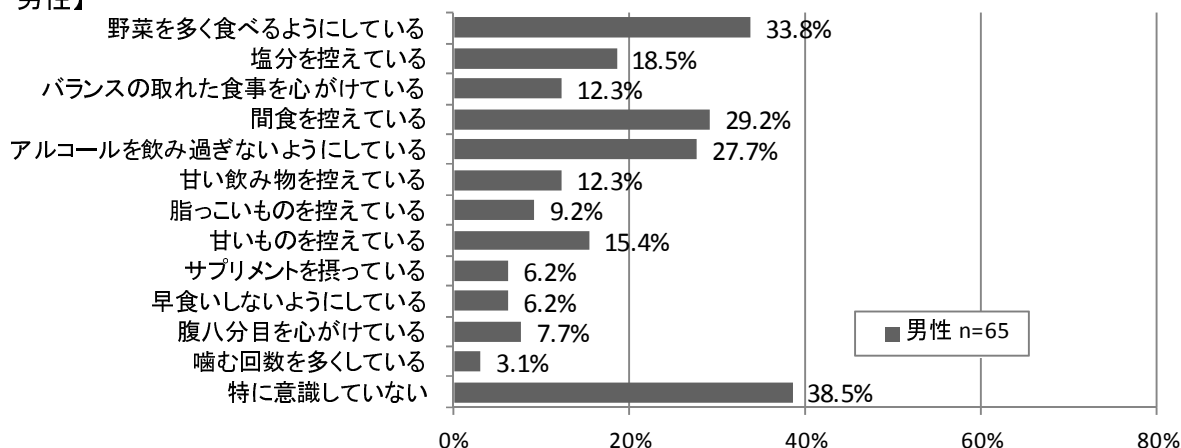
○性別では、男性では「特に意識していない」と回答した方が最も多く 38.5%、次に「野菜を多く食べるようにしている」と回答した方が多く 33.8%となっている。女性では、「野菜を多く食べるようにしている」と回答した方が最も多く 61.5%、次に「バランスのとれた食事を心がけている」と回答した方が 42.3%となっている。

○女性で「特に意識していない」と回答した方の割合は 16.7%で、男性の 38.5%と比較すると 21.8 ポイントの差がある。

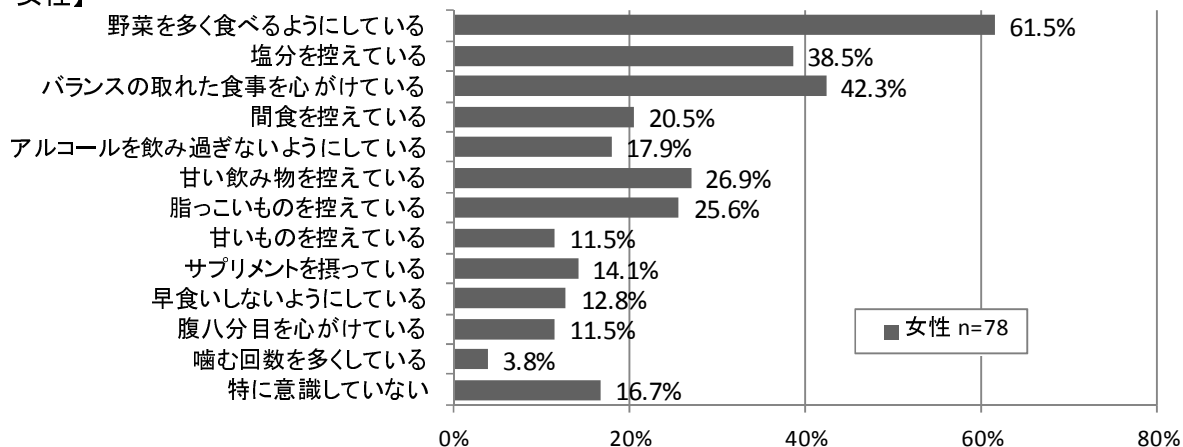
【全体】



【性別 男性】



【性別 女性】



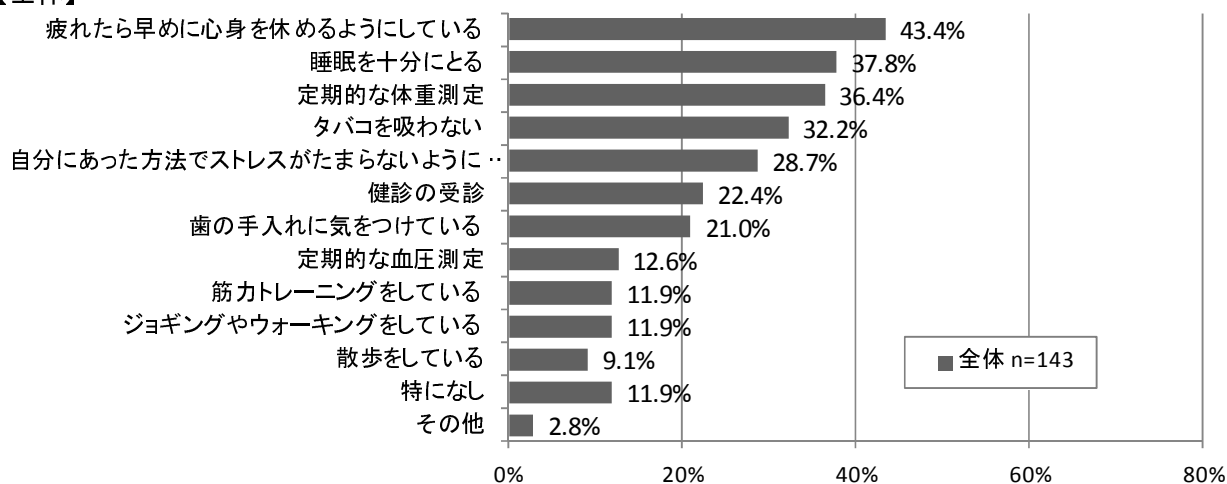
【問 9】 普段の生活で、健康のために意識していることはありますか。（最大 5 つ）

○全体では、「疲れたら早めに心身を休めるよう心がけている」と回答した方が最も多く 43.4%、次に「睡眠を十分にとる」と回答した方が多く 37.8%となっている。

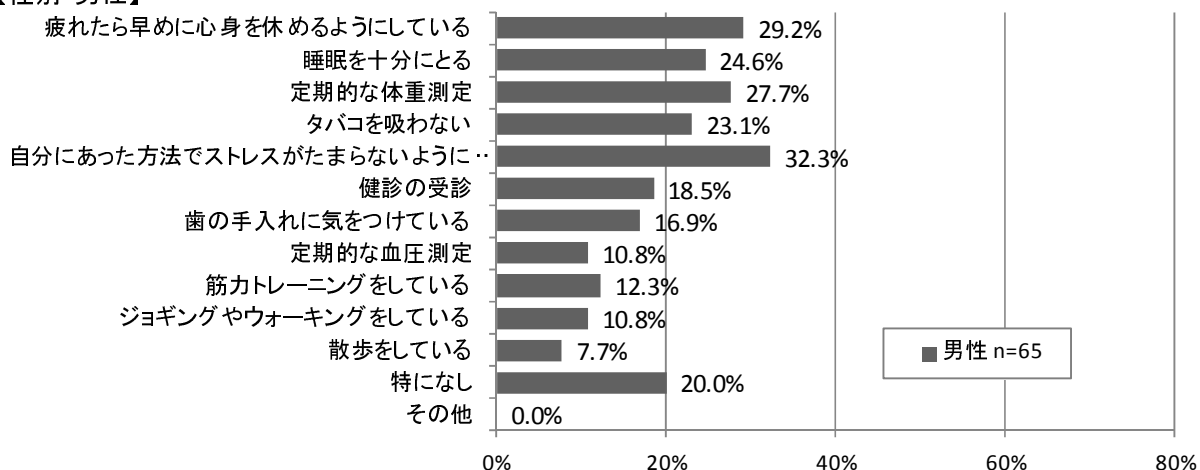
○性別では、男性では「自分にあった方法でストレスがたまらないようにしている（趣味やサークル活動等）」と回答した方が最も多く 32.3%、次に「疲れたら早めに心身を休めるよう心がけている」と回答した方が多く 29.2%となっている。女性では、「疲れたら早めに心身を休めるよう心がけている」と回答した方が最も多く 54.5%、次に「睡眠を十分にとる」と回答した方が多く 48.1%となっている。

○「特になし」と回答した方の割合は男性では 20.0%、女性では 5.2%となっており、14.8 ポイントの差がある。

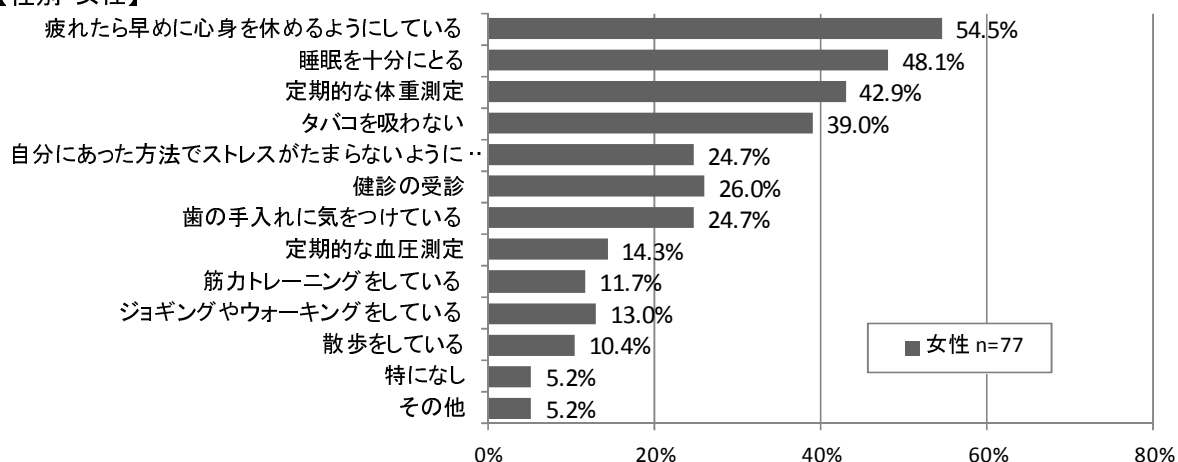
【全体】



【性別 男性】



【性別 女性】



【問 10】市が行っている「特定健診」へのご意見やご要望がありましたらご記入ください。

(自由記述形式)

- ・ 職場にも通知が届くと行きやすく忘れにくいと思います (男性／国保以外 (被保険者本人))
- ・ 健診のハガキが届くが、忘れて連絡できず健診を受けられないことが多い (女性／国保以外 (被保険者本人))
- ・ もっと情報が市民に届くよう、HPやフェイスブックなどへの掲載 (男性／国保以外 (被保険者本人))
- ・ 現在仕事をしており職場で人間ドックを受けることができるので市の健診には参加していない。「年相応」という表現で済ませてしまう医師が多いようですが、家族としては困ります。「年相応にできていない」と年寄りに気付かせて欲しいです。 (女性／国保以外 (被保険者本人))
- ・ 時間がない (男性／国保)
- ・ 個人宛に連絡してくれるとありがたい。日にちを決められると、仕事や子どものことで行きたくても行けない事が今までも多く受けずにいます。 (女性／国保以外 (被扶養者))
- ・ ちょっと気になることではなかなか医療機関へ足が向かないことも健診によって早期発見につながったり保健師さんに相談したりアドバイスをいただける機会を与えて下さりありがたい事業だと感謝しています。がん検診の無料クーポンも大変ありがたいです。 (女性／国保以外 (被保険者本人))
- ・ 毎年特定健診を受けています。結果も気になりますが、順番を待っている間に地域の方々とお話しできたりするのも楽しみにしています。これからも続けて欲しいです。 (女性／国保以外 (被扶養者))
- ・ 職場の健診と特定健診は同じものか別のものか、両方受けるべきか少々悩んでしまいました。仕事家事子育てなど時間に追われ自分の健康は後回しになってしまいがちなので、年代別、健康セミナーなどの機会があれば是非参加し、同年代の方々との情報交換の場にさせてもらいたいと思いました。 (女性／国保)
- ・ 女性特有のがん検診 (子宮がん、乳がん等) の無料クーポンをいただけるので助かっています。今回の検診でも活用させていただきます。 (女性／国保以外 (被保険者本人))
- ・ 花農家なので、農繁期に嫌がらせのように集中させないでいただきたい。 (男性／国保)
- ・ このまま続けて欲しいと思う (女性／国保以外 (被保険者本人))
- ・ 中にはやはり面倒くさい、単に嫌だからなどわがままな人もいます。強制的に受診させる位はあってもいいのではないかと。 (男性／国保以外 (被保険者本人))

◆ 調査結果のまとめ及び今後の方針

- 問 2、問 3 の調査結果では、特定健診の対象年齢を知っている方が 4 割強、目的や内容を知っている方が 3 割弱となっている。特定健診が開始されてから 11 年目となったが、本調査対象となった 40 歳代では、本健診の理解が未だ十分でないことが伺えた。
問 4 の結果では、特定健診の内容や目的を知っている方の方が特定健診を毎年受診する割合が高く、本健診の目的を理解していれば健診受診につながりやすいのではないかと考えられる。そのため、より一層本健診への意義をわかりやすく説明し、周知するなどして理解を得る必要がある。
- 問 5－1、問 6－2 の調査結果では、毎年健診を受診している人の受診のきっかけや、受診していない人の受診のきっかけになりうるものとして「個人宛の通知」が上位に挙げられている。そのため、特定健診の意義をわかりやすく説明した内容を含んだ個別通知を行うなど、特定健診の内容と受診機会の周知を強化していく。
- 問 5－3 では、特定健診受診後に「要受診」「要保健指導」の項目があっても特に何もしない理由として、「時間がないから」と回答した方が約 8 割であった。要保健指導項目があった場合の保健指導の対象者の利便性を考慮し、個別対応の充実や拡充を検討したい。
- 問 8 や問 9 では、健康のために食生活や生活習慣で心がけていることが性別によって違いがある。広く一般的な健康情報の発信も必要だが、年代別や性別など、対策も必要ではないかと考えられる。その一環として、現在行っている市内企業での健康出前セミナー等の継続に加え、対象、内容の見直しや拡大の検討をしたい。

4 自由意見

令和元年度「市民による市政評価」、令和元年度「市民による個別事業評価」【特定健康診査事業】、の調査票に記述のあった、市政に関するご意見・ご提案などの自由意見について、主なものを分野別に掲載した。

産業分野

(1) 商工業について

- 久しぶりに花火通り商店街を通ったら、開いている店があまり無くとても寂しい思いをしました。地産の野菜や酒、みやげ物などをまとめて販売している複合的な商業娯楽施設のようなものが駅周辺にあれば、もっと活性化してくれるのでは、と思います。(30代/男性/大曲)
- 大曲駅周辺に飲食店を少し増やしたほうがいい。若者が楽しく飲食できる。楽しく酒が飲める店を今より少し増やした方がいいと、個人的で申し訳ないがそう思う。(20代/男性/協和)
- 大仙市は花火のまちとして普段から花火が上がっていていいと思う。将来的にずっとこのまちに住み続けたいと思うには、もっと商業施設の充実が課題だと考えます。イオンモールだけではなく、コストコ、イケア、アウトレットなど他県に行かなければ買うことのできないものができることにより、若者も多く残って、まちの発展、宣伝に少なからずなると思います。雪が降る秋田県なので、他県に行かずとも買い物が出来る商業施設の充実を心より願っています。すぐではなくても将来的にもっと大仙市がにぎわっているといいな、と思う。(20代/女性/大曲)
- 南外に小さなスーパーをお願いします。小さなコンビニでも良いので(80代/女性/南外)

(2) 花火産業構想について

- 大仙市をアピールする活動、住みやすい環境作りをしてもらい、人口増になればいいと感じる。花火もイベント一ヶ月だけでなく、何か年間を通して感じられることがあれば観光客増加につながると思う。(40代/女性/大曲)
- 大曲の花火が地元の人が行きづらいような気がします。昔はもっと気軽に見れていました。花火に力を入れるのは良いことだと思いますが、地元の人と市の間に少し温度差があるように感じられます。(30代/男性/大曲)
- 花火行事が増えすぎて「大曲の花火」の価値が下がっている気がする。花火が上がるたびに「また花火か・・・」と思ってしまう。学力向上のために家庭科など生活するために必要な学科の授業数を減らされると不安になる。学力が向上しても子どもたちはみな他県へ行ってしまうので、秋田に残ってもらうためにはどうしたらよいかを考えてもらいたい。(30代/女性/大曲)
- 大曲の花火は以前と同様、年1回で良いと考えます。回数を年1回にすることにより、希少価値が高まり、ブランド化が加速されるのではないかと。(40代/男性/中仙)
- 少しずつ新しい建物が出てきて活気があふれてきていますが、一番人が集まるのは花火のときです。最近では何でも有料化にしすぎではないかと思います。イベントを維持するのは大変ですが、地元の人ですら観るのが一苦勞になっています。(20代/女性/神岡)

- 花火の回数が多すぎ、（ありがたみがない）、寒い時期は鑑賞する人にとって酷、そこまでしなくていい。はなびアムを建てたあともっとイベントを行うべき（充実していない）。（60代／男性／中仙）

(3) 観光について

- 花火は日時が決まっているので、年を通して人が集まるものがあれば良い。岩手県の紫波町オガールのような施設とか。今の図書館は駐車場も道路も狭く広い場所へ移してほしい。（50代／女性／大曲）
- 先日大曲駅まつりと駅前の商工会まつりに行きましたが、イベント会場のみ盛り上がり、花火通り商店街は行こうと思いませんでした。できればイベントも市全体でどんどん盛り上げた方が良いのでは？と思います。花火通り商店街の道がせまい。今も古いイメージを持っているので、若者が集まるようにしてほしい。（30代／大曲）
- 水害のない、西山周辺に大キャンプ場を作ったら、商店及び町全体が活性化すると思いますが（70代／男性／大曲）
- 観光関係で、大曲の花火は以前は年1回だったが、最近は回数が多く花火ブランドが安い気がする。大綱引き関係者人員確保が必要（30代／男性／西仙北）
- 花火だけでなく他に観光客を呼べる行事があればよい。もう少し公園など子ども達が遊べるところがほしい。（30代／女性／大曲）

(4) 雇用・就労について

- 大仙市の賃金が低い。会社にもよると思うが子育てをしながら生活をしていくのはとても大変だと思う。（30代／女性／大曲）
- 若い人達が県外、市外に流出しないように若い人達に職場を与えて欲しいと思いますし、仕事場拡大に努力して欲しいと思います。（60代／女性／神岡）
- 若者が働きやすい社会づくり（主にベースアップ）（10代／男性／中仙）
- いつも大仙市をよりよくしていただき、ありがとうございます。提案なのですが、保育・介護施設は仕事内容の割に給料が低いことが問題視されています。少しずつ改善できればと思います。今後ともよろしくお願いします。（20代／女性／中仙）
- 若者が定住できる給料。中小企業経営者への働きかけ。（60代／男性／協和）
- 保育士さんは安い給料で小さな子ども達を安全に見てくれています。給料をもう少し上げることを検討願います。（50代／女性／太田）
- 地域でいきいきと暮らすため、閉じこもり防止、介護予防の対策は充実されていると思います。最近特に思うのは、子ども達がいきいきと安全に暮らすことが大切であると思います。少子化対策も、婚活等、あちこちで催しておりますが、果たして人口が増えているのでしょうか。少子高齢化、まさに言葉通りです。若い人達が地元に着くように、働く場所が欲しいものです。特に西仙北地域は不足していることと思います。（70代／女性／西仙北）
- 介護職のサービス残業を徹底的に調査し働きやすくしてほしい。（40代／男性／西仙北）

(1) 出会い・結婚について

- 出会いや婚活イベントを増やし充実させたら、地域活性につながると思います。大仙市の出会いや婚活には不満が多いと思います。(30代/男性/大曲)
- 私達が育った頃は兄弟が多く、上下関係助け合い、共同の作業、手伝い等楽しかったな、と思います。父は戦死の母子家庭、疎開者でしたので、疎開先の大仙市、中仙が素晴らしい地でした。でも今周りを見回すと、子どもがいない、若者がいない、空き家が多い、寂しい限りです。正直日中は若者はみな勤めに出て農業は高齢者です。30歳後半以上の男性は結婚できない人がたくさんいます。私の願いは、「出会い、結婚、子育て」に力をかしていただきたいということです。(80代/女性/中仙)

(2) 子育てについて

- 入学時の制服・教科書等の購入のための補助があれば良い(クーポンなど)(30代/男性/大曲)
- 子どもが安全に楽しく過ごせる場がない。雨が降る休みの日はみんなイオンにいる。行く所がない。前回もアンケートが来て同じ事を記入したが、まったく改善がないように思う。(30代/女性/大曲)
- 保育士の給料をもっと高くすれば、少子化や保育士不足の改善になると思う。見直して下さい。(10代/女性/大曲)
- 子どものインフルエンザワクチンの助成は以前より望んでいたことであり今年度の予算に計上されておりうれしく思っています。今後も小・中学校の統合が検討されていくと思いますが、どうか子どもたちに優しい大仙市でいてほしいと願っております。(40代/女性/中仙)
- 他の地域に比べて子育ての事業・支援が遅れていると思います。もっと充実した内容で支援を希望します。(20代/男性/大曲)
- 保育の仕事をしています。子育て支援の充実や待機児童、保育の充実(夜間・休日保育など)など、様々な問題がありますが、児童福祉の過度な充実は子どもにとってマイナスなことが多いことを忘れないで欲しいです。もちろん、現代の家庭・保護者のニーズに応えることは大切ですが、まずはそれを行う保育士、保育教諭、幼稚園教諭の手当・待遇について改善に取り組んでももらいたいです。潜在保育士がまた仕事復帰する現場が整い、人手不足を解消すれば問題解決にもつながると思います。(20代/女性/大曲)
- 子育て関係で、保育所の開園時間を早めて欲しい。(7:30→7:00) 県外からも、子育てしたいと思う体制、補助が必要(30代/男性/西仙北)
- 子育てを支援するサービス各種の充実(10代/男性/中仙)
- 保育所に関して、年度途中でも入園しやすいと良い。保育士の確保も難しいかもしれないが、母も職場で働きたい意思がある。(20代/女性/神岡)
- いつも市民のために尽力してくださりありがとうございます。子育て中で、市のサービスや広報の情報を利用することがあるのですが、とても助かっています。ありがたいです。(30代/女性/大曲)
- 大仙市は、子育て支援が充実していてとてもありがたいのですが、子どもの遊び場がもう少し増えると良いなと思っています。(30代/女性/大曲)

- 学校の教材費等の免除申請等、対象になるかもしれないと思いながらも、恥ずかしさがありできない。申請方式ではなく、市役所で全て把握しているのだから、役所の方から対象者に連絡するなりしてほしい。子育ては、出費も多く子どもをほしがらない人も周りにいる。子育て（出産）の大変さ、楽しさ以上に生活苦になっているのが現状。子育て世代の親に対しての医療費補助なり、何かあったらありがたいと思う。（30代／女性／神岡）
- 年号や市の名前も変わり私自身も育ち、今度は親になって大仙市で子育てをしてみて、大仙市は本当に住みよいまちだなと実感しています。これからも期待しています。（40代／女性／大曲）
- 子どもの遊ぶ場所、公園が足りない。秋田市に毎週出掛けるので、用は足りませんが、大仙市にも「みらいあ」（県児童会館）のような施設が欲しい。（40代／女性／協和）

健康福祉、スポーツ分野

(1) 保健・医療について

- 予算もあると思いますが、高校三年生まで医療費が無料だと助かります。（30代／男性／大曲）
- 医療機関の充実（10代／男性／中仙）
- 若者の医療費をもう少し安くしてほしい。保険証を使って3割のところ、1割負担にしてもらえらるともっと気軽に医療にかかれます。（20代／女性／大曲）
- 以前乳がん検診のお知らせが届いたことがあり、その時は会社で受けられたのでこちらの検診は受けなかったがありがたいと思った。恥ずかしながら、自分でお金を出してはなかなか行けません。これからもよろしくお願いします。（40代／女性／西仙北）
- 子宮けいがん検診は、30歳代の頃は毎年受けていました。そのように色々な病院から選んで健診が受けられるとありがたいです。（40代／女性／仙北）
- 一昨年市の健診で引っかかり病院を受診した結果を電話連絡しましたが、後日病院の受診結果を連絡してくださいと通知が来ました。せっかくこちらから連絡をしていたのに、2度も電話をしなければいけなくなり2倍時間と電話代がかかりました。職員の方達の情報共有をきちんとしてほしいです。（40代／女性／仙北）

(2) 社会福祉について

- 高齢者が電話等で相談できる総合相談窓口がほしいです。（80代／男性／神岡）
- うつ病などの精神疾患の人達、8050問題のような、ひきこもりの人達、その家族に今以上に市政の方々に目を向けてもらいたい。経済的にも精神的にも疲れて自殺や衰弱死をしてしまう人達を救えるような世界になって欲しい。同僚がうつ病になり休職していましたが、病気は治らず悪くなるばかりで退職した。年金生活の両親と生活しているため、将来に不安しかなくやだ。障害者手帳をもらうまで、時間が掛かりすぎではないかと思う。高齢の人、精神疾患のある人達には辛い作業だと思う。相談窓口はあるようだが、親子で孤立した状態の人達には無意味で、第三者が自宅に足を運んで親子共にカウンセリングなどが必要なのではと感じる。このような意見を聞いてもらえる機会を与えてもらえたことにとっても感謝しています。ありがとうございました。（40代／女性／大曲）
- 働く現役世代も、高齢者にも、暮らしやすい大仙市にしてほしい。もっと福祉を考えて欲しい。（50代／女性／神岡）

- 「人口減少・高齢化社会」は秋田県、また大仙市でも深刻な問題となっています。「いつか、私もお父さんも年をとって、車も運転できなくなったら、病院に行くのにタクシーでも行ける距離にある大曲に引越しようと思っている」という言葉を耳にしました。その通りだと思いました。車を運転しない、移動手段に困る高齢者にとって、生活に必要な買い物・病院受診は切実な問題であるかもしれません。（50代／女性／協和）
- 特別養護老人ホームに入ることができない、待機高齢者の対策を急ぐべきだと思います。（30代／女性／大曲）
- 地域に子供達がいらない、住み続けられないこと、高齢者に対する交通の便、サービスが充実していません。子ども達の遊び場（特に冬季）がありません。災害時高齢者の救出、保護、介護、環境などの対応についても不安があります。改善、対策をお願いします。（60代／女性／中仙）

(3) 社会保障について

- 年金生活の人達は生活困窮している人達も多くいます。福祉活動などいろいろ頑張っておられることうれしく思いますが、もっともっとすみずみまで手を差し伸べて下さるようお願いします。（60代／女性／神岡）
- 金銭的な面でつらいことなどがあるのでどうにかして欲しい。（30代／男性／中仙）

(4) スポーツについて

- 近くに運動ができる陸上競技場があれば良いと思います。（30代／男性／大曲）
- 運動施設（スポーツ）、陸上競技場の施設建設を強く希望します。
- 運動不足と認知症にならないようにみんなと一緒に体力づくりをしていけたらいいなあと思います。（70代／女性／神岡）
- 野球場等の野外施設を冬季も利用可能な多目的運動施設に（70代／男性／大曲）
- 財政面の問題もありますが、スポーツ（健康）推進のためにも他の市のように大きな体育館が必要かと思われます。冬場の運動不足解消の為に（40代／男性／南外）

環境・安全分野

(1) 自然・環境衛生について

- 以前、土曜日曜の昼頃田んぼの野焼きについて市役所に連絡したところ、「関係機関に連絡をします」と言われた。消防か警察なりが来るかと思っていたら来なかった。周囲を田んぼに囲まれている地域の住民にとっては野焼きの煙は思っているより深刻です。重要性が無かったからかも知れないが、正直やっぱりお役所仕事だなと感じた。（20代／男性／太田）
- 春に丸子川の周辺散策します。桜の時期、川縁の緑が芽吹く頃、丸子川から見る西山の景色は最高です。ただ残念なのは丸子川にゴミが多く川縁が汚れていることです。自分も不満ばかり言っていないで、と思いますが、何とか美化につなげられないかな？といつも思っていますが。（60代／女性／大曲）

- 早朝に、犬を放して散歩している人が近所にいます。大型犬ということもあり、放されていると怖いので、広報で呼びかけるなど注意してもらいたいです。（20 代／男性／大曲）
- 不燃物（扇風機）、点火しなくなり油が残ったチャッカマン等、ゴミ処理がわからなかったが、電話したらていねいに教えて下さいました。うれしかったです。（70 代／女性／大曲）
- 毎週のごみ収集、資源ごみ収集に感謝しております。市役所玄関前の電池や廃油回収もありがたく思います。ただ、玄関口のため便利なので助かっていますが、少々肩身の狭い感が無きにしもあらずです。

(2) 安全・安心体制について

- 街灯をもっと増やしてもらいたい。特に子どもの多い地域では、夜間子どもが歩くとあぶないので、事故防止のためにもお願いしたい。（30 代／女性／大曲）
- 災害対策を早めに完全に仕上げた方が良いと思う。（20 代／男性／協和）
- 悲惨な事故が起きないように、子ども達の通学路、横断歩道の周辺、交差点など危険箇所がないか総点検していただきたい。町内、部落等に指示していただいても良いと思います。これからも市政、花火のまち大曲を応援します。（50 代／男性／大曲）
- 市内の危険箇所の確認をしっかりして欲しい。住んでいない家のブロック塀の破損なども目立ち、いつ倒れて来るだろうと不安でならない。道に木の枝などが出ており、危ない。外灯不足で暗い場所が多い。（50 代／女性／神岡）

(3) 雪対策について

- 冬期間、生活道の交差点両側に雪が積もり視界を妨げる。除雪に工夫を願います。（60 代／男性／大曲）
- 除雪、融雪の整備。特に一人暮らし老人のボランティアの充実。（市と町内会）各町内会への補助。（60 代／男性／協和）
- 冬の除雪については困ることがあります。市道・県道の違いもあると思いますが、事故につながります。少しでも心配りをしてもらえたら助かります。毎年忘れられたかな、と悲しくなります。（60 代／女性／西仙北）
- 50～100 坪弱の分譲地域では、除雪車が路上から戸口や車庫口に押し寄せた雪が、一部の地域を除き捨て場が遠く苦慮している。近くの市空地（避難所？）を利用させてもらっているが、除雪車が二回も稼働するとこの空き地も除雪車で盛られた雪で山となり、老人や女性には近づけない状況になる。団地内 6 m 市道側溝には水流もなく消雪管ありません（70 代／男性／大曲）
- ていねいな除雪をお願いします。除雪車が寄せた雪を片付けてはいますが、あと少しだけ奥まで寄せてくれるととても助かります。（50 代／女性／大曲）
- 冬場の横断歩道の出入り口に除雪車で寄せられた雪がそのままになっており、お年寄りや通学児童が転倒しそうになる場面を何度か見ている。近くの住民に除雪を頼めないものか。（60 代／男性／大曲）

(4) 空き家対策について

- 空き家が目立つ。雑草だらけで手入れが不十分。(30代／女性／)

都市基盤分野

(1) 公共交通について

- 協和地域に住んでいるが、高齢化により自家用車のそろそろ手放さなければいけない時期にきている。そうになると、病院や店に行く手段がなくなってしまう。お金を出してでも大曲に週何回かバスが巡回する方法を考えてほしい。(70代／女性／協和)
- 高齢者は自動車免許の返納をした場合、交通弱者となってしまう。それに対する支援を期待する。循環バスについて、福見町がカットされている。一度コースを見直していただきたい。(60代／男性／大曲)
- 毎日のように高齢者の運転事故がありますが、大仙市内は電車・バスなど公共の交通手段が不足しており、免許返納には高齢者も迷う所があると思います。これから益々少子高齢化となるので、なんとか高齢者にも便利な市であってほしいと思います。(50代／女性／中仙)
- バス・電車等の公共乗物運転を1時間延長(70代／男性／大曲)
- 自家用車がないので不便。田や畑もやれなくなった。買い物もおっくうになった。(80代／女性／西仙北)
- 医療機関、買い物など秋田市を利用している。週1回位の交通(バスなど)の整備を秋田県と相談して考えて欲しい。他市町村との連携。(秋田市、横手市、仙北市)(60代／男性／協和)
- 高齢化が年々進んで、これからの日常生活が益々困難になり不安に感じています。私ばかりでなく、周りの方々の世話話でも困難や不自由な生活を抱えながら暮らしている話をよく聞くようになりました。高齢者の問題は多々あると思いますが、車が使用できなくなった高齢者にとって、もっと公共交通手段が利用しやすくなるよう考えて欲しいのです。私は旧市内に居住していますが、循環バスの運行範囲を広げ、停留所の数を多く設定していただければ助かります。本当の意味で高齢者の足となれば気軽に外出が可能です。不安が一つ解消します。(70代／女性／大曲)

(2) 地域情報化について

- 若い人が遊べる場所が少ないと思います。インスタ映えする場所、オブジェ、フード、景色等でメディアで発信していけるようなことがあれば、さらに活気があふれるのではないかと思います。(20代／女性／神岡)
- 難しく、立派な言葉を使わず、具体的でわかりやすいやさしい言葉で広報を書いて欲しい。市役所・図書館でもそのような対応をして欲しい。(50代／女性／神岡)

(3) 市街地について

- もう少し若者が過ごしやすい町にして欲しい。横手にあって、大仙市にないお店もたくさんあるので都会らしくしてもらえれば大仙市にももっと若者や人がたくさん集まると思います。(20代/女性/大曲)
- 同じ大仙市でも、「大曲地域」と「その他地域」では道路やその他の整備でもまったくちがうように感じる。下水道一つにしても、料金のシステムも違う。中仙地域は下水が通っていても市内でもまだくみ取りがあったりと様々、「大曲の花火」で活性化はわかるが、大仙市全域が潤い、住みやすい所にしてもらいたい。(50代/女性/中仙)

(4) 道路・河川について

- 土川在住の者です。道路アスファルト補修、部分的には実施されておりますが、大幅に強化してほしい。大曲市内に比べると、かなり悪いです。よろしくお願いいたします。(60代/男性/西仙北)
- 4年くらい前の話だが、家の前の側溝を一言の連絡もなく全部ふたをされて、除雪した雪の捨て場がなくなって、他人の敷地に捨てさせてもらっている。小学生の通学路になっているが、60年以上一度も小学生が落下してケガをしたなどということは聞いたことがない。ふたをしたことによって、道が広がって送迎の車がスピードを出して走るようになり、かえって危ない。(60代/男性/大曲)
- 市道のラインが消えてしまっている。(50代/男性/西仙北)
- 大曲駅前道路の白線が見えづらく、走りづらい。事故の元になる。同じく富士見町交差点の白線ももう消えている。角館方面から来ると特殊な白線になっている。(40代/男性/大曲)

(5) 上・下水道について

- 上下水道の相談をしたところ、住宅まで引くのは無理と言われました。同じ住民だし、市として住宅がある以上、上下水道の整備はしなくてはならないと思うのですが、そこに住宅が少ない、周りの住宅は井戸でまかなっているとの理由で整備できないのはどうしてでしょうか。井戸でまかなっている場合は助成はないのですか。(40代/男性/大曲)
- 下水道料金を安くして下さい。(50代/女性/大曲)
- 上下水道がなく、整備する気も無い市にはあきれてしまいます。(20代/女性/大曲)

(6) 住環境、公園、緑地について

- 夜になると道路が狭く歩いている人が見えなくて危ない。街灯を増やしてほしい。つけてほしい。子どもが遊べる公園などの管理がなっていない。遊具が壊れたままやくさったまま放置されていることが多い。
- 丸子川に橋を追加して欲しい。大曲中学校までの橋を付けてくれたら、子どもたちも狭く交通量が多い危ない道を通らなくて済むので。横断歩道や通学路の道がちゃんと確保されず危なくて安心して行かせられない。子どもたちが安全に生活できるように考え、行動、活動してほしいと願います。(30代/女性/大曲)

(1) 学校教育について

- 教育に関する奨学金制度の充実。特に大学進学時。(40代／男性／西仙北)
- 就学児援助の仕組みがよくわからない。祖父母と同居しているが、実際かかっている必要額の計算と収入額で援助の必要がないと判断されるが、去年より必要額が下がっていたりする。なぜそうなのかわかるのかの説明もなく、金額の説明くらいしてくれても、と思う。そして、なぜ申請したのかの理由を記入しても、一切関係なく判断しているようにしか思えない。だったら、理由を書く必要はないのでは？と思う。苦しい状況で助けを求めてもムダなのであれば、収入の提出のみで良いのでは？と思う。(40代／女性／大曲)
- 学校の合併には子どもの数で仕方ないとは思いますが、通学に対する不安があります。バス等での運営費はかかると思いますが、子ども達が安全に楽しく、学びたい気持ちを考えた通学について考えて欲しいと思います。(60代／女性／中仙)
- 自然、花火、とても良い市だと思います。小さな子ども達だけでなく、遠方へ通学する子ども達へのJR、バス定期券の補助など、大仙市にも行って欲しい。職場の友人に潟上市の方がおり、潟上市は助成金があるのでとても助かると話しています。大仙市も検討してみたい。更に住みやすいと思う市に変わると思う。(40代／女性／神岡)

(1) 地域活性化について

- 8市町村が合併して「何が変わったか」が見えてこない。支所も皆そのまま存続、ハコも人(職員)も従前通りで良いはずはない。集中と選択を勇気を持って進めて欲しい。(60代／男性／仙北)
- だいせん日和はとてもよいと思います。地域のメリットが今以上に出来たら良いと思います。例えば、行事等合併前の様に予算があればと感じています。(50代／男性／仙北)
- 大仙市は、地域ごとに食べ物や行事など多種多様だと思います。「大仙市＝花火」というイメージが一番強いと思いますが、花火だけでなく他の大仙市の地域ごとそれぞれにスポットを当てて、地域全体を盛り上げていったほうが今後の大仙市の大きな強みになると思います。せっかくいい強みがあるのに、まだまだアピールしきれていない印象なので、もったいないです。他の市より遅れると思いますので、攻めの姿勢で臨むべきです。大仙市民の生活の質を向上させるのも、もちろん重要ではありますが、市外・県外からわざわざ足を運んでもらうために、ふるさと納税やイベントなどでアピールしていくべきです。今年の高橋優のフェスが大仙市で行われるのはチャンスだと思います。(30代／女性／大曲)
- 大仙市に合併したのに、地域によって地区の役や行事などが違い不公平感がある。人口が減っている中で、以前のままの係の役割が多く、常に役が回ってきて大変な地域と全然無い地域があるのは、同じ大仙市なのにおかしいと思う。そろそろ統一しても良いと思う！同じ大仙市民なので、核家族で人数が少なくなっているのに大変である。年寄りがいない家では平日は休みづらい。(50代／女性／南外)
- 旧大曲市などの利便性が良いのに比べ、山村地域の不便さが年を重ねるごとに不安です。(60代／女性／西仙北)

- 生まれてから 20 数年大仙市に住んでいるが、子どもが減り、老人が増え、店が潰れて活気がなくなる町に非常に危機感を覚え、寂しさを感じております。やはり若年人口の流出を止めることが一番だと思います。企業の誘致、雇用の充実、子育て支援の充実など、若年者が大仙に住んで、子どもを何人も産めるような環境の整備をお願いします。一筋縄ではいかないと思いますが、大胆な発想でぜひ大仙の未来を明るいものにしてください。（20 代／男性／神岡）
- 令和という年号になったのだから、市民が生きやすいまちにしていきたい。雇用促進住宅を増やしてほしい。地域に力を入れてほしい。（特に西仙は少ないと思う）医療と子育てにも力を入れて欲しい。医療面では、気負わずに検診できるよう、特に働く世代と子供の無料化を進めて欲しい。
- 若者の県外への移転。県内に残りたいような施設、イベントの充実を期待しております。（40 代／男性／中仙）

(2) 行財政運営について

- 税金を効率良く使ってもらえれば、それで良い（30 代／男性／太田）
- 「大曲の花火」その他の花火と年間にはかなりありますが、花火は大仙市にとっては大事ですが、予算を少し少なくして外にまわすことは出来ないでしょうか。教育とか自治会関係とかに。（60 代／女性／西仙北）
- 財源が厳しくなる中、公共施設の老朽化が進んでいると思います。これからも計画的な改修及び統廃合が必要と思われます。（70 代／男性／中仙）
- 人口減少等により、財政は厳しいことと思います。人口の割合に対して施設数が多く、維持・管理費が毎年財政を圧迫する要因となるのではないのでしょうか。限られた財政の中で、何が一番必要なことなのか改めて熟慮していただければ良いことかと思い、アンケートは厳しい意見となりました。（40 代／女性／中仙）
- 「市民による市政評価」とても良いことだと思いました。私は、大仙市の街に住んでみて、とても住みよい、人柄も良く大好きになりました。まちづくりの推進のため、今回アンケートを取り基礎資料にして、私達の声を市政に生かして、もっともっと魅力のある大仙市になりますよう、期待しております。（50 代／女性／仙北）
- 支所での相談ごと、問題点、本所まで届いていない様子です。（70 代／男性／太田）
- 地元のため、日々務めて下さっている職員の方々に感謝いたします。私達が若い頃と違い、職員の方の目線、対応が市民の立場に寄り添ってくれていると感じます。市政、市が関連する行事等、立案、運営は担当の方がいて下さって当然ですが、ごく一部の人のものになってはいけないと思います。難しいこととは思いますが、情報周知など、わかりやすい説明に努めていただきたく思います。（60 代／女性／大曲）
- 市職員は、市民のために働くという職種であるはずですが、時として上から目線で横柄な態度の人を見かけます。もっと親身に市民に寄り添う気持ちで接して欲しい。（70 代／女性／大曲）
- 特になし。市政は職員が良く頑張っています。時代の変化に対応できる行政を期待します。これからは少子高齢化で大変でしょうけれど、頑張りを期待します。（70 代／男性／中仙）
- 最近パソコンとかシステムが導入され、職員の対応が窓口へ行っても的確な対応が欠けている様です。また、職員の数字の書き方や字の書き方も乱雑な傾向が感じられます。心のこもった対応を心がけていただきたいです。（70 代／女性／中仙）
- 大仙市役所に手続き等で伺いますが、窓口の方が丁寧です。お忙しいのにありがたいです。福祉系の方達はとても親切です。これからもお仕事頑張って下さい。（30 代／女性／西仙北）

- 高齢者にも対応が親切で感心しています。照明のせいか、雰囲気は少々暗い気がします。（70 代／女性／南外）
- 東日本大震災が起きた 30 分後ほどに、ある証明書が欲しくて当時の市民課に行ったがもらえなかった。その時は事の重大さに気付いていなかったため、それをもらえる方法はないかと尋ねたところ、いろいろ手を尽くして頂いたが無理だった。ライフラインも復旧したある日、その時対応して下さった方から「大丈夫でしたか」と電話をいただき、気に掛けていてくれたこともありがたいと思った。こんな親切な方もいるんだなあと思った。窓口で対応して下さる方全てが良心親切とは限らない。不愉快な思いをした事も数回ある。市役所は非常に敷居が高いと感じる。（60 代／女性／西仙北）
- 各支所にはできるだけ地元の職員をおいて欲しい。（50 代／男性／仙北）
- 大曲庁舎は、職員が多く窮屈な印象を受けるし、一斉の目も気になる。各支所の活用をもっと検討すべきである。（50 代／男性／仙北）
- 手続きや制度の利用の際に、その事柄に関連する手続きや制度があればそちらへの誘導や説明を行い、訪庁の二度手間、三度手間をしないよう市民への情報提供をしてほしい。（20 代／男性／西仙北）
- 職員の対応もだいたい合格ですが、一部の方の少し元気の足りないときもあり、はつらつ対応、よろしく！！（70 代／女性／大曲）
- 住みやすい街づくり、安心してらせるように各年代別の様々な生活のニーズに寄り添った政策を実現できるようにお願いしたい。（60 代／女性／大曲）
- いろいろな施設があるが、また行きたいと思えるものがない。一度行くと、また行こうと思えるものがない気がします。イベントの発信が少なすぎて、なにがあるのかわからないうちに終わっている。もっと若い人が楽しめるもの、子どもが楽しめる施設、イベントを増やして、人が集まる市にしてほしい。税金を集めるだけでなく、有効的に使って増やす運用をしてほしい。（50 代／女性／大曲）

(2) 移住・定住について

- 花火のことばかり頑張っているイメージです。「はなび・アム」は何のための施設なのでしょう。新幹線も止まりますし、秋田県で 2 番目の都市のはずなのに、だっただけで子育てのしにくい所だなと感じます。ようやく子どものインフルエンザの補助が始まりましたが、他に魅力的な助成などなく、公園はいつ行っても草が伸び放題で安心して遊ばせることができず、図書館前も交通量が多く不安が募るばかりです。公園はいつも整備されているし、安心して子どもを一人で外に出せる地元で終の棲家を見つけるのが良いかと考えています。ただ、折角花火のおかげで知名度のある街なのにもったいないと思います。イオンのおかげで通勤族の移住者も多いですし、子育てしやすければ、交通の便は悪くないのでそのまま定住するかもしれません。納税者を確保できる条件はそろっているのに本当にもったいないです。能代なんかでは町全体でギネスに挑戦して TV で取り上げられたり、おもしろ企画をやっているところも多いです。ぜひ大仙市も何か取り組んでほしいと思います。広報もくらしのガイドブックも美郷町の方がみやすいです。（20 代／女性／大曲）
- 結婚をしていますが妻が県外出身です。秋田県全体で人口減少が問題となっているなか、県外から移住してきた人への支援をもっと充実するべきだと思います。都市部と比べて交通機関が充分でないため車もスタッドレスタイヤ等も必要になります。このご時世若い人だけの力で生活していくのはだんだん厳しい時代だと思います。若い世代へもっと目に見える形での支援をよろしく願います。（20 代／男性／大曲）

その他

- 市民が豊かな生活を送れるように市長さんはじめ職員のみなさんが尽力をして下さっていることに感謝します。アンケートを記入する中で、大仙市の取組の多さに関心しました。私自身、大曲から離れることなくいろんな面で住みやすい大曲で生活していることに幸せを感じています。今は大仙市もですが日本に大きな災害が起こらないことを願っています。（70代／女性／大曲）
- アンケート20Pは長すぎる。アンケートに答えてお金になるサービスもある時代に、送りつけてきて20Pもあるし、投函しなければならないし、メ切も急すぎるし、督促はがきまで来て、面倒くさいです。（30代／女性／神岡）
- 日々暮らしに追われ市政について考える余裕がありません。自分も含め、生きづらいと思っている人が少しでも減っていくような世の中にシフトできればいいと思います。
- 大仙市はとても住みやすい街だと感じております。市役所でも、こんなに多くさまざまな視点から考えられていることに驚きました。これからも地域発展のためにどうぞよろしくお願いします。（70代／女性／大曲）
- 現在は進学のために県外に住んでいますが、大仙市の良さを改めて実感しています。安心・安全という当たり前のことが生きていく上で一番幸せなのだと強く感じています。若い自分にとって都会は魅力的ですが、人と人が信頼し合って心豊かに生活していける秋田県がとても好きですし、必ず大仙市に帰ってきたいと思っています。（10代／男性／神岡）
- 地上イーゼス配備計画も、市や県は住民の意思を十分尊重して、国と異なる場合であっても住民の代表の気持ちで対処してもらいたい。（70代／男性／神岡）
- 農業の春作業で多忙な時期に突然アンケートが届いて、選ばれることなどまったくなかった者が1,000人の中に入ったとのことですが、まったく返答できないに近い回答ですみません。農業だけは人並み以上に頑張っております。（70代／男性／太田）
- マイナンバーカードを作らなければいけないと思い作ったのですが、その当時転勤で引っ越しが多く住所変更の裏書きに新しく住所を記入するのに2回届いたら3度目には再申請するのに手数料（申請料）がかかり今は移動はないのですがカードを作らなければよかったと思ったものでした。何か良いカードの活用法はないでしょうか。（50代／女性／神岡）
- 市民のために毎日ありがとうございます。大変でしょうが、大仙市のためよろしくお願いします。（40代／女性／大曲）
- 大曲は全国区の地名ですので大曲市にしてほしい（60代／男性／大曲）
- 予算不足、職員不足もあると思いますが、知恵を出し合って住みよい地域にしてほしいです。若い人が余裕のある家に住み、緑の多い町になると良いと思います。（60代／男性／大曲）
- 市街地に住む不自由さを痛感する年齢となりました。現在のところまだ運転、買い物もできていますが、いずれできなくなる自分の姿に日々不安を感じます。（70代／女性／大曲）
- 機械による生活ではなく、人と接する大切さも考えて欲しい。（70代／女性／大曲）
- 近場の支所も身近に利用したい（70代／男性／大曲）
- アンケートを通して自分の知らないこと、無知なことを反省しつつ、良い機会をもらったと思った。（60代／女性／大曲）
- 駐車場スペースが狭く、動きづらい。（40代／女性／大曲）

- 私は寒さに弱く、冬になると沖縄はいいなあと考えますが、台風や停電のことがテレビで流れるとやはり「ここが・・・」と思ってしまう。数ヶ月の白い世界も、春になると喜びに変わるし、ご近所づきあいも楽しいし、生まれてからずっとこの地域にお世話になっているので他へ移る気持ちなど持てない。ただスーパーが1つしかないので、買い物の楽しみがなく大曲へ行ってしまう。以前はもう一つあったので比べて買う楽しみがあったのですが・・・。どうしようもないですね。（60代／女性／西仙北）
- 業務といえども、市民のために話を聞いて下さったりと、守ること、力を注いで下さる姿勢にいつも感謝しております。（40代／女性／中仙）

大仙市の将来のために 令和元年度市民による市政評価 ご協力をお願い

市民の皆さまには、日ごろから市政の推進に対してご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

大仙市では、『人が活き 人が集う 夢のある田園交流都市』を将来都市像とし、平成28年度から10年間のまちづくりの基本的指針を示した「第2次大仙市総合計画基本構想」を策定し、より市民目線に立った実効性のある取組を推進しています。

この「市民による市政評価」は、市民の皆さまが日ごろ感じていることや、市政に対する要望を伺うものです。皆さまからいただいたご回答は、施策の見直しや市民との協働のまちづくりを進めるための大切な基礎資料となります。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただきまして、アンケートにお答えくださいますようお願いいたします。

令和元年 5月
大仙市長 老 松 博 行

《ご記入にあたって》

- ◆ このアンケートは、市内にお住まいになっている18歳以上の方の中から無作為（性別、年齢、地域については考慮）に1,000人を抽出させていただき、無記名形式で行います。
- ◆ このアンケートは、原則として封筒の宛名にあるご本人がお答えください。やむを得ず、ご本人がお答えできない場合は、ご家族の方（ただし、18歳以上の方）がお答えいただいても結構です。
- ◆ ご回答いただいた内容等につきましては、すべて統計的に処理し、個人に関する情報が明らかになることはありません。
- ◆ このアンケートの結果は、後日（秋頃を予定）市のホームページや広報にて公表します。

《ご記入の方法》

- ◆ ご回答は、この調査票に直接ご記入ください。
- ◆ ご記入いただく際は、黒の筆記用具でわかるようにはっきりとお書きください。
- ◆ ご回答は、あてはまる項目の番号に○印をつけてください。あてはまる項目がないときは、「その他（）」に具体的な内容をご記入ください。

（例） 5 (4) 3 2 1

（例）
1. 電車
3. 自家用車
(5.) その他（友人の車での送迎）
2. バス
4. 徒歩

《ご回答の返送について》

ご回答を記入した調査票は、**6月7日(金)まで**に、同封の返信用封筒に入れてご投函ください。（切手は不要です。）

【このアンケートに関するお問い合わせ先】

大仙市 企画部 総合政策課 政策調整班
電話：0187-63-1111（内線278） FAX：0187-63-1119
メール：sougou@city.daisen.akita.jp

1 施策の満足度と重要度について

あなたは、下表の設問項目について、大仙市の取組にどのくらい満足していますか。また、今後、大仙市のまちづくりにとってどのくらい重要であるとお考えですか。

下表の設問項目ごとに、「満足度」と「重要度」について、あなたの考えに一番近い番号をそれぞれ1つずつ選んで、○印をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

満足度と重要度 設問項目		満足度					重要度				
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらでもない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらでもない	2 あまり重要ではない	1 重要ではない
	〈記入例〉	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
I 魅力ある産業のまちを創ります！ 産業振興・雇用など	① 【農林水産業】 売れる米づくりの推進や複合農業化、6次産業化、通年農業化、担い手の育成、生産基盤の整備等に取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	② 【商工業】 企業誘致や地元企業の規模拡大に対する支援、人材獲得支援、商店街等への支援、創業支援などに取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③ 【花火産業構想】 「大曲の花火」ブランドの戦略的活用による観光、商工業、農業等幅広い分野にわたる活性化策を展開しています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④ 【観光】 各地の花火大会や祭り、史跡・文化財、温泉、自然等の地域資源を活かした観光振興に取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑤ 【雇用・就労】 雇用・就業支援や資格取得支援、職場見学事業、Aターン希望者への就業支援などに取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

大仙市の現状・取組状況

新規就農者数	H27～H29の累計 77人
農業産出額	H26 183億8千万円 → H29 227億5千万円
新規雇用創出数	H27～H29の累計 395人
新規誘致企業数	H27～H29の累計 5社
創業者数	H27～H29の累計 29人
市内の煙火出荷額	H26 7億6百万円 → H29 9億29百万円
観光入込客数	H26 2,631千人 → H29 2,766千人
Aターン就職者数※	H27～H29の累計 214人

※ Aターン／秋田県へのUターン・Iターン・Jターンの総称。

満足度と重要度 設問項目		満足度					重要度				
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらとも	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらとも	2 あまり重要ではない	1 重要ではない
Ⅱ みんなの元気を応援します！ く出会い・結婚・子育て、健康・福祉など	① 【出会い・結婚】 結婚相談会や出会いイベントの開催など、男女の出会いと結婚を応援する取組を進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	② 【子育て】 保育サービスの充実や放課後児童クラブの設置、中学生までの医療費助成など、子育てできる環境づくりを進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③ 【保健・医療】 特定健診・がん検診の受診促進、地域医療体制の充実、予防接種の推進など、よりよい保健・医療体制づくりを進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④ 【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など、安心して暮らせる社会福祉の充実に努めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑤ 【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度など、皆さんの生活を守る社会保障の充実に努めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑥ 【スポーツ】 500歳野球大会の開催、スポーツ少年団への支援、スポーツ施設の充実など、生涯スポーツの推進・スポーツによる地域の活性化に努めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

大仙市の現状・取組状況

結婚相談会や出会いイベントの提供数	H27～H29の累計	56件
不妊治療による出産数	H27～H29の累計	48件
子育てサポート会員登録者数	H27	81人 → H29 83人
放課後児童クラブ実施箇所数	H27	21箇所 → H29 29箇所
特定健康診査受診率	H27	39.1% → H29 42.0%
介護予防いきいき隊要請者累計数	H27	106人 → H29 131人
物忘れ相談プログラム体験者数	H27	340人 → H29 427人
全国500歳野球大会参加チーム数	H30	32チーム
スポーツ合宿実施数	H27	15団体 → H29 23団体

満足度と重要度 設問項目		満足度					重要度				
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらとも いえない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらとも いえない	2 あまり重要 ではない	1 重要ではない
Ⅲ 住みよいまちを築きます！ 安全・安心、都市整備など	① 【自然・環境衛生】 緑豊かな自然の保護や環境に優しいまちづくり、ごみ減量化、公害防止など、自然環境保全と衛生環境整備に努めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	② 【安全・安心体制】 消防・防災体制や雪対策の強化、交通安全の推進、防犯体制の強化など、安全・安心体制の充実に努めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③ 【空き家対策】 空き家の適正管理促進や空き家バンクの実施、移住希望者への情報提供など、空き家の増加抑制と活用に取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④ 【公共交通】 地域の実情にあわせて、循環バスや市民バス、コミュニティバス、乗合タクシーを運行するなど、公共交通の維持確保に努めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑤ 【地域情報化】 地上デジタル放送難視聴地域解消やインターネット環境の整備、FMはなびによる防災・災害情報発信などに取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑥ 【市街地】 利便性が高い機能的な都市づくりや無秩序な市街地の拡散抑制、市街地の活性化などに取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑦ 【道路・河川】 幹線・生活道路の整備、迅速な道路修繕、橋りょうの長寿命化、国県河川の早期整備要望、内水対策などに取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑧ 【上・下水道】 浄水場・水道施設の整備、公共下水道の整備など、生活の基盤となる上・下水道等の整備を進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑨ 【住環境】 住宅リフォーム支援や市営住宅の維持管理、公園・緑地の維持管理など、良好な住環境づくりに取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

大仙市の現状・取組状況

自主防災組織の組織率	H26 67.5% → H29 91.0%
地域公共交通利用状況	地域の実情に合わせて6システム 50路線を運行 H30実績 循環バス 13,984人 コミュニティバス 40,585人 乗合タクシー 14,239人
市ホームページ閲覧数	H26 649千人 → H29 1,881千人
都市計画道路整備率	H26 59.8% → H29 62.0%
住宅リフォーム支援利用件数	H28～H30の累計 1,292件

設問項目		満足度					重要度				
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらとも いえない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらとも いえない	2 あまり重要 ではない	1 重要ではない
IV 豊かな心と想像力を育みます！ （教育、生涯学習、芸術・文化など）	① 【学校教育】 キャリア教育の推進、英語教育の充実、地域住民との交流など、社会で活躍できる子どもの育成を進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	② 【生涯学習】 ライフステージにあわせた学習活動、生涯学習施設の整備など、生涯学習を通じて学び、活かせる環境づくりを進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③ 【芸術・文化】 芸術鑑賞機会の創出や音楽祭の開催、文化財を活用した行事など、芸術・文化を通じた潤いのあるまちづくりを進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④ 【地域間・国際交流】 宮崎県宮崎市、神奈川県座間市、韓国唐津市との交流を継続するとともに、新たに岩手県宮古市や台湾新北市との交流を進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

大仙市の現状・取組状況

学校生活支援員の配置数	H27 56人 → H29 58人
ALT・CIRの配置数※	H27 8人 → H29 9人
学校のトイレ洋式化改修率	H27 73.0% → H29 80.9%
異校種間連携実施率※	H27 90.6% → H29 100.0%
生涯学習事業への参加延べ人数	H27 116,772人 → H29 106,542人
芸術文化協会の団体数	H27 245団体 → H29 236団体
国内友好交流都市との交流	H27 8回 → H29 7回
自治体間による交流団体数	H30現在 4団体（座間市、宮崎市、宮古市、韓国唐津市）

※ ALT／外国語指導助手 CIR／国際交流員

※ 異校種間連携／幼保・小中学校・高校・支援学校・大学など異校種による連携。

満足度と重要度 満足度と重要度		満足度					重要度				
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらとも いえない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらとも いえない	2 あまり重要 ではない	1 重要ではない
V時代 市民と地域の協働、行政運営など	①	【地域活性化】 地域協議会の活動や地域予算の充実、自治会活動の支援など、住民主体のまちづくりを進めています。					5	4	3	2	1
	②	【移住・定住】 移住コーディネーターの配置、無料職業紹介所の設置など、安心して移住できる環境づくりを進めています。					5	4	3	2	1
	③	【市民協働】 ボランティアやNPOへの活動支援など、市民と行政による協働の取組を応援しています。					5	4	3	2	1
	④	【男女共同参画】 男女共同参画に関する講座や女性活躍応援講座の開催など、より多くの人が豊かに働ける社会づくりを進めています。					5	4	3	2	1
	⑤	【行財政運営】 市職員数の適正化、財政の健全化、組織機構改革、公共施設の見直しなど、効率的な行財政運営に努めています。					5	4	3	2	1

大仙市の現状・取組状況

地域枠予算（市民主導型）活用数	H27 73件 → H30 103件
地域おこし協力隊員数	H27 1人 → H30 4人
本市への移住者数	H27 5世帯 8人 → H30 30世帯 76人
本市への移住相談件数	H28 42件 → H30 103件
市職員数	H27 992人 → H30 847人
財政力指数※	H27 0.342 → H30 0.344
将来負担比率※	H27 136.9% → H29 134.8%
全会計市債現在高	H27 99,175百万円 → H30 92,663百万円

※ 財政力指数／地方公共団体の財政力を示すもの。財政力指数が高いほど財政力が強いことを示す。

※ 将来負担比率／市が将来負担を予定する負債の大きさを示すもの。400%超で早期健全化団体に該当。

2 今後、さらに推進すべき取り組みについて

問1 あなたが「**産業分野**」で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 農業の担い手確保、育成 | 2. 農業生産基盤の整備 |
| 3. 稲作・畑作等複合経営の推進 | 4. 農産物の6次産業化 |
| 5. 畜産業、林業、水産業の振興 | 6. 地域商業の活性化 |
| 7. 企業誘致の強化 | 8. 中小企業への支援 |
| 9. 若者の起業支援 | 10. 花火産業の振興 |
| 11. 特産品の振興 | 12. 魅力ある観光地づくり |
| 13. 雇用・就労への支援 | 14. 外国人を含む観光誘客の推進 |
| 15. その他() | |

問2 あなたが「**出会い・結婚・子育て分野**」で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 結婚を応援する環境づくり | 2. 結婚相談会・出会いイベントの開催 |
| 3. 妊娠、出産、育児を応援する環境づくり | 4. 検診相談等の母子保健事業の充実 |
| 5. 妊娠中から切れ目のない子育て支援 | 6. 子育て支援サービスの充実 |
| 7. 保育ニーズ量に対応した受入体制の整備 | 8. 夜間・休日保育の充実 |
| 9. 子育てに関わる経済的負担の軽減 | 10. 放課後児童クラブ・子供教室の充実 |
| 11. 虐待防止対策の実施 | 12. ワーク・ライフ・バランスの推進 |
| 13. その他() | |

問3 あなたが「**健康福祉・スポーツ分野**」で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. からだの健康づくりの推進 | 2. こころの健康づくりの推進 |
| 3. 地域医療体制の整備 | 4. 病気予防体制の充実 |
| 5. 地域住民による支え合い体制の構築 | 6. ひとり親家庭への福祉の充実 |
| 7. 地域包括ケアの推進 | 8. 生活支援サービスの充実 |
| 9. 介護サービス基盤等の整備 | 10. 障がい者福祉サービスの充実 |
| 11. 社会保障制度の周知 | 12. 生活保護制度の適正な実施 |
| 13. スポーツ活動への支援 | 14. スポーツ環境の整備 |
| 15. その他() | |

問4 あなたが「**環境・安全分野**」で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 自然環境の保全 | 2. 新エネルギー導入の推進 |
| 3. 交通安全、防犯体制の強化 | 4. 交通弱者への福祉施策の推進 |
| 5. 消費者トラブル対策 | 6. 消防団員の確保 |
| 7. 地域の防災体制の整備 | 8. 水害対策設備の整備 |
| 9. 除排雪体制の充実 | 10. 消融雪施設の整備 |
| 11. 空き家の管理と利活用の推進 | 12. 廃棄物の排出抑制・適正処理 |
| 13. 河川とその周辺環境の保全・整備 | 14. 公園・緑地の整備、緑化の推進 |
| 15. その他() | |

問5 あなたが「**都市基盤分野**」で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. 主要道路網・幹線道路の整備促進 | 2. 生活道路の整備 |
| 3. 道路・橋りょうの維持管理 | 4. 駅舎、駐車場の整備・維持管理 |
| 5. 地域や生活の実情に即した公共交通の整備 | 6. 計画的な市街地整備 |
| 7. 住宅環境の整備 | 8. 住宅耐震化率向上の推進 |
| 9. 市内の情報網、通信網の整備 | 10. 地域情報化の推進 |
| 11. 安全で安定した水道水の供給 | 12. 下水道施設の整備 |
| 13. 下水道未普及地区の解消 | 14. 水道事業の適正な実施 |
| 15. その他() | |

問6 あなたが「**教育・交流分野**」で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 生きる力を育む学校教育の推進 | 2. 学校と地域の交流・連携 |
| 3. 家庭教育の推進 | 4. 学校施設の整備 |
| 5. ふるさと教育の推進 | 6. 特別支援教育の充実 |
| 7. 生涯学習支援体制の充実 | 8. 学びを生かす生涯学習の推進 |
| 9. 生涯学習の機会拡大・情報発信 | 10. 芸術、文化活動の振興 |
| 11. 文化財の保護保全・整備と活用 | 12. 非核平和の啓発 |
| 13. 他自治体との連携・交流 | 14. 国際交流の促進 |
| 15. その他() | |

問7 あなたが「地域活性化・市民との協働・行政運営分野」で、さらに推進すべきであると考え
る取り組みはどれですか。あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 地域資源の掘り起こしと活用の推進 | 2. 地域活動の情報発信 |
| 3. 行政への市民参加の機会拡大 | 4. 自治組織づくり、自治会活動への支援 |
| 5. 地域独自の活性化への支援 | 6. 小規模集落・高齢化集落への支援 |
| 7. 移住・定住への支援 | 8. 若者が活躍できる環境づくり |
| 9. 男女共同参画社会の推進 | 10. 事務組織の見直しと職員資質の向上 |
| 11. 行政情報の提供と公開 | 12. 効果的・効率的な行政運営 |
| 13. 公共施設の見直し | 14. 公文書館の利用促進 |
| 15. その他() | |

3 あなたが思う大仙市について

問1 あなたが現在大仙市に住んでいる経緯はどれですか。
あてはまる番号**1つに**○をつけてください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 生まれてからずっと住んでいる |
| 2. 市外に住んだことがあり、家族、仕事などの理由で引っ越して来た |
| 3. 市外に住んだことがあり、自分の意志で引っ越して来た |

問2 あなたは、「大仙市」にどのくらい愛着を感じていますか。
あなたの考えに一番近い番号**1つに**○をしてください。

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. とても好き | 2. やや好き |
| 3. あまり好きではない | 4. 全く好きではない |

問3 大仙市は、住みやすいまちだと思いますか。
あなたの考えに一番近い番号**1つに**○をつけてください。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 住みやすい | 2. どちらかといえば住みやすい |
| 3. どちらかといえば住みにくい | 4. 住みにくい |

問4 これからも大仙市に住み続けたいと思いますか。
あなたの考えに一番近い番号**1つに**○をつけてください。

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1. 今の場所に住み続けたい | 2. 市内の別の場所へ移りたい |
| 3. 市外に移りたい | 4. 住み続けたいが、移らざるを得ない |

問5 あなたは、知人に「住む場所」として大仙市をすすめますか。
あなたの考えに一番近い番号**1つに**○をつけてください。

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 強くすすめる | 2. どちらかといえばすすめる |
| 3. どちらかといえばすすめない | 4. すすめない |
| 5. わからない | |
| その理由() | |

問6 あなたは、知人に「訪れる場所」として大仙市をすすめますか。
あなたの考えに一番近い番号**1つに**○をつけてください。

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 強くすすめる | 2. どちらかといえばすすめる |
| 3. どちらかといえばすすめない | 4. すすめない |
| 5. わからない | |
| その理由() | |

問7 あなたは、まちを良くするために活動したいと思いますか。
あなたの考えに近い番号**1つに**○をしてください。

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. 積極的に参加したい | 2. どちらかと言えば参加したい |
| 3. あまり参加したくない | 4. 参加したくない |

問8 あなたは、ここ1年間で仕事以外で社会活動や地域活動(自治体活動、PTAでの活動、花植え、草刈り、ゴミ拾いなどの環境保全活動、見守り活動など)に参加しましたか。
あてはまる番号**1つに**○をしてください。

- | | |
|----------|------------|
| 1. 参加した | 2. 参加していない |
| 活動の内容() | |

問9 今、あなたが大仙市を市外の知人に紹介する場合、どのようなまちとして紹介しますか。「1つだけ選ぶとしたら」と考えたとき、あなたの考えに最も近い番号1つに○をしてください。

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 四季折々の豊かな自然があるまち | 2. 美味しいお酒や食べ物があるまち |
| 3. 花火のまち | 4. 面白いお祭りやイベントがあるまち |
| 5. 文化や歴史の豊かなまち | 6. 教育が充実し学力水準が高いまち |
| 7. 高齢者が健康で楽しく暮らせるまち | 8. 子どもが楽しく安全に暮らしているまち |
| 9. 犯罪や自然災害の少ない安全なまち | 10. 地域の人々の絆があるまち |
| 11. みんなが地域のために活動しているまち | 12. 観光客や移住者を快く受け入れるまち |
| 13. その他() | |

問10 10年後、あなたが大仙市を市外の知人に紹介する場合、どのようなまちとして紹介したいですか。「1つだけ選ぶとしたら」と考えたとき、あなたの考えに最も近い番号1つに○をしてください。

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 四季折々の豊かな自然があるまち | 2. 美味しいお酒や食べ物があるまち |
| 3. 花火のまち | 4. 面白いお祭りやイベントがあるまち |
| 5. 文化や歴史の豊かなまち | 6. 教育が充実し学力水準が高いまち |
| 7. 高齢者が健康で楽しく暮らせるまち | 8. 子どもが楽しく安全に暮らしているまち |
| 9. 犯罪や自然災害の少ない安全なまち | 10. 地域の人々の絆があるまち |
| 11. みんなが地域のために活動しているまち | 12. 観光客や移住者を快く受け入れるまち |
| 13. その他() | |

次のページからは、市が行っている個別の事務事業に対する市民のみなさんの評価・要望等を伺うアンケート調査です。

ご自身に直接関係がないと思われる設問もあるかもしれませんが、幅広い市民のみなさんのご意見を伺い今後の事業の参考としますので、可能な限りすべての設問にお答えくださいますよう、ご協力をお願いいたします。

テーマ1 食品ロス（フードロス）の削減対策について

「食品ロス（フードロス）」とは、売れ残りや食べ残しなど、本来食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。「食品ロス」は、スーパーや食品工場、レストランなどの外食産業の食品関連事業所から出されるものが55%、家庭から出されるものが45%とされています。

日本全体で排出される「食品ロス」の総量は、貧困地域に援助されている世界全体の食料支援総量の約2倍あると推計されています。

国の対策に加え、市でも、環境保全や経済損失、廃棄物削減の観点から、この「食品ロス」に対する啓発活動に取り組んでいます。

この調査では、市民の皆さんの「食品ロス」に対する意識を伺い、今後、市で行う食品ロス対策啓発活動を効果的に行うための参考とさせていただきます。

問1 「食品ロス」という言葉を知っていましたか。あてはまるもの**1つに**○をつけてください。

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. よく知っている →問2へ | 2. 聞いたことがある →問2へ |
| 3. 知らない →問3へ | |

問2 問1で「よく知っている」「聞いたことがある」と答えた方にお聞きします。どこで「食品ロス」という言葉を見たり聞いたりしましたか。
あてはまるもの**すべてに**○をつけてください。（○はいくつでも）

- | | |
|------------|-------------|
| 1. テレビやラジオ | 2. 本や雑誌 |
| 3. インターネット | 4. ポスター・チラシ |
| 5. 家族から | 6. その他() |

問3 次の言葉を、聞いたことがあったり(知っていたり)、心がけたりしていますか。
あてはまる記号**それぞれ1つずつに**○をつけてください。

食品ロスに関係する言葉	概要	聞いたことがありますか／知っていますか	心がけていますか
1) 3010運動	宴会等での食べ残しを削減するため、開始後30分間と解散前10分間は自席を離れず料理を楽しむことを呼びかける運動	a) はい b) いいえ	a) はい b) いいえ
2) エコクッキング	地球環境を考慮して、食材を買いすぎない、作りすぎない、捨てないなど、買い物、調理、片付けなどを行うこと。	a) はい b) いいえ	a) はい b) いいえ
3) 賞味期限と消費期限の違い	「賞味期限」:おいしく食べることのできる期限 「消費期限」:安全に食べることのできる期限	a) はい b) いいえ	

問4

「食品ロス」について、どう思われますか。

あなたの考えに近い番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 環境保全や社会的問題を考え、市民が自主的に食品ロス削減を推進するのが望ましい
2. スーパーやレストラン・宴会場などで発生する食品ロスは、企業が自主的に削減努力するのが望ましい
3. 食品ロス削減がいいことは分かっているが、削減することによるメリットがわからないので意識できない
4. 食品ロス削減について、自分ができることがわからない
5. 社会的な風潮として、もっと「食品ロス」の問題が取り上げられないと自主的に行動できない
6. 買ったり支払ったりした物を消費期限切れや食べ残しで廃棄したとしても、お金を出して買った個人の自由だと思う
7. その他()

問5

あなたは、「食品ロス」削減に向けてどのような働きかけがあれば、心がけたり意識したりすることができると思いますか。あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 市の広報やチラシでのお知らせ
2. エコクッキング教室や食品ロス削減に関する勉強会への参加
3. 商店やスーパーでのポスター掲示
4. 商店やスーパーでの商品棚にあるメッセージ
5. 飲食店や宴会場でのポスター掲示
6. 飲食店や宴会場で、席に置かれた箸袋やコースターなどに書かれたメッセージ
7. 宴会時、幹事や司会からの食べ残し削減の声がけ
8. 家族内での声がけ
9. テレビやラジオなどメディアを通した呼びかけ
10. わからない
11. その他()

テーマ2 墓地の利用について

少子高齢化や核家族化により、先祖からのお墓を子孫に継承することが困難となっている、いわゆる「無縁墓(むえんぼ)」の増加が問題になっています。

現在市では、市内14カ所に墓地公園を整備しており、地域によって異なるものの、全体で約9割の利用率となっています。

この調査では、市民のみなさんのお墓についての考え方や心配事を伺うことにより、今後の市の墓地公園の整備方針を検討する参考とさせていただきます。

問1

現在、あなたの家で利用している墓地はどれですか。

あてはまる番号**1つに**○をつけてください。

- | | | | |
|----------------------|------|-------------|------|
| 1. 市営の墓地 | →問2へ | 2. 寺院・民営の霊園 | →問2へ |
| 3. 代々継承してきた共同墓地、個人墓地 | →問2へ | 4. 利用していない | →問3へ |
| 5. その他() | | | |

問2 問1で「1.」～「3.」と答えた、墓地を利用している方にお尋ねします。今後のお墓の管理について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。あてはまる番号**123**に○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 今後も今のお墓を利用し続けるつもりだ | 2. いずれは墓じまいを考えている |
| 3. 子孫の考えに任せる | 4. 分からない |
| 5. その他() | |

問3 問1で「4.利用していない」と答えた方にお尋ねします。今後、あなたが利用したいお墓は次のどれですか。あてはまる番号**123**に○をつけてください。

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. 市営のお墓 | 2. 寺院・民営の霊園 |
| 3. こだわらない | 4. 分からない |
| 5. その他() | |

ライフスタイルの多様化に伴い、お墓のあり方についても様々な考え方が出てきており、個別のお墓を用意せず、共同で埋葬する「合葬墓(がっそうぼ)」も話題となっています。

「合葬墓」には、次のような特徴があります。

- ◆ 遺骨を骨壺から取り出して共同で埋葬する形式です
- ◆ 一般的な墓地に比べ、永代使用料等が安価です
- ◆ 年間の管理手数料が不要です
- ◆ 寺院等でない霊園・墓地では、宗派の関係なくすべて一緒に埋葬されます
- ◆ 一度埋葬すると、遺骨の取り出し、改装や分骨はできません

問4 あなたは、市営の合葬墓があれば利用したいと思いますか。
あてはまる番号**123**に○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 利用したいと思う | 2. どちらかといえば利用したいと思う |
| 3. どちらかといえば利用したいと思わない | 4. 利用したいと思わない |
| 5. その他() | |

問5 将来のことも含め、あなたが考えるお墓についての不安、心配はありますか。不安、心配なことがあればお書きください。

テーマ3 市の温泉施設について

市では、市民のみなさんの保養、休養の場を提供するとともに、市民同士の交流や市外からの観光を促進するため、市内7ヵ所に温泉施設を持ち、指定管理者に委託して運営しています。

しかしながら、各施設とも設置からの年数経過に伴う老朽化が進み、修繕などの管理費が増大していることから、温泉施設が担う役割の重要性を勘案しつつも、今後の施設の方向性について再検討する必要があります。

この調査では、市民の皆さんの温泉施設の利用状況やご意見を伺い、今後の事業の見直しを進めていくための参考とさせていただきます。

【市が所有する温泉施設】

地域	施設名称
神岡	かみおか温泉 嶽の湯
西仙北	西仙北ぬく森温泉 ユメリア
中仙	八乙女温泉 さくら荘
協和	協和温泉 四季の湯

地域	施設名称
南外	松木田温泉 南外ふるさと館
仙北	史跡の里交流プラザ 柵の湯
太田	中里温泉

問1 市が所有している温泉施設(入浴、宴会、宿泊などで)をどのくらい利用していますか。
あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. ほぼ毎日 →問2-1へ | 2. 週に2, 3回程度 →問2-1へ |
| 3. 月に数回程度 →問2-1へ | 4. 月に1回程度 →問2-1へ |
| 5. 年に数回程度 →問2-1へ | 6. 年に1回程度 →問2-1へ |
| 7. 2, 3年に1回程度 →問2-1へ | 8. ほとんど利用しない →問3へ |
| 9. 利用したことがない →問3へ | 10. その他() |

問2-1 問1で「1.」～「7.」と答えた方にお聞きします。市の温泉施設に行く目的は何ですか。
あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|---------------|
| 1. 入浴による疲労回復、療養、健康のため | 2. レジャー、娯楽として |
| 3. 地域の知り合いとの交流のため | 4. 宴会のため |
| 5. 宿泊のため | 6. その他() |

問2-2 問1で「1.」～「7.」と答えた方にお聞きします。主に誰と市の温泉施設に行きますか。
多いものから順に2つまでに○をつけてください。(○は1つか2つ)

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| 1. 同居家族(夫婦のみ) | 2. 同居家族(2世代以上(子どもと一緒に、など)) |
| 3. 同居していない家族(近隣に在住の親、親戚など) | 4. 友人 |
| 5. 一人 | 6. その他() |

問2-3 問1で「1.」～「7.」と答えた方にお聞きします。市の温泉施設に行く際、主に利用する交通手段は何ですか。あてはまる番号**12に**○をつけてください。

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. 自家用車(自分か家族が運転して) | 2. 自家用車(友人・知人の車に相乗りして) |
| 3. バス | 4. 徒歩 |
| 5. タクシー | 6. その他() |

問3 問1で「8.ほとんど利用しない」、「9.利用したことがない」と答えた方にお聞きします。市の温泉施設を利用しない理由は何ですか。
あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1. 自宅に風呂があり温泉に行く必要がないから | 2. 市の温泉施設以外の温泉に行くから |
| 3. 共同浴場という場所が衛生的に気になるから | 4. 交通手段がないから |
| 5. その他() | |

問4 市が所有する7つの温泉施設は、年間約1億円程度の維持費がかかっています。また、予想される人口減少に伴い利用者が減少することを考慮すると、市の温泉経営の効率化などを検討する必要があります。
市が運営する温泉施設に必要なと思うこと、ものは何だと思いますか。
最も必要だと思うことを2つまでに○をつけてください。(○は1つか2つ)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 温泉としての効能、泉質の維持 | 2. 食事場所としてのレストラン |
| 3. 寄り合いなどの宴会場 | 4. 宿泊場 |
| 5. 休憩できる場所(広間) | 6. 売店(地元の農産物など) |
| 7. その他() | |

テーマ4 マイナンバーカードについて

マイナンバー制度とは、行政手続きの簡素化、給付金などの不正受給防止、行政の効率化のために社会保障・税・災害対策の分野で利用できるよう平成28年1月から導入されました。

国や市町村など複数の機関で持っている個人情報、同じ一人の情報であることを確認するために、一人ずつ固有の12桁のマイナンバーが与えられ、通知カードによって個別に通知されています。

「マイナンバーカード」は、通知カードとは異なり本人の申請によって作成できるので、今後、各種手続きの電子申請の広がりなど、デジタル社会が進むにつれて必須のものになると予想されています。

「マイナンバーカード」には、次のような特徴があります。

- ◆ 公的身分証明書として利用することができます
- ◆ e-TAX(確定申告)など、各種電子申請に利用できます
- ◆ 健康保険証として利用可能にするよう検討が進められています
- ◆ カードのICチップには、税や年金などのプライバシー性の高い情報は入っていません
- ◆ 発行手数料は無料です

マイナンバーカード(サンプル)



この調査では、市民の皆さんのマイナンバーカードの利用状況等を伺うことにより、今後のマイナンバーカード普及を推進するための参考とさせていただきます。

問1 「マイナンバーカード」を知っていますか。あてはまる番号12に○をつけてください。

1. 知っている

2. 知らなかった

問2 「マイナンバーカード」を持っていますか。あてはまる番号12に○をつけてください。

1. 持っている →問3へ

2. 持っていない →問4へ

問3 問2で「1. 持っている」と答えた方にお尋ねします。マイナンバーカードを作った理由は何ですか。あてはまる番号12に○をつけてください。

1. 作ってみたいと思ったから

2. 作らなければいけないと思ったから

3. 本人確認書類が必要だから

4. 職場で必要だから

5. 確定申告等で利用するから

6. 今後利用する場面が増えると思ったから

7. その他()

問4

問2で「2. 持っていない」と答えた方にお尋ねします。マイナンバーカードを持たない理由は何ですか。あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|----------------------------|
| 1. マイナンバーカードを知らなかったから | 2. 通知カードだけで十分だと思うから |
| 3. カードを持つメリットが感じられないから | 4. カードを紛失したときに怖いから |
| 5. カードの作り方がわからないから | 6. 顔写真を撮ることや市役所に行くことが面倒だから |
| 7. その他() | |

問5

マイナンバーカードを利用してできると思う市役所のサービスはありますか。あなたが利用したいと思う番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 印鑑登録証明としての利用 |
| 2. 図書館カードとしての利用 |
| 3. 住民票・戸籍関係書類のコンビニ交付のための利用 |
| 4. 地域産物・商店等応援のための、地域で使えるポイントカードとしての利用 |
| 5. 市役所各種申請手続きのインターネット申請のための利用 |
| 6. 特にない(今のままでよい) |
| 7. その他() |

テーマ5 市役所サービスについて

市では、市民の皆さんに親しみやすく分かりやすい、信頼される行政運営を目指しています。

その一環として、申請事務・相談窓口のワンストップ化に努めているほか、市役所全体で接遇向上を目標としたマナー向上委員会の活動を行っています。

また、大曲庁舎では、入口付近に総合受付案内窓口や福祉事務所総合相談窓口を設置するなど、市民目線でのサービス向上に努めています。

この調査では、普段市民の皆さんが感じている市役所サービスについてのご意見を伺い、今後も市民の皆さんが分かりやすい、利用しやすいと感じる環境づくりを進めていくための参考とさせていただきます。

問1

あなたが市役所に行く場合、よく利用する庁舎はどこですか。

あてはまる番号**1つに**○をつけてください。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 大曲庁舎 | 2. 神岡庁舎 |
| 3. 西仙北庁舎 | 4. 中仙庁舎 |
| 5. 協和庁舎 | 6. 南外庁舎 |
| 7. 仙北庁舎 | 8. 太田庁舎 |

問2 市役所の仕事の取り組み方に対して、どのように感じていますか。
各項目のあてはまる番号それぞれ**1つに**○をつけてください。

項目 (仕事の取り組み方)	そう 思う	ある 程度 思う	どちら とも 言え ない	そう あま り思 わな い	そう 思 わ な い
1) 窓口や電話で親切な対応を行っている	1	2	3	4	5
2) 必要なサービスが利用しやすい	1	2	3	4	5
3) 届出や申請がスムーズでわかりやすい	1	2	3	4	5
4) 行政サービスの改善・効率化に努めている	1	2	3	4	5
5) 市の情報を分かりやすく積極的に発信している	1	2	3	4	5

問3 この1年の間に、あなたが市役所など関わった機会は何ですか。
あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 窓口で手続きや相談をした
2. 市役所に電話で問い合わせた
3. 各種行政サービスを利用した(証明交付、福祉サービス、医療費等の助成 など)
4. 市の施設を利用した
5. 広報紙やパンフレットなどを読んだ
6. 大仙市公式ホームページを見た
7. 市の公式SNS(フェイスブックやインスタグラム)を見た
8. SNSやブログなど友人・知人が発信するインターネット上で、市に関する情報を得た
9. 新聞、雑誌、テレビ、ラジオなどのマスメディアから市に関する情報を得た
10. 家族や知人と市役所に関する話をした
11. 水道、市道について相談、連絡した
12. 家族や知人に、市役所に勤めている人がいる(いた)
13. 仕事で市役所と関係がある(あった)
14. その他()
15. 特になし

問4 市役所で届出や申請をした際にわかりづらい、不便だと感じたことはありますか。
あてはまる番号**3つまでに**○をつけてください。(○は3つまで)

1. 職員の説明
2. 申請書など書類の記入の仕方
3. 窓口における呼び出しの声や表示
4. 市役所から送付される文書の表現、内容(専門用語が多い、役所言葉が多くわかりにくいなど)
5. 手続きに必要な待ち時間、かかる時間
6. 市役所内の各種窓口への案内表示
7. 手続きのために市役所に行かなければならないこと
8. 市役所の開庁(営業)時間や曜日
9. その他()
10. 特になし

問5 問4で、わかりづらい、不便だと感じた具体的な事例など理由があれば記入してください。

■あなたご自身のことについてお伺いします。

- ・あなたの性別を、次の中から1つ選び、番号に○印をつけてください。

1. 男性	2. 女性
-------	-------

- ・あなたの年齢を、次の中から1つ選び、番号に○印をつけてください。

1. 18・19歳	2. 20～29歳	3. 30～39歳	4. 40～49歳
5. 50～59歳	6. 60～64歳	7. 65～69歳	8. 70～74歳
9. 75～79歳	10. 80歳以上		

- ・あなたの居住地域を、次の中から1つ選び、番号に○印をつけてください。

1. 大曲地域	2. 神岡地域	3. 西仙北地域	4. 中仙地域
5. 協和地域	6. 南外地域	7. 仙北地域	8. 太田地域

■自由意見

今回のアンケートの内容に関わらず、市政に関してご意見・ご提案などがありましたら、ご記入願います。

.....
--

以上で、アンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいたこの冊子は、同封の返信用封筒に入れ、**6月7日(金)まで**に、切手を貼らずに、ご投函くださいますようお願いいたします。

大仙市の将来のために
令和元年度市民による個別事業評価
「特定健康診査事業」に関するアンケート
ご協力のお願い

市民の皆さまには、日ごろから市政の推進に対してご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

市ではこれまで、市政運営を効果的かつ効率的に行うため「市民による市政評価」を実施し、評価結果を施策等に反映するよう努めてまいりました。

今回実施する「市民による個別事業評価」は、「市政評価」では得られない、市で実施する個別の事業に対する具体的な評価・要望を調査し、来年度以降の施策に活用させていただくものです。

市民の皆さまが日ごろ感じていらっしゃることや、市政に対する要望をお聞きし、施策の見直しや市民と協働のまちづくりを進めるための大切な基礎資料となります。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただきまして、アンケートにお答えくださるようお願いいたします。

令和元年 6月
大仙市長 老 松 博 行

《ご記入にあたって》

- ◆ このアンケートは、「特定健康診査事業」の対象となる方で、平成30年度において満40歳以上の方にお送りしています。
- ◆ ご回答いただいた内容等につきましては、すべて統計的に処理し、個人に関する情報が明らかになることはありません。
- ◆ ご記入いただく際は、黒の筆記用具でわかるようにはっきりとお書きください。
- ◆ 回答は、あてはまるところの番号に○印を付けるか、「その他()」に具体的な内容をご記入ください。

《回答の返送について》

- ◆ ご記入いただいたアンケート用紙は、**6月21日（金）まで**に、同封の返信用封筒に入れてご投函ください。（切手は不要です）
- ◆ アンケート用紙や返信用封筒にお名前をご記入いただく必要はありません。

【このアンケートに関するお問い合わせ先】

大仙市 企画部 総合政策課 政策調整班
電話:0187-63-1111(内線278) FAX:0187-63-1119
メール:sougou@city.daisen.akita.jp

■ 属性について

問1 あなたのお住まいの地域はどこですか。あてはまる番号1つに○を付けてください。

- | | |
|---------|--------|
| 1 大曲地域 | 2 神岡地域 |
| 3 西仙北地域 | 4 中仙地域 |
| 5 協和地域 | 6 南外地域 |
| 7 仙北地域 | 8 太田地域 |

問2 あなたの性別を選び、番号に○を付けてください。

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

問3 同居している家族はいますか。あてはまる番号すべてに○を付けてください。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 いない | 2 配偶者(夫、妻) |
| 3 子 | 4 (あなたまたは配偶者の)父 |
| 5 (あなたまたは配偶者の)母 | 6 その他 |

問4 あなたの利用している健康保険の種類は次のうちどれですか。
あてはまる方に○を付けてください。

- | | |
|------------------------|----------------------------|
| 1 大仙市国民健康保険 | 2 大仙市国民健康保険以外(被保険者(加入者)本人) |
| 3 大仙市国民健康保険以外(家族の被扶養者) | |

問5 あなたは、現在仕事をしていますか。あてはまるもの12に○を付けてください。

- | | |
|--------|---------|
| 1 している | 2 していない |
|--------|---------|

調査対象の個別事業：「特定健康診査事業」について

特定健康診査（以下「特定健診」とします）とは、医療保険（国民健康保険、協会けんぽなど、すべての医療保険）に加入している40歳以上74歳以下の方を対象に、糖尿病等の生活習慣病の原因にもなるメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の早期発見を目的として実施する健診です。特定健診では、次の診査を基本的な項目として行っています。

基本的健診項目	○ 質問票（服薬歴、喫煙歴等） ○ 身体計測（身長、体重、BMI、腹囲） ○ 理学的検査（身体診察） ○ 血圧測定 ○ 血液検査（脂質検査、血糖検査、肝機能検査） ○ 検尿（尿糖、尿蛋白） ※一定の基準の下、医師が必要と認めた場合には、心電図検査等を実施
---------	---

特定健診を受けることによって、その結果を元に自分の生活習慣を振り返り、生活習慣病の発症を防いだり、重症化を防ぐことが期待されています。

市で行っている、国民健康保険加入者に対する特定健診の受診率は約4割で、半数以上の方が健診受診の機会を逃している状況です。

この調査では、特定健康診査対象年齢の中でも、若い年代の方に、ご自身の健康や健診の状況について伺い、今後の健診体制の整備を検討するための参考にさせていただきます。

問1 あなたの現在の健康状態はいかがですか。あてはまるもの12に○を付けてください。

- | | |
|-------|-----------|
| 1 良い | 2 まあ良い |
| 3 ふつう | 4 あまり良くない |
| 5 悪い | |

問2 あなたは、特定健診の対象年齢が40歳以上ということを知っていましたか。あてはまるもの12に○を付けてください。

- | | |
|----------|--------------|
| 1 知っていた | 2 何となくは知っていた |
| 3 知らなかった | |

問3 あなたは、特定健診について目的や内容（健診項目等）を知っていましたか。
あてはまるもの1つに○を付けてください。

- | | |
|----------|--------------|
| 1 知っていた | 2 何となくは知っていた |
| 3 知らなかった | |

問4 あなたは特定健診を受けていますか。あてはまるもの1つに○を付けてください。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 毎年受けている →問5-1へ | 2 時々受けている →問5-1へ |
| 3 受けていない →問6-1へ | |

問5-1 問4で「毎年受けている」「時々受けている」と答えた方にお聞きします。特定健診を受診した理由は何ですか。
あてはまるものすべてに○を付けてください。（○はいくつでも）

- 1 健康管理のため
- 2 健診のお知らせがあったから
- 3 がん検診と同時に受けられるから
- 4 医療機関で受けられるから
- 5 家族や友人の勧め
- 6 職場で健診を受診するための配慮があるから(休暇等)
- 7 受診しないと何度も勧奨されるから
- 8 体調が悪く、検査したかったから
- 9 周囲の人も受けているから
- 10 何となく
- 11 その他()

問5-2 問4で「毎年受けている」「時々受けている」と答えた方にお聞きします。一番最近受けた健診の結果はいかがでしたか。あてはまるもの1つに○を付けてください。

- 1 特に異常はない →問7へ
- 2 「要受診」「要保健指導」の項目があったので、医療機関で再検査や生活習慣改善のアドバイスを受けている →問7へ
- 3 これから医療機関を受診する予定である →問7へ
- 4 「要受診」「要保健指導」の項目はあるが、特に何もしていない →問5-3へ
- 5 その他() →問7へ

問5-3

問5-2で、「『要受診』『要保健指導』の項目はあるが、特に何もしていない」と答えた方にお聞きします。医療機関で受診等行わない理由は何ですか。あてはまるものすべてに○を付けてください。（○はいくつでも）

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1 面倒だったから | 2 時間がないから |
| 3 悪い結果が出るのが怖いから | 4 検査をするのが苦痛だから |
| 5 忘れたから | 6 体調に変化がなく大丈夫だと思ったから |
| 7 お金がかかるから | 8 その他() |

→問7へ

問6-1

問4で「受けていない」と回答された方にお聞きします。特定健診を受けていない理由は何ですか。あてはまるものすべてに○を付けてください。（○はいくつでも）

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 1 健診に行く待ち時間が長いから | 2 検査が苦痛だから |
| 3 「異常あり」の結果が出ると怖いから | 4 健診日程に都合がつかなかったから |
| 5 仕事が休めなかったから | 6 健診のお知らせ等がなく、知らなかったから |
| 7 健診を受けることを忘れたから | 8 特に体調が悪くないから |
| 9 治療中の病気があり、定期的に受診しているから | |
| 10 その他() | |

問6-2

問4で「受けていない」と回答された方にお聞きします。どんな「働きかけ」があれば特定健診を受けることができると思いますか。最も必要だと思うものから順に1～5の数字を記入してください。

- | |
|---------------------------|
| 1 個人宛に特定健診の通知があれば |
| 2 家族や周囲の人に勧められれば |
| 3 かかりつけ医に勧められれば |
| 4 職場で健診を受けるための配慮があれば(休暇等) |
| 5 何度も勧められれば |
| 6 その他() |

受けるきっかけとなる可能性が高い順に左から番号を記入してください

--	--	--	--	--

受けるきっかけになる可能性

高い  低い

問7 皆さんにお聞きします。あなたは、健康に関する知識や情報をどのようにして知りますか。あてはまるもの**最大5つまでに**○を付けてください。（○は5つまで）

- | | |
|-----------------------|-----------|
| 1 市の広報やホームページ | 2 インターネット |
| 3 テレビやラジオ | 4 本や新聞 |
| 5 家族 | 6 友人や同僚 |
| 7 医療従事者(医師、看護師等) | 8 市の保健師 |
| 9 その他() | |
| 10 健康に関する知識や情報には関心がない | |

問8 あなたは、普段の食生活で、健康のために意識していることはありますか。あてはまるもの**最大5つまでに**○を付けてください。（○は5つまで）

- | | |
|----------------|-----------------------|
| 1 塩分を控えている | 2 間食を控えている |
| 3 甘いものを控えている | 4 脂っこいものを控えている |
| 5 甘い飲み物を控えている | 6 アルコールを飲み過ぎないようにしている |
| 7 腹八分目を心がけている | 8 野菜を多く食べるようにしている |
| 9 サプリメントを摂っている | 10 バランスの取れた食事を心がけている |
| 11 噛む回数を多くしている | 12 早食いをしないようにしている |
| 13 特に意識していない | |

問9 あなたは、普段の生活で、健康のために意識していることはありますか。あてはまるもの**最大5つまでに**○を付けてください。（○は5つまで）

- | |
|--|
| 1 筋力トレーニング(筋トレ)をしている |
| 2 ジョギングやウォーキング(有酸素運動)をしている |
| 3 散歩をしている |
| 4 タバコを吸わない |
| 5 睡眠を十分にとる |
| 6 自分にあった方法でストレスがたまらないようにしている(趣味やサークル活動等) |
| 7 疲れたら早めに心身を休めるよう心がけている |
| 8 歯の手入れ(フロス・歯間ブラシ等使用、定期健診)に気をつけている |
| 9 定期的に体重を測っている |
| 10 定期的に血圧を測っている |
| 11 健診を受けるよう心がけている |
| 12 特になし |
| 13 その他() |

問10 市が行っている「特定健診」へのご意見やご要望がありましたらご記入ください。

■ 自由意見

今回のアンケートの内容に関わらず、市政に関してご意見・ご提案などがありましたら、ご記入ください。

以上で、アンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいたこの冊子は、同封の返信用封筒に入れ、**6月21日(金)まで**に、切手を貼らずに、ご投函くださいますようお願いいたします。